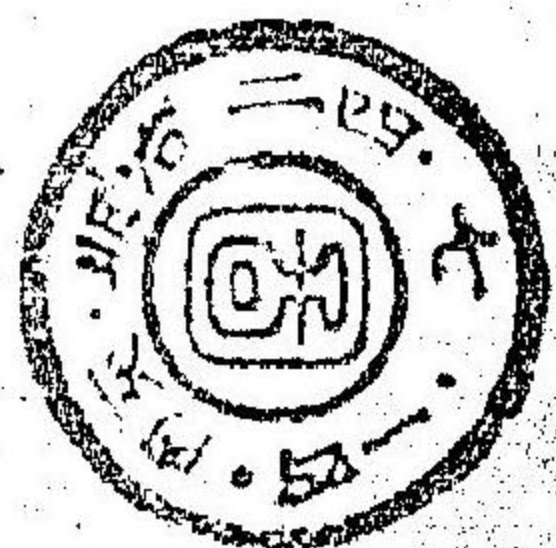


1574/24

普通動物學
全



動物學序



時珍李氏評動物曰物理萬
殊字者不可數知守乎謂何
帝萬殊其於致知固非由
矣近者動物植焉教科之
之刻極衆然其書大抵

係翻譯其引証多
予與我相適者此等因每波
二君有安於此新著動
物與子為一軍一本邦國首動
物以為証例其用意之深
可見也噫物理之眾何嘗

萬殊也其著書之用意
耶、不然著者之難累千萬
而終亦中用在於觀曰海
也叙以告世之好著書者
明治十六年八月況齋之志也
并書



普通動物學

初板例言

一予輩曩ニ普通植物學ヲ纂譯シ世ニ行ル、ト久シ嗣後又普通金石學ノ編輯ニ從事シテ已ニ發刊ノ功ヲ畢レリ近時此二書ト體裁ヲ同クスル動物學ノ初步ヲ纂述シ博物三界ノ階梯ヲ完全セントヲ請求スルモノ多シ仍テ姑ク本編ヲ編纂シ博ク此學ニ通スル博物局員高松君ニ托シテ之ヲ補輯セシメ聊カ其責ヲ塞ク

一本篇ハ其次序專ラシルリング氏博物學中動物篇ニ據リ各論ニハクラウス、トメ諸氏ノ著書ヲ引用シ本邦產ノ動物ヲ舉ケテ其的例ヲ示ス

一總論中解剖生理ノ概畧ハ人体ヲ根據トシ其梗概ヲ示スニ過キス動物各類ノ特徴性形等ハ各其本類ノ章首ニ論述ス

一動物各分類ノ下及ヒ各種屬ノ下ニハ其羅旬學語ヲ附シ兼テ必要ノ圖畫三百五十餘ヲ本文ノ間ニ挿入シテ讀者ノ參照ニ便ス

一尺度ハ專ラ「メートル」系統ニ據リ「センチメートル」ヲ本位トス例之ハ「一三三セ、メ」ト記スルハ「十三センチメートル」ニシテ「二五ミ、メ」ト記スルハ「二十五ミリメートル」ト知ルヘシ

改正第四板緒言

一此書明治十六年ニ第一板ヲ發行セル後逐次之ヲ改正増刪シテ第三板ニ至リ該板復タ全ク販了ニ歸シタレハ編者改刪ノ餘日ヲ有セス久シク之ヲ等閑ニ附セリ然ルニ書肆某等世上需求者ノ多キヲ告ケ其改版ヲ促スコト急ナリ依テ今回更ニ前板分類法ノ當ヲ得サルモノヲ改定シ各編章ノ下繁蕪ヲ刪リテ簡明ニ就キ博物學進歩ノ程度ニ適合セル著大ノ改正ヲ施セリ冀クハ世上需求者ノ希望ニ辜負セサランコトヲ

明治二十四年六月

編者識

夫レ萬有學ハ動植物ノ性狀ヲ講明スルモノニシテ人生ニ貴要ナル諸學藝ノ基

礎ト爲リ實ニ必須闕ク可カラサルノ學科ナリ我邦ニ於テ萬有學中動植物ノ二書ハ其著ニ乏シカラスト雖モ獨リ動物書ニ至テハ未ダ曾テ完全ノ著述アルヲ聞カス蓋シ動物ハ頗ル種類ニ富ミ其名稱區別ノ錯雜ナル織植ノ比ニ非ルニ因ルノミ是レ余輩ノ常ニ遺憾トスル所ナリ

蓋ニ丹波君等相謀テ植物學金石學ヲ刊行シ久シク世ニ布クト雖モ之ニ相對比シテ教科書ニ充ベキ動物書ノ著述アルヲ聞カス是レ本篇ノ編纂アル所以ニシテ余ノ淺學モ亦大ニ之ヲ賛成シ其補輯ヲ辭セサル所以ナリ本書ノ分類法ハシルリング氏第十三版博物書ニ據ルト雖モ亦英獨ノ新書ヲ折中シ加フルニ余ノ並ニ東京大學教授「ドクトル」ドニテ「ライオン」氏ニ從ヒ四國九州琉球等ニ於テ實地研究シタル成績并ニ氏ノ講筵筆記ヲ輯録シ其適例ヲ舉ケテ以テ讀者ニ便ス
本書中各種ノ動物ハ概テ實物ニ就テ其狀ヲ詳カニスト雖モ四時ノ循環ニ從ヒ色彩ヲ變シ大小ヲ異ニシ仍ホ充分ノ檢視ヲ經サルモノアリ讀者幸ニ諒セヨ
本書中動物ノ漢名ハ務メテ先輩ノ說ニ據ルト雖モ一動物ニシテ往々數般ノ名稱アルヲ以テ特トリ其妥當ナルモノヲ撰用セリ讀者佐書ヲ看テ其名稱ノ符合セサルヲ怪ム勿レ

編輯者識

普通動物學目次

總論

動物及動物學ノ定義

解剖及生理ノ概畧

- (一) 骨格系統 五
- (二) 筋肉系統 九
- (三) 神經系統 二二
- (四) 消化系統 一五
- (五) 呼吸系統 一八
- (六) 脉管系統 二〇

動物ノ分類

- (一) 脊椎動物 二五
- (二) 被囊動物 二六
- (三) 軟體動物 二六
- (四) 擬軟体動物 二六
- (五) 節足動物 二六
- (六) 蠕形動物 二七
- (七) 芒刺動物 二六
- (八) 腔腸動物 二七
- (九) 原生動物 二七

各論

第一門 脊椎動物

二八

第一綱 哺乳類

二八

第一目 二手類

三三

第二目 四手類

三五

(甲) 真猴類

三六

- 猩々屬三七
- 猿屬三九
- 細猴屬三八
- 果猿屬三九
- 懶猴屬三九
- 狒々屬四〇
- 吼嚙屬四一
- 懸鵲屬四一
- 絹毛猴屬四二

(乙) 擬猴類

四二

- 狐猴屬四三
- 懶猴屬四三

第三目 翅手類

四三

(甲) 肉翅類

四四

- 貓猴屬四四

(乙) 蝙蝠類

四五

- 大蝙蝠屬四五
- 葉鼻屬四六
- キクオノホリ屬四六

編蝠屬四六

第四目 猛獸類

四七

(甲) 蹠行類

四七

- 狒々屬四八
- 鼯鼠屬四八
- ヤママムグヲ屬四九
- 鼯鼠屬四九
- 熊屬五〇
- 浣熊屬五一

(乙) 趾行類

五一

- 鼯鼠屬五二
- 鼯鼠屬五三
- 水獺屬五三
- 海獺屬五四
- 狸屬五五
- 犬屬五五
- 猓狗屬五八
- 靈貓屬五九
- 貓屬六〇

第五目 袋獸類

六三

(甲) 食肉袋獸類

六四

袋鼠屬六四

(乙) 食草袋獸類

六五

更格盧屬六五

第六目 嚙齒類

六六

(甲) 有握足類

六七

- 海狸屬六五
- 鼠屬六八
- ヤマ子屬六九
- 栗鼠屬六九
- 鼯鼠屬七〇
- 金花鼠屬七〇

(乙) 無握足類

七〇

- 兔屬七一
- 豚鼠屬七一
- 豪猪屬七二

第七目 貧齒類

七二

(甲) 鈍口吻類

七三

- 樹懶屬七三

(乙) 尖口吻類

七四

- 犛塗屬七四

(丙) 無齒類

七四

- 食蟻獸屬七四
- 鯨鯨屬七五
- 鴨嘴獸屬七五
- ハリモグラ屬七六

第八目 單蹄類

馬屬七七

七六

第九目 雙蹄類

(甲)無角類

駱駝屬八〇 羊駝屬八一 辟獸屬八一

七九

(乙)骨柱類

麒麟屬八二 雙鹿屬八二

八一

(丙)洞角類

カモンカ屬八三 野羊屬八四 羊屬八四 牛屬八五

八三

第十目 多蹄類

象屬八八 犀牛屬八九 河馬屬八九 獾屬八九 猪屬九〇

八七

第十一目 蹠脚類

海豹屬九二 海驢屬九三 海馬屬九三

九二

第十二目 游水類

(甲)海牛類

海牛屬九五 儒艮屬九五

九四

(乙)鯨魚類

海豚屬九六 一角屬九七 真甲鯨屬九八 海鯨屬九八 鯨鯨屬一〇〇

九六

第二綱 禽鳥類

第一目 猛禽類

兀鷹屬一〇七 鷹屬一〇七 鷲屬一〇八 鷹屬一〇九 鷹屬一〇九 鷲屬一一〇 蒼鷹屬一一一 鷹屬一一一 アチハツク屬一一二 鷲屬一一二 シヤミハツク屬一一二 鷲屬一一三

一〇六

第二目 燕雀類

(甲)圓錐嘴類

一一四

第三目 攀禽類

啄木鳥屬一三一 鸛屬一三二 杜鵑屬一三二 鸚鵡屬一三四 巨嘴鳥屬一三四

一三一

第四目 鳩鴿類

鴿屬一三五 鳩屬一三六

一三五

第五目 雉雞類

孔雀屬一三七 雉屬一三七 白鷄屬一三八 珠雞屬一三八 鷄屬一三九 蝦夷山鷄屬一四〇 松雞屬一四〇 鶉屬一四〇

一三六

第六目 走禽類

亞弗利加駝鳥屬一四一 亞米利加駝鳥屬一四三 鷓鴣屬一四三 火食鷓鴣屬一四三 キウイ屬一四三

一四一

第七目 涉禽類

鶴屬一四五 蒼鷺屬一四五 鷺屬一四五 山家五位屬一四六 鷺屬一四六 鷺屬一四六 紅鶴屬一四四

一四四

(乙)齒嘴類

鳥屬一一八 鶴屬一一九 チナガドリ屬一一九 カクス屬一二〇 白頭翁屬一二〇 霧鳥屬一二一 連雀屬一二二 伯勞屬一二三 小燕屬一二三 山雀屬一二三 田雞屬一二三 鶺鴒屬一二三 鶯屬一二三 知更雀屬一二四 鶺鴒屬一二四 キクイタビキ屬一二五 カハガラス屬一二五 白頭鳥屬一二五 ツグミ屬一二六

一一八

(丙)裂嘴類

燕屬一二六 壁燕屬一二七 怪鳥屬一二八

一二六

(丁)細嘴類

戴勝屬一二八 ヨリアブ屬一二九 繡眼兒屬一二九 キバシリ屬一二三〇

一二八

(戊)輕嘴類

魚狗屬一二三〇

一二三〇

六 龍蝦屬一四六 胸黑千鳥屬一四七 水喜鵲屬一四七
 都鳥屬一四七 計里屬一四八 保登鵲屬一四八
 ナンギ屬一四八 杓鵲屬一四八 秧鵲屬一四九
 翻屬一四九 骨頂屬一四九

第八目 水禽類

一五〇

(甲)鳥科

一五〇

鵲屬一五一 雁屬一五一 危屬一五一 シビロガモ
 風一五二 野鴨屬一五二 海鴨屬一五二

(乙)鷺科

一五三

迅飛鳥屬一五三 鷺屬一五三 ハリカン風一五四

(丙)信天翁科

一五五

海鷗屬一五五 信天翁屬一五五

(丁)鵬科

一五五

鷗屬一五六

(戊)鵬科

一五六

アビ屬一五六 鵲屬一五六

(己)海雀科

一五七

海雀屬一五七 海鳥屬一五七

第三綱 爬蟲類

一五七

第一目 龜類

一五八

水龜屬一五九 鼈屬一五九 マタマタ龜屬一五九
 龜屬一五九

第二目 蜥蜴類

一六一

鰐屬一六一 ラセルタ屬一六二 蛇鼻母屬一六三
 石龍子屬一六三 守宮屬一六三 パシリスク屬一六
 四 避役屬一六四 アンゲイス屬一六五

第三目 蛇類

一六五

王蛇屬一六六 蟒蛇屬一六八 黃領蛇屬一六八 赤
 棟蛇屬一六八 響蛇屬一六九 蝮蛇屬一六九 飯匙
 倚屬一六九 海蛇屬一七〇

第四綱 兩棲類

一七〇

第一目 無尾類

一七一

蟾高蛙屬一七二 蝦蟇屬一七二 雨蛤屬一七三 蟾
 蛤屬一七四

第二目 有尾類

一七四

黑魚屬一七四 鱉屬一七五

第三目 有鰓類

一七五

ナラ△屬一七六 鰓狀鰓屬一七六

第五綱 魚類

一七五

第一目 有肺類

一七九

第二目 棘鰭類

一八〇

(甲)胸棘鰭科

一八〇

鰻魚屬一八〇 ヒメチ屬一八一 ハタ屬一八一

シマチコセ屬一八一 トラギス屬一八二 鼠頭魚屬

一八二 梭魚屬一八二 石首魚屬一八二 イサキ屬

一八三 金絲魚屬一八三 青花魚屬一八三 鰻魚屬

屬一八四 馬鮫魚屬一八四 魴魚屬一八四 鰻魚屬

一八五 竹莖魚屬一八五 鰻屬一八六 馬頭魚屬一

八六 アヒコ屬一八六 ヤツコダヒ屬一八六 鰻魚

屬一八七 アチアチ屬一八七 ウミタナゴ屬一八

七 棘鰻魚屬一八七 烏鰻魚屬一八八

(乙)喉棘鰭科

一八八

魴鰻屬一八八 笠子屬一九〇 トゲウチ屬一九〇
 海吐鰻魚屬一九〇 鰻屬一九一 牛尾魚屬一九一
 タナウチ屬一九一

(丙)管口科

一九一

火筒嘴屬一九二 鰻鰻魚屬一九二 海馬屬一九二

第三目 軟鰭類

一九三

(甲)腹鰭科

一九三

鰻魚屬一九三 鯉魚屬一九三 鱒魚屬一九四 鰻魚

屬一九四 泥鰌屬一九四 ダツ屬一九五 鱧魚屬一九五 文鰻魚屬一九五 鱈魚屬一九五 香魚屬一九六

(乙) 猴鰭科

吳魚屬一九六 鱈屬一九七 板魚屬一九七 印魚屬一九八

(丙) 禿鰭科

鰻魚屬一九八 海鰻屬一九八

第二綱 軟骨魚類

一九九

第四目 離鰓類

一九九

(甲) 無腹鰭科

魚虎屬一九九 噴魚屬一九九 翻車魚屬二〇〇 モンガラフケ屬二〇〇 海牛屬二〇〇

(乙) 有腹鰭科

ギンザメ屬二〇一 鱈魚屬二〇二

二〇一

第五目 固鰓類

二〇二

(甲) 橫口科

二〇三

ナメカザメ屬二〇三 キリノトアカ屬二〇三 虎頭鰻屬二〇四 ヨロザメ屬二〇四 雙髻鰻屬二〇四 ヨロヒザメ屬二〇五 鋸鰻屬二〇五 竿頭鰻屬二〇五 シビレヒヒ屬二〇六 カスベ屬二〇六 黃招魚屬二〇六 トビヒヒ屬二〇六

(乙) 圓口科

二〇七

ヤツメウナギ屬二〇八 ナメクジウナギ屬二〇八

第二門 被囊動物

二〇八

第三門 軟体動物

二一〇

第一綱 頭足類

二一一

章魚屬二一一 魷魚屬二一一 烏賊屬二一一 柔魚

屬二二三 鴨綠螺屬二二三

第二綱 腹足類又螺類

二二四

第一目 有肺類

二二四

蛸輪屬二二四 蝸牛屬二二五 キセルガヒ屬二二五 綠島螺屬二二六

第二目 櫛鰓類

二二六

田螺屬二二六 蝸螺屬二二七 拳螺屬二二七 貝子屬二二七 雞心螺屬二二八 辛螺屬二二八 琵琶螺屬二二八 水字介屬二二九 長辛螺屬二二九 梭尾螺屬二二九

第三目 異鰓類

二二九

石決明屬二三〇 雨虎屬二三〇 鱒屬二三〇 石鰻屬二三〇

第三綱 鰭足類

二三〇

鯨魚屬二三一

第四綱 蚌蛤類

二三一

第一目 一筋類

二二三

車螺屬二二三 牡蠣屬二二三 珠母屬二二四 牛邊蚌屬二二四

第二目 不同筋類

二三四

淡菜屬二三四

第三目 二筋類

二三五

魁蛤屬二三五 蚌屬二三五 マカヒ二三五 蛤屬二二六 蜆屬二二六 竹蛸屬二二六

第四門 擬軟体動物

二三七

第一綱 臂足類

二三七

指甲螺屬二三八 ホヅキカヒ屬

第二綱 蘚苔蟲類

二三八

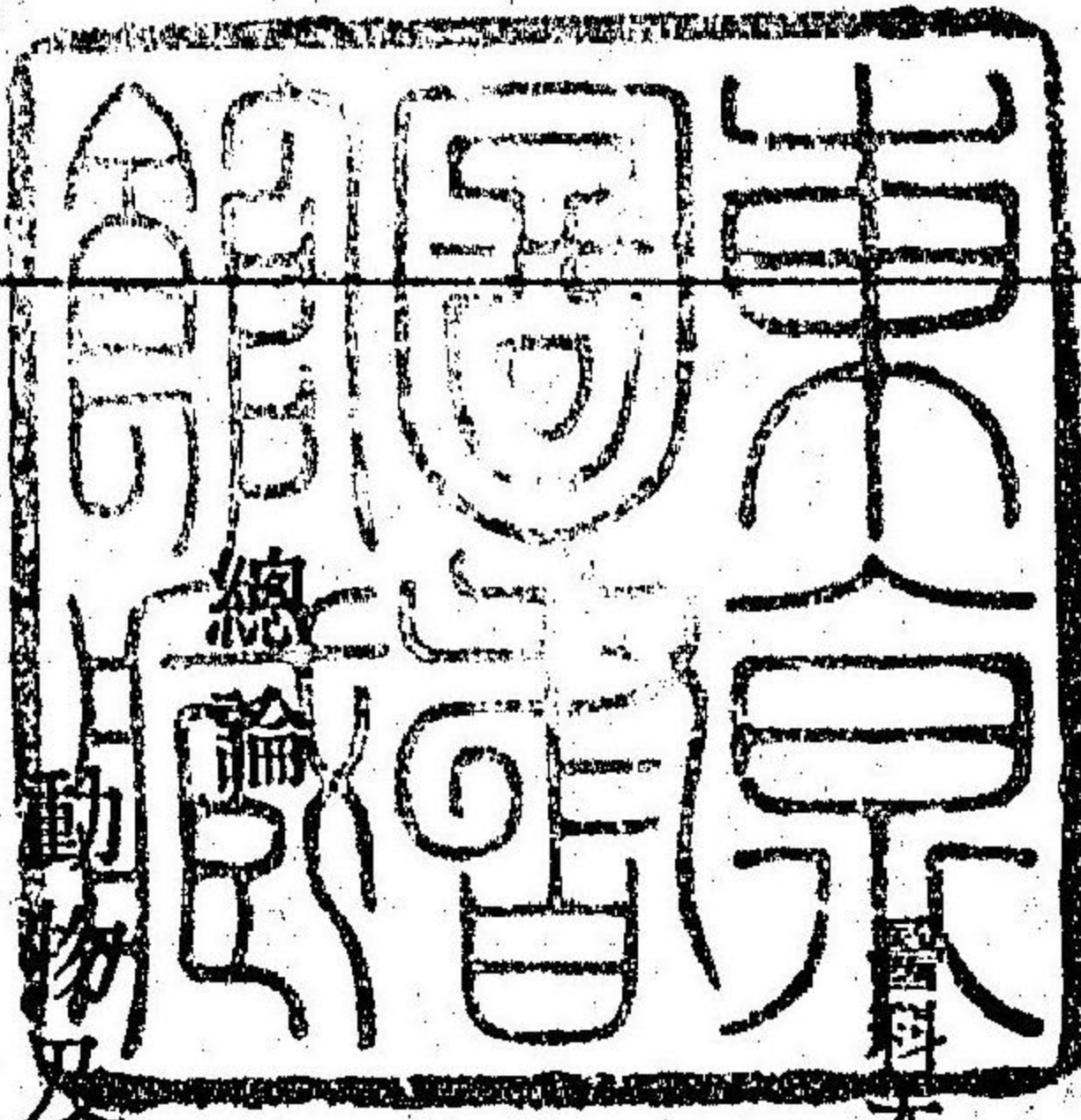
アミガヒ三三九	
第五門 節足動物	三三九
第一綱 六脚蟲類	三三九
第一目 甲蟲類	三三五
(甲)五附節類	三三六
斑蟊屬二三六	ナサムシ屬二三七
馬毛屬二三七	マヒモヒカブリ
龍虱屬二三七	ゴキブリ屬二三八
豆象屬二三八	ハチカク
ノミ屬二三八	クワガタムシ屬二三九
ヨコキコガネ	屬二三九
カナブン屬三四〇	ヨガチムシ屬三四〇
ハナムグシ屬三四〇	カゲロウ屬三四〇
カゲロウ屬三四〇	吉丁
クワガタムシ屬三四一	コメツキムシ
カゲロウ屬三四一	屬三四一
葉蟊屬三四二	地膽屬三四三
葉蟊屬三四二	アリンチャダ
地膽屬三四三	アリンチャダ
(乙)不同附節類	二四二
葉蟊屬三四二	アリンチャダ
地膽屬三四三	アリンチャダ
(丙)四附節類	二四三
ザウムシ屬二四三	カミキリ
天牛屬二四四	キクズヒ
菊花蟲屬二四四	
(丁)三附節類	二四五
瓢蟲屬二四五	
第二目 膜翅類	二四五
(甲)穿透膜翅類	二四六
葉蜂屬二四六	馬尾蜂屬二四七
ヒメバチ屬二四七	
没食子蟲屬二四八	
(乙)刺螫膜翅類	二四九
蟻屬二四九	ハツカワバチ屬二五〇
ハツカワバチ屬二五〇	蟻屬二五〇
胡蜂屬二五一	蜜蜂屬二五二
ハチバチ屬二五二	
第三目 鱗翅類又蝶類	二五四
(甲)晝飛類	二五五
ヒナドシ屬二五五	ハウモンチャウ屬二五五
ヒカゲ	
テウ屬二五六	小灰蝶屬二五六
鳳子蝶屬二五六	

粉蝶屬二五七	黄蝶屬二五七	ハナセトリ屬二五八
粉蝶屬二五七	黄蝶屬二五七	ハナセトリ屬二五八
(乙)黄昏飛類	二五八	
粉蝶屬二五七	黄蝶屬二五七	ハナセトリ屬二五八
粉蝶屬二五七	黄蝶屬二五七	ハナセトリ屬二五八
(丙)夜飛類	二五九	
粉蝶屬二五七	黄蝶屬二五七	ハナセトリ屬二五八
粉蝶屬二五七	黄蝶屬二五七	ハナセトリ屬二五八
(丁)小蝶類	二六三	
粉蝶屬二五七	黄蝶屬二五七	ハナセトリ屬二五八
粉蝶屬二五七	黄蝶屬二五七	ハナセトリ屬二五八
第四目 二翅類	二六四	
(甲)蚊類	二六四	
蚊屬二六五		
(乙)蚤類	二六六	
蚤屬二六六		
(丙)蠅類	二六七	
粉蝶屬二五七	黄蝶屬二五七	ハナセトリ屬二五八
粉蝶屬二五七	黄蝶屬二五七	ハナセトリ屬二五八
第五目 網翅類又羅翅類	二七〇	
(甲)水棲網翅類	二七〇	
江蘇屬二七〇	蜻蛉屬二七一	豆娘屬二七一
豆娘屬二七一	白蟻	
白蟻		
(乙)陸棲網翅類	二七二	
ウスバカゲラウ屬二七二	シキアゲムシ屬二七三	
白蟻屬二七三		
第六目 直翅類	二七四	
(甲)跳飛類	二七四	
飛蝗屬二七五	螞蟓屬二七五	螞蟓屬二七六
螞蟓屬二七五	螞蟓屬二七五	螞蟓屬二七六
螞蟓屬二七五	螞蟓屬二七五	螞蟓屬二七六
(乙)行走類	二七七	

第一綱 水母類	三一四	第一目 根足蟲類	三三三
<small>オビクラゲ</small> 帶水母屬三一四 <small>クラゲ</small> 水母屬三一五		<small>變形蟲屬三三三</small>	
第二綱 珊瑚蟲類	三一五		
第一目 多放線類	三一五		
<small>イソカンナヤク</small> 莖刺新屬三一五 <small>シサトライシ</small> 石芝屬三一六 <small>カクメイセキ</small> 海花石屬三一六 <small>ミドリイシ</small> 石盤屬三一六 <small>ツミヤツ</small> 鐵樹屬三一六			
第二目 八放線類	三一七		
<small>ヤギ屬三一七</small> 珊瑚屬三一八 <small>クダサンゴ屬三一八</small>			
第三綱 海綿蟲類	三一九		
<small>海綿屬三一九</small> 借老同穴屬三一九 <small>ホツスケヒ</small> 海拂子屬三二〇			
第九門 原生動物	三二〇		
第一目 滴蟲類	三二〇		
<small>喇叭蟲屬三二一</small>			

普通動物學目次了

普通動物學



醫學部大學教授藥學士ドクトル

丹波敬三 同纂
柴田承桂
高松數馬補輯

動物及動物學ノ定義

凡ソ宇宙間ノ萬物ニハ無生有生ノ大別アリ、無生物トハ例之ハ水、
金、硫黃、石英ノ如キ礦物ノ類是ナリ而シテ有生物ニハ更ニ二種ノ
小區別アリ、甲ハ草木、菌茸等ノ如キ植物ニ、乙ハ禽鳥、獸畜、魚類、昆
蟲等ノ如キ動物トス、凡ソ無生物タル礦物類并ニ有生物タル植物
類及ヒ動物類ノ形狀性質ヲ論究スルノ學ハ之ヲ博物學ト總稱シ

有生物無
生物ノ區
別

動物學ノ定義

博物學ノ
分科

殊ニ其一類ニ就テ論スル者ハ所謂鑛物學、植物學、動物學是レナリ
本篇ハ殊ニ動物類ノ性狀ヲ概論シ普通教育ノ資料ニ供スルヲ目
的トナス故ニ名ケテ普通動物學ト云フ

生物學ニ
動物ノ特
性

夫レ動物トハ其實質均同ナラズシテ特殊ノ部分ヲ具有シ且ツ隨
意ノ運動ヲ營ム所ノ物体ナリ、凡ソ有生物体中ノ各部分ハ皆體軀
ヲ保持スルノ目的ニ關ク可カラサル者ニノ多少其生活機能ノ變
調ヲ見ルコトナクシテハ其一部分ダモ除却スルコト能ハズ、斯クノ如
キ部分ヲ名ケテ器官ト爲ス是レ決シテ鑛物類ニ於テ發見セサル
所ナリ

隨意運動

而ノ又動物ト植物トヲ區別スルハ數點重要ノ差違アルニ因ル就
中隨意運動ハ動物ノ特性トノ最モ緊要ナル一現象ト云フベシ即
チ外部ノ原因ニ由ラズ自カラ其周圍ニ對シ己レノ居處ヲ變換シ
或ハ其体中各部分ノ位置ヲ轉移スルノ作用ナリ、其他更ニ動物ノ

特徴タル者ハ知覺、機能、視聽、嗅味、觸等ナリトス

動物普通ノ性狀ヲ知ラントスルニハ先ヅ其器官ノ最モ完備セル
高等動物ニ就テ其體軀ノ構造及ヒ官能ヲ論究シ之ヲ下等ノ動物
ニ比較參照シテ以テ其族種ヲ區別考索スルノ津筏ト爲スヲ便ナ
リトス

解剖及生理ノ概略

解剖トハ凡ソ有生物體軀ノ構造ヲ論スルノ學科ニシテ生理トハ其
生活官能ヲ究ムルノ學科ナリ、今一般動物ニ就テ其概略ヲ記述ス
ルニ一切ノ脊椎動物及或ル高等無脊椎動物ノ體軀ハ左ノ三大部
分ヨリ成ル、一ハ頭、二ハ軀幹、三ハ外肢、是レナリ然ルニ軟體動物ニ
在テハ以上ノ區分頗ル不完全ナルカ或ハ全ク區分ス可カラザル
モノアリ例之ハ哺乳獸若クハ昆蟲ニ在テハ頭、軀、肢ノ三部ハ一目
ニノ瞭然タリト雖モなまぐさり蛞蝓ノ如キハ容易ニ之ヲ識別スル能ハス下

高等動物
體軀ノ三
大區分

生活官能
及其器官

ツテ益、下等ナル無脊椎動物ニ至テハ全ク其區別ヲ認ム可カラサルモノアリ

本章ニ於テ特ニ諸動物ノ模範トシ記載スル所ノ人體ヲ檢スルニ頭ハ頸ニ由テ軀幹ト連繫セラレ軀幹ハ上軀及ヒ下軀ノ二大部ヨリ成リ更ニ之ヲ小別スレハ上軀ノ前部ヲ胸ト稱シ其後部ヲ背ト稱シ兩部中間ヲ胸側ト云フ、下軀ノ前部ニ位スル部ハ即チ腹ニシテ其後方ハ腰部、薦骨部及臀部等是ナリ

肢ハ動物ニヨリ其數一様ナラズト雖モ哺乳類、禽鳥等ニ於テハ前後ノ二對即チ四肢ヲ有セリ前肢ハ握取、疾走、飛翔若クハ游泳ニ適スル手、脚、翼或ハ鱗ヲ成シ、後肢ハ脚若クハ鱗ヲ形成スルモノナリ所謂生活官能ハ運動、知覺、營養等ノ狀ヲ以テ發見ス而シテ此機能ヲ發起シ或ハ媒介スル體部ヲ稱シテ器官ト云ヒ同一ノ官能ニ屬スル諸器官ヲ總括シテ器官系統ト名ヅク運動ノ器官ハ即チ筋肉、骨

骨格ノ大
區別

骨
成スル諸
體ヲ排

等ニシテ知覺ノ器官ハ腦、脊髓及神經、營養ノ器官ハ消化呼吸ノ二器、尿管等是レナリ、己下人體ニ就キ此等ノ系統ヲ逐論スベシ

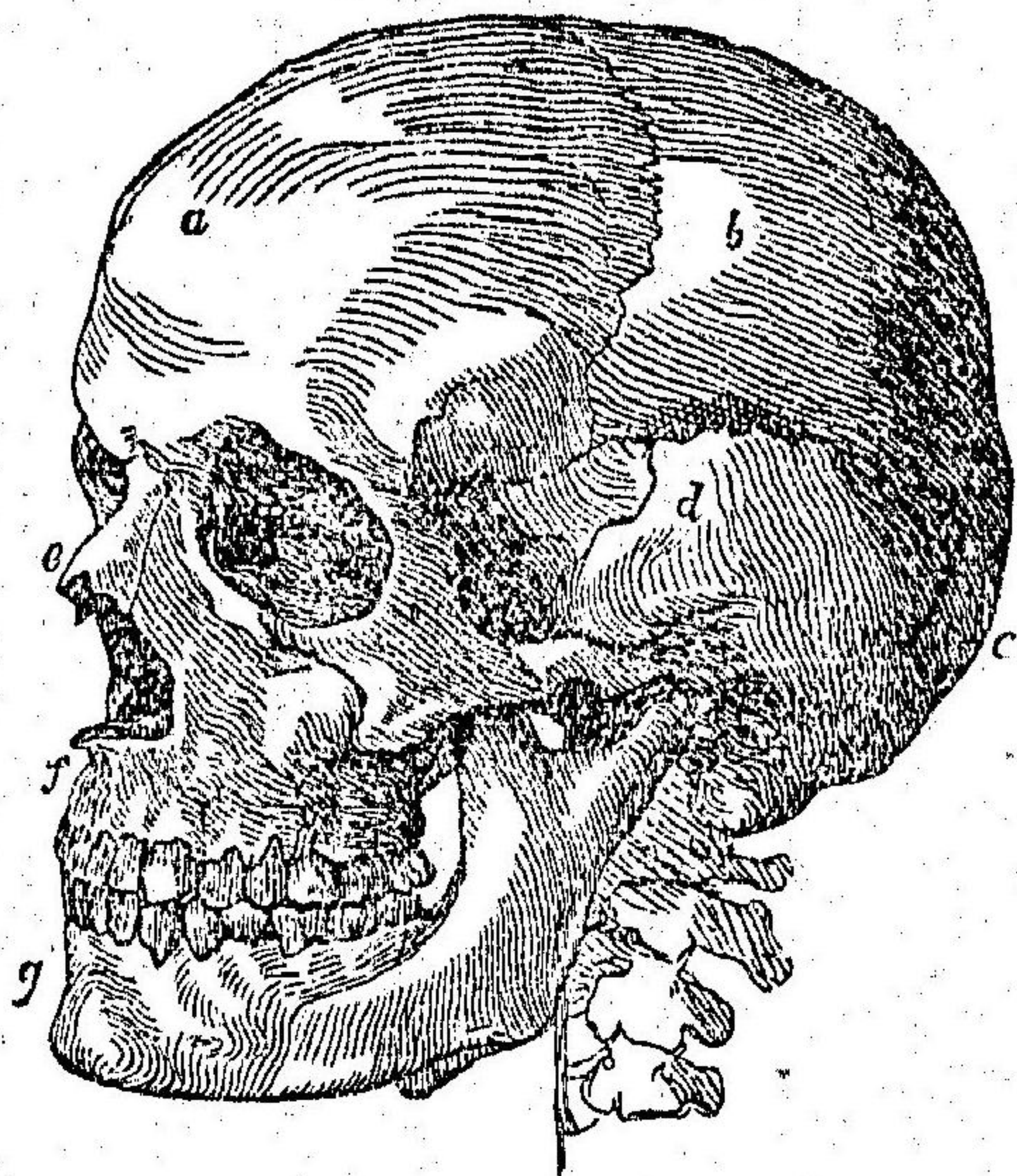
〔壹〕骨格系統

諸骨ハ合シテ骨格ヲ形成シ筋肉ト共ニ一定ノ形狀ヲ肢體ニ賦與シ且ツ運動ヲ營爲スル諸筋ノ支柱ト爲ルモノナリ、第一圖ニ示ス

如ク骨格ハ左ノ三部ヨリ成ル

〔第一〕 髑髏ハ頭蓋及ヒ顔面ノ諸骨ヨリ成ル即チ頭蓋ハ前額骨(第一圖ノa)、二枚ノ顛頂骨(b)、大圓孔ヲ有スル後頭骨(c)、兩個ノ顛顚骨(d)、額骨ノ

第一圖



骨 軀幹ノ諸

後方ニ位スル篩骨及ヒ楔狀骨見圖中ニ等是レナリ○顔面骨ハ十四骨ヨリ成リ其外部ニ露出スルモノハ兩個ノ鼻骨(e)二個不動ノ上顎骨(f)下顎關節ニ由テ顛顚骨ト連繫シタル可動ノ下顎骨(g)及ヒ兩個ノ頰骨ニシテ又其内部ニ位スルモノヲ擧レバ錘骨淚骨下甲介骨口蓋骨等ナリ

人體ノ頭蓋ハ非薄ノ骨片ヨリ成リ多クハ鋸齒狀ノ縫際ニ由テ結合セラレ殆ント球形ヲ爲スモノトス且ツ只其下底ニ於テノミ神經及ヒ脉管ノ通路タル許多ノ孔穴ヲ有シ又腦ヨリ脊髓ニ連續スル所ノ後頭骨ノ大圓孔ヲ穿テリ

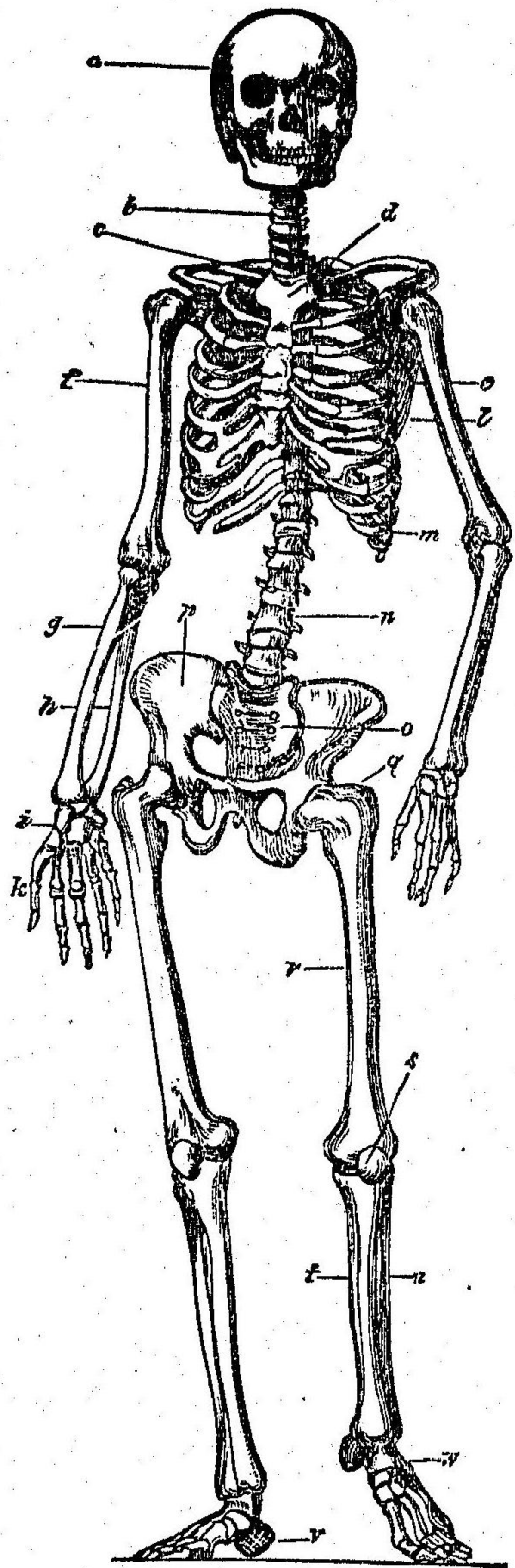
(第二) 軀幹ノ骨ハ脊椎胸部ノ諸骨及無名骨ヨリ成ル今之ヲ小別スレバ脊椎ハ脊部ノ中軸ヲ爲シ七個ノ頸椎(b)十二個ノ胸椎及ヒ五個ノ腰椎(n)脊椎柱ノ屈曲ヲ掌トル椎間軟骨五個ノ薦骨(o)四個ノ尾椎骨ヲ保有ス胸部ノ骨ハ胸骨(d)肋骨(m)ナリ肋骨ノ上部七對

肢ノ諸骨

ハ軟骨ヲ以テ直チニ胸骨ト連接スル者ニシテ眞肋骨ト稱シ下部ノ五對ハ直チニ胸骨ニ達セザル者ニシテ假肋骨ト云フ又無名骨(p)ハ兩側ノ腸骨坐骨及恥骨ヨリ形成セラル者トス又無名骨ト薦骨尾椎骨トヲ合セテ骨盤ト云フ諸脊椎中頸椎特ニ其第一(載域)及ヒ第二(樞軸)ハ頭首ノ運動ヲ掌ルガ故最モ能ク轉動スルト雖モ薦骨ノ如キハ諸椎癒着シテ終ニ一骨ト爲リ毫モ運動スル能ハザルモノナリ

(第三) 肢ハ前肢及後肢(人ニ於テハ上肢下肢)ニシテ前肢ハ各肩胛骨(e)鎖骨(c)上膊骨(f)橈骨(g)尺骨(h)八個ノ腕骨(i)五個ノ掌骨(k)及拇指(二骨)ヲ除クノ他凡テ三骨ヨリ成ル所ノ指骨等是レナリ又後肢ハ骨盤ト關節シ上腿骨(r)脛骨(t)腓骨(u)膝蓋骨(s)跟骨(v)其它六個ノ跗骨五個ノ跖骨及ヒ其次ニ位シテ恰モ指骨ノ如ク結合スル趾骨等ヨリ成レリ

第二圖



各種動物ノ骨格

諸動物ノ骨格ハ人類ノモノニ比スレハ大ニ異形ヲ呈スルモノナリ例之バ禽鳥ニ於テハ上下顎骨ハ延長シテ嘴トナリ其頸椎ハ特ニ運動シ易ク諸鳥其數ヲ異ニシ九個ヨリ二十四個ニ至ル胸骨ハ最モ能ク發育シ又所謂叉骨ヲ形成スル鎖骨ノ他尙ホ鳥嘴骨ト稱スルモノアリ諸骨多クハ空洞ニシテ或ハ萎縮シタルモノアリ或ハ

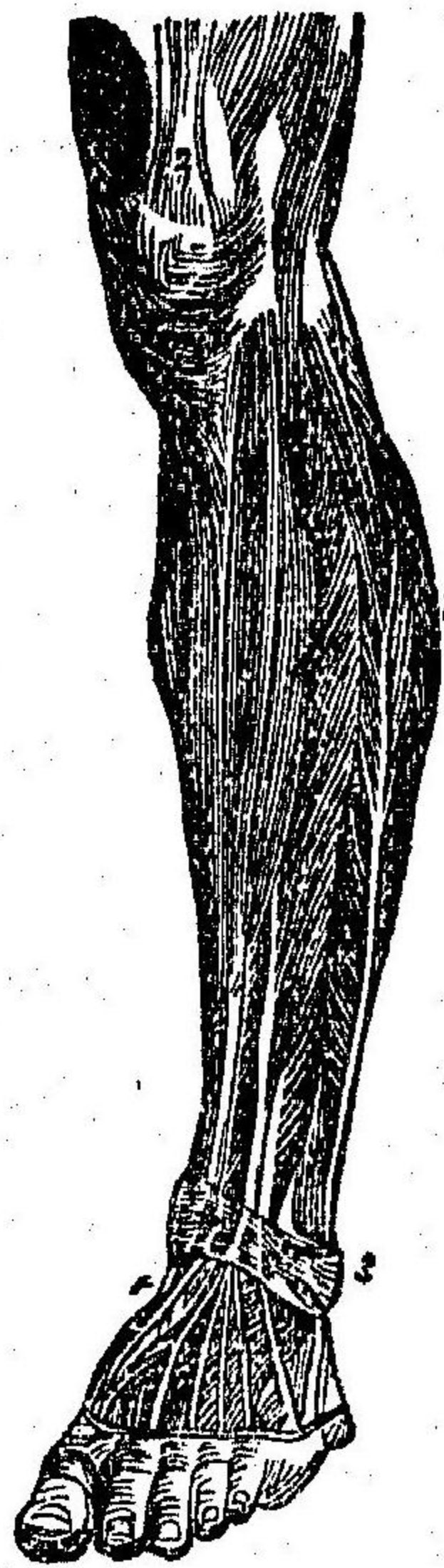
各種動物ノ骨格ノ差異

能ク發育シタルモノアリ爬蟲類中龜屬ハ體ノ内外ニ骨格ヲ具ヘ蛇屬ハ夥多ノ脊椎可動性ノ肋骨ヲ有シ胸骨鎖骨骨盤ヲ欠キ以テ大ニ他ノ動物ニ異ナレリ兩棲類中蛙屬ハ唯八個ノ脊椎ヲ有シ魚ハ頸椎ヲ欠クト雖モ二十乃至二百個ノ脊椎及ヒ尾椎ヲ具ヘ又多クハ肉骨ト稱スル一種ノ骨ヲ有シ且ツ四肢ノ諸骨ハ頗ル萎縮セリ節足動物軟體動物ノ如キハ體外ニ骨格(即チ甲殼介殼)ヲ有シ其他又骨格ヲ全ク闕如スルノ動物族尠カラズ

(二) 筋肉系統

凡ソ體中ノ諸骨ハ細緻彈力性ナル無數ノ纖維集束シテ組織スル所ノ筋肉ヲ以テ被包セラレ、モノナリ筋ハ常ニ筋膜ヲ被リ其中部ハ厚大ニシテ兩端ハ腱若クハ腱樣ノ皮膜ト爲リ以テ諸骨ニ附着スルヲ常トス其色褐赤神經ノ感働ニ由テ収縮スルヲ得ベシ然ル

圖三第



下肢及ヒ足ノ筋肉ヲ示ス

- 1 伸膝筋
- 2 腓腸筋
- 3 趾ニ赴ク所ノ腱
- 4 腱ヲ壓抵スル靱帶

腱

ニ腱ハ白色ニシテ絹絲様ノ光澤ヲ備ヘ且ツ収縮スルコトナシ凡ソ一筋ノ兩端二箇ノ骨ニ附着スルノ際其筋収縮スル時ハ該骨ハ必ス直ニ運動セラル、モノナリ

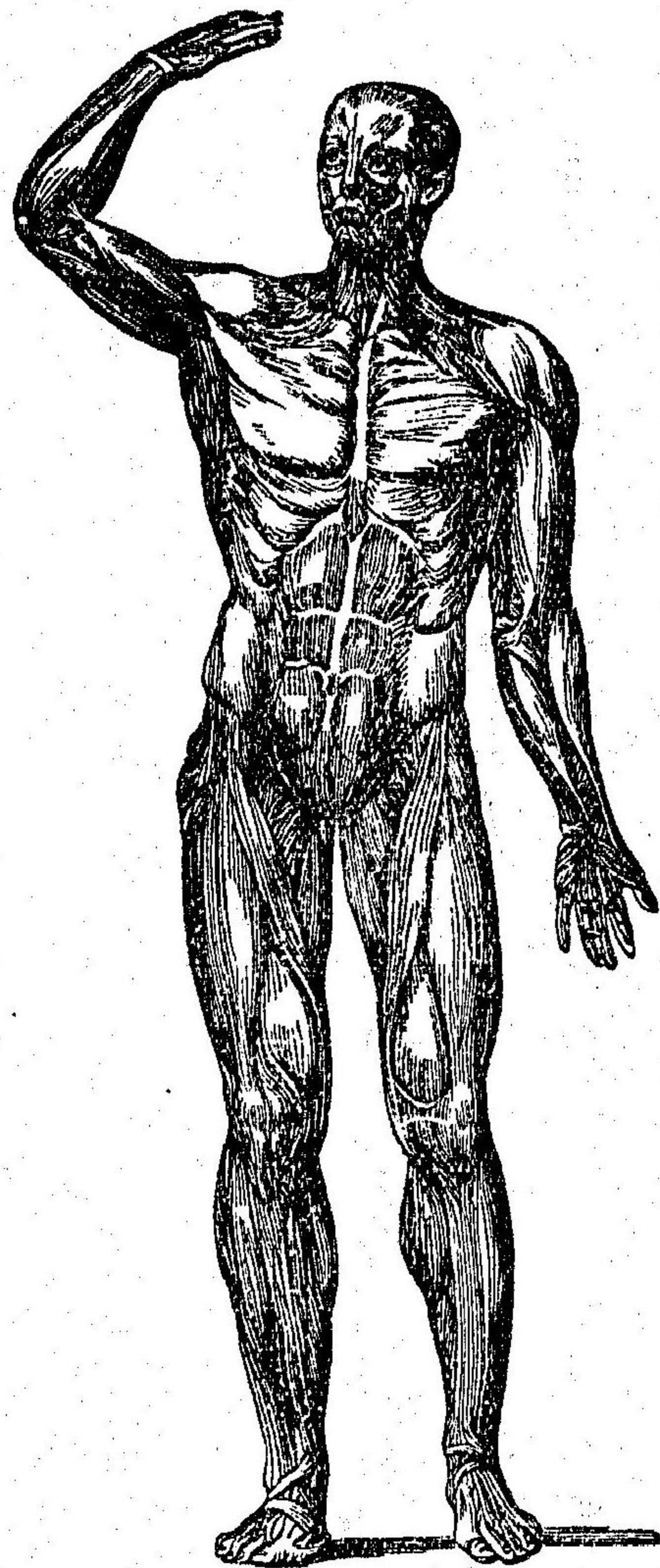
筋ノ作用

凡ソ體中ノ諸筋ハ各、固有ノ作用ヲ具有セリ、四肢關節ノ内側ニ位スル諸筋(伸筋)ノ収縮スルキハ四肢ノ彎曲ヲ生シ其外側ニ位スル諸筋(伸筋)ノ收縮スルキハ四肢ノ伸張ヲ生スベシ又顔面ノ諸筋ハ喜怒哀樂ノ情ヲ表スルモノナリ但シ人體ノ耳輪ニ屬スル筋ハ常ニ微小ニシテ運動ヲ營ムト能ハズト雖モ兔、犬、馬等ニ在テハ亦能ク

第

四

圖



耳ノ運動ヲ生スルモノトス

人體前面ノ筋肉全系

心臟諸筋ノ如キ不隨意筋ヲ除クノ他總テ筋ノ作用ハ隨意ニ發スルモノナリ故ニ歩、行、跳、飛、登、攀等ハ只經驗ニ由テノミ熟達ス其他彈琴等ノ技藝ニ於テモ亦然リ
今人體ノ佗各動物族ノ筋ヲ概觀スルニ兩棲類ニ於ケル筋ノ發育

各種動物筋ノ差異

ハ極メテ微少ナルヲ常トシ、魚類ノ筋ハ殆ント無色ナル者多ク、節足動物軟体動物等ニ於テハ外殻ノ内面ニ筋ヲ附着シ、骨格ヲ闕如セル動物族ニ在テハ皮下ノ種々ノ部位ニ筋ヲ附着セリ

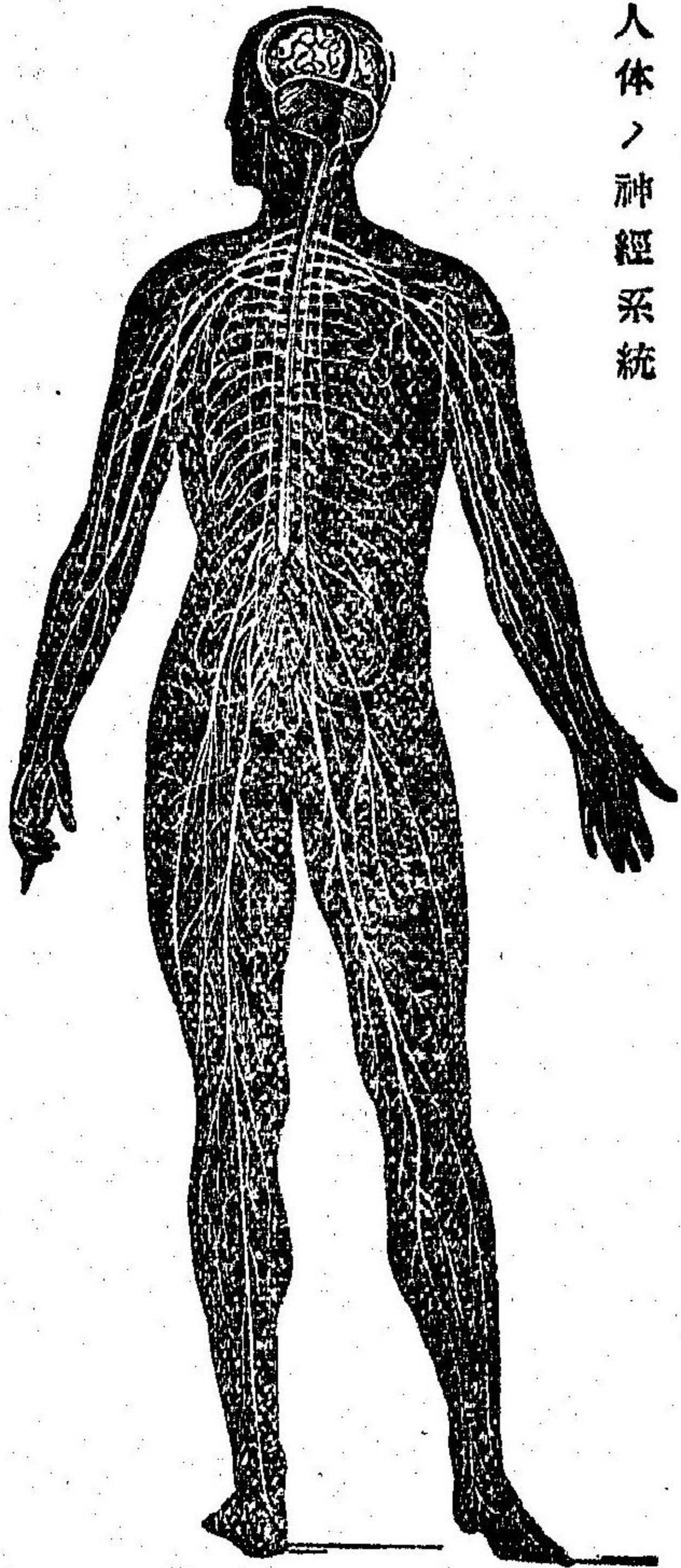
(三) 神経系統

神經ノ通性

神經ハ感覺ヲ主宰スル所ノ線狀体ニシテ神經鞘ト稱スル外膜ヲ被リ之ヲ別チテ腦脊髓神經及ヒ交感神經ノ二系ト爲ス、腦脊髓神

人体ノ神経系統

第五圖

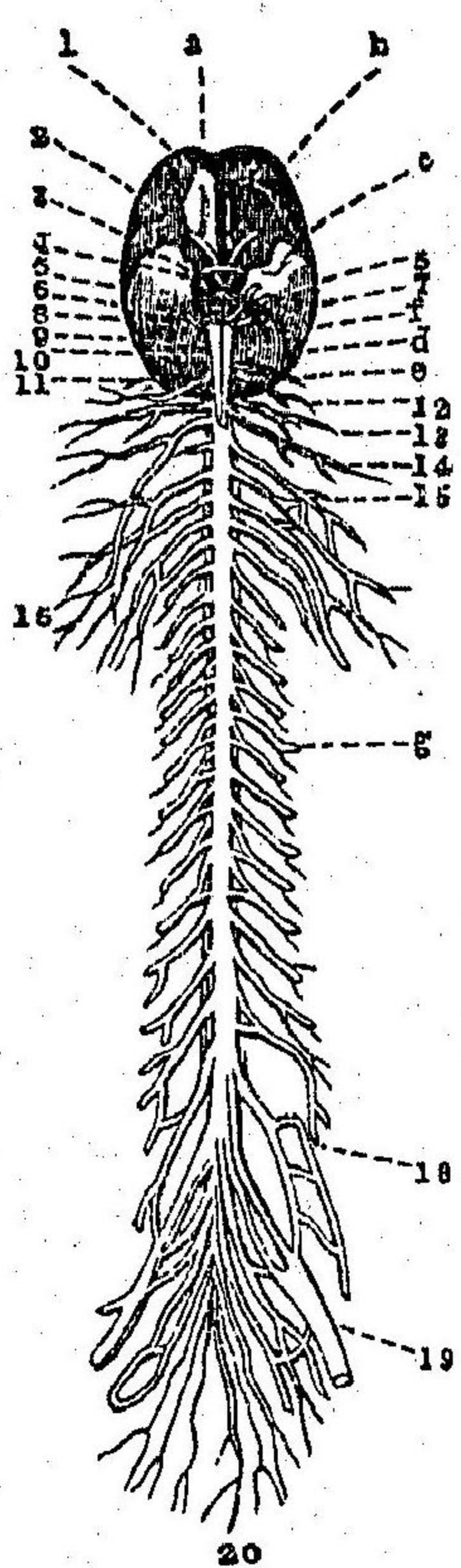


腦及其各部分

經ハ一ニ外來ノ刺衝ヲ感受シ一ニ精神ノ所向ヲ發表スルモノトス而ノ皮、舌、鼻、耳、眼ノ五官各、其作用ヲ違ウシ或ハ諸筋ノ運動ヲ營ムヤ皆腦及ヒ脊髓ヨリ肢體ノ各部へ樹枝狀ニ蔓延シタル神經ノ媒介ニ由ラザルモノナシ○腦ハ頭顱ノ内空ヲ充填ス之ヲ分ツテ大腦及小腦ト爲シ、脊髓ノ上端ニ位シテ腦ニ連繫スル部分ヲ延髓ト云フ、更ニ其細別ハ第六圖ノ解ニ就テ見ルベシ

腹面ヨリ見タル人体ノ腦及ヒ脊髓ノ全系統

第六圖



- e 大腦ノ後葉
- f 延髓
- g 脊髓ヨリ出ツル神經
- 1 嗅神經
- 2 視神經
- 3 動眼神經
- 4 滑車神經

a 大腦
b 大腦左半球ノ前葉
c 其中葉
d 小腦

- 5 三叉神經
- 6 牽引神經
- 9 迷走神經
- 10 舌筋神經
- 15 頸神經ノ上腭神經叢ヲ構成スル者
- 18 腰及ヒ薦骨神經、大腿神經叢ヲ成ス者
- 20 脊髓ノ末端即チ馬尾神經ヲ爲ス者
- 7 聽神經
- 11-14 四箇上位ノ頸神經
- 16 脊髓神經
- 19 大坐骨神經
- 8 味神經
- 17 腰神經

腦神經及脊髓神經

腦、神經ハ其數十二對ニシテ悉ク腦ノ下面ニ發シ視、聽、嗅、味、榮養等ヲ掌トル諸器官ニ布延ス、脊髓神經ハ三十一對ニシテ其位置ニ從ヒ頸、背、腰、薦骨等ノ神經ニ區分セラレ主トシテ四肢體軀ノ運轉ヲ掌トルモノナリ、而シテ腦ハ精神ノ靈府ニシテ一切ノ神經作用ニ對スル命令ノ出ヅル所ナリ夫ノ諸動物ニ慧、痴、銳、鈍ノ差アル若キハ腦ノ發育其度ヲ異ニスルニ由ルモノトス

五官トハ視、聽、嗅、味、觸ノ五神ヲ主トル所ノ器官ニシテ皮、舌、鼻、耳、眼ヲ云フ皆ナ特殊ノ神經アリテ之ニ屬シ以テ其官能ヲ逞セシム、毛髮、爪、蹄、羽、鱗、角等ノ如キハ神經ヲ欠クガ故ニ毫モ知覺ヲ有スルナシ

五官

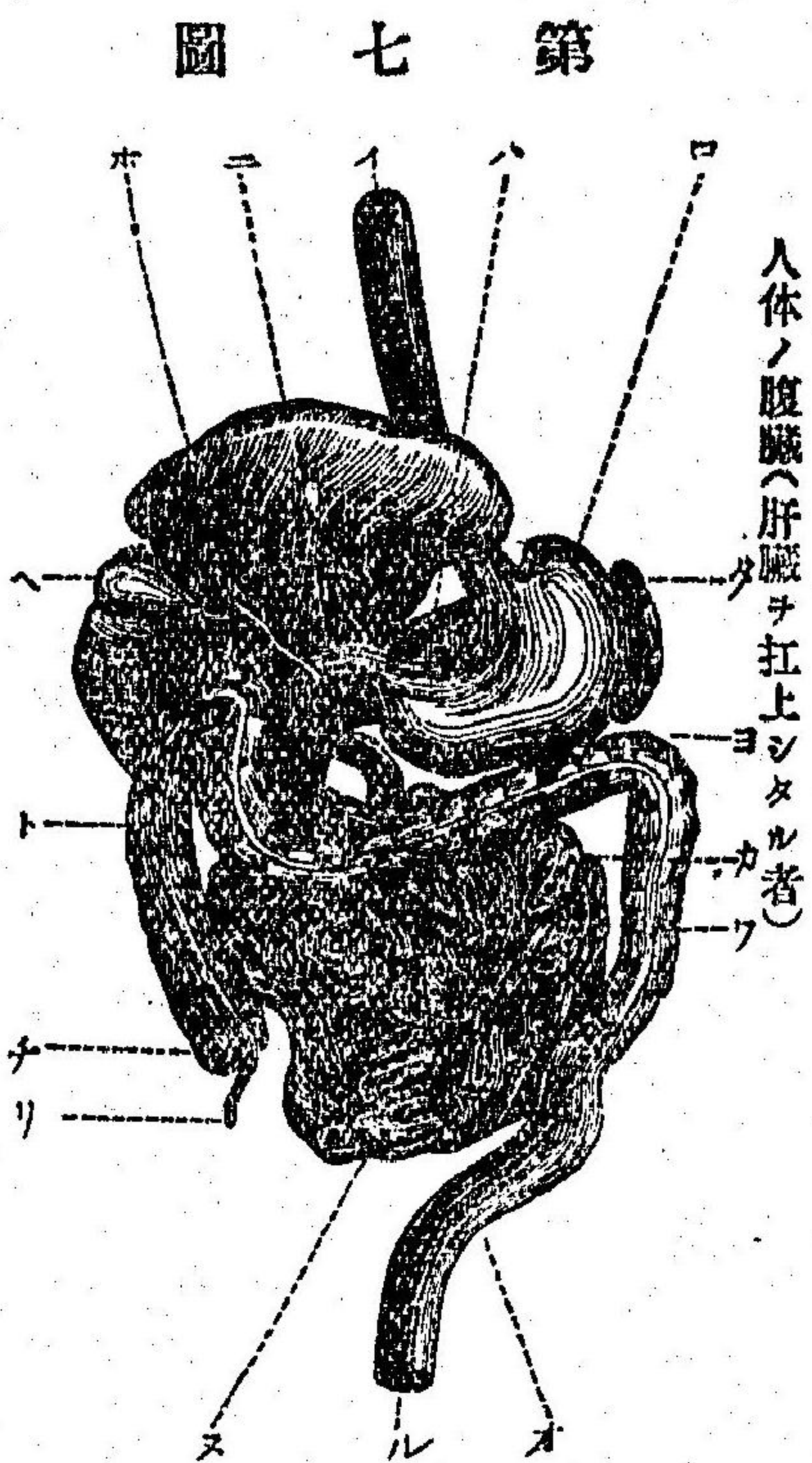
交感神經ノ成立

交感神經ハ腦脊髓神經ト合シテ神經叢若クハ神經節ヲ形成シ胸腔腹腔等ニ於テ心臟胃腸肺等ニ蔓延シ以テ不隨意運動ヲ主宰スルモノナリ

(四) 消化器系統

所謂消化器官ハ口、腔、咽、頭、食道、胃、腸、肝、臟、脾、等ヨリ成レリ、口腔ヨリ

消化器管ノ成立



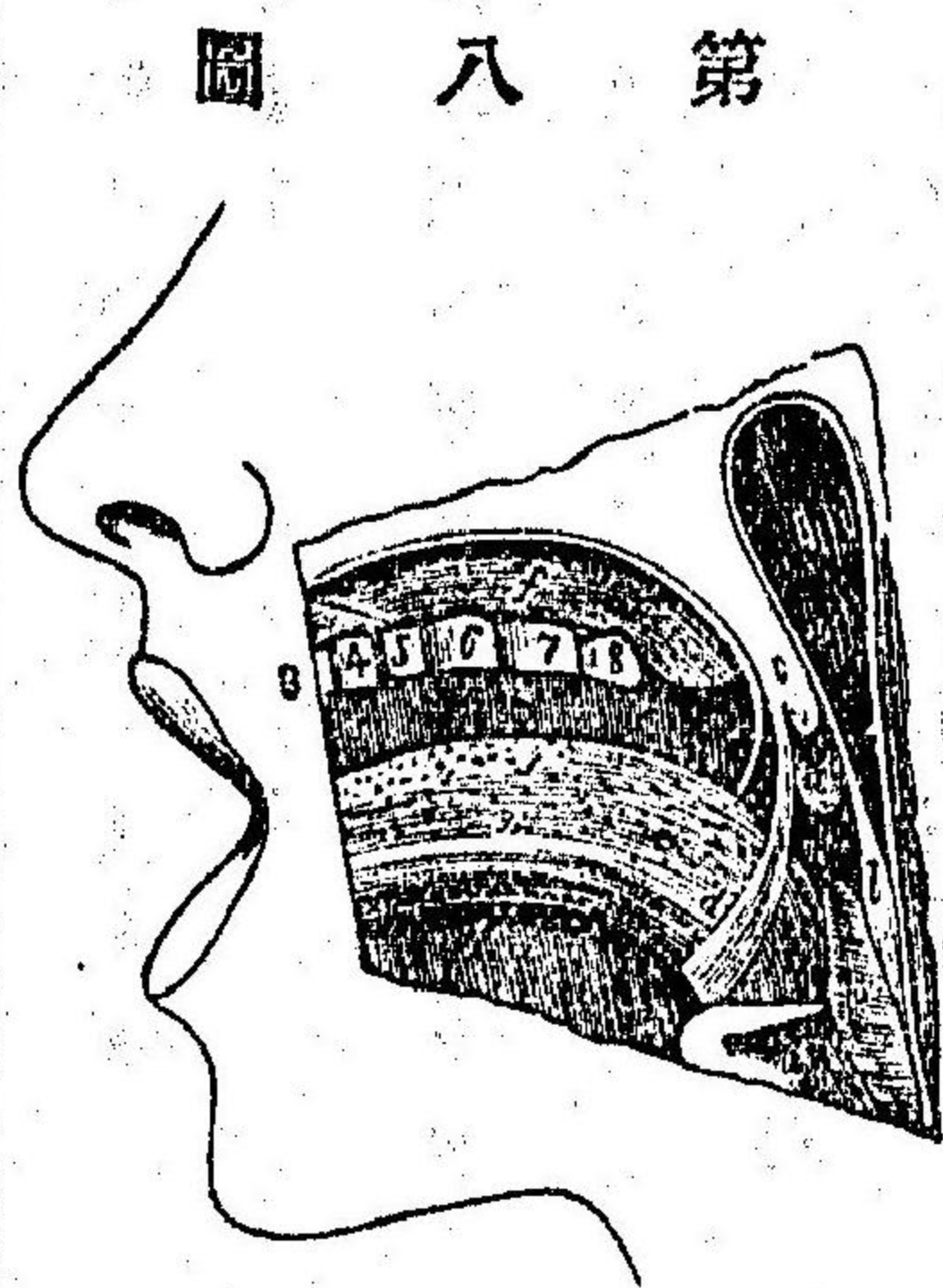
- イ 食道
- ロ 胃
- ハ 脾
- ニ 幽門
- ホ 肝
- ヘ 膽囊
- ト 結腸上行部
- チ 直腸
- リ 蟲狀突起
- ヌ 迴腸
- ル 肛門
- ナ 直腸
- フ 結腸下行部
- カ 空腸
- メ 結腸横行部
- タ 脾

齒ノ作用
及遺構

胃腸等ヲ經テ肛門ニ達スル所ノ一管ハ即チ消化管ニシテ其内面ニ於テハ粘液膜ヲ被布セリ、肝臟、脾臟及口内ノ唾腺等ハ各固有ノ液ヲ分泌シテ以テ食物ノ消化ヲ助ク、口ヨリ肛門ニ達スル間最モ狹隘ナル部ハ食道ニシテ最モ廣濶ナル部ハ胃ナリ、胃ノ終ル所ハ腸ノ始マル所ニシテ其部ヲ幽門ト名ク

食物ハ始メ口腔ニ於テ上下顎骨ニ生ズル齒ヲ以テ咀嚼碎摧シ唾液ヲ混和シテ胃ニ輸入ス、齒ハ骨ニ類似スト雖モ其性質全ク殊異

人ノ口腔



- a 舌
 - b 一食片ヲ嚥下スルノ際ニ壓迫セル後口蓋弓脚
 - c 懸壺垂
 - d 前口蓋弓
 - f 口蓋
 - 3 犬齒
 - 4 6 7 8 齒齒
- ニシテ所謂齒質ヨリ構造セラレ齒根ヨリ已上ノ部分即チ齒冠ニ於テハ白色ノ珐瑯質

圖 八 第

齒ノ數及
種別

胃腸ニ於
ケル食物
ノ消化

肝及胆

ヲ以テ被ハレ頗ル滑澤ナリト雖モ齒根ニ於テハ粗糙ノ白堊質ヲ着セリ

齒ハ其數三十二枚ニシテ之ヲ三種ニ區別ス、切齒一名前齒八枚、犬齒二名尖齒四枚、齶齒二十枚即チ是レナリ

嚥下シタル食物ハ食道ヲ經テ胃ニ達シ胃液ト混和シ以テ食糜ニ化シ之レヨリ腸中ニ入り腓液、胆汁及ヒ腸液ヲ混シテ益々消化ノ作用ヲ完全シ遂ニ乳糜ヲ醸成ス、此乳糜ハ腸中微細ノ淋巴管(乳糜管)ヨリ吸収セラレテ血中ニ入り食物ノ不消化分ハ糞便トナリテ肛門ヨリ排泄スルモノナリ

肝臟ハ腹腔中横隔膜ノ直下ニ位シ胆汁ヲ分泌スルノ用アリ此液汁ハ濃厚苦味ニシテ肝臟組織中ノ細管ヨリ漸ク大管ニ集メ終ニ肝管ニ入り之レヨリ胆嚢ニ貯蓄シ食物ノ來ルヲ待テ輸胆管ヨリ十二指腸ニ排瀉セラル、モノトス

新陳代謝
機(體質
代謝機)

身體ハ常ニ呼氣、泌尿、發汗等ニ由テ其一部分ヲ消耗セラレ、ガ故ニ不斷此欠損ヲ補償セザルヘカラズ今此作用ヲ稱シテ新陳代謝機○。體質代謝○ト云フ例之ハ蛋白質ヲ取テ筋肉ヲ補ヒ、膠質、石灰等ヲ以テ骨ヲ償フガ如シ、此代謝機ニシテ其節度ヲ失フ時ハ身體ノ違和(疾病)ヲ來タシ其全ク廢止スル時ハ遂ニ死ニ至ルモノナリ凡ソ動物ハ頗ル下等ニ至ルモ多少著明ノ消化器ヲ具フレドモ滴蟲、根足蟲ノ如キ最モ下等ノ動物ニ在テハ特別ノ消化器ヲ認メサルヲ常トセリ

〔五〕呼吸器系統

呼吸器ノ
成立及呼
吸ノ官能

呼吸器ハ喉頭、氣管、及肺(第九圖ヲ見ヨ)ヨリ成リ常ニ大氣ヲ呼出又吸入スルノ任ヲ有ス之ヲ呼吸官能ト名ク蓋シ呼吸官能ハ血液ト大氣トニ於テ酸素及ヒ炭酸ヲ交換セシムルモノニシテ吸氣ノ際ハ大氣中ノ酸素ヲ血中ニ攝取シ呼氣ノ際ハ血中有害ノ炭酸ヲ大

氣管

肺

吸息及呼
息

氣中ニ排除シ以テ暗赤老敗ノ血液ヲシテ鮮紅新鮮ナラシムルノ作用ナリ
氣管ハ多數ナル環狀ノ軟骨及ヒ筋膜ヨリ組成セラレ聲門ヲ具有スル喉頭ヨリ起リテ胸腔ニ入り先ツ二枝ニ別レ遂ニ肺臟ノ内部ニ於テ樹枝狀ニ分岐シ以テ該臟ノ基礎ヲ構成スルモノトス
肺ハ胸腔ニ位シ心臟ヲ抱擁シ尿管ニ富メル海綿様ノ組織ヨリ成ル、左肺ハ狹長ニ右肺ハ短廣且ツ巨大ナリ、肺ハ交互ニ收縮且擴張スルノ性アリ即チ其擴張スルトキハ氣管ヲ經テ体外ノ大氣ヲ攪入セシム是レ所謂吸息ナリ之ニ反シテ其收縮スルキハ氣管ヲ經テ肺中ノ大氣ヲ逐出ス是レ所謂呼息ナリ
兩棲類中蛙族ノ如キハ其初生時ニ於テ呼吸スルニ肺ヲ用非ズシテ鰓ヲ以テシ專ラ水中ニ含有スル所ノ酸素ヲ吸入スト雖ヒ成長後ハ肺臟ヲ發育セシメ大氣ヲ呼吸スルモノナリ、魚類、甲殼類若ク

各種動物ノ呼吸器

ハ或ル水生ノ小蟲ハ終生鰓ニ由テ呼吸ス、鰓ハ微細ニ分岐シタル小片或ハ房狀ヲナシ或ハ裸出シ或ハ潜伏シテ體ノ各處ニ配置セリ、陸産ノ昆蟲及ヒ蜘蛛族ハ體軀ノ各部ニ開口セル管系即チ氣管ト名クルモノニ資リ以テ呼吸ノ官能ヲ營爲ス、最モ下等ノ動物中ニハ特別ノ呼吸器ヲ認ムル能ハザルモノ多シ

〔六〕 脈管系統

脈管系ノ通旨

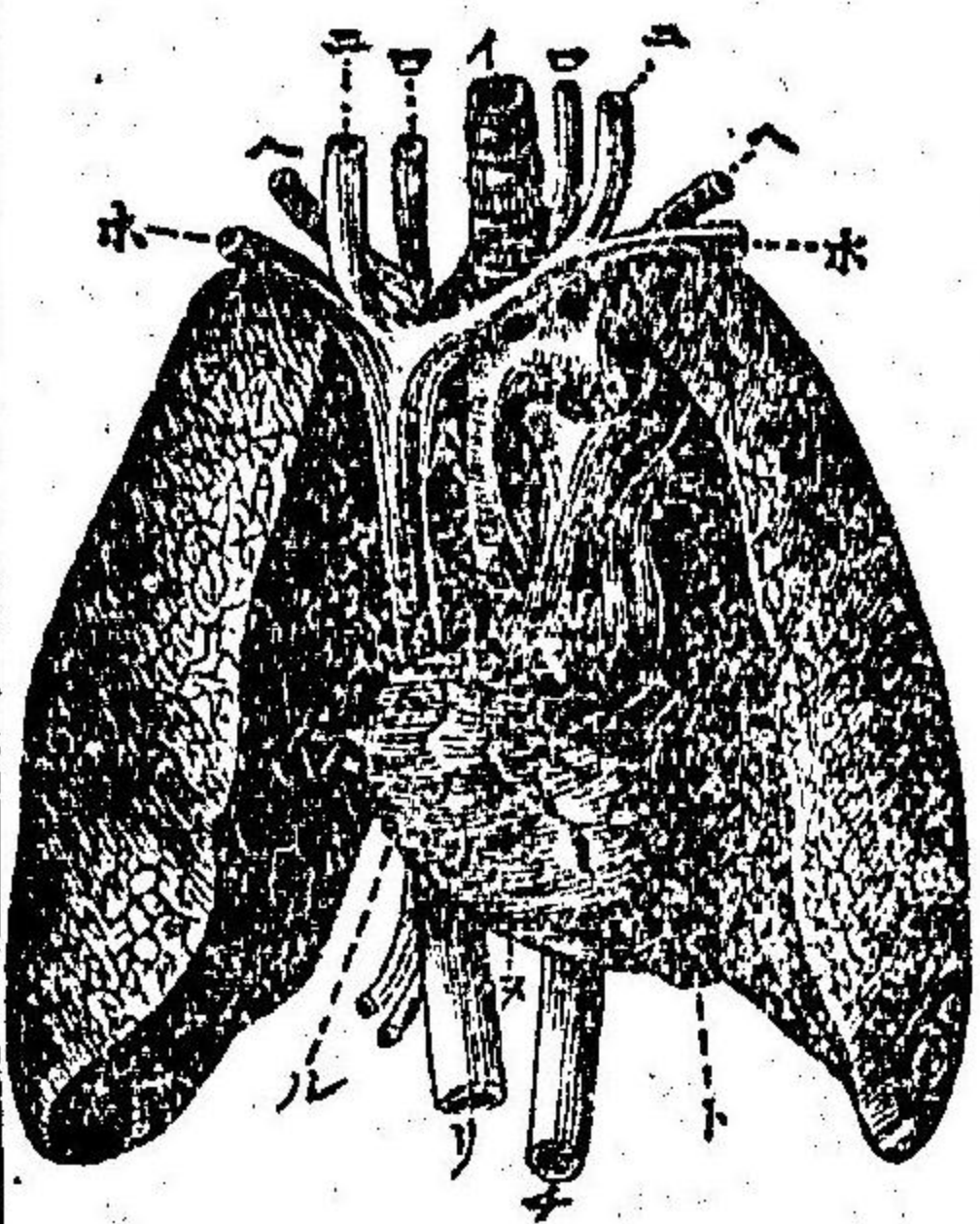
脈管ハ體中ニ循環スル所ノ液體即チ血及ヒ淋巴ノ二液ヲ運輸スルノ任アル者ニシテ淋巴管及ヒ血管ノ別アリ、淋巴管ハ殆ント無色ノ液ヲ含有シテ靜脈管中ニ開口シ、血管ニハ赤色ノ液即チ血液ヲ含有ス(後ニ詳ナリ)而シテ血液ハ生活體ノ榮養及ヒ生長等ニ必要ナル各種ノ成分ヲ保有シ心臟ヨリ血管ニ入り體ノ各部ニ流通スルモノナリ

心臟ハ左胸腔ニ於テ兩肺ノ間ニ位シ殆ント圓錐狀ヲ爲シ其尖端

心臟ノ位置及結構

動脈及靜脈

第九圖



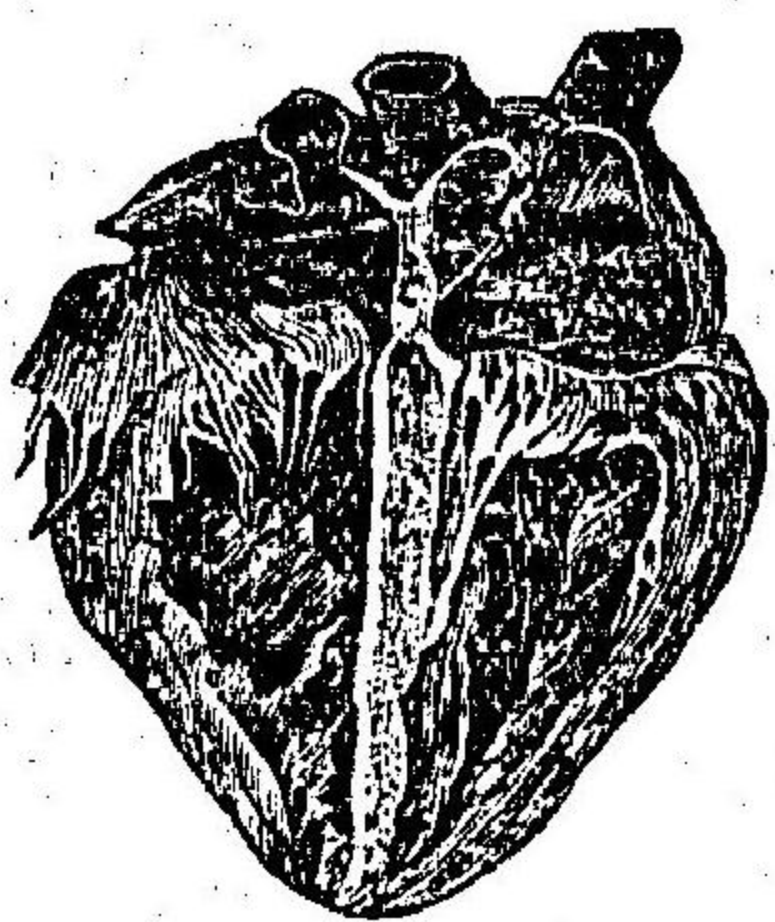
ハ斜ニ左下方ニ向フ、此臟ハ中空ノ筋肉ニシテ外面ニ心嚢膜ヲ被フリ、内部ハ中隔ニ由テ左右ノ兩半腔ニ區畫セラレ、該兩腔ハ各、横隔ニ由テ再ヒ上下ノ兩腔ニ區畫セラレ、ガ故ニ心臟ハ合セテ四腔ヨリ成ルト言フヲ得、其兩下腔ヲ稱シテ左心室及ヒ右心室ト爲シ、其兩上腔ヲ稱シテ左心房及ヒ右心房トナス、而シテ心房ト心室ト相通シ、相閉ツルニハ各瓣ヲ具ヘ以テ血液ノ出入ニ應ス、血管ニ二種アリ、動脈、靜脈、即チ是ナリ、動脈ハ心臟ノ収縮ニ由テ血液ヲ肺及ヒ身體各部ニ送ル所ノ管

人體ノ肺及心

條ニシテ肺動脈ヲ除ク、他悉ク鮮紅色ノ動脈血ヲ有セリ、第九圖ノ大動脈(チ)頸動脈(ロロ)、上鎖骨下動脈(ヘ)ノ如キ其本幹ニシテ巨大ナル者ナリ、靜脈ハ血液ヲ肺及ヒ身體ノ各部ヨリ

心臟へ送致スル所ノ脈管ニシテ肺靜脈ヲ除クノ外皆暗赤色ノ靜脈血ヲ有セリ、大靜脈(R)、頸靜脈(ニ)、鎖骨下靜脈(ホ)ノ如キ其本幹ニシテ巨大ナルモノナリ

人体心臟内部ノ區域



波及スルモノナリ此際血液ハ肺動脈及ヒ大動脈管中ニ壓出セラレ身體ノ各部ニ流進ス

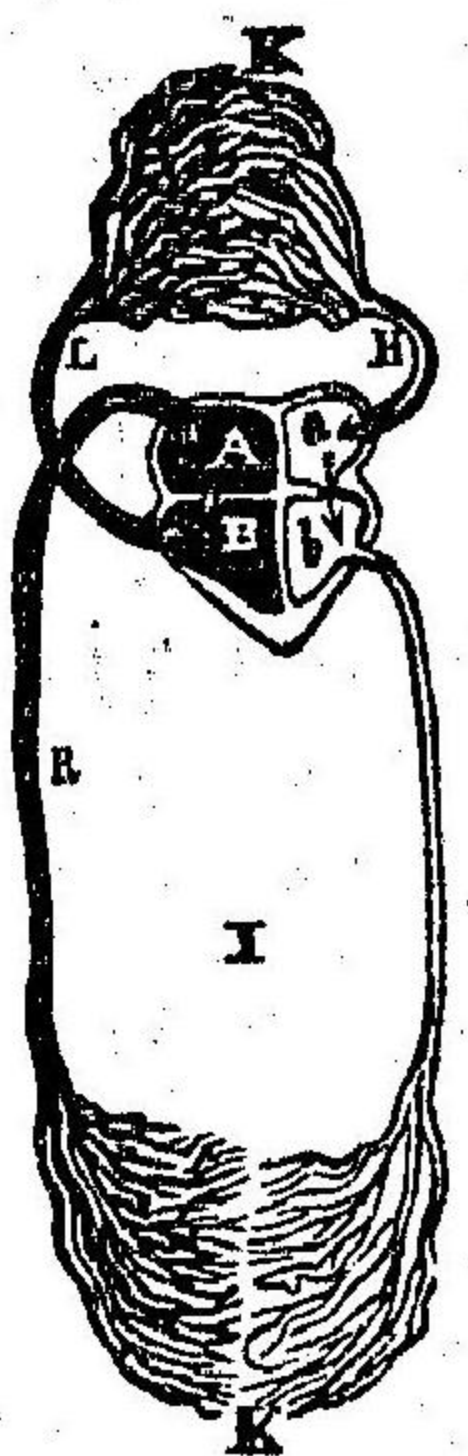
第十一圖ニ示ス如ク右心室(B)ノ血液ハ肺動脈(L)ヲ經テ肺中ニ入り肺靜脈(H)ヨリ左心房(a)ニ歸シ左心室(b)ニ達シ而シテ體内ヲ循環シ大靜脈(R)ヲ過ギテ更ニ右心室(A)ニ復ス、上方ノ(K)ハ肺動脈(L)ノ

心臟ノ縮張

第十圖

血液循環ノ概旨

血液循環ノ概型



第十一圖

大小循環

發シ肺臟ヲ過キ再ヒ心臟ニ復スル經過ヲ小循環ト稱シ心臟ヨリ體内ヲ循環シ再ヒ心臟ニ復スル經過ヲ大循環ト名ツク

小循環ニ在テハ暗色ノ血液右心室ヨリ肺中ニ入り大氣ニ觸レテ酸素ヲ吸収シ直ニ般紅色ノ血液ニ化シ左心房ニ流入ス而シテ左心房(a)ヨリ左心室(b)ニ至リ遂ニ體内ノ大循環ヲ爲ス、血液ハ其循環ノ途上ニ於テ榮養物ヲ分賦シ唾液、粘液、胆汁ノ如キ有用ノ液汁ヲ分泌シ身體ヨリ其老敗部分ヲ吸取シ尿、汗ノ如キ無用ノ廢棄物ヲ排泄ス且ツ血液ノ成分ハ酸素ト抱合シ體温ヲ發スルモノトス、人身ノ血液ハ諸脊椎動物ト同シク透明ノ漿液、赤白兩種ノ血球及

血液

淋巴管

ヒ極微ノ小粒等ヨリ集合セル赤色ノ流体ナリ
 淋○巴○管○ハ血管ノ如ク大ナラザルト内容ノ透亮ナルトニ由テ現著
 ナルヲ能ハズ該管ハ殊ニ腸管ニ分岐シテ栄養分ヲ吸収スルト雖
 亦體內隨處ニ布蔓シテ血管ト親密ノ關係ヲ有セリ
 兩棲類等ノ心臟ハ二個ノ心房一個ノ單一ナル心室若クハ不完全
 ニ分畫セル心室ヨリ成リ魚類ニ在テハ心房心室共ニ單一ナリ又
 此等ノ動物ニ於テハ其血液ノ温度常ニ體外ノ空氣若クハ水ト僅
 ニ異ナルノミ、昆蟲蜘蛛等ハ心臟ニ代フルニ背脈管ナル者ヲ以テ
 シ血液ハ赤色ヲ呈セズ且ツ脈管ヲ循環セズシテ體中各組織ノ間
 隙ヲ流通ス、甲殼類及ヒ軟体動物ハ收縮擴張スル所ノ心臟ヲ具フ、
 其他最下等ノ動物ニハ血管系ヲ見ズ

各種動物ノ血液循環器

動物ノ分類

凡ソ動物ハ其肢體臟器ノ解剖的構造ニ隨ヒ之ヲ分類スルヲ猶ホ
 花果莖葉ノ天形ニ隨ヒ植物ノ科屬ヲ區分スルニ異ナラス、即チ門
 ノ下ニ綱ヲ置キ綱ノ下ニ目ヲ分チ目ノ下又部亞若クハ科ヲ區別
 シ其下更ニ屬ト種トヲ列スルモノトス、例之ハ狐ハ脊椎動物ノ門、
 哺乳類ノ綱、猛獸ノ目、犬科ニ隸シ其屬ヲ犬屬トシ其種ヲ狐ト爲ス
 カ如シ、已下先ッ動物九大門ノ通性大畧ヲ擧ケ以テ各論ニ移ルヘ
 シ

(第一) 脊椎動物 Vertebrata.

脊椎動物
 體ハ左右同形ニシテ外面ヨリ之ヲ觀ルキハ體節アルノ徵ナシト
 雖モ其實、數體節ヨリ成ル、内部ニハ數個脊椎ノ相連リテ成レル中
 軸骨節即チ脊梁ヲ有シ、其脊部ニハ腦脊髓アリ而シテ其腹部ニハ
 體腔アリテ腸、心臟、泌尿器、生殖器等ヲ藏ス、外肢ハ内部骨節ヲ以テ

支持シ概テ其二對アリ、鳥獸、蜥蜴、蛙、魚ノ諸類是レナリ

(第二) 被囊動物 Tunicata.

体ニ節ナク又外肢ナシ、概テ囊狀或ハ樽狀ノ体形ニシテ膠質若クハ軟骨様ノ被包ヲ被ムリ且ツ鰓アリテ二口ヲ外開ス、海鞘、サルバノ類是ナリ

(第三) 軟體動物 Mollusca.

体軀無節且ツ無肢ニシテ柔軟ナリ、多クハ一個或ハ左右二個ノ石灰質介殼ヲ有シ、腹部ニ足ト名クル肉質ノ運動器アリ、螺、蛤、章魚、烏賊ノ類是ナリ

(第四) 擬軟體動物 Molluscoidea.

体軀無節ニシテ外物ニ固着セリ、口ノ周圍ニ纖毛ヲ簇生セル觸肢ヲ環生シ、或ハ前後ノ二介殼アリテ口ノ兩側ニ螺旋狀ニ回曲シタル一對ノ腕ヲ有ス、苔蘚蟲及ヒホ、ヅキ貝ノ類是ナリ

擬軟體動物

軟體動物

被囊動物

(第五) 節足動物 Arthropoda.

体軀ハ形狀不同ノ數体節ヨリ成リテ概テ頭、胸、腹ノ三部ニ區分ス、体節毎ニ必ズ一對ノ數節ヨリ成レル外肢アリ、神経系中樞ハ腹部ニ、心臟ハ背部ニ位セリ、六脚蟲、百足蟲、蜘蛛、蟹、蝦ノ類是ナリ

(第六) 蠕形動物 Vermes.

蠕形動物
体ハ同形ノ數体節ヨリ成リ或ハ全ク体節ヲ示サズ、外肢ハ無節ノ瘻狀突起ナルカ或ハ全ク之ヲ闕如ス、蚯蚓、輪蟲、蛔蟲、絛蟲ノ類即チ是ナリ

(第七) 芒刺動物 Echinodermata.

芒刺動物
体ハ多ク放線狀ヲナシ体面ニ棘刺ヲ有シ口圍ニ觸肢アリ、特別ノ消化管、血管、水脈管ヲ有シ、足ト名クル柔軟ノ管狀体ヲ有シテ自在ニ外面ニ伸縮シ体ノ移動ヲ主トル海燕、海膽、沙嚙ノ類是レナリ

(第八) 腔腸動物 Coelenterata.

節足動物

蠕形動物

芒刺動物

腔腸動物

体ハ通例囊状ニシテ口圍ニ觸肢ヲ有ス其構造單一ニシテ体中多クハ一種ノ腔ノミヲ有シ体腔、血管、腸管ヲ表ス、水母、珊瑚蟲ノ類是レナリ

原生動物

(第九) 原生動物 Protozoa.

体ハ只一個ノ細胞ヨリ成ル皆云微ノ動物ニシテ最下等ニ位ス或ハ蓋ヲ被リ或ハ裸出ス其形狀種々ナリ滴蟲、根足蟲ノ類是レナリ

各論

第一門 脊椎動物 Vertebrata.

第一綱 哺乳類 Mammalia.

哺乳類ノ
通性

本類ニ屬スル動物ハ皆生兒ヲ產生シ(胎生其最モ幼稚ナル間ハ乳汁ヲ以テ之ヲ滋養スルノ特性ヲ有シ其肢体ヲ被フニ毛ヲ以テスル者多シ其五官ハ殊ニ充分ノ發育ヲ爲シ、脊椎柱ハ屈撓シ易ク頸椎ハ大抵七箇ヨリ成リ其肢ハ四箇ナレドモ其趾ノ數ハ一定ナラズシテ五箇ヨリ一箇ニ至ル、四肢ノ形狀長短ハ各、把握、歩走、飛躍、游泳等ノ目的ニ隨テ頗ル不同ナリ

哺乳類ハ大概陸生ニシテ其一部分ハ植物ヲ以テ滋養物トシ他ノ一部分ハ動物ヲ餌食ス、其它又動植ヲ併食スルモノアリ而シテ現今地球上ニ生活スル本類ノ動物ハ其數二千三百餘種ニシテ化石トシテ地層中ヨリ發見セラレタルモノハ大約八百種ナリト云フ今之

ヲ左ノ十二目ニ分ツ

(甲) 有爪哺乳類

(イ) 悉ク三種ノ齒ヲ有スルモノ

有爪哺乳類

(第一) 二手類 *Primate* (人) ○前肢(兩手)ニ於ケル拇指ハ特ニ分離ス

(第二) 四手類 *Quadrumania* (例之ハ 猿猴) ○前肢後肢(四手)共ニ特ニ分離セル

拇指ヲ有ス

(第三) 超手類 *Chiroptera* (例之ハ 蝙蝠) ○手狀ナル前肢ノ諸指ハ翅膜ニ由テ相連繫ス

(第四) 猛獸類 *Ferae* (例之ハ 熊, 狼, 猿) ○地ヲ踏ムニ其四足ノ全趾ヲ以テスルモノアリ或ハ其趾端ヲ以テスルモノアリ

(第五) 袋獸類又帶囊類 *Marsupialia* (例之ハ 袋鼠) ○足ノ構造太々種々ニシテ往々後肢ニ於テ特離セル拇指ヲ具有スルアリ

(ロ) 三種ノ齒ヲ併有セザルモノ

(第六) 齧齒類 *Rodentia* (例之ハ 兎, 鼠) ○尖齒ヲ闕如ス

(第七) 食齒類 *Edentata* (例之ハ 樹懶, 鱗鯨) ○齒ノ一部ヲ欠キ又ハ全ク之ヲ具

有セザルアリ

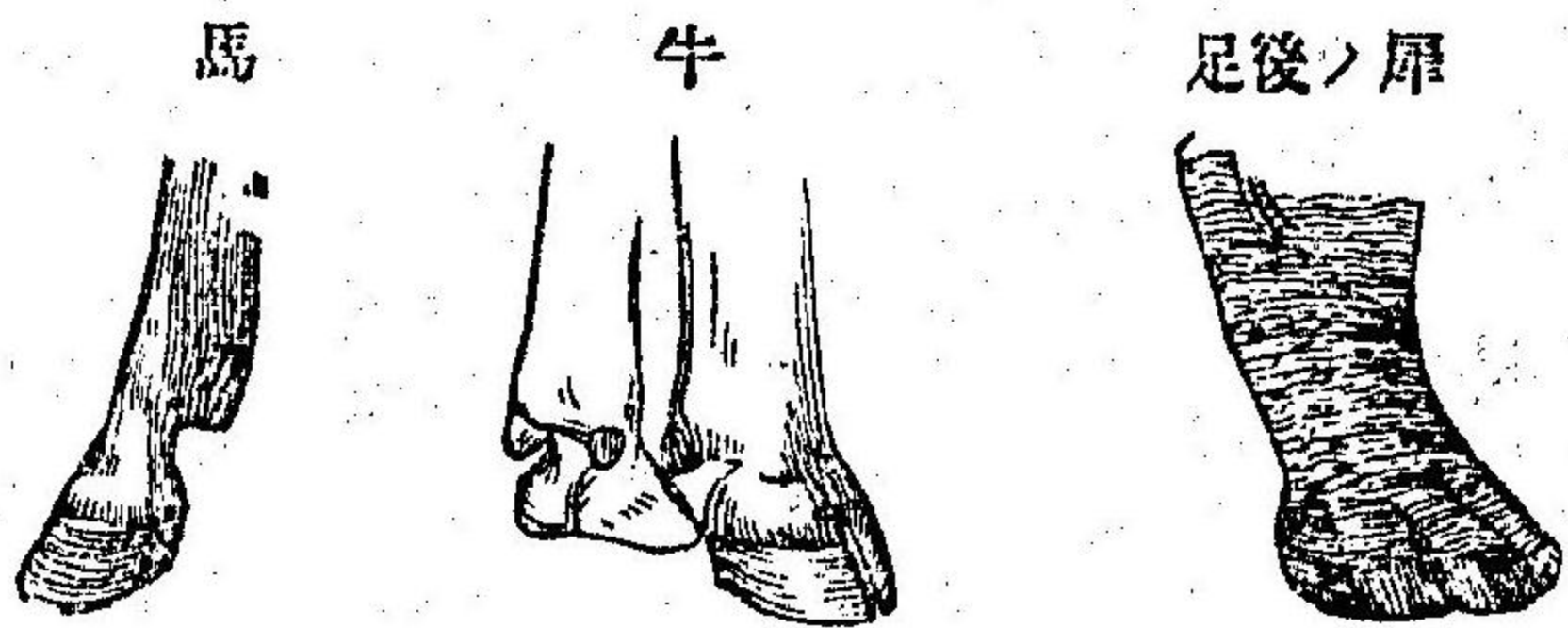
(哺乳類ノ足ノ差異ヲ示ス)

第十二圖

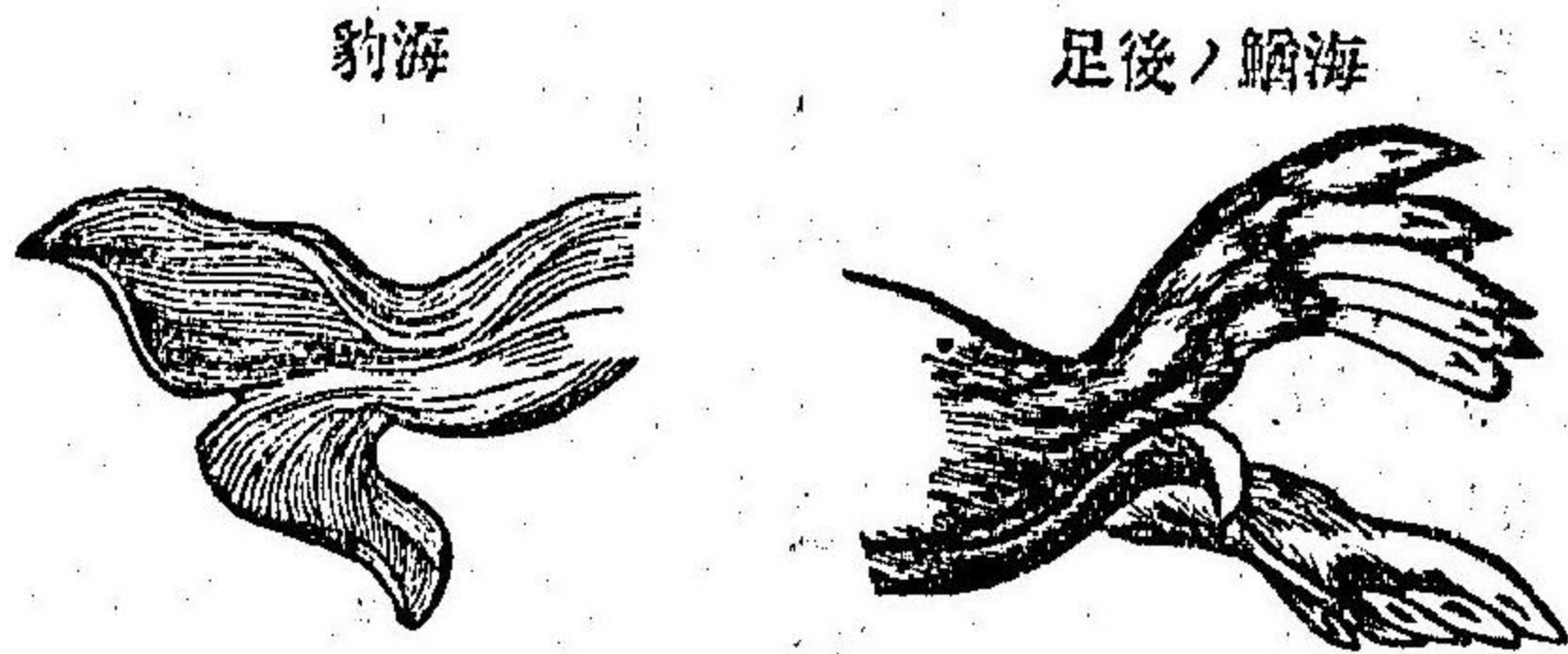
第十三圖



第十四圖



第十五圖



有蹄哺乳類

(第八) 單蹄類 Solungula (例之ハ馬) ○其趾ハ一ノ角質塊(蹄)ニ由テ包含セラ

(第九) 雙蹄類又反芻類 Bivalva (例之ハ牛、羊) ○其趾ハ二蹄ヲ具フ

(第十) 多蹄類又厚皮類 Multungula (例之ハ象、猪) ○三個乃至五個ノ蹄ヲ具ス

(丙) 鱗狀ノ肢ヲ有スル哺乳類

(第十一) 鱗脚類 Pinnipedia (例之ハ海豹、海驢) ○四個ノ鱗狀ノ足ヲ具フ

(第十二) 游水類 Natantia (例之ハ海豚、海鱈) ○前肢ハ一對ノ鱗足ニシテ後肢ハ之ヲ闊ク尾端ハ地平ニ擴張シ一種ノ尾鱗ヲ爲ス

第一目 二手類 Bimana.

二手類

○人 (Homo sapiens) ノ他ノ高等哺乳動物ト異ナル所以ハ、直立直行シ、双手双足ヲ有シ、其頤突出シ、其齒牙ハ特異ノ構造ヲ有シ、鉛直形ニ併立シ、頭髮ハ極メテ長ク密生シ、体毛ハ稀疎ニシテ短ク、頭腦ノ發育頗ル完全ナル等ニ在リ而シテ其最モ動物中ニ卓絶スル所以ハ、其體軀構成ノ區別ヨリモ寧ロ意識精神上ノ特性ニ在リ即チ靈妙ノ

人種ノ區別

理解力ヲ有シ自在ニ言語ヲ通シ其益ヲ發達スルニ於テハ禮義風教ヲ重シ百工技藝ヲ修メ學問ヲ講シ國家政府ヲ組成スルガ如キ是ナリ

今吾地球上ニ散布スル各種ノ人類ヲ通觀スレハ其体格及ヒ開明ノ度ニ於テ著シキ差等アルヲ發見スベシ例之ハ黑人ハ白哲人ニ比スレハ其外貌ノ異ナルノミナラス精神發達ノ度モ亦固ヨリ日ヲ同フノ語ルベカラス故ニ其外貌言語等ノ區別ニ隨ヒ地球上ノ人類ヲ分テ若干ノ人種ト爲スヲ常トス而シテ此人種區別ノ方法ハ諸家ノ說未タ一定セズト雖モ今姑ク之ヲ五種ニ分ツテ左ノ如シ

(第一) 高加索人種、又白哲人種ナルモノハ、西南亞細亞北部亞弗利加及ヒ歐羅巴(東北端ヲ除キ)ノ人民之ニ屬ス又中世以來移住ニ由テ亞米利加、濠斯太拉利亞、喜望峰等ノ各地ニ蔓延セリ、此人種ハ其顔面卵圓形ニシテ前額窄窪形ヲ爲シ肌膚ハ多少白色ニシテ顔部ニ紅色ヲ帶ヒ頭髮ハ柔軟ニシテ褐

高加索人種

蒙古人種

圖六十第

歐洲人



色ヨリ黒色ヲ呈シ鬚多ク其齒ハ直生ス

(第二) 蒙古人種ハ中央及ヒ東部亞細

亞歐洲東北端等ノ人民之レニ屬ス即

チ日本人支那人朝鮮人蒙古人等ハ此

範圍内ニ在ルモノナリ顔面扁坦肌膚

ハ黄色ヨリ黃褐色ニ至リ毛髮ハ黑色

ニシテ剛ハシ額骨高ク眼ハ斜メニ

細ク鼻尖ハ鈍ク鬚髭ハ多カラズ

(第三) 亞弗利加人種ハ亞弗利加ニ住

スル黑人ニシテ前額ハ平坦唇ハ厚大

鼻ハ低潤肌膚ハ多少黑色ニシテ頭髮

モ亦其色黒ク且ツ卷縮シ其齒ハ斜生

(第四) 亞米利加人種即チ銅色人種ハ

亞弗利加人種

圖七十第

黑人



亞米利加人種

圖八十第

亞米利加土人



圖九十第

馬來人



馬來人種

南北亞米利加固有ノ土人ニシテ其顔面ハ潤ク前額低狹皮膚ハ銅赤色ヲ呈シ頭髮ハ黒ク且ツ剛ク鬚髭少ナシ

(第五) 馬來人種ハ馬來半島東印度群島南洋諸島濠斯太拉利亞洲等ノ土

人ニシテ其額ハ稍隆起シ鼻ハ平潤ニシテ鈍ク反唇シ肌膚ハ褐色ヲ呈シ

頭髮ハ黑色ニシテ卷縮セリ

第二目 四手類 Quadrupana

本目ニ隸スル動物ハ即チ猿猴族ニシテ其外形畧人類ニ肖似セリ手ハ其數四個ニシテ乳房ハ胸部ニ位シ眼ハ前向ス此動物ハ能ク

四手類

立行スルヲ能ハサルノミナラス四手ヲ以テ歩行スルヲモ亦極メテ拙ナリ然リト雖モ四手ヲ以テ樹木ヲ登攀スルヲ甚タ巧ナルガ故ニ殆ンド常ニ樹上ニ棲息ス、尖齒ハ他齒ヨリ稍長ク下顎ノ切齒ハ前方ニ傾斜ス猩々ヲ除クノ他皆群居ヲ爲シ其性活潑ニシテ能ク叫ビ遊戯ヲ好ミ多クハ猖獗ナリ殊ニ熱帶ノ地方ニ産シ好ンテ森林ニ居リ稀レニハ岩石性ノ山岳ニ住ス主トシテ菓實ヲ食ヒ又昆蟲類、小禽及ヒ其卵子ヲ資テ食料トス歐洲シアラタ濠洲ルナ除クニハ之ヲ産スルヲナシ

四手族ヲ別テ眞猴及ヒ擬猴ノ二部ト爲ス

○甲部眞猴類 Simiae.

此部ヲ更ニ分テ左ノ二亞目ト爲ス

(イ)亞狹鼻猴類 Simiae catarrhinae. 本亞目ハ亞細亞、亞弗利加等所謂舊世界ニ産ス故ニ又舊域猴ト名ク顔面裸出シ(即チ毛ナシ)齒

眞猴類

ハ其數人類ニ均シク鼻障中隔狹隘ニシテ兩鼻孔互ニ近接シ而シテ下方ニ向ヘリ猩々、猿猴、細猴ノ三屬ヲ除クノ他本科ノ猴ハ皆類嘸ヲ有シ猩々屬ノミハ全ク腎疣ヲ欠ク亞細亞、亞弗利加ニ産ス

(一)猩々屬 Pithecus.

腎疣ハ類嘸及ヒ尾ト共ニ闕如ス

○黑猩 シロキマ P. troglodytes 最も人類ニ近ク体毛ハ黑色ナリ此動物ハ最も馴致シ易ク平素其巢窟ヲ樹上ニ構ヘ編ムニ樹枝木葉等ヲ以テシ果實、菜根、芽等ヲ食ス身ノ長サ九十乃至百五十センチメートルニ達シ幾内亞ニ群居ス「P. gorilla」前者ニ同シク頗ル人類ニ近ク其身体頗フル強大ニシテ其性悍猛ナリ幾内亞ノ深林中ニ産ス○猩々 オランウタン P. sylvanus 体毛ハ赤褐色ニシテ顔面ハ灰色ヲ呈シ皺紋アリ耳ハ人耳ノ如ク前肢ハ下垂スレ殆ンド足部ニ達ス性懶惰且ツ怯懦ニシ長サ百二十センチメートルニ及ブ蘇門答刺、勃泥等ノ林中ニ棲息ス

猩々屬

猿猴屬

第十二圖
種



(二)猿猴屬 *Hylobates*.

前肢頗ル長ク其直立ス
ル際尙ホ能ク地ニ達ス
○猿猴^{キツボク}口^コ可^カ体毛ハ炭黑色
ニ其面ニハ類白色ノ毛
環ヲ帶ヒ其手ハ間、類白色
ナリ長ク七十八・五「セ、メ」ニ
至リ後印度ノ大陸ニ産ス
其地上ヲ歩スル極メテ拙ナレモ林中ニ運動スル最モ巧ミナリ

細猴屬

(三)細猴屬 *Semnopithecus*.

眞ノ頬嚙ヲ欠キ口吻短クシテ尾ハ殊ニ長シ

○鼻猴^{ナシカ} *nasicus* 其鼻ノ頗ル高ク大ナルト雄ニ在テハ鬚毛ノ前方ニ聳立
スルトニ由テ直ニ作ノ猴類ト識別スルヲ得身ノ長ク六十三「セ、メ」ニ至リ
勃泥^{ボトニ}ニ産ス

果然屬

(四)果然屬 *Cercopithecus*.

頬嚙アリ尾ハ細クシテ長ク往々全身ニ齊シク加フルニ長キ四肢
ヲ具フ

○果然^{チナカザル} *C. rhona* 体毛ノ色ハ種々ニ一ナラザレドモ多クハ褐色ニ四肢
ハ黒シ其尾長ク身ノ長ク四十五「セ、メ」ナリ亞刺比亞ニ産ス

(五)彌猴屬 *Inuus*.

彌猴屬

第十二圖
猴 彌



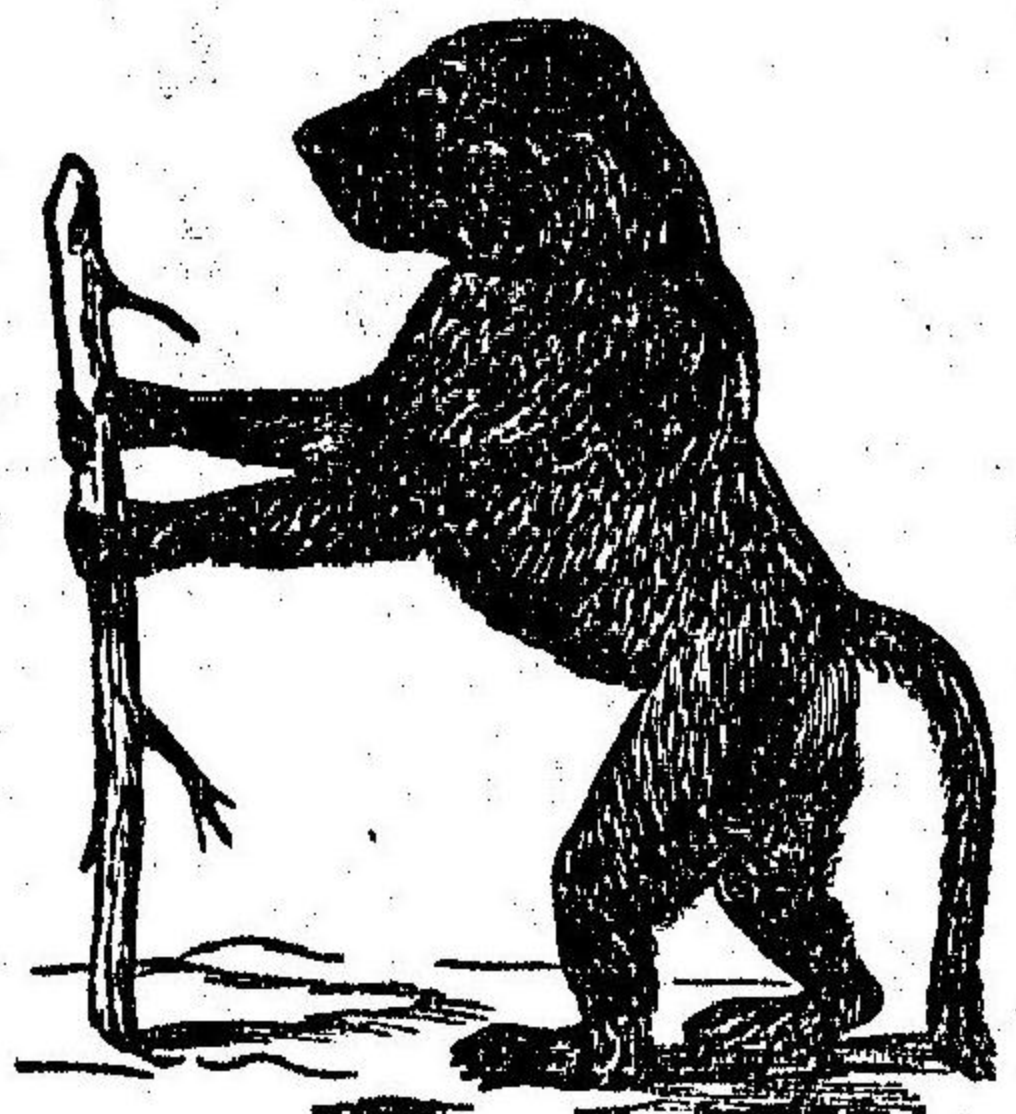
頬嚙アリ臀疣裸出ス其尾
長キモノアリ或ハ全ク闕
如スルモノアリ

○彌猴^{ミカザル} *I. speciosus* 顔面赤色ニ
シテ体毛ハ褐色ヲ呈ス尾ハ
特ニ短ク体ノ長ク五十「セ、メ」
アリ性怒リ易シト雖モ亦能
ク馴ル本邦産ノ者即チ是レ

狒々屬

ナリ
(六)狒々屬 *Cynocephalus*

顔面ノ形狀畧犬ニ類似シ而シテ毛ナシ口吻ハ長ク且ツ巨大ニシテ齒ハ頗ル強銳ナリ尾ノ長サ一定セズ此屬ハ他猴ト異ニシテ地上ニ棲息シ体力強ク馴致ス可カラス亞弗利加亞刺比亞等ニ産ス



第二十二圖
狒 熊

(ロ)亞潤鼻猴類 *Simia platyrhinae* 專ラ亞米利加洲ニ産スルガ故ニ新域猴ノ別名アリ齟齬ハ人類ヨリ多キテ四個ニシテ鼻障潤

○熊猴義 *C. ursinus* 其体毛極メテ長ク尾ニハ總毛ヲ有シ長ク百十セ、メニノ直立シ屢喜望峯地方ノ圓圖及ヒ葡萄酒ヲ壞擾ス○狒々 *C. rhomon* 強猛醜惡共ニ猴中ノ冠タリ体毛ハ黃褐色鼻ハ紅色ニシテ口吻ハ淡褐色ヲ帶ビ頰ニ深溝アリ尾ハ萎縮ス

ク爲メニ兩鼻孔ハ遠ク離隔シ且ツ側方ニ向ヘリ類噉齧疣ハ共ニ圓如シ尾ハ長ク体格ハ前科ヨリ稍小ニシテ且ツ温順ナリト雖モ智力劣レリ

(七)吼馬屬 *Myodes*

頤ニ鬚髯ヲ生シ喉頭厚大ニシテ前肢ニ完全ナル拇指ヲ有シ尾ハ纏繞スルヲ得ベシ甚マ懶惰ナリト雖モ性頗ル怯懦ニシテ其戒懼常ニ周密ナリ

○赤吼馬 *M. seniculus* 全身褐色ヲ呈シ叫聲頗ル大ナリ又尾端ヲ以テ樹枝ヲ纏持スルヲ得、巴西、幾内亞ニ産ス

(八)懸馬屬 *Ateles*

前肢ニ拇指ナク尾端ノ下面ニ毛ヲ生セズ四肢ハ細長ナリ懶惰且ツ怯懦ニシテ小群ヲ爲シ高ク樹上ニ棲息ス

○「メルツホフツ」 *A. Beelzebuth* 体毛類黑色ニシテ腹部ハ黃白ヲ交フル赤褐色ヲ

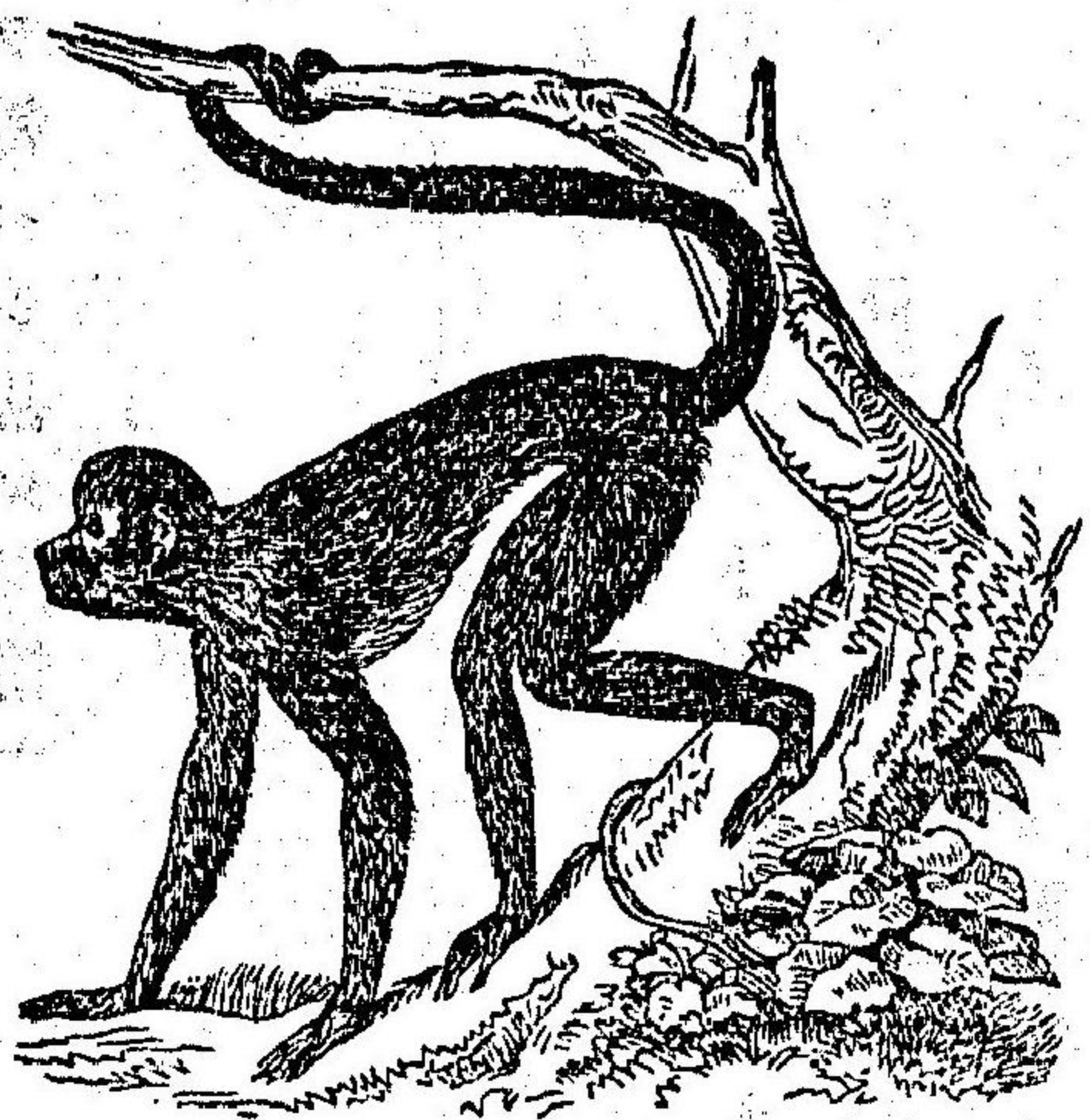
懸馬屬

吼馬屬

絹毛猴屬

第三十二圖

ハプアツ



呈シ身ノ長ケ四十セ、メニ
ノ尾ノ長サハ六十二。八、セ、メ
至ル幾内亞、百露ニ産ス

(九)絹毛猴屬 Hapale.

後肢ノ拇指ノミ扁爪ヲ有
シ他ハ皆鈎爪ヲ具ヘリ尾
ハ纏持スルノ力ナシ甚ダ
矮小ナル動物ニシテ亞米

利加ニ産シ殊ニ巴西ニ多シ

○チ、H. jacchus 身ノ長ケ二十セ、メニ過キズシテ尾ノ長サハ三十セ、メニ
至リ黝灰色ニシテ耳ニ白色ノ叢毛アリ

○乙部 擬猴類 Prosimiae.

滿面毛ヲ生シテ其頭首狐ノ如ク後肢ノ示指ニ鈎爪ヲ有ス怯懦ナ

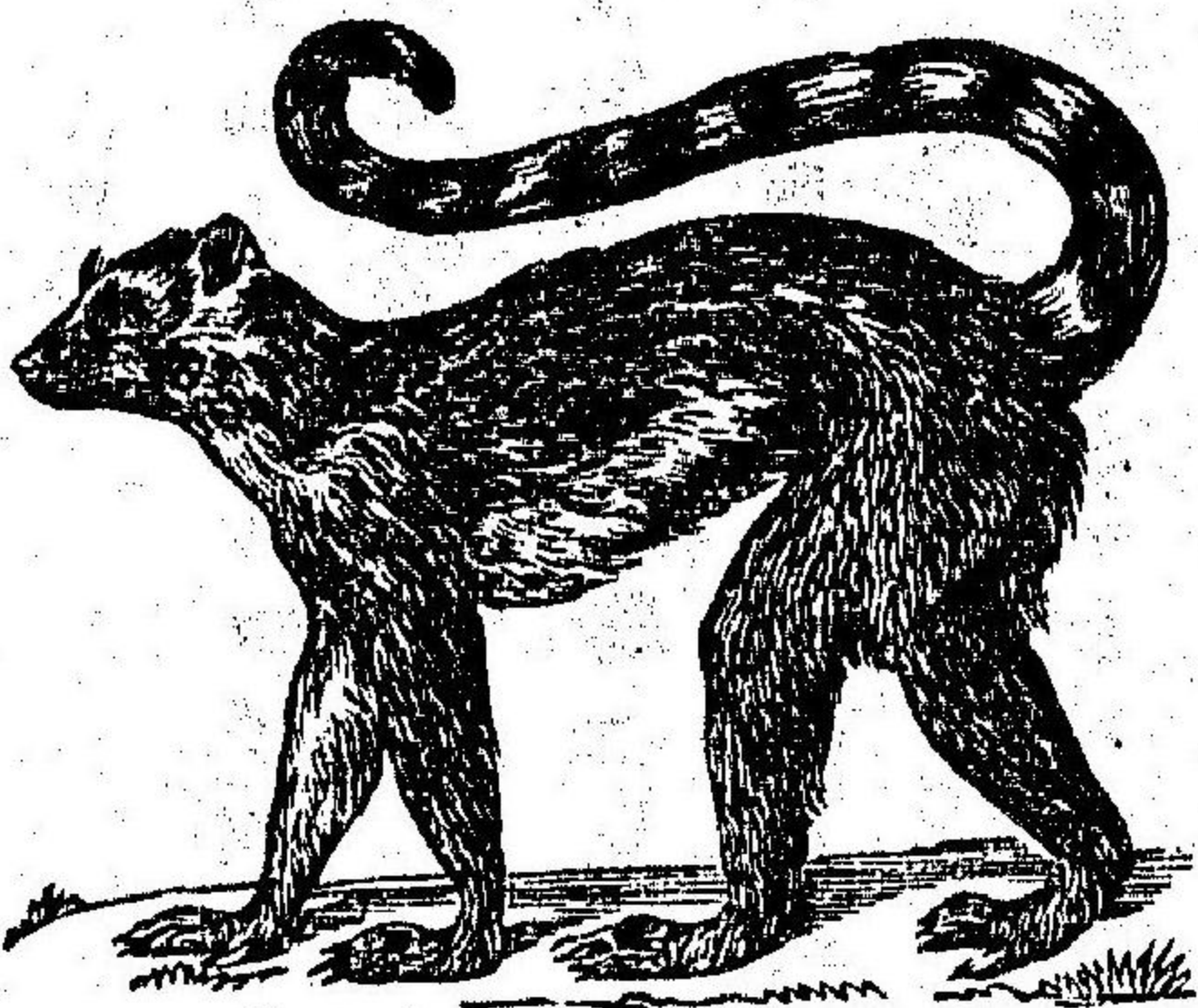
擬猴類

狐猴類

懶猴類

翅手類

第二十四圖 狐



ル夜獸ニシテ常ニ群居シ或ハ果實ヲ食ヒ或ハ小蟲ヲ捕テ食料ト

爲ス東印度及ヒ亞弗利加ニ産ス

(十)狐猴屬 Lemur.

口吻尖リ尾ハ体ヨリ長シ馬達加

斯島ニ産ス

○狐猴 L. catta 尾ニ黑白ノ環斑アリ体
ノ大サ猫ノ如シ

(十一)懶猴屬 Stenops.

口吻太ダ短クシテ其眼極メテ巨大ナルヲ特性トス

第三目 翅手類 Chiroptera.

飛膜ハ前肢ノ諸指並ニ前後ノ兩肢ヲ交互連繫セシムルモノニシ
テ翼狀ヲ爲シ禽鳥類ノ如ク飛翔スルヲ得ベシ乳房ハ腹部ニ位
シ多クハ三種ノ齒ヲ有ス大抵夜獸ニシテ果實蟲類等ヲ食料ト爲

シ稀レヨハ温血動物ノ血液ヲ吸吮スルモノアリ日中ハ暗處ニ潜伏シ其際鈎狀ノ拇指ヲ以テ懸垂シ或ハ後肢ヲ以テ倒垂ス往々群居スルヲアリト雖モ亦同類相食ムモノ多シ概ネ暖地ノ産ニシテ寒國ニ於テハ冬眠ヲ爲ス其蟲類ヲ食スルモノハ人類ニ益アリ大ナル種類ハ食料ト爲シ其尿糞ハ肥料ニ供スベシ

(甲部) 肉翅類

飛膜ハ兩面ニ毛ヲ被アリ而シテ疊縮スルヲ能ハズ前肢ノ五指ハ各、銳利ナル鈎爪ヲ有ス

(一) 猫猴屬又蝙蝠猴屬 Galeopithecus.

此動物ハ夜獸ニシテ元來擬猴ト蝙蝠トノ中間ニ位スル者ナリ

○猫猴又蝙蝠猴 *G. volans* 身ノ長サ四十七セ、メニシテ尾ノ長サ一〇・五セ、メ、東印度諸島ニ産ス

(乙部) 蝙蝠類

蝙蝠類

大蝙蝠屬

第 二 十 五 圖 蝠 猴



飛膜ニ毛少ナク能ク疊縮スルヲ得ベシ前肢ノ五指皆鈎爪ヲ有セズ夜獸ニシテ冬季ノ間ハ蟄伏ス

(一) 大蝙蝠屬 Pteropus.

拇指示指共ニ鈎爪ヲ有シ

切齒二二、犬齒二一、齶齒五

六アリ二二ハ上顎ニ二箇、下顎ニ二箇ヲ有スルノ

已下倣ナリ口吻ハ恰モ犬ノ如シ此ニ屬スルモノ本邦ニ二種アリ

○大蝙蝠 *P. pselaphon* 其体頗ル大ニシテ小笠原島ニ産ス又其一種 *P. dasymotis* ハ全形略ホ前者ニ同シク九州ノ南陔及ヒ琉球ニ産ス

(三) 葉鼻屬 Phyllostoma.

鼻上ニ葉狀ノ贅附物アリ齶齒ハ五五、舌ハ厚クシテ乳嘴狀ノ突起

葉鼻屬

ヲ有シ以テ温血動物ノ血液ヲ吸収スルニ便ニス南亞米利加ニ産ス

○「ヴァンホーネ」Pl. spectrum 其大サ栗鼠ノ如ク林中ニ於テ小蟲ヲ捕ヘ又家畜類ノ血液ヲ吸フ

(四)キクカハホリ屬 *Rhinolopus*.

キクカハ
ホリ屬

鼻上ニ蹄鐵狀ノ附贅アリ切齒一二、犬齒一二、齧齒五六、耳廓ノ基底ニ瓣ヲ具シ拇指ヲ除クノ他皆三節ヨリ成ル東半球ニ産ス本邦ニ産スルモノ左ノ一種ナリ○キクカハホリ又キクカガシラ *Rh. nippon*.

(五)蝙蝠屬 *Vespertilio*.

蝙蝠屬

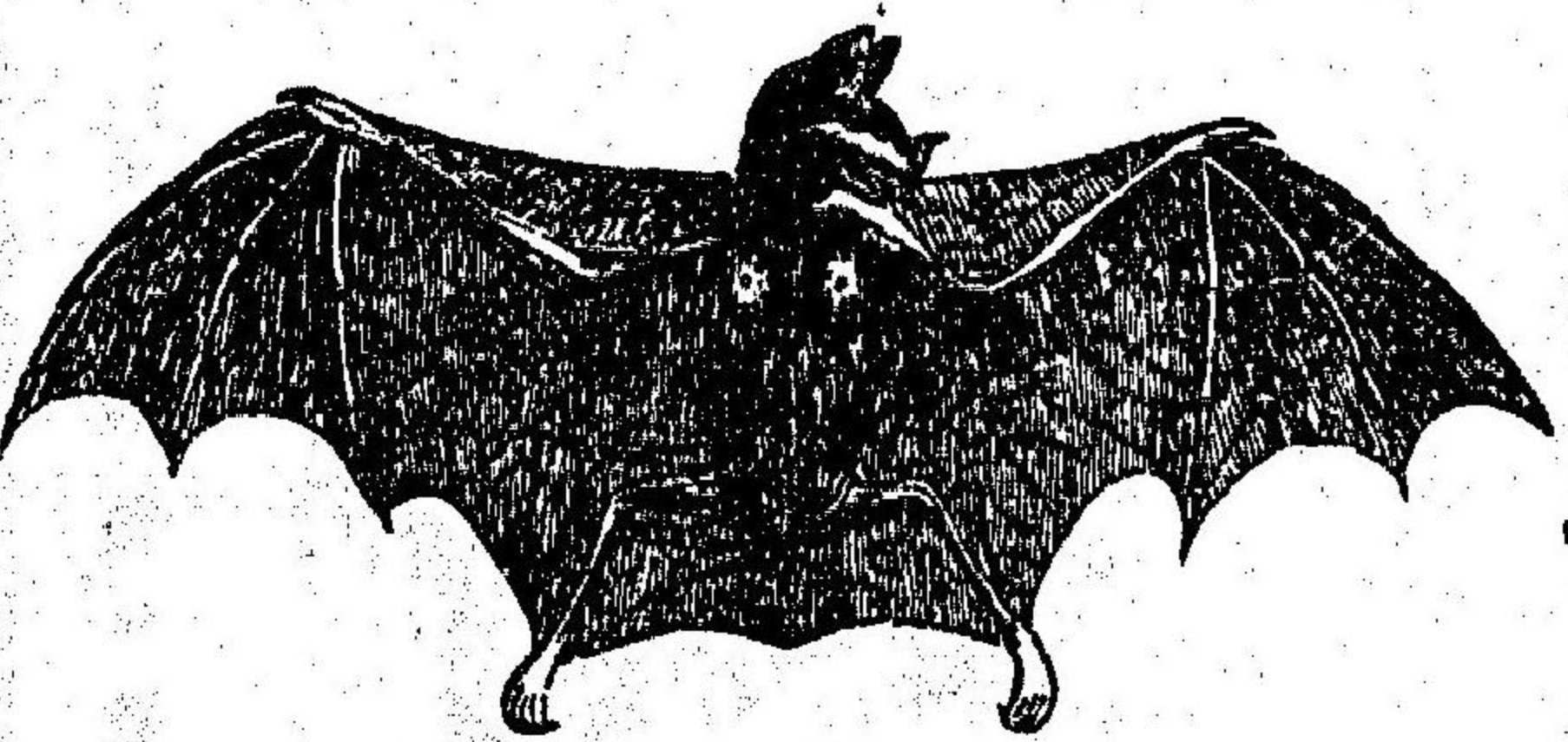


圖 六 十 二 第

鼻ニ贅附物ナク齧齒六六、尾ハ皮中ニ癒着ス晝間ハ古屋壁間等ノ中ニ潜伏シ黃

昏ヨリ出デ、小蟲ヲ捕ヘ以テ食料ト爲ス本邦ニ産スルモノ六種アリ

○山蝙蝠 *V. (Vesperugo) molossus* 身体稍大ニシテ体毛褐色ナリ○カウモリ蝙蝠 *V. (Vesperugo) noctula* 体色黝褐色ニシテ汎ク各地ニ産ス其他アナカハホリ *V. leucotis* アカカハホリ *V. akakomuri* ノ如キ本屬ニ隸ス

第四目 猛獸類 *Ferae*.

猛獸類

身体多クハ比較的ニ狹長ニシテ四肢ニ強力ヲ有シ主トシテ動物ヲ食料トスト雖亦其養ヲ植物ニ仰クモノアリ本目ニ隸スル動物ハ身ノ大小一ナラヌ乳房ハ腹部ニ位シ諸趾皆鈎爪ヲ具フ齒ハ鋭尖ニシテ嗅聽ノ二官殊ニ能ク發達シ其性多クハ活潑慍悍ニシテ掠殺ヲ好ミ地球上ニ廣敷シテ産ス

(甲部) 蹠行類 *Plantigrada*.

蹠行類

歩行スルニ當リ全蹠ヲ以テ地ヲ踏ムモノナリ食餌ハ動植物ヨリ

成ルモノトス左ノ二亞目アリ

(イ) 亞目 蟲食賊行類

小獸ニシテ多クハ象鼻狀ノ喙ヲ有シ後齶齒ハ極メテ銳尖ナリ、鎖骨ヲ具有ス。

(一) 蝟屬 *Erinaceus*.

體ハ尖刺ヲ被フリ口吻尖短ナリ夜獸ニシテ昆蟲、果實等ヲ食トス

○ *E. europæus* 身ノ長サ二十六セ、メ若シ敵ニ會ヘハ直ニ刺球トナリ以テ身ヲ防禦ス地ニ洞ヲ穿テ冬來レバ冬眠ヲ爲ス夜獸ニシテ智力鈍ナリ

(二) 鼯鼠屬 *Sorex*.

鼻喙ハ多少象鼻形ニ延長シ水邊ヲ好ミテ孔ヲ掘リ食料ハ蠕蟲、小蟲、小獸若クハ

圖七十二第 蝟



鼯鼠屬

蝟屬

鳥類等ナリ群居セズ頗ル貪食スト雖モ害蟲ヲ撲滅スルノ効アリ
哺乳動物中最小ナルモノトス
○ 鼯鼠 又ヒヒメ *S. daivazumi* 田圃ニ多ク産シ體甚ダ小ナリ ○ 香鼠 *S. indicus* 尾ノ下部ニ位スル二個ノ腺ハ麝香様ノ香氣ヲ發スル液体ヲ分泌ス長崎地方ニ産ス

(三) ヤマムシクシ屬 *Drotichus*.

體ハ鼯鼠ノ如シト雖モ鼻ハ尙ホ尖長ナリ鼻孔ハ側部ニ位シ四肢ノ足部ハ上下共ニ角板ヲ被フル

○ ヤマムシクシ *D. talpoides* 本邦ノ山中ニ産ス

(四) 鼯鼠屬 *Falpa*.

鼻喙ハ象鼻形ニシテ前肢ハ手狀ヲ呈シ堅強ニシテ穿堀ニ適ス眼目特ニ小ニシテ殆ント

圖八十二第 鼯鼠



鼯鼠屬

ヤマムシクシ屬

之ヲ認視シ難シ好シテ地ヲ掘ル
○鼯鼠 *E. Mogura* 切齒ハ唯下顎ニ六枚ヲ有スルノミ本邦隨處ニ産シ田園
ヲ荒殘ス

(ロ) 亞肉食蹠行類

肉食蹠行類
身体ノ大サ一定セスト雖凡概チ巨大ナルヲ常トス切齒大ニシテ
齧齒ハ鈍頭ヲ有ス

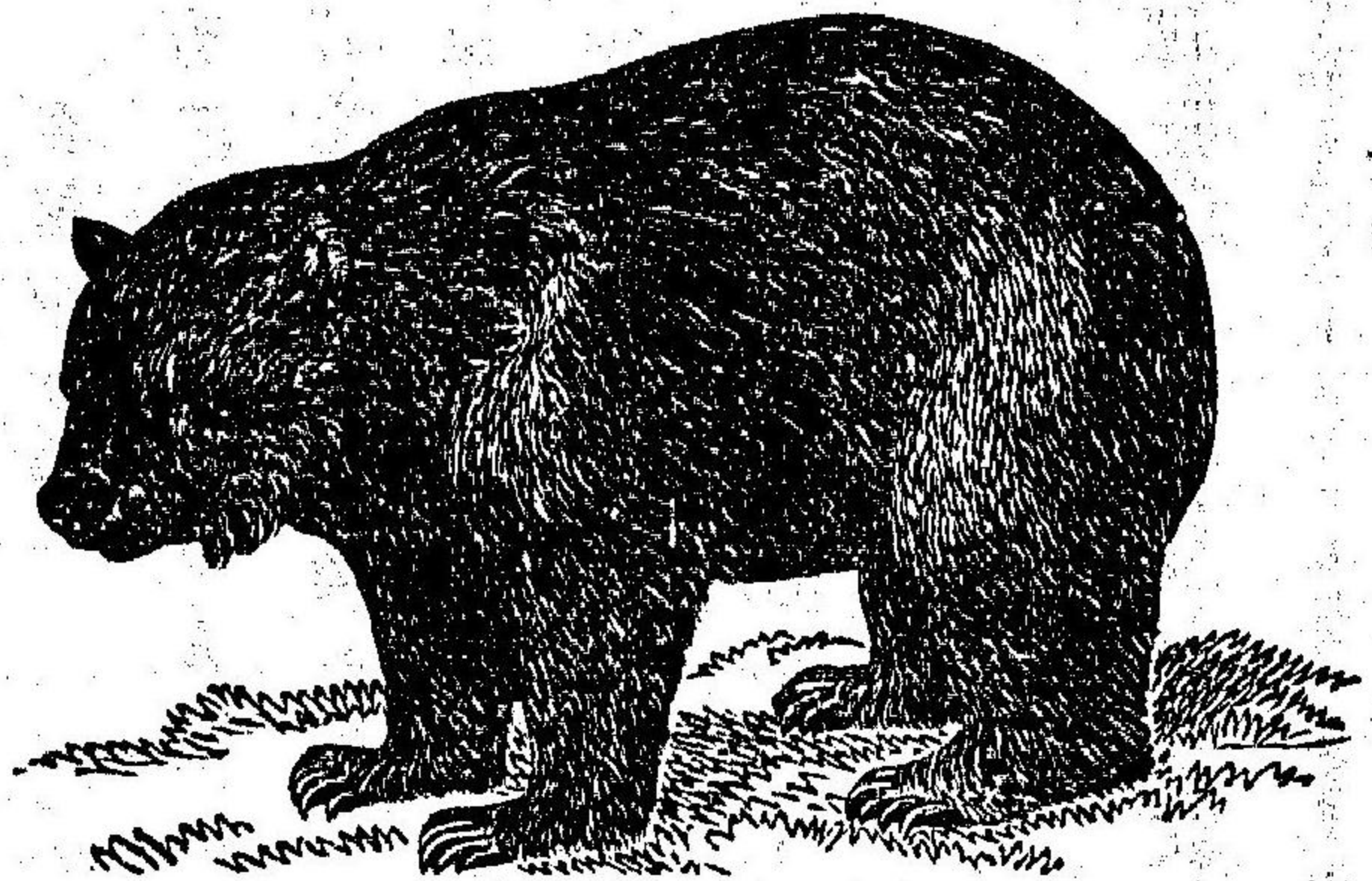
(五) 熊屬 *Ursus*.

熊屬
身体大ニ肥腴スト雖凡能ク疾走ス体ハ長毛ヲ被フリ尾短クシテ
鉤爪強大ナリ其性稍銳敏ナルモノ多シ

○熊 *U. arctos* 体毛褐色ナリ歐洲及ヒ亞細亞ノ山岳ニ棲息シ巧ニ樹木ニ登
攀シ果實ヲ盜ミ蜂蜜ヲ採リ或ハ野菜ノ根ヲ掘テ以テ食料トス往々家畜
ヲ害シ又時々人類ヲ襲フニアリ北海道ニ産スルモノ此種ナリ○熊 *U. p
ponicus* 本邦ノ深山ニ産シ全身黒色ヲ呈ス喉ニ半月狀ノ白斑アリ○白熊

浣熊屬

圖 九 十 二 第
マグヒ



U. maritimus 本屬中最モ巨大ナル者ニ
シテ大ニ前種ト異ナリ柔軟白色ノ長毛
全身ヲ覆ヒ頭長クシテ体軀長狹ナリ
能ク游泳潜行シ又巧ニ疾走ス特ニ魚
類海獸ヲ捕ヘテ食料トス

(六) 浣熊屬 *Procyon*.

口吻尖長尾ハ弛緩シ全身ノ半ニ
達ス亞米利加ニ産シ魚類鳥卵果
實等ヲ食シ多クハ樹上ニ棲息ス
浣熊 *P. lotor* ○体毛黄灰色ニシテ大サ
小犬ノ如シ食スルニ當テ食餌ヲ洗フ

ノ性アリ活潑ニシテ馴レ易シ北亞米利加ニ産ス

(乙) 趾行類 *Digitigrada*.

本部ノ獸ハ足部手形ヲナサズ又行クニ趾端ノミヲ地ニ觸ラシム

趾行類ノ
通性

ルガ故ニ容易ニ蹠行類ト識別スルヲ得ベシ各齒皆強銳ニシテ上
下共ニ六枚ノ切齒ヲ有シ尖齒ハ殊ニ能ク發育シ牙ト爲リテ長延
シ且ツ稍屈曲ス、齧齒ノ構造ハ大ニ他獸ニ異ニシテ尖齒ノ後ニ位ス
ル銳尖ノ假齧齒アリ又之ニ次ク所ノ一齒ハ肉齒又猛齒ト稱シ數
尖ヲ具有ス最後ニ列スル者ハ真ノ齧齒ニシテ食餌ヲ粉摧スルノ
用アリ以上諸齒ノ構造ハ即チ天然肉食ニ適スルモノトス、乳房ハ
腹部ニ位ス、左ノ二亞目アリ

(イ) 亞短脚趾行類

短脚趾行
類

此動物ハ皆大ナラズ身体細長ニシテ屈伸自在ナリ脚ハ極メテ短
シ

(二) 灌屬 *Males*.

體軀ハ膨肥シ脚ハ短ク口吻尖ク前肢ニ穿堀爪ヲ具有セリ

種屬

○ *M. anakona* 大サ尋ホ狸ノ如ク本邦ノ山地ニ産シ常ニ穴居ス ○ *M. talus*

ハ歐洲普通ニ産スル種ナリ

(二) 鼬屬 *Mustela*.

身体狹長ニシテ背ノ後部高ク頭ハ小ニシテ体中一種惡臭ノ液ヲ分
泌スル腺ヲ有ス、此種ノ動物ハ頗ル殺掠ヲ嗜ミ夜間出デ、禽鳥卵
子及ヒ果實ヲ盜餐ス

鼬屬

○ *M. iatai* 體毛赤褐色ヲ呈シ窮迫スルトキニハ惡臭ヲ放チ敵ヲ禦ケ

○ *M. melampus* 前種ニ似テ大ニシテ體毛黄色ヲ呈シ夏月ハ背上黑色ヲ帶

ヒ四肢ノ下端ハ常ニ黑色ナリ貂鼠ト稱スルモノハ其體黑黄色ヲ呈ス蓋

シ黃鼬ノ夏服セル者ナラン ○ *M. brachyura* ナル者ハ本邦北海道ニ
産シ其脚甚ダ短シ

(三) 水獺屬 *Lutra*.

水獺屬

其體軀ハ延長シ頭ハ扁平ニシテ鈍キ口吻及ヒ厚唇ヲ有ス五趾ハ
蹠ヲ以テ連綴シ常ニ魚類ヲ食料トス

哺乳類 猛獸類 趾行類

海獺屬

第三水獺十圖



○水獺 *E. lutris* 身体赤褐色ニシテ其長サ六十二センチアリ歐洲及ヒ亞細亞ニ産シ水邊ニ地道ヲ穿チ其一口ヲ水面下ニ開ク游泳甚ダ巧ニシテ夜間魚ヲ狩掠ス其皮ハ帽子等ニ供用スベシ

(四)海獺屬 *Enhydra*

齧齒四五前齒六六ナリト雖ヒ遂ニ脱落シテ概子六四トナル尾ハ殆ンド圓形ニシテ耳廓短カク陸行極メテ困難ナルガ故ニ殆ンド常ニ海中ニ游泳ス

海獺 *E. marina* ○頭ハ灰白色ヲ呈シ体毛柔軟ニシテ天鵞絨ノ如シ故ニ其毛皮ノ價頗ル貴シ本邦千島近海ニ於テ之ヲ捕獵ス其肉亦食フ可シ多クハ北大平洋ノ海岸ニ産ス

長脚趾行類

(四)長脚趾行類

短脚類ニ比スレバ身体巨大ニシテ強猛且ツ迅速ニ疾走スルモノトス

(五)狸屬 *Nyctheretes*

其体肥滿シ耳短ク尾ハ流蘇狀ヲナス脚ハ短シト雖ヒ前亞目ニ比スレバ較長シ

○狸 *N. procionoides* 背ニ黒褐色及ヒ灰色ノ雜毛ヲ生ス本邦及ヒ東亞細亞ノ各地ニ産ス其毛ハ以テ筆ヲ製シ其皮ハ以テ風箱ニ供スベシ

(六)犬屬 *Canis*

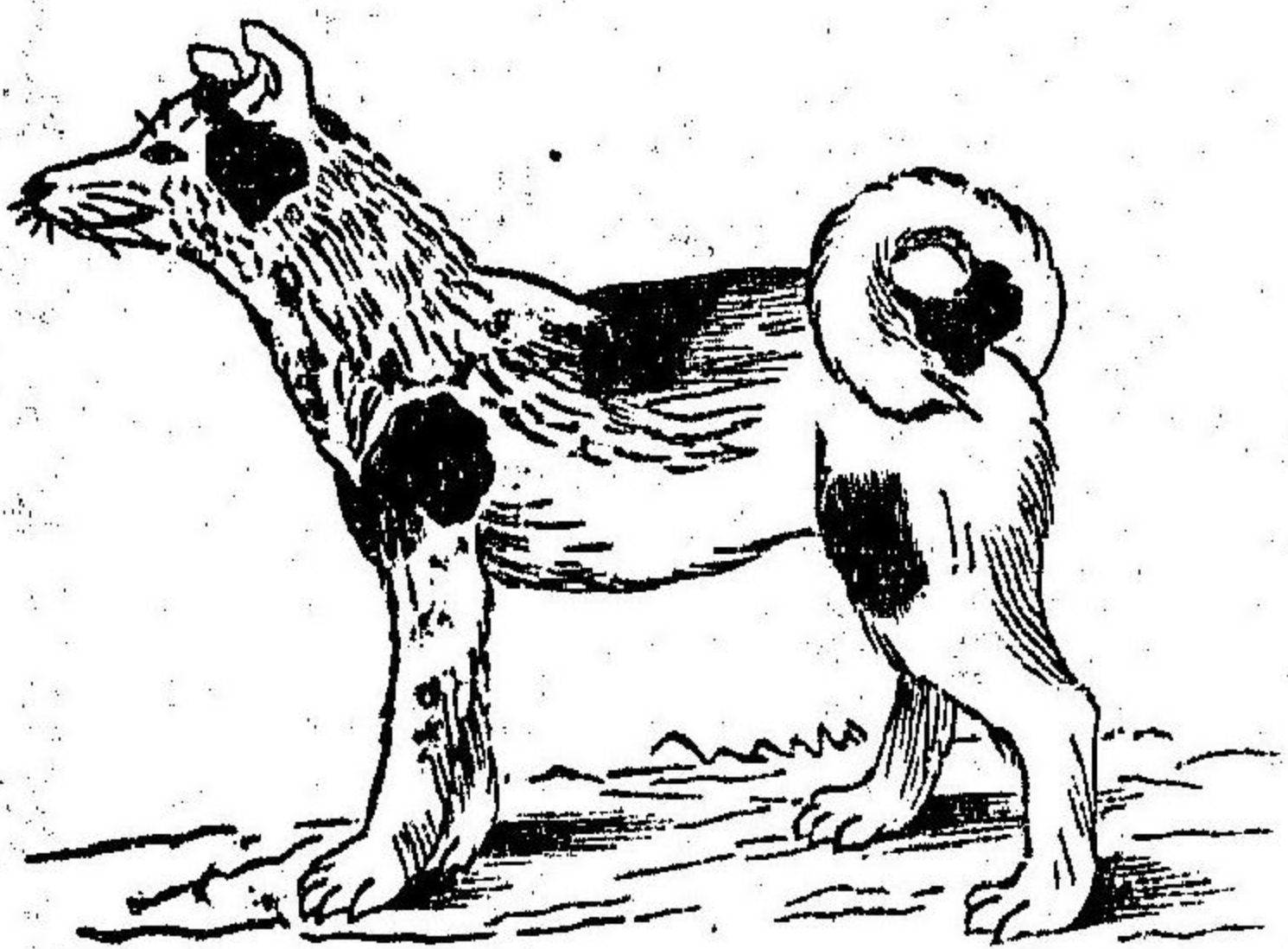
齧齒ハ六七或ハ六六前肢ニ五趾後肢ニ四趾ヲ具シ收藏ス可カラザル鈍爪ヲ有ス犬屬ハ他ノ猛獸ノ如ク齧齒ノ頂銳尖ナレドモ最後ノ兩齧齒ハ上下共ニ鈍頂ヲ有セリ是レ肉食ノ他尙ホ植物ヲ並食スルノ證トス身体肥豐ナラズ脚細長ニシテ頭矮小ナリ往々群

ヲ爲シテ其餌食タル者ヲ逐獲ス嗅官殊ニ能ク發育シ其性ノ伶俐ナルハ諸獸ニ冠タリ

犬

○犬 *C. familiaris* 尾端左方ニ卷縮シ瞳孔正圓ナリ犬ハ必要ノ動物ニシテ全地球上家畜トシテ飼養セザルノ地ナ

第三十三圖 日本犬



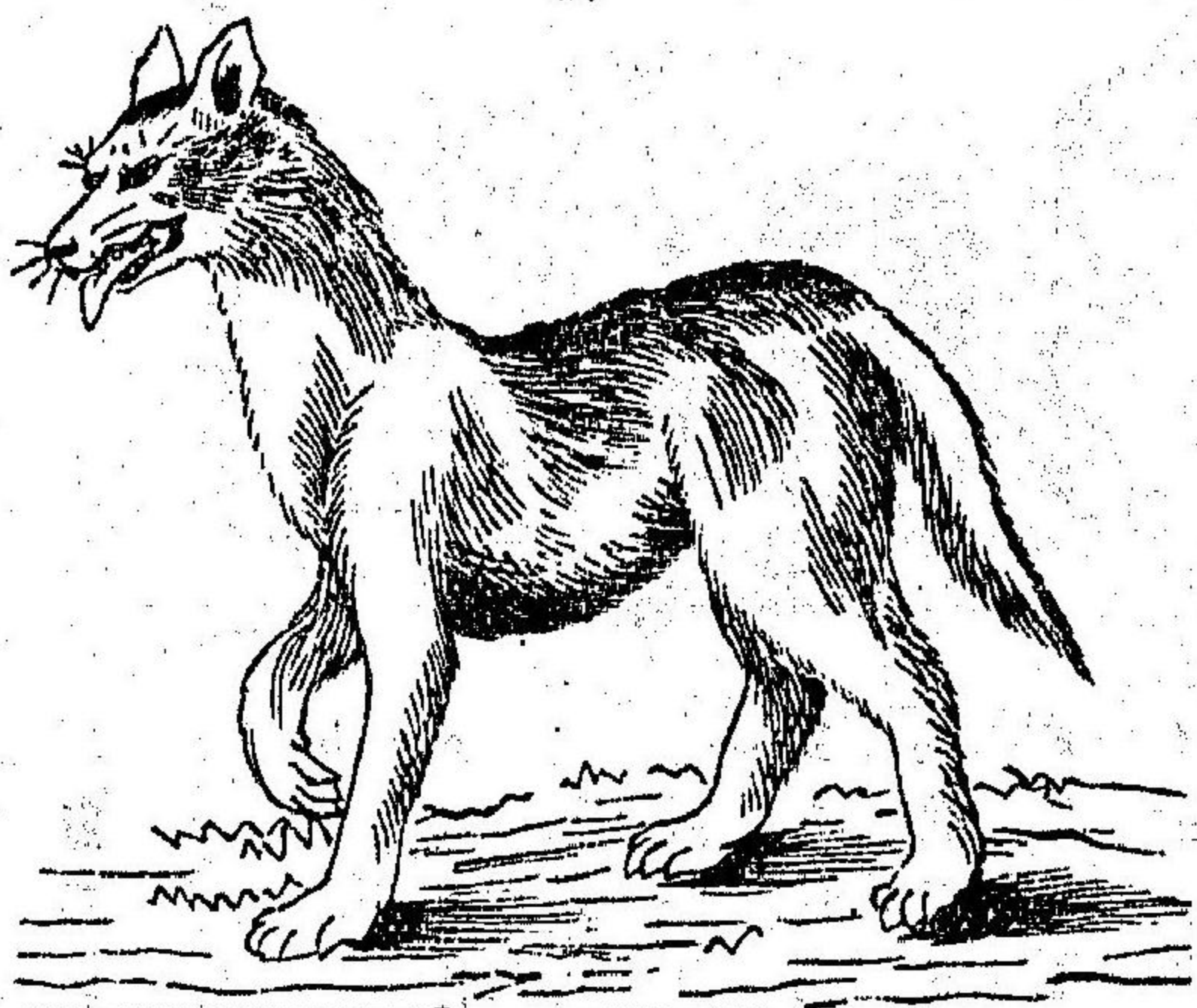
シ先導ニ守護ニ牧畜ニ狩獵ニ其用アラサルハナシ加之或ハ車ヲ牽キ或ハ人命ヲ救フガ如キ其効一ニ足ラズ舊恩ヲ忘ルトナク隔遠ノ地ニ赴クモ能ク其主家ニ反ルヲ得生期十五乃至二十年妊娠ノ日數六十三日ニシテ每回四乃至八頭ヲ産ス亞米利加喜望峰地方等ニハ往々野生ニ化シ大群ヲナス

トアリ犬ハ變種極テ多ク洋犬、拂林狗、旭等一々枚舉ニ遺アラズ、往々狂怒病ニ罹ルトアリ之レカ咬傷ヲ受クル

人ハ其毒ニ感染ス○エスキモ種ト名クル變種ハ北地ノ人民ニ欠クベカラザル家畜ニシテインランドニ於テハエスキモ人多ク之ヲ使役シテ牛馬ニ代用シ殊ニ極テ牽カシム又西伯利亞地方ニ於テハ多クハ十二頭ヲ連テ一棧ヲ牽カシム○ベルンハルト犬ハ七千八百尺餘ノ高山ニ棲ミベルンハルトへ來往スルモノ、雪中ニ陷没スルアレハ忽チ來リ救フニ因テ大ニ益アリ

豺 狼

第三十二圖 狼



○狼 *C. lupus* 其長サ百セ、メ尾ハ下垂シ疏毛ヲ生シ眼ハ斜ニ位シ正圓ノ瞳孔ヲ具フ本邦ノ犬ヨリ稍大ニシテ暖寒兩帶ノ地方ニ於ケル最モ有害ノ動物トシテ性殘忍ニシテ又怯ナリ秋冬ノ際群ヲ爲シテ他獸ヲ襲撃シ北半球ニ産ス

○豺 *C. hodophylax* ハ其性狼ノ如ク本邦ニ産ス

狐



第三十三圖

(七) 鬣狗屬 Hyæna.

各足四趾ヲ有シ背上ニハ直立スルヲ得ベキ鬣アリ腰部ハ肩部ヨリ低クキカ故ニ跛行ス、此運動ハ素ト犬猫ノ中間ニ位スル者ニ

○狐 *C. vulpes* 瞳孔ハ鉛直ニ位シ体毛赤褐色ニシテ頰喉白シ体ノ長サ七十八・五「セ、メ」ニシテ尾ハ四十七「セ、メ」其形流蘇ノ如ク疾走スル時ハ水平ニ位ス自ラ穴ヲ穿ツト雖モ好シテ他獸ノ巢窟ヲ横奪シテ穴居ス夜中徘徊シテ各種ノ動物ヲ掠食スルノミナラス亦植物質ヲ混食ス体力強カラザルモ譎詐ヲ以テ之ヲ償ヒ其狡猾諸獸ニ冠タリ歐羅巴、亞細亞、北亞弗利加及ビ北亞米利加等ニ産ス○蝦夷狐 *Vulpes japonicus* 本邦北海道ニ産シ夏月黒色ヲ帶フ故ニ又黒狐ノ名アリ

鬣狗屬

靈貓屬

第三十四圖

斑條ヒエ



顔貌頗ル猛惡ナリ夜間出デ、他獸ヲ捕獵スト雖モ亦體肉ヲ嗜ム

○斑條鬣狗 *H. striata* ハ其体ニ黒條アリテ北亞弗利加ニ産シ斑點鬣狗 *H. crocata* ハ南亞弗利加ニ産ス

(八) 靈貓屬 *Viverra*.

每足五趾ヲ有シ鈎爪ハ稍、収藏スベク口吻尖レリ此動物ノ首要ナル徴候ハ二個ノ腺囊ニシテ肛門ト生殖機トノ間ニ位ス該囊中ニハ特異ノ香氣アリテ靈貓香ト稱スル濃厚ノ液体ヲ分泌ス其他尙ホ二個ノ肛門腺アリ内ニ脂肪様ノ惡臭液ヲ藏ム、美麗活潑ナル動物ニシテ馴レ易ク其性鼯鼠ノ如シ殊ニ夜間ニ出デ、小獸及ビ鳥類ヲ捕食ス

○亞細亞靈貓 *V. zibetha* 褐白色ニシテ不齊ニ黑點ト黑條ヲ雜ヘ尾ニ黑輪アリ本ト呂宋ノ産ナリト雖モ現今ハ家畜トシテ全南亞細亞墨西哥等ニ蕃殖セリ

靈貓香ヲ得ルニハ或ハ之ヲ飼養シ毎週二三回食匙ヲ以テ囊中ヨリ滲溢スルモノヲ掬シ或ハ野ニ在テハ樹幹ニ塗抹シタルモノヲ蒐集シ以テ藥用ニ供ス其効海狸香ニ髣髴タリ今ハ多ク用ヰズ又香料トナスコトアリ

○亞弗利加靈貓 *V. civetta* ハ略ホ前種ノ如シト雖モ背ニ鬣アリ尾ハ半ハ輪斑ヲ有ス中亞弗利加ニ産シ亦靈貓香ヲ産ス

(九) 猫屬 *Felis*

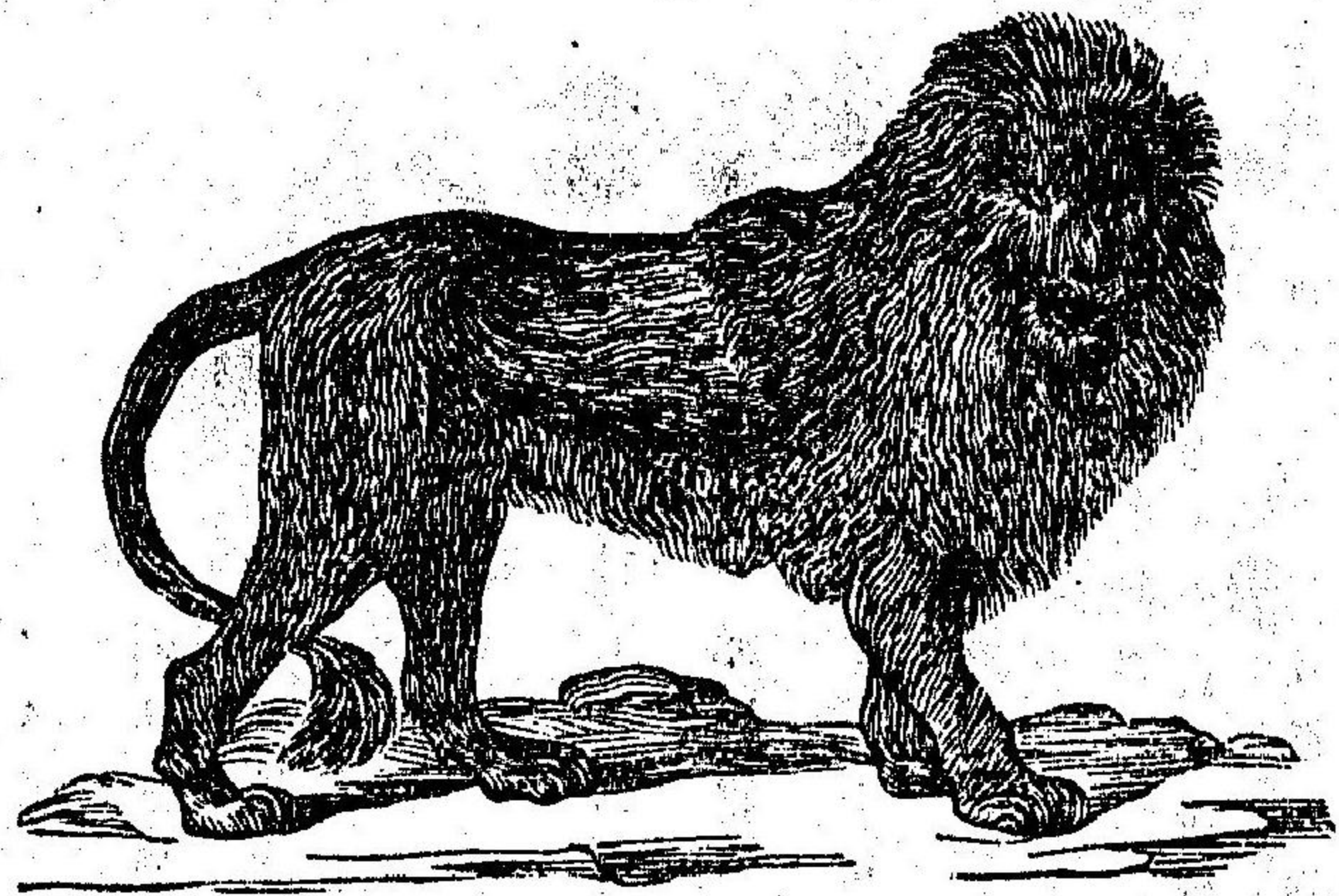
之ニ屬スル者ハ皆猛烈ノ動物ニシテ其頭ハ球圓狀ヲ爲シ其吻喙ハ短シ側邊ヨリ壓扁セラレテ弓狀ニ屈曲セル銳爪ヲ具ヘ之ヲ特別ノ鞘中ニ収藏スルヲ得前足ニ五趾後足ニ四趾ヲ有ス皆純粹ノ掠食族ニシテ温血動物ノ肉及ヒ血液ヲ以テ養料トナス他獸ヲ捕フルニ嘗テ始メ先ツ徐歩シ終ニ弓狀ノ一躍ヲナシテ巧ニ獲取ス其性猛悍ニシテ聽視ノ二官能ク發育シ多ク散居ス

猫屬

獅

虎

第三十五圖 獅



○獅 *Panthera leo* 尾端流蘇ノ如ク体毛密生シ雄ニ在テハ鬣ヲ生ス体ノ長サ百八十乃至二百五十七センチメートル高サ九十センチメートル顔面廣闊ナリ亞弗利加及ヒ西南亞細亞ニ産シ其強猛諸獸ニ超絶ス故ニ之ヲ獸王ト稱ス群居セズ他ノ貓屬ト同ク大概夜間ニ出テ他獸ヲ捕獲ス亞米利加獅 *P. concolor* ハ「フエ」ト稱シ其体毛赤褐色ナリ鬣ナク能ク木ニ攀ツ

○虎 *Panthera tigris* 其体獅ヨリ長クシテ二百八十センチメートルニ居リ高サハ九十センチメートルニ達ス体毛黃褐色ニシテ黑色ノ横線ヲ有シ其尾ハ黑輪ヲ具シテ流蘇形ヲナサズ産地ハ殊ニ東南亞細亞ニシテ南緯八十度乃至北緯五十三度ノ間ニ在リ頗ル殺掠ヲ好ムガ故ニ最

貓

モ危險ナリ其強力ナルハ能ク馬ヲ啣ミ去ルヲ以テ證スヘシ
○家猫 *F. domestica* 頭圓クシテ其吻短ク其口小ナリ素トヌビアノ産ナルニ
似タリ現今ハ地球上家畜トシテ飼養セザルノ地ナシト雖モ犬ノ如ク人ニ

親マス又犬ノ如キ効益ナシ其變種頗ル多ク支
那猫、西班牙猫等一々
枚舉ニ違アラズ日本

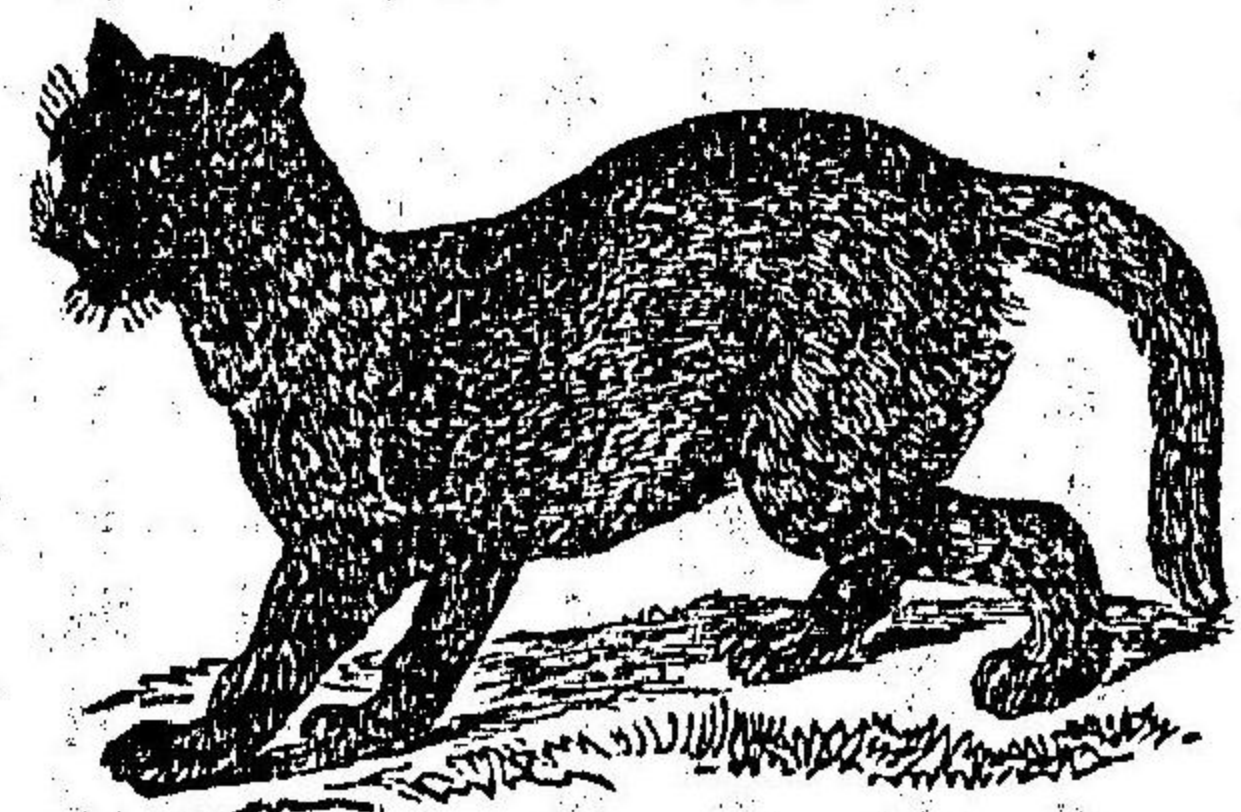
猫ハ概テ萎縮シタル
尾ヲ有スルヲ以テ特

性トス○野猫 *F. felis*
ハ赤灰色ニ黑色ノ横

條ヲ雜ヘ家畜ヨリ較
大ナリ歐洲ノ山林中



第三十六圖 家猫



第三十七圖 野猫

豹

ニ棲ミ小獸鳥類ヲ捕食ス
豹 *F. pardus* ○体側ニ六乃至十列ノ斑紋ヲ有シ其体狹長ニシテ百四十「セ、メ」
ニ至リ高サ殆ド卅一「セ、メ」アリ亞弗利加及ヒ南亞細亞ニ産シ獸類ヲ捕食

袋獸類ノ
通性

第三十八圖 米約又カン



ス○米約又「オンカ」*F. onca* ハ之ニ類ス
ル猛獸ニシテ体毛赤黄色不整ニ列スル
輪紋アリ長ク百五十「セ、メ」高サ七十八
「セ、メ」ニ至ル亞米利加洲中最モ強猛ノ
動物ナリ

第五目 袋獸類

Marsupialia.

其牝ハ腹部ニ於テ二個ノ袋骨ニ
由テ支持セラレ且ツ収閉スルヲ
得ベキ一囊ヲ有シ内ニ乳房ヲ備
フ此動物ハ胎盤ヲ欠クガ故ニ早
ク分娩シ其産兒ハ頗ル矮小且ツ不完全ニシテ始メ殆ド運動ス
ル能ハズト雖モ直チニ袋中ニ投シテ哺乳シ此内ニ於テ充分發育

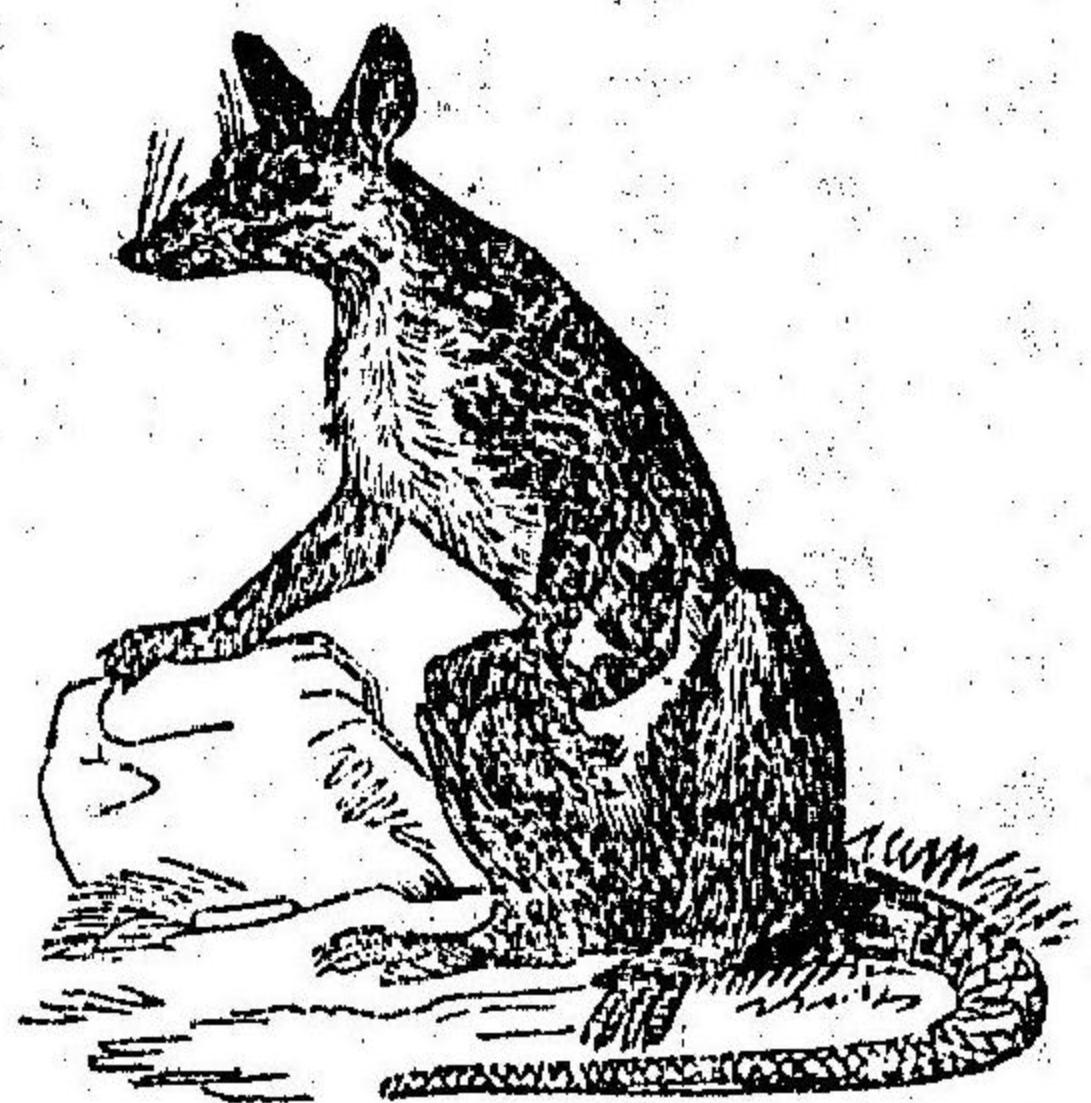
セシム例之ハ更格盧^{ケンブル}ハ袋獸中最大ナル者ニノ妊娠スル丁最モ長シト雌[♀]既ニ三十九日ニノ大サ一寸許未ダ四肢ヲモ認識シ難キ兒ヲ産シ却テ囊中ニ抱持スルハ八九ヶ月ノ長キニ涉レリ唯腹部ニ皮襪[○]ノミヲ有スルモノニ在テハ一回ニ多兒ヲ産シ早ク背上ニ負擔シ尾ヲ以テ相連繫ス之ニ属スル動物ハ其發育ノ度甚ダ低ク亞米利加洲大洋洲ニ産ス二三ノ更格盧類ヲ除クノ他皆夜獸ナリ袋獸中或ハ趾行猛獸類ニ似ルモノアリ或ハ嚙齒類ニ似ルモノアリ故ニ之ヲ二部類ニ別ツヲ得ベシ

食肉袋獸類

(第一部)食肉袋獸類
長キ犬齒及ヒ小ナル前齒ヲ具フ
(二)袋鼠屬 *Didelphys*.
三種ノ齒ヲ具シ其生活ノ狀ハ殆ンド鼯鼠ノ如ク後足ハ手形ヲナス亞米利加ニ産スル夜獸ニシテ其容貌鼠ノ如シ

袋鼠屬

第三十三圖
鼠袋アニシルイヴ



○ゲイル^シニア袋鼠 *D. virginiana* 其大サ猫ノ如シト雌[♀]初生ノ兒ハ金龜子^{コウジ}ノ大サニ過キズ北亞米利加ノ産ナリ
○子守鼠 *D. dorsigena* ハ其大サ鼠ノ如ク諸兒ヲ背上ニ負ヒ而ノ各子其尾ヲ母尾ニ纏繞セシム

(第二部)食草袋獸類

食草袋獸類

犬齒ハ細小若クハ闕如シ大ナル前齒ヲ具ス
(二)翅袋科 *Petaurus*.

翅袋科

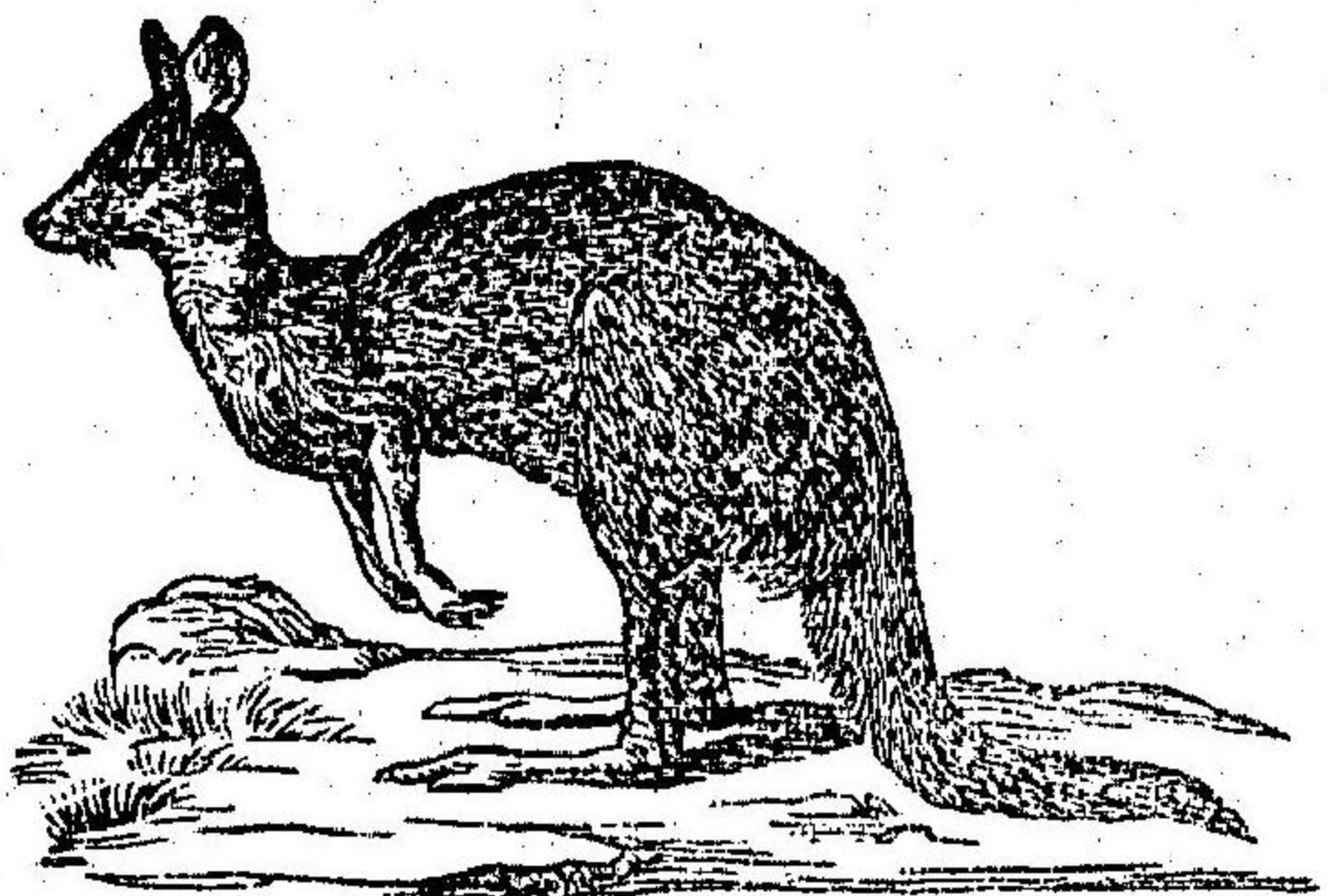
皆夜獸ニシテ前後ノ肢間ニ有毛ノ飛膜アリ大洋洲ニ産ス

(三)更格盧屬 *Macropus*.

更格盧屬

前肢短ク後肢頗ル長シ尾ハ甚ダ強直ニシテ体ノ支柱ト爲リテ兼テ跳飛ニ便ス一躍スル時ハ能ク數メートルノ距離ニ達ス

第十四圖 大更格盧



○大更格盧 *Macropus giganteus* 大洋洲ノ諸動物中最モ巨大ナル者ニシテ体ノ長サ百八十セ、メニシテ尾ノ長サ七十八・五セ、メアリ性温順ナリト雖モ頗ル怯懦ナリ其肉ハ食料ト爲スベシ

第六目 齧齒類 *Rodentia*

牙齒及ヒ假齧齒ナク唯二個ノ切齒ト之ニ隔離シテ遙ニ後方ニ位スル齧齒トヲ具有ス而シテ其切齒ハ長ク尖端鑿狀ヲ爲ス趾ハ交互自在ニ運轉シ且ツ全蹠ヲ以テ歩行ス多クハ小獸ニシテ軟毛密生シ其生活ノ狀一ナラズ或ハ常ニ暗處穴洞等ニ隱伏シ時トシテ地上ヲ疾走スルモノアリ或ハ強大ナル後肢ヲ以テ飛躍シ或ハ常ニ水邊ニ棲息シテ能ク游泳スルモノアリ食料モ亦種々ナリト雖モ主トシテ

齧齒類ノ通性

麩類ヲ食シ及蟲類ヲ兼食ス宇内之ヲ産セザルノ地ナク一年間四回乃至六回數兒ヲ胎生スルガ故ニ其蕃殖極メテ速カナリ

(第一部)有握足類

有握足類

前肢ハ疾走スルヲ得ルノミナラズ亦握擲ニ便ナリ

(一)海狸屬 *Castor*

後肢ノ趾間ニ蹠アリ尾扁平ニシテ鱗ヲ被フリ齧齒甚ダ堅硬ニシテ齧齒四四アリ

○海狸 *Castor fiber* 身ノ長サ六十二乃至九十四セ、メ毛皮褐色ニシテ黄赤色ヲ帯ビ之ヲ各種ノ用ニ供スルガ故ニ其價頗ル貴シ其下腹内ノ腺ヨリ取ル所ノ海狸香油ハ藥

海狸屬

第十四圖 海狸



香、龍腦等ト同シク與蕃藥ニ用フ而シ其棲巢奇巧ヲ極メ其群ヲナスニ當
テハ樹枝等ヲ水中ニ結構シテ巢ヲ作り其群ヲナサルハ地ニ穴居シ
一管ヲ穿テ水ニ通ズ居常樹皮、葉根等ヲ食シ北亞米利加、亞細亞、歐羅巴ニ
産ス

(一)鼠屬 *Mus*.

尾ニ鱗ヲ被アリ齧齒ノ頂ニ隆起アリ是蓋シ動植ニ物ヲ併食スル
徴ナリ其性食ヲ貪リ且ツ蕃殖ノ速ナルニ由リ大ニ人ニ害アリ宇
内之ヲ産セザルノ地ナシ

○^{ハハカチ}鼠 *M. musculus* 尾ノ長サ全身ニ齊シク其長七・九「セ、メ」ナリ性怯ナレモ又
頗ル活潑ニシテ多ク人家ニ生殖ス○^{チノミ}家鼠 *M. rattus* 背毛^{子スミイロ}黒灰色ニ身ノ長
サ十八・三乃至二十・九「セ、メ」ナリ其尾稍長シ人家隱暗ノ所ニ巢ヲ營ミ諸物
ヲ殘害ス○^{チヤイロ}子ノミ又七郎鼠 *M. decumanus* 家鼠ニ比スレハ大ニ
其長二十一「セ、メ」背毛赤褐色ニ尾身ヨリ長シ原ト亞細亞ノ産ニシテ方
今諸邦ニ蔓延セリ常ニ人家溝中等ニ棲息シ大害ヲナス此種ハ前種ト相

鼠屬

ヤマ子屬

圖 二 十 四 第

ミズ子ロイヤチ



(四)栗鼠屬 *Sciurus*.

前肢ニ四趾アリ拇趾萎縮シ耳長ク尾流蘇狀ニノ長サ全身ニ齊シ
○栗鼠^{リス}ノ^{リス}体色赤褐ニノ腹面白ク巧ニ樹木ニ登攀ス、常ニ樹上ニ棲息シ
果實、種子等ヲ食ス、其性人ニ馴レ易シ

交テ間生ヲ産ス○白鼠 *M. minutus* 体毛白色
ニシテ歐羅巴、西比利亞等ニ産シ本邦ニ於
テモ亦多ク之ヲ玩養ス○山鼠 *M. argentens*
○田鼠 *M. tanazumi* 等本邦ニ産ス

(三)ヤマ子屬 *Myoxus*.

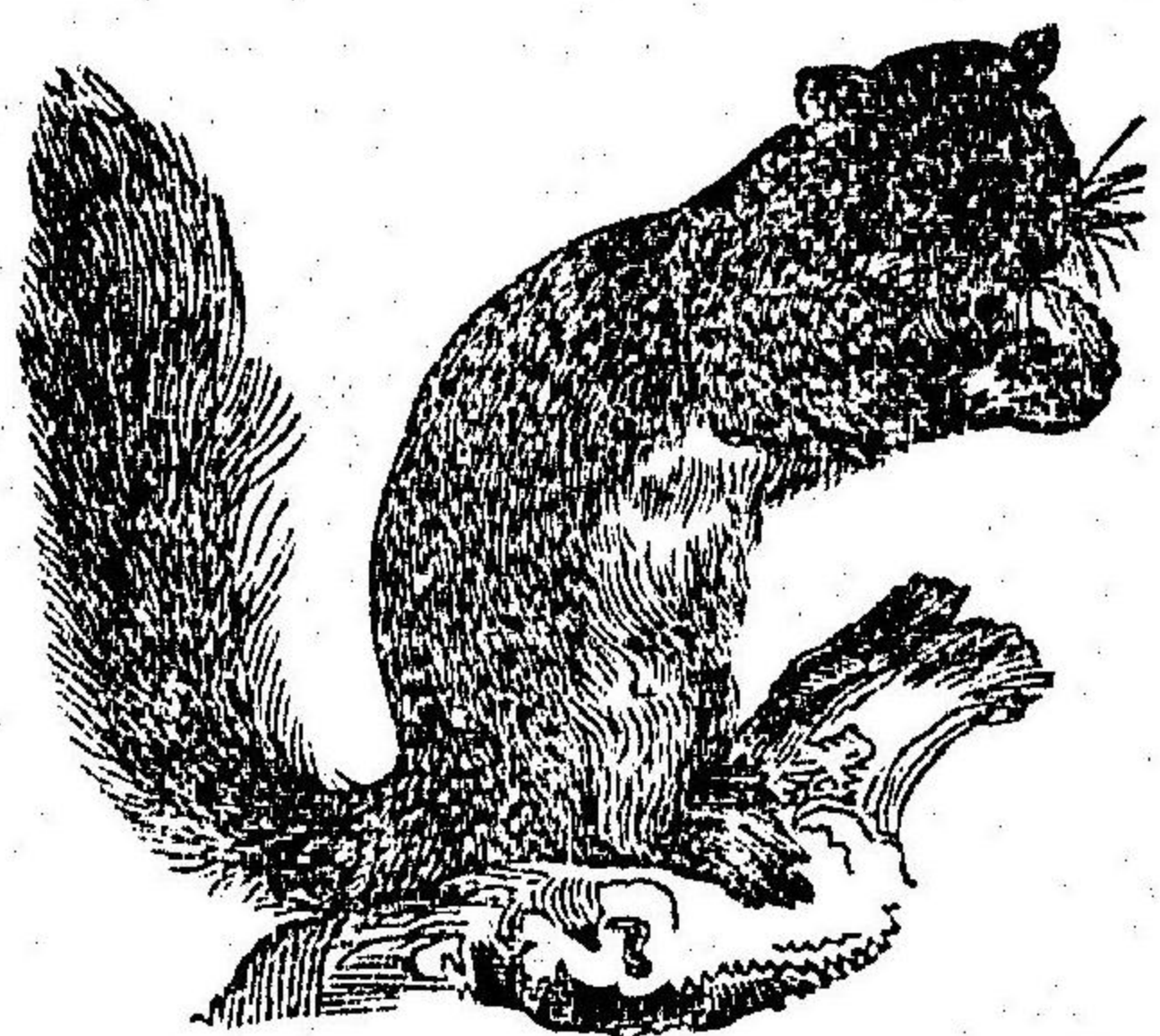
前肢ノ拇趾萎縮シ後肢ニ五趾アリ其
尾流蘇狀ニノ尾毛左右ニ排列ス果實
ヲ食シ冬蟄眠ヲ爲ス○ヤマ子 *M. elegans*
古木ノ朽竅ニ棲息シ果實ヲ食ス本邦ノ深
山ニ生息スル夜獸ナリ

栗鼠屬

哺乳類 啮齒類

鼯鼠屬

第四十三圖 栗鼠



(五) 鼯鼠屬 *Pteromys*.

前後兩肢間ニ飛膜ヲ張り其上
下兩面ニ茸毛ヲ被フル夜獸ナ
リ

○鼯鼠 *P. leucogenys* 背部暗褐色ニシ
テ腹部白ク耳部ニ白斑アリ、尾細ク
シテ長シ、本邦ノ深山ニ産ス。○鼯鼠
P. monongis 全形畧前種ニ相似テ矮

小ナリ、背部暗褐色ニシテ尾短シ

(六) 金花鼠屬 *Tamias*.

尾、体ヨリ短カク四肢矮クシテ頰ニ嚙ヲ具シ多ク穴居ス

金花鼠屬

○金花鼠 *T. striatus* 体毛黄褐色ニシテ背ニ五條ノ縱線アリ、体ノ長サ十五セ、
メ尾ハ体ヨリ短カシ、北亞米利加、北海道等ニ産ス

(第二部) 無握足類

無握足類

前肢ニ獨リ疾走ヲ職ドリ握握スルコトナシ

(七) 兔屬 *Lepus*.

兔屬

耳廓甚々長ク後肢ノ長サ殆ソド前肢ニ倍ス、上顎切齒ノ後方ニ二
枚ノ小切齒ヲ具シ齧齒五五アリ大洋洲ヲ除クノ外全地球上隨處
之ヲ産セザルノ地ナシ

○野兔 *L. brechynus* 身体暗褐色ニシテ視力弱シト雖モ嗅聽ノ二官鋭ク性
最モ怯懦ナリ、越後地方ニテハ冬春ノ頃体毛白色ニ變ズ、其肉頗ル美ナル
ガ故ニ多ク之ヲ捕獵ス、本邦諸山ニ産ス。○熱兔 *L. enicurus* 耳廓頭ヨリ短カク視力前種ヨリ強シ本ト歐羅巴ノ西南及
北亞非利加等ノ産ナリシガ今本邦ニ於テモ多ク之ヲ飼養ス

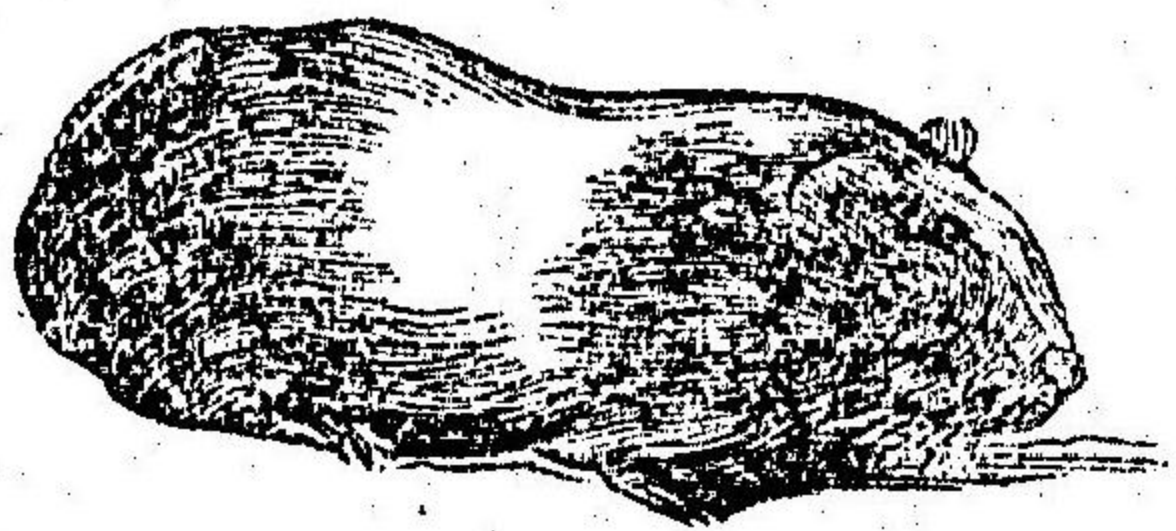
(八) 豚鼠屬 *Cavia*.

豚鼠屬

前肢ニ四趾後肢ニ三趾アリテ馬蹄狀ノ爪ヲ具ス、耳及ヒ四肢短ク
尾ナシ

豪猪屬

第四十四圖 豚鼠



○豚鼠 *O. colarya* 体ニ各種ノ斑毛ヲ生シ身ノ長サニ十三「セ、メ」ニ至ル南亞米利加ノ産ナリ

(九)豪猪屬 *Hystrix*

背ニ堅硬ナル長棘ヲ被フリ菜根果實ヲ食ス性懶惰ナル夜獸ニシテ穴中ニ棲息ス

○豪猪 *H. cristata* 後頭及ヒ頂部ニ強硬ナル長毛アリ背上ノ棘ハ白褐ノ斑輪ヲ具シ多ク筆管ニ用アリ又其肉ヲ食料ニ供ス南歐羅巴亞弗利加等ノ産ナリ

第七目 貧齒類 *Edentata*

貧齒類ノ通性

貧齒ノ名ヲ命ズル所以ハ諸齒ノ發生完全ナラズ或ハ全ク其發育セザルニ由ル而シテ切齒及ヒ牙齒ノ如キハ發育セザルモノ多キニ居リ齶齒モ亦往々生セザルアリ、每齒珐瑯質ヲ被ラズ一回脱落スレバ再ビ生ズルナシ、之ニ反シ諸趾ノ鈎爪能ク發育シ攀緣、鑿

鈍口吻類

齶齒アリテ口吻鈍圓ナリ (第一部)鈍口吻類

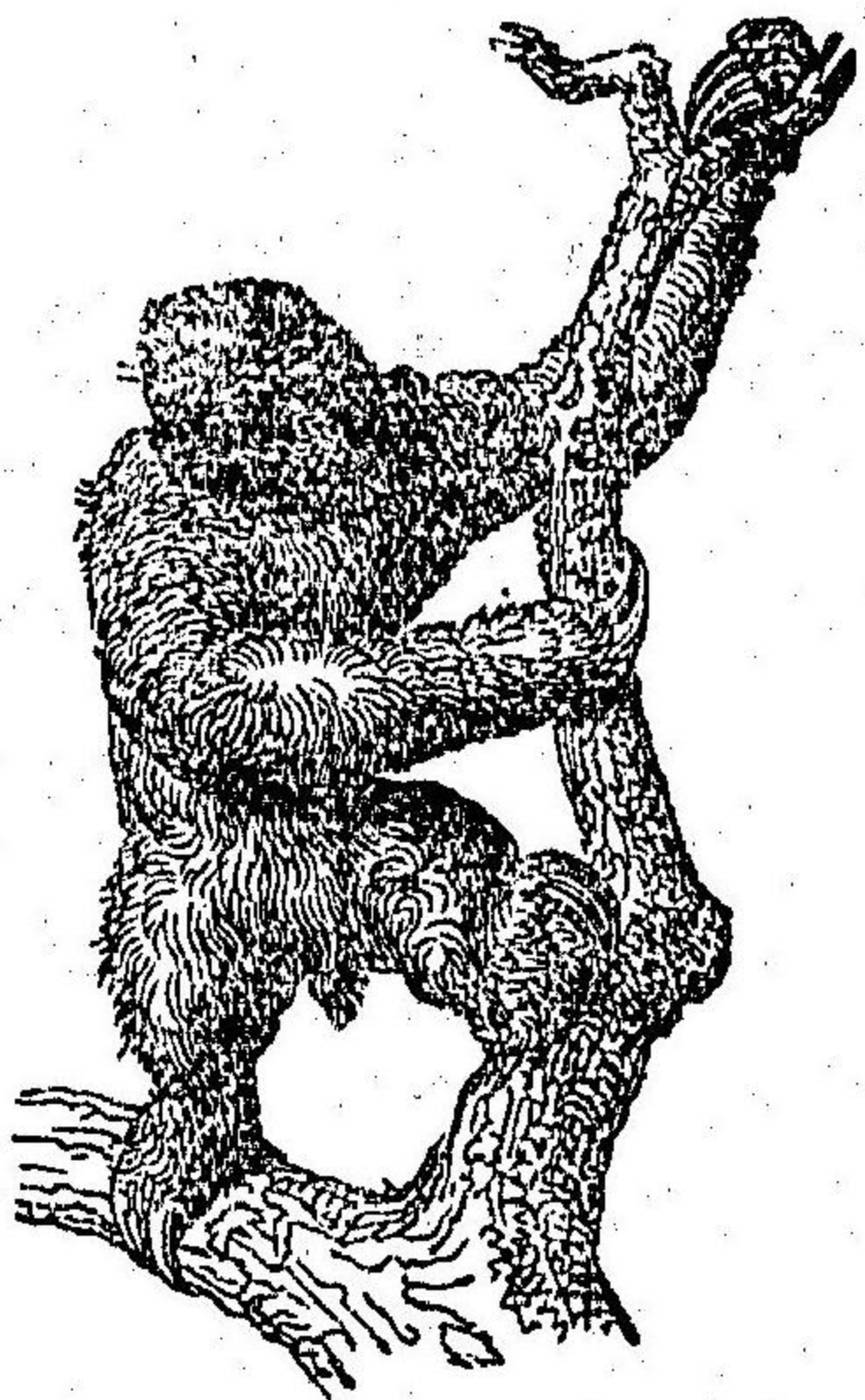
(一)樹懶屬 *Bradys*

樹懶屬

其外貌稍、猿ニ似テ肢ニ三趾アレドモ皮裡ニ隱伏シ長クシテ尖リタル鈎爪ヲ具ヘ体毛長シ南亞米利加ノ寂林中ニ棲ミ樹上ニ生息シ其性頗ル懶惰ナルガ故ニ此名アリ

尖口吻類

第四十五圖 灰色樹懶



○灰色樹懶 *B. pallidus* 体毛灰色ニシテ其大サ狐ノ如シ巴西利ニ産ス

(第二部)尖口吻類

齶齒アリテ口吻尖長

狢狸屬

ナリ

(二) 狢狸屬 *Dasyurus*.

其体肩腰甲及ヒ其中間ニ位シ互ニ相運動スル許多ノ環甲ヲ被フ
リ頭尾モ亦甲ヲ具スルコトアリ蟻、白蟻等ヲ食シ其性甚ダ温順ナ
リ、巴西ニ産ス

○長尾狢狸 *D. longicaudatus*. 身ノ長サ三十一「セ、メ」アリ、長尾ヲ具ス

(第三部) 無齒類

無齒類

齒ヲ生ゼザルモノ

(三) 食蟻獸屬 *Myrmecophaga*.

食蟻獸屬

口吻圓筒狀ヲ爲シ舌圓長ニシ蠕蟲ノ如ク且ツ粘滑ナルガ故ニ長
ク之ヲ口外ニ出セバ容易ニ群蟻ヲ嘗メ身体長ク耳口兩ナガラ小
ナリ

○大食蟻獸 *M. jubata* 背ニ鬣アリ尾長クシテ流蘇狀ヲナス、歩スルニ足部ノ

外端ヲ以テ地ヲ踏ミ鉤爪ヲ内方ニ向ク

(四) 鱗鯉屬 *Manis*.

鱗鯉屬

口小ニシテ滿身鱗ヲ被リ屋瓦狀ヲナス、前後ノ二肢共ニ五趾アリ
尾、体ヨリ長シ

○鱗鯉 *M. orassicaudata*. 体ニ堅鱗ヲ被フリ敵ニ會ヘバ圓球狀ヲナシ其銳當ル

可ラザラシム、其鱗ハ所謂穿山甲ナリ東印度等ニ産ス

(五) 鴨嘴獸屬 *Ornithorhynchus*.

鴨嘴獸屬

口吻ニ廣濶ノ嘴ヲ具シ而シテ該嘴ハ齒ヲ具セズノ角板ヲ有ス、脚尾
兩ナガラ扁平ニシテ趾間ニ游蹼ヲ有ス、此動物ハ「ハリモグラ」ト共
ニ大小便ヲ一口ヨリ排泄スルガ故ニ近時之レガ爲メ特ニ一穴類
ナル一目ヲ設ケ食齒動物ト別ツモノアリ其發育皆下等ニシテ鳥
類ニ近シ

○鴨嘴獸 *O. paradoxus* 尾体ノ長サヲ合計スレバ四十七「セ、メ」ニシテ毛色稍赤色

ハリモグ
ラ属

第四十獸圖



若クハ暗褐色ナリ能ク游泳シ嚙ヲ以テ泥中ノ甲介水蟲類ヲ求ムルヲ鴨ニ似タリ河岸ニ穴洞ヲ穿チテ二道ヲ通シ一ハ水面ヨリ低ク一ハ水面ヨリ高ク開口ス大洋洲ノ産ナリ

(六)ハリモグヲ属 Echidna.

其体狷ニ似テ棘ヲ有シ地中ニ生息スル夜獸ナリ

○食蟻獸 *E. hystrix* 体ノ長サ四十四許リ大洋洲ニ産シ好シテ蟻類ヲ食ス

第八目 單蹄類 *Solidungula*.

巨大ノ動物ニシテ其足常ニ一趾第三趾ノ發育ヲ發生シ所謂蹄ト稱スル爪様体ヲ以テ被包ス又大ナル第三趾ノ他ニ第二、第四兩趾ノ痕趾ヲ見ルヲアリ頂ニ鬣オウギアリ尾ニハ長毛ヲ有シ或ハ其下端ノ

單蹄類ノ
通性

馬屬

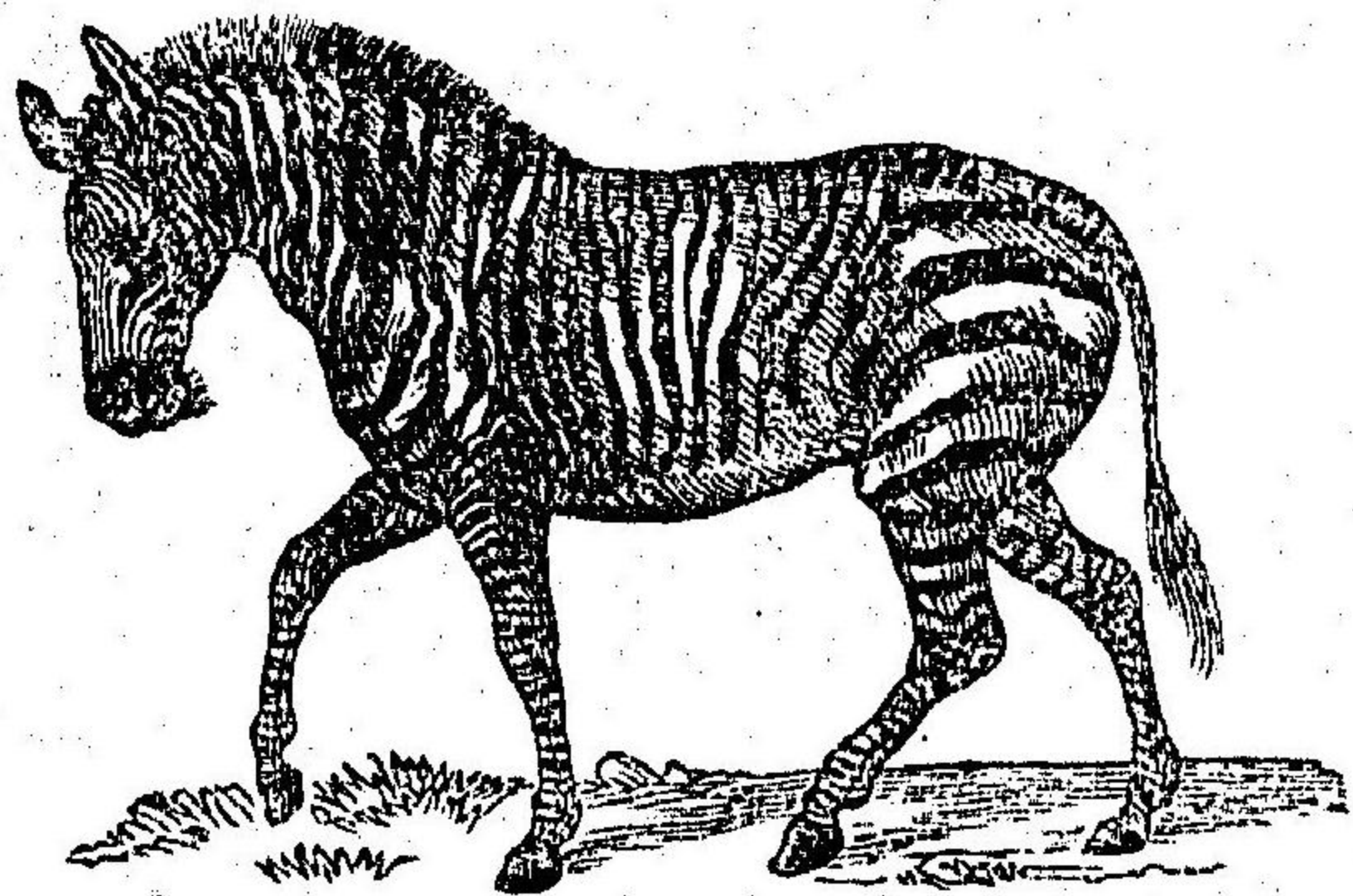
長毛ヲ生ジテ房狀ヲナス者アリ其脚細クシテ乳房ニアリ後腹部ニ位ス性活潑ニシテ智能アリ能ク記憶ス中央亞細亞南亞弗利加等ニ産ス此單蹄類ハ一屬ニ過ギズ
(一)馬屬 *Equus*
切齒三三齶齒六六ナリ牙齒一一ハ甚ダ微小ニシテ多ク牡馬ニ發

馬

○馬 *Equus caballus* 該種ハ尾根ヨリ長毛ヲ生ズルガ故ニ容易ニ他種ト識別スルヲ得ヘシ其生期凡ソ三四年妊娠ノ日數三百五十日ナリ此獸ニ數種アリテ悉ク大ニ人ニ益ス亞刺比亞産ヲ以テ其最良種トス馬ノ蹄ハ切齒ノ更脫等ニ因テト知スルヲ得即チ中央ノ切齒乳齒二枚ハ二年半ニ更脫シ其兩隣ノ二枚ハ三年半又其兩隣ノ二枚ハ四年半ニ更脫ス其他切齒ノ咀嚼面ニ橢圓形ノ凹窩アレハ九年ノ後ニ至レバ磨滅スベシ
○驢 *asinus* 尾端ニ長毛ヲ生ジ鬣林立シ体毛灰色亞細亞ノ暖地ニ産シ性溫和ナリ○馬 *Equus mulus* ハ牝馬ト牡驢ノ間生ニシテ全形馬ニ類ス○馱驢 *Onager*

驢

第四十七圖 斑 驢



Equus ハ 牡馬ト牝驢ノ間生ニシテ驢ニ似タリ○斑驢 *Equus zebra* 豎立シ全身ニ黒褐色ノ斑條アリテ前種ヨリ稍大ナリ南亞弗利加ニ産ス

第九目 雙蹄類又反芻類

Bisulca = *Ruminantia*.

足ニ二趾アリテ蹄ヲ被フリ且ツ大抵稍其上部ニ位スル所ノ假蹄二個ヲ具シ而シテ多クハ上顎ノ

雙蹄類即チ反芻類ノ通性

切齒發生セス○四トナリ牙齒モ亦生セザルコアリテ○一ト爲リ齧齒ハ五五六或ハ七七ナリ其胃多クハ四囊ヨリ成ル即チ(第一)瘤胃ハ食管中ニ開口スル一管ト通シ假ニ細嚼セザル食物ヲ入ル、最大ノ胃府ナリ、(第二)網胃ハ瘤胃ニ接スル一小圓囊ニシテ食物

無角類

ヲ瘤胃ヨリ受容ス而シテ食物其囊ニ入り分泌液ニ浸漬セラル、後嘔吐様ノ作用ニ由テ逆上ス、(第三)瓣胃ハ網胃ヨリ口中ニ還リ來リテ復タビ細カニ咀嚼シタル食餌ヲ受納スル一囊ナリ、(第四)皺胃ハ頗ル腺ニ富ミ專ラ消化ヲ完全ナラシムルモノナリ、凡テ此獸ハ斯ノ如ク必ズ齧草スルガ故ニ又反芻動物ノ名ヲ得タリ而シテ之ニ屬スルモノ多クハ角アリテ角ニ骨角、洞角、骨柱ノ別アリ骨角ハ中實シテ角端分岐シ毎年脱落シテ更ニ新角ヲ生ズ、洞角ハ之ニ異ナリ空洞ニシテ分枝ナク又一度脱却スレハ再ビ生ズルコトナシ、雙蹄類ハ多ク巨大ノ動物ニシテ其性怯懦ナリ一ハ野獸一ハ家畜ニシテ皆植物ノミヲ食シ人類ニ最モ必需ノモノ多シ大洋洲ヲ除ク外宇内之ヲ産セザルノ地ナシ

(第一部)無角類

角ヲ生セザルモノ

駱駝屬

(一)駱駝屬 *Camelus*.

足ニ二趾アリテ蹠ヲ成シ頸曲リ尾短カク耳小サク切齒一三アリ

テ脊ニ一或ハ二ノ肉峯

アリ性溫和ニシテ能ク

重ヲ負ヒ數日間飲食セ

ザルモ能ク使役ニ堪ヘ

毎日數十里ヲ歩ス

○兩峯駱 *C. bactrianus* 體ノ長

サ三百七十六セ、メ高サ百

八十八セ、メ脊ニ二ノ肉峯

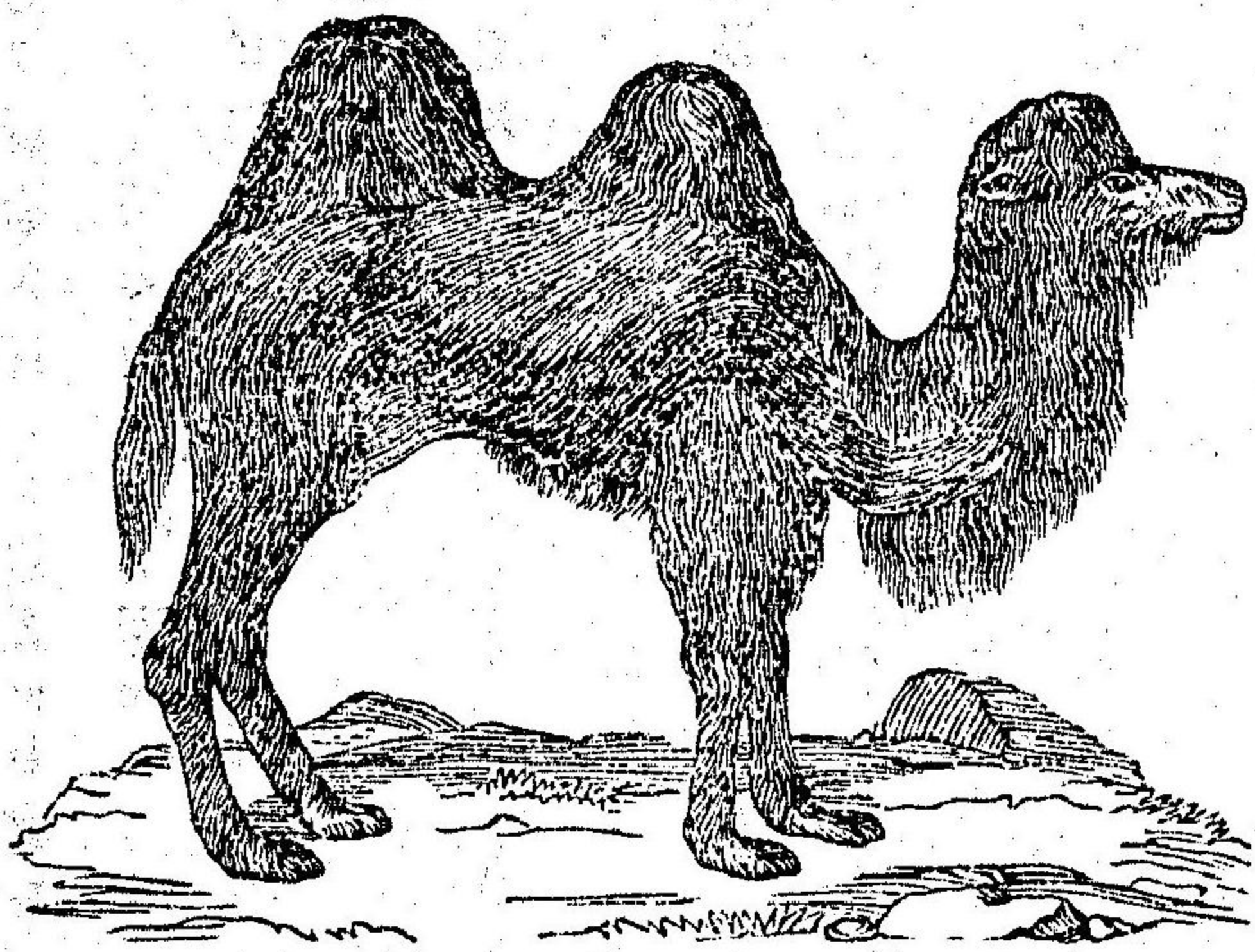
アリ中央及ヒ東亞細亞ニ

産スル至要ノ家畜ナリ其

乳滋養ノ効アリ

○獨峯駱 *C. dromedarius* 脊ニ

第四十號 駱駝圖



一ノ肉峯アリ亞刺比亞人ニ必要ナル家畜ニシテ亞弗利加ノ沙漠ニ於テハ喫緊欠ク可ラザル動物ナリ故ニ土人稱シテ之ヲ沙漠船ト云フ前種ニリ稍小ニシテ大食暴飲ス、乳肉兩ナガラ食料ニ適ス

(二)羊駝屬 *Anchiena*.

全身長毛ヲ被フリ頸聳立ス、南亞米利加ニ産ス

○フマ *A. lama* 大サ鹿ニ似メリ之ヲ飼養シ駱駝ト一般ニ使役ニ供ス

(三)麝獸屬 *Moschus*.

此獸ハ角ナク牡ノ上顎ノ牙齒長ク口外ニ出ツ、双蹄類中最小ノ動物ニシテ牡ハ陰部ト臍間ニ一ノ腺囊ヲ有シ中ニ麝香ヲ分泌スルガ故ニ人爭テ之ヲ捕フ

○麝獸 *M. moschiferus* 其長サ九十セ、メ高サ六十セ、メアリ山ニ棲ミ性怯ナリ、中央亞細亞ニ産ス(八十六丁ノ第五十三圖ヲ見ヨ)

骨柱類

(第二部)骨柱類

哺乳類 雙蹄類又反芻類

骨柱或ハ多ク骨角ヲ有スルモノ

(四)麒麟屬 *Camelopardalis*.

麒麟屬

骨柱ニアリ皮ヲ被フリ前頭ニ骨質ノ一隆起アリ、頸高聳シ背斜ニ

後方ニ下ル

○麒麟 *C. sinica* 全身ニ褐色ノ斑紋アリ其高サ五百六十五「セ、メ」ニシテ諸動物ニ冠タリ、性溫良ニシテ馴レ易ク常ニ小群ヲナス、亞弗利加ニ産ス

(五)麋鹿屬 *Cervus*.

上顎ニ切齒ナク齠齒六六アリ骨角分岐シ牝多クハ角ヲ闕ク概シ林中ニ棲ミ草苔類ヲ食ス肉味美ニシテ毛皮、脂肪、骨角等用

麋鹿屬

第 四 十 九 圖



ヲ賣クルニ由リ人多ク之ヲ捕獲ス

○鹿 *C. sika* 身体黃褐色ニシテ牡ハ角ヲ具ヘ毎歲春ニ至テ脫ス新角ハ當初柔軟ナレモ漸ク堅硬トナリ且ツ老ユルニ從ヒ叉枝ヲ増ス、本邦ノ山中ニ野生ス、此獸ノ肉、角、皮等ハ世ニ賞用セラル○貴鹿 *C. elaphus* ハ前種ヨリ大ニシテ其角モ亦能ク發育シ十六乃至二十ノ角枝ヲ生シ歐羅巴及ヒ暖帶亞細亞ニ産ス (八十六丁ノ第五) ○麋 *C. alces* 其高サ馬ニ齊ク林中ニ棲ミ木皮等ヲ食ス亞細亞歐羅巴ノ北部ニ産シ馴養シ易シ○馴鹿 *C. tarandus* 全體馬ヨリ稍小ニシテ夏灰褐色ノ短毛ヲ被フリ冬白色ノ長毛ニ變ス、寒地ニ群居シ牝牡共ニ角ヲ具ス、性溫順ニシテ馴レ易ク能ク橈等ヲ挽ク故ニ北地ノ人民ニ欠ク可ラザル家畜ナリ、亞細亞歐羅巴ノ北部樺太等ニ産ス

(第三部)洞角類

洞角類

洞角ヲ有スルモノ

(六)カモシカ屬 *Antelope*.

洞角ノ形狀一ナラズ体多クハ肥大ナラズシテ四肢モ亦細ク長シ

カモシカ
風

多ク亞細亞亞弗利加ノ熱地ニ産ス

○カモシカ 又クラシ、A. orissa 全身灰色ニシテ背部ニ微褐色ヲ帶フ洞角
大ナラステ稍、鈎曲ス本邦深山ノ産ナリ(八十七丁ノ第五)
(十四圖ヲ見ヨ)

(七)野羊屬 Capra.

野羊屬

牝牡共ニ洞角アリ側方ニ壓扁セラレ且ツ横襞ヲ具ス、多ク頤ニ鬚
ヲ生シ尾短カシ

○野羊 Capra hircus 諸邦ニ飼養スル家畜ニシテ乳、肉、毛等用ヲ資ク(八十七丁
五圖ヲ)其變生極メテ多シト雖モ最モ有名ナルモノハ、カシミアール野羊、ア
ンゴラ野羊等ナリ、此等ノ毛ハ以テ織物ヲ製スルニ宜シトス○イペクス
C. ibex 歐洲ノ幽峻ナル深山ニ棲ミ飛躍跳攀ニ巧ナリ

(八)羊屬 Ovis.

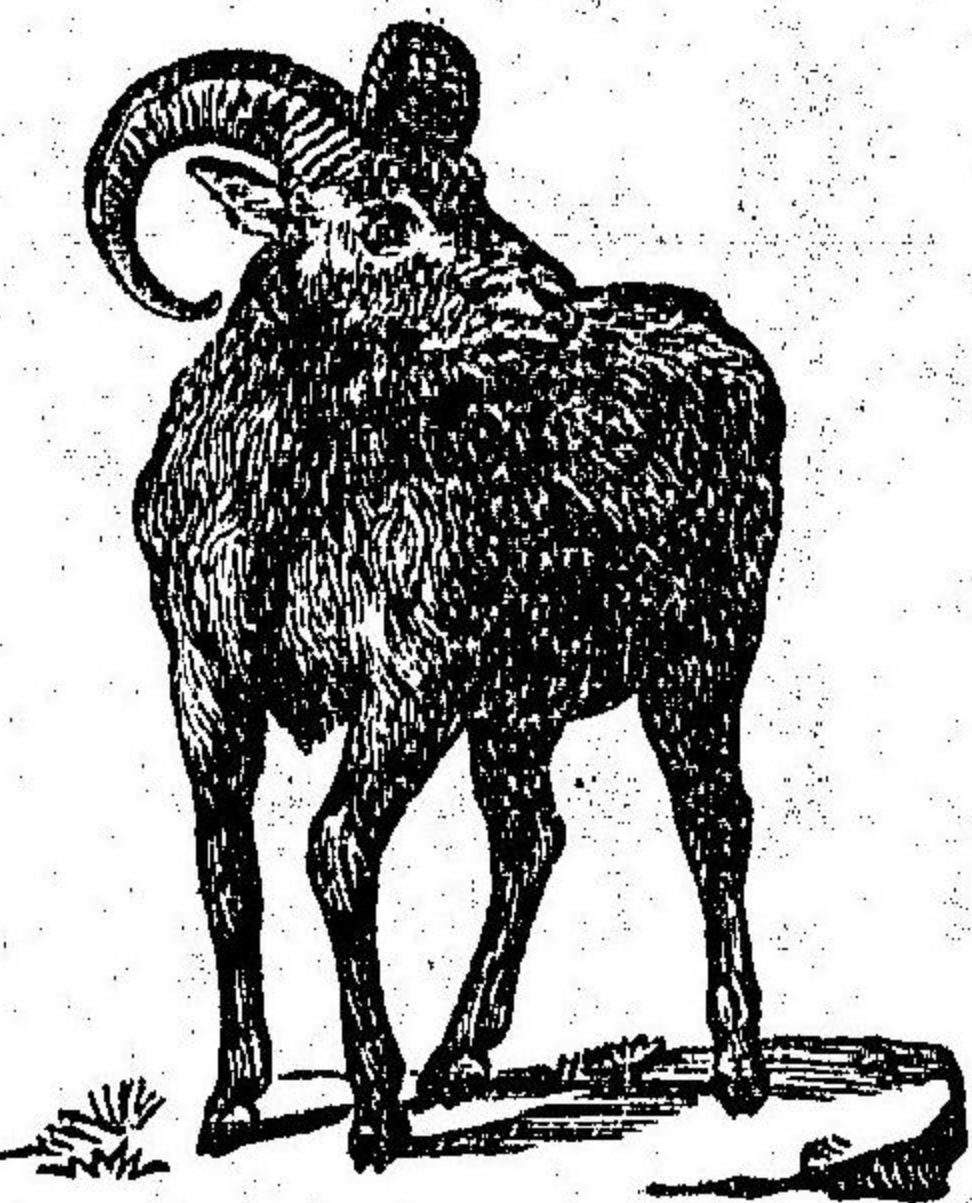
羊屬

身體細長ニシテ脚長ク角ハ三稜形ニシテ横隆起アリ、螺旋狀ニ廻
轉ス常ニ群居シ智力魯鈍ニシテ鬚ナシ

○綿羊 O. aries 此獸ハ蓋シ數種ノ間生ニ係レモノニ似タリ、羅紗等ノ毛織

牛屬

第十五圖

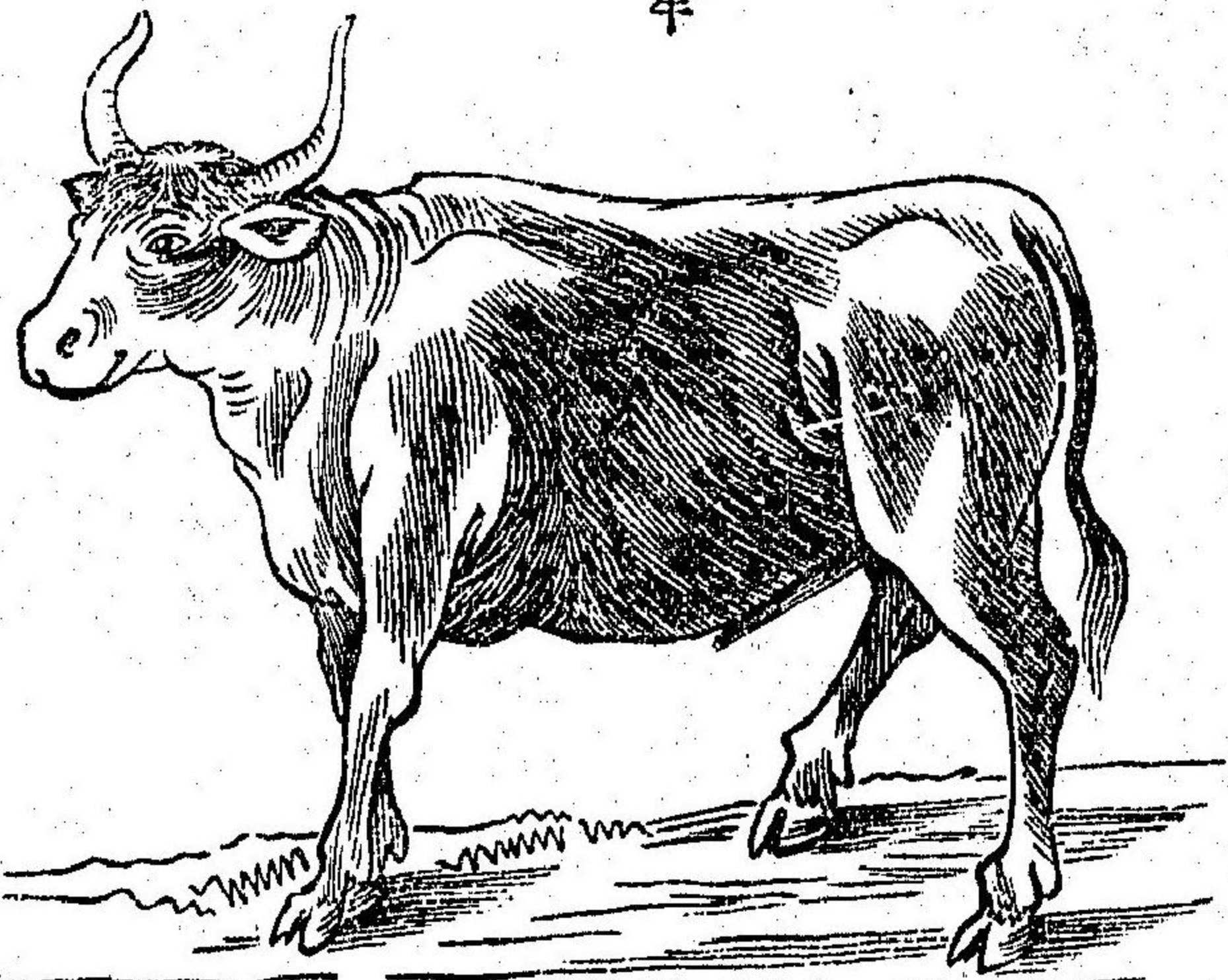


(九)牛屬 Bos.

其鼻喙裸出シ前額平潤ニシテ
頸短カク尾細長ニシテ其端末
流蘇狀ヲ爲ス、牝牡共ニ角アリ
側方ニ挺出シ其端上向ス好テ
草多キ地方ニ群居ス

○牛 Bos taurus 前額廣ク喉ニ垂肉アリ

第十五圖



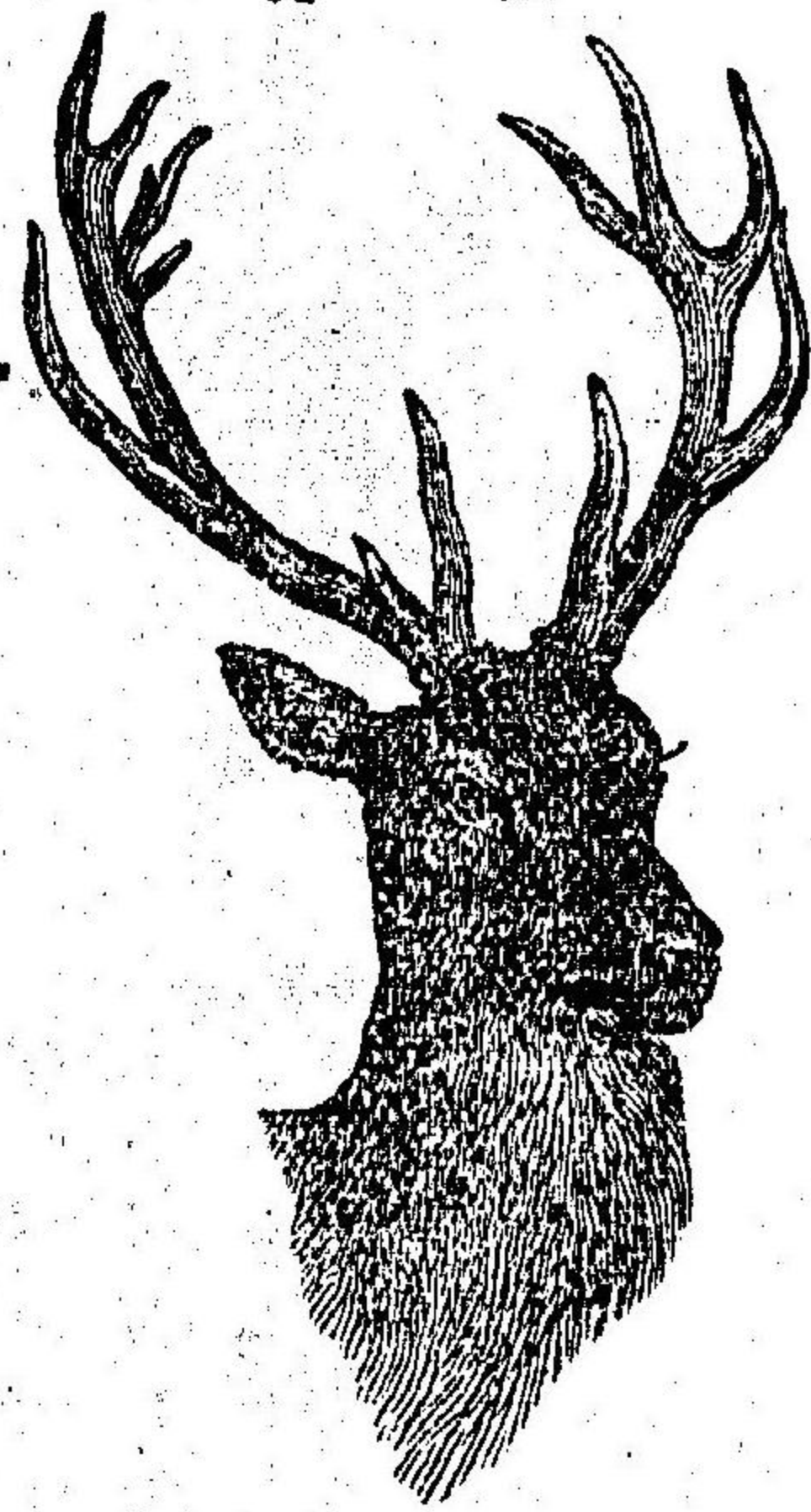
品ヲ製スル爲メ多ク之ヲ畜養ス、
此種類頗ル多ク中ニ就テ西班牙
産ノメリノ羊ハ最良ノ毛ヲ出ス

哺乳類 双蹄類又反芻類

牛

リ此種ハ本ト數種ノ間生ニシテ尙ホ各種ノ變生アリ、一種無角ノ牛ヲ見ル又南亞米利加ニ於テハ野生ニ復セシモノアリ、此獸ハ實ニ人類ニ必需ノモノニシテ馬ト同ク之ヲ耕作ニ用井或ハ貨物ヲ駄シ或ハ車ヲ輓カシ△且其乳其肉頗ル滋養ノ効多キガ故ニ專ラ之ヲ食料ニ供ス皮、骨、臙、角等其用極メテ廣ク血液、尿、糞ノ如キ一トシテ世用アラザルハナシ○水牛 *Bubalus* 其大サ二百五十一「セ、メ」高サ百五十七「セ、メ」身體黑色ニシテ毛疎生シ洞角後方ニ向ヘリ此獸ハ原ト印度ノ産ニシテ體力頗ル強ク能ク使役ニ堪ユルガ故ニ南亞細亞、歐羅巴ノ諸邦ニ於テモ亦之ヲ畜養ス(第五十六圖ヲ

圖二十五第 鹿 貴



圖三十五第



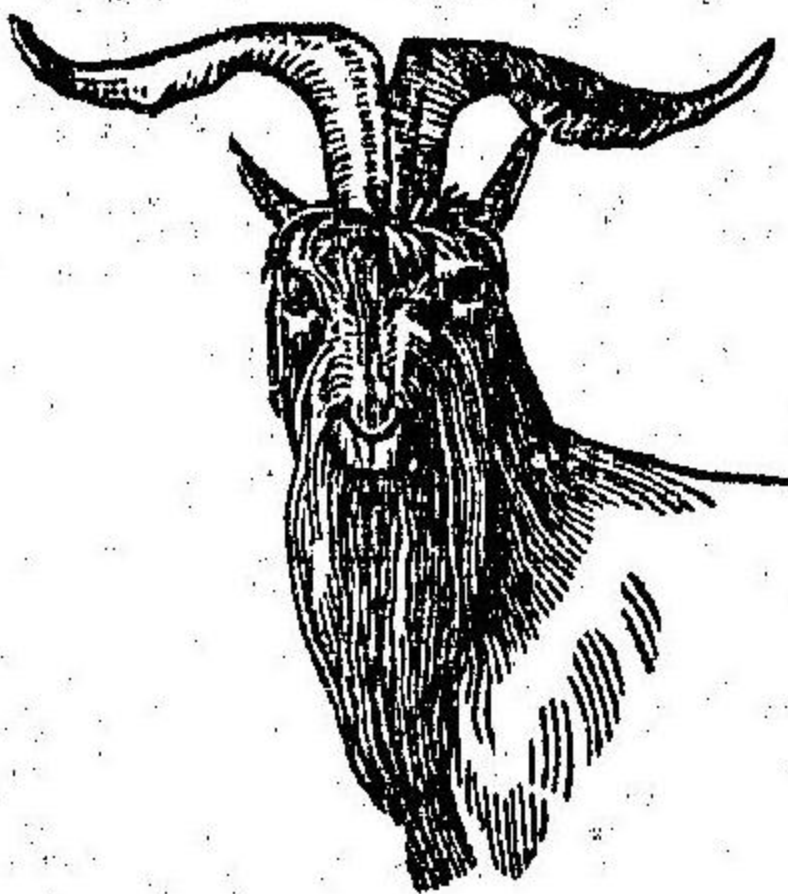
野 獸

圖四十五第

カモシカ



圖五十五第 羊 野



圖六十五第 水 牛



見ヨ○ハラクヤウ カウノカシラ牦牛 *B. grunniens* 胸部ノ毛特ニ長ク尾毛モ亦長シ西藏ノ山中ニ野生スルモノニシテ中亞細亞ニ於テハ之ヲ飼養シ其乳ヲ取リ或ハ之ニ騎シ或ハ之ニ駄ス

第十目 多蹄類又厚皮類 *Miltungula*.

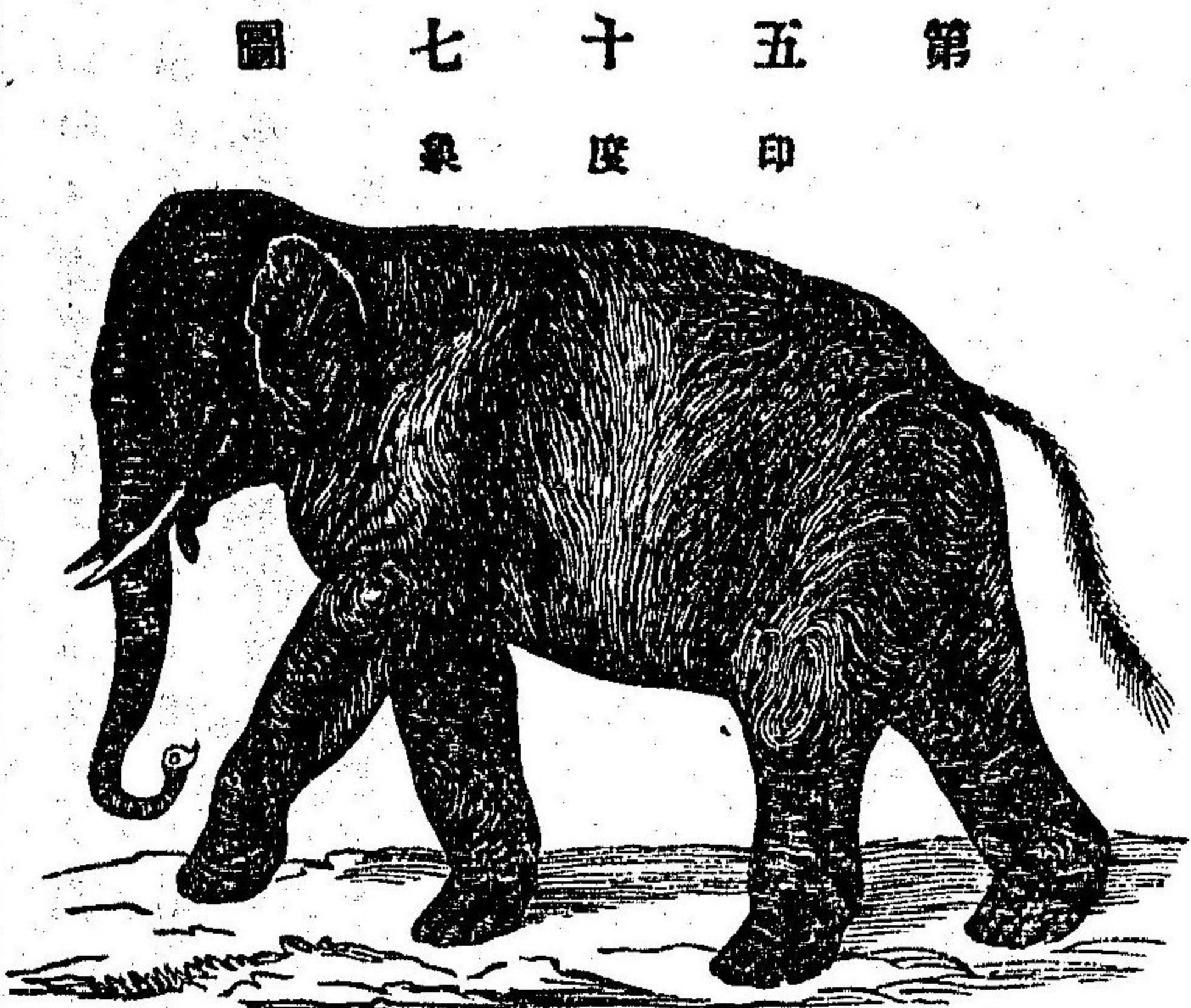
多蹄類ノ 通性
足ニ三乃至五趾アリ、多ク小蹄ヲ具フ身體肥滿シ概テ厚皮ヲ被フリ通常鼻ノ發生頗ル盛ニシ例之ハ象鼻ノ如ク非常ニ延長スル者アリ、此類中ニ陸産動物ノ最大ナルモノ又至要ノ家畜アリ、好ソデ沐浴シ象ヲ除クノ外群居スルモノ稀ナリ

象屬

(一)象屬 *Elephas*.

身体頸共ニ短ク各肢ニ五趾アリテ厚皮ヲ被ル、鼻ハ頗ル延長ニシテ鼻端ニ指狀ノ突起ヲ有シ觸覺ト握擱ヲ職ナド、其齠齒上下共ニ多クハ每側ニ一アリ、上顎ニ牙齒ヲ生シ高サ百二十五乃至百八十八セ、メ重量百乃至二百磅ニ至ル、生期百年餘妊娠ノ日數二十乃至二十二ケ月常ニ植物ヲ食シ性頗ル靈敏ニシテ熱帶地方ニ産シ陰濕ノ地ヲ愛ス

○印度象 *E. indicus* 陸産動物中最大



ノ動物ニシテ高サ二百五十セ、メ重サ一萬磅アリ前額凹陷ノ耳廓短小、人ニ馴レ易シ、前後兩印度ノ産ナリ○亞弗利加象 *E. africanus* 前額突出シ耳廓殊ニ大ナリ、體ノ大サ前種ニ同シク其牙肉等世用ヲ資クル廣キガ故ニ人之ヲ獵獲ス、中南亞弗利加ノ産ナリ

(二)犀牛屬 *Rhinoceros*.

犀牛屬
切齒二三齠齒七七アリ頭長ク鼻上ニ一乃至二角突起シ足ニ三蹄ヲ具ス、性遲鈍ナリ

○亞弗利加犀牛 *Rh. bicornis* 鼻上ニ二角アリ、皮頗ル粗ニシテ樹皮ノ如ク、體長三百七十六、高サ百五十七セ、メアリ南亞弗利加ニ産ス○印度犀牛 *Rh. Indicus* 大サ前種ニ彷彿タリト雖モ其角一ニシテ厚皮ニ深裂アリ、印度地方ニ産ス

(三)河馬屬 *Hippopotamus*.

河馬屬
肢ニ四趾アリテ蹄ヲ具シ上顎ノ切齒鉛直ニシテ下顎ノ切齒水平ナリ老壯ノ牙齒長サ七十八セ、メニ至リ屈曲ス、多クハ水中ニ棲居

シ身體肥滿シテ性愚鈍ナリ

○河馬 *H. amphibius* 其大サ三百四十五乃至三百七十六セ、メ、高サ百八十八乃至二百二十「セ、メ」ナリ、亞弗利加ノ湖河或ハ其近傍ニ棲息ス

(四) 獾屬 *Tapirus*.

前肢ニ四趾後肢ニ三趾ヲ有シ蹄アリ、鼻延長シテ象鼻狀ヲナシ體形豚ニ似テ四肢長ク亞細亞亞米利加ノ林中河邊等ニ生息シ游泳ニ巧ニシテ性温和ナリ

○亞米利加獾 *T. americanus* 體毛灰褐色ニシテ頂ニ短鬣アリ其大サ驢ノ如シ○印度獾 *T. indicus* 前種ヨリ稍大ニシテ體毛黑褐色ヲ呈シ鬣ナシ

(五) 猪屬 *Sus*.

肢ニ四趾アリテ側ノ二趾萎縮シテ後方ニ位シ反芻類ノ如ク假蹄ヲ成ス、切齒ハ三三ニシテ下方ニ向ヒ牙齒一ニシテ口外ニ出テ齧齒七ナリ滿身ニ硬毛ヲ生シ且ツ象鼻形ノ鼻ヲ具シ以

獾屬

猪屬

テ地ヲ堀ル、頗ル不潔魯鈍ナル獸ニシテ貪食ス

野猪

○野猪 *S. leuconyctax* 牡ノ下顎ノ牙齒ハ口外ニ挺出シ牝ノ牙齒ハ口外ニ出

アズ、脊ニ長毛ヲ生シ其怒ルニ當テハ逆立ス故ニ之ヲ怒毛ト稱ス蓋シ怒

毛ハ本ト其毛端ノ分裂シテ錐形ヲナスニ因テ名ヅク、其肉美味ナルガ故

家猪

ニ人多ク之ヲ捕フ、本邦諸山ニ産ス○家猪 *S. scrofa domestica* 本ト前種

ノ人工飼養ニ由リテ變生セシモノニシテ毛色一ナラズ、此獸毎歲二回六

頭乃至十二頭ヲ胎生シ其蕃殖極メテ迅速ナリ、其肉美味ナルガ故ニ多ク

之ヲ人家ニ畜養ス○印度猪 *Porcus habrusa* 上顎ノ牙齒彎曲シテ角ノ如ク聳

立シ下顎ノ牙齒モ亦上方ニ向フ東印度諸島ニ産ス

第十一目 蹄脚類 *Pinipedia*.

本類ニ屬スルモノハ其全體猛獸就中水獺屬ニ相近シト雖モ四肢

蹄脚ニシテ步行握擱等ニ適セザルガ故ニ又大ニ異ナレリ、其切齒

三三ニシテ或ハ二ニシテ上顎ノ兩外側ニ位スルモノ牙齒ノ如ク

能ク發生シ牙齒多クハ口外ニ挺出セシテ稀ニ大ナルモノアリ

蹄脚類ノ
通性

海豹屬

第五十八圖 海豹



齧齒、假齧齒等ノ別ナク皆殆ント一様形ナリ、鳍脚ハ短クノ趾間ニ
 蹼アリ且ツ鈎瓜ヲ具ス、體ニ短毛密生シ髭
 髯強硬ナリ、腹部ニ二乃至四乳房アリ、多ク
 ハ耳廓ヲ欠ク、彈力性ノ軟骨ヲ以テ鼻孔ヲ
 閉塞シ筋力ニ藉テ開口ス、全地球上ノ諸海
 ニ産シ殊ニ寒帯ニ多シ魚介類ヲ食シ常ニ
 群居シ性甚ダ活潑ナル夜獸ニシテ日中陸
 ニ上リ兒ヲ哺乳ス、其毛皮脂肪等世用ヲ資
 クル甚ダ廣シ

(一)海豹屬 *Phoca*.

耳廓ナク切齒三二齧齒五五アリ、前肢ノ諸
 趾長サ相同シク後肢ノ中趾最小ナリ、蹠蹠
 兩ナガラ茸毛ヲ産ス

海馬屬

第五十九圖 海馬



○海豹 *Ph. vitulina* 體毛黃灰色ニシテ冬ハ白色ニ變シ長サ九十四乃至百二十
 五センチメートル地中海、冰海等ノ産ニシテ北海道ノ近海ニモ亦産ス

(二)海驢屬 *Otaria*.

短キ耳廓ヲ有シ前肢ノ諸趾ハ厚皮ヲ
 以テ被包シ蹠ヲ裸出ス

○海驢 *O. stelleri* 體毛白色或ハ黒色ニシテ
 一ナラス晴天ノ日岩上ニ群集ス、本邦ノ産
 ナリ其一種臘胸獸ハ頭圓ク眼大ナリ、北海
 道ニ産ス

(三)海馬屬 *Hippocampus*.

上顎兩外側ノ切齒長ク發生シ上牙齒
 口外ニ挺出シ其狀恰モ象牙ノ如シ

○海馬 *H. posidonius* 體毛黃褐色ニシテ身ノ長
 サ多クハ四百七十二至ル性情懶惰ナリト雖

凡人之ヲ捕獲セントスルキハ能ク防禦シ殊ニ兒ヲ携フル時ハ其勢最モ恐レベシ、昆布魚類ヲ食シ其肉美味ニシテ食料ニ可ナリ、牙齒モ亦水象牙ト稱シ彫刻器具ノ用ニ供ス、北海ノ産ナリ

第十二目 游水類 Natantia.

游水類ノ
通性
前肢ハ鳍ニシテ後肢ヲ欠ク尾鳍水平ニ横ハリ耳廓ヲ具セス、其齒ハ諸屬一ナラス、海牛類ハ乳齒能ク發生シ鯨魚類ハ齒アリト雖モ胎兒ノ時ニ落脱シ爾後角板ヲ具シ海豚ノ如キハ小齒數十枝ヲ連生ス、身體巨大ナルヲ哺乳動物ニ冠タリ、常ニ水中ニ棲ミ陸ニ上ルモノ殆ンド罕ナリ、全地球上ノ諸海ニ産シ其大ナル者ハ大洋ヲ游泳シ其小ナル者ハ近海ヲ游行シ江河ニ溯ルヲアリ、游泳極メテ迅速ニシテ大氣ヲ呼吸スルガ爲メニ時々海面ニ浮沈ス、海牛類ハ體ニ茸毛ヲ疎生シ鯨魚類ハ初生ノ時或ハ畢生僅カニ上唇ニ毛ヲ見ルノミニシテ全身ヲ裸出ス、皮下ニ脂肪層ヲ具シ一ハ體温ヲ防護

海牛類又
食草類

シ一ハ比重ヲ輕クシテ游泳ヲ自在ナラシム、二乳房アリテ胸部若クハ後腹部ニ位シ毎回一兒(罕ニハ二兒)ヲ胎生シ動植ノ二物ヲ食ス

(第一部)海牛類 又 食草類

鼻孔口吻ノ尖端ニ開口シ其厚唇ニ鬚髯アリ、乳房胸鳍間ニ位シ性魯鈍ニシテ貪食ス、熱國ニ産シ其肉食フニ可ナリ

(一)海牛屬 Manatus.

海牛屬

切齒一〇ニシテ頸椎六個ヲ有シ、前肢ニ爪ノ痕跡四アリ、尾鳍圓シ

○海牛 *M. australis* 體ノ長サ通常百五十七乃至二百八十二セ、メニ稀ニハ六百二十七セ、メニ至ルヲアリ、同類相親睦シテ閑靜ナル淺水中ニ群睡シ南亞米利加ノ江河ニ産ス

(二)儒艮屬 Halicore.

儒艮屬

切齒ハ上顎ノ兩側ニ三、中顎ノ兩側ニ一アリ牡ニ於テハ牙ノ如ク

發生シ頭部圓形ヲ呈シ全身軟毛ヲ生ズ海藻ヲ食トス

○儒艮 *H. cetacea* 體ノ長サ二百五十乃至三百十四「セ、メ」アリ獨リ海藻ヲ食シ其肉ハ食料ニ供スベシ印度海ニ産ス

(第二部)鯨魚類 又 食肉類

鯨魚類又食肉類

鼻孔驢頂ニ開口シテ所謂噴水孔ヲ成形シ體ニ茸毛ナク表皮厚クシテ頗ル脂肪ニ富メリ、口殊ニ大ニシテ主トシテ魚介ヲ食シ海中ニ群居ス

(三)海豚屬 *Delphinus*

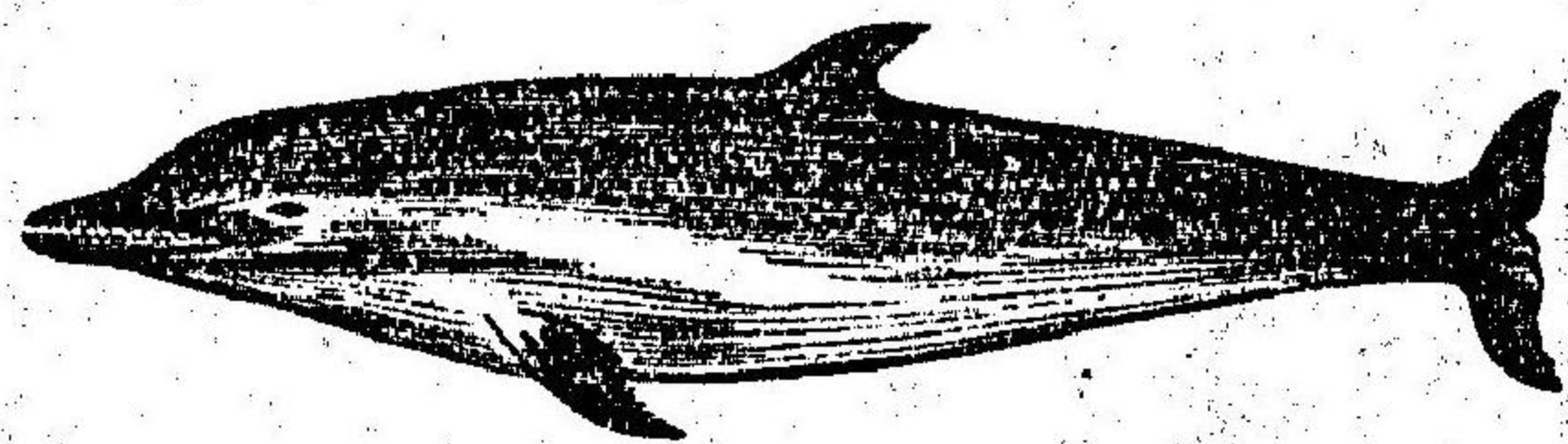
海豚屬

齒悉ク圓錐形ヲナシ頭ニ一ノ噴水孔アリ、其背鰭ハ體ノ中央ニ位ス游泳自在ニシテ大ナル獸魚モ亦能ク之ヲ咬捕シ常ニ貪食ス幾ンド全地球ノ諸海ニ産ス

○海豚 *D. longirostris* 背部黑色ニシテ長サ二百「セ、メ」餘アリ、嘴細長ニシテ上下共ニ小齒五十六枚ヲ具シ常ニ群居ス、其肉美味ナラサルモ亦食料ニ供シ、其

一角魚屬

第六海 豚 圖



脊ヲ以テ燈油ヲ製ス○スナメリ *D. melas* 背部黑色ニシテ嘴ナク圓頭小眼ヲ具有ス○ゴトウクヅラ *D. (Phocaena) globiceca* 其全形略ホ「スナメリ」ノ如シト雖モ背鰭ヲ具シ猶大ナリ○サカマタ *D. (Ph.) orca* 其大サ六百「セ、メ」背鰭直立シテ倒載ニ似タルガ故ニ此名アリ、齒頗ル堅硬ニシテ猛獸ノ相ヲ表シ多量ノ膏ヲ有ス、以上皆本邦ノ産ナリ

(四)一角魚屬 *Monodon*

上顎ニ突齒二枚アリト雖モ大抵右ノ一齒(雌ハ兩齒共ニ)萎縮シテ殆ンドナキガ如ク之ニ反シテ左ノ一齒能ク發育シテ長ク前方ニ挺出シ恰モ角ノ如ク且ツ螺旋狀ノ溝ヲ有ス、頭蓋ハ海豚ノ如ク噴水孔ハ一ニシテ半月狀ヲナス

○一角魚 *M. monoceros* 體ノ長サ六百二十七、突齒ノ長サ三百「セ、メ」餘ニシテ其

齒質象牙ノ如シ其肉ヲ食料ニ供ス北氷海ノ産ナリ

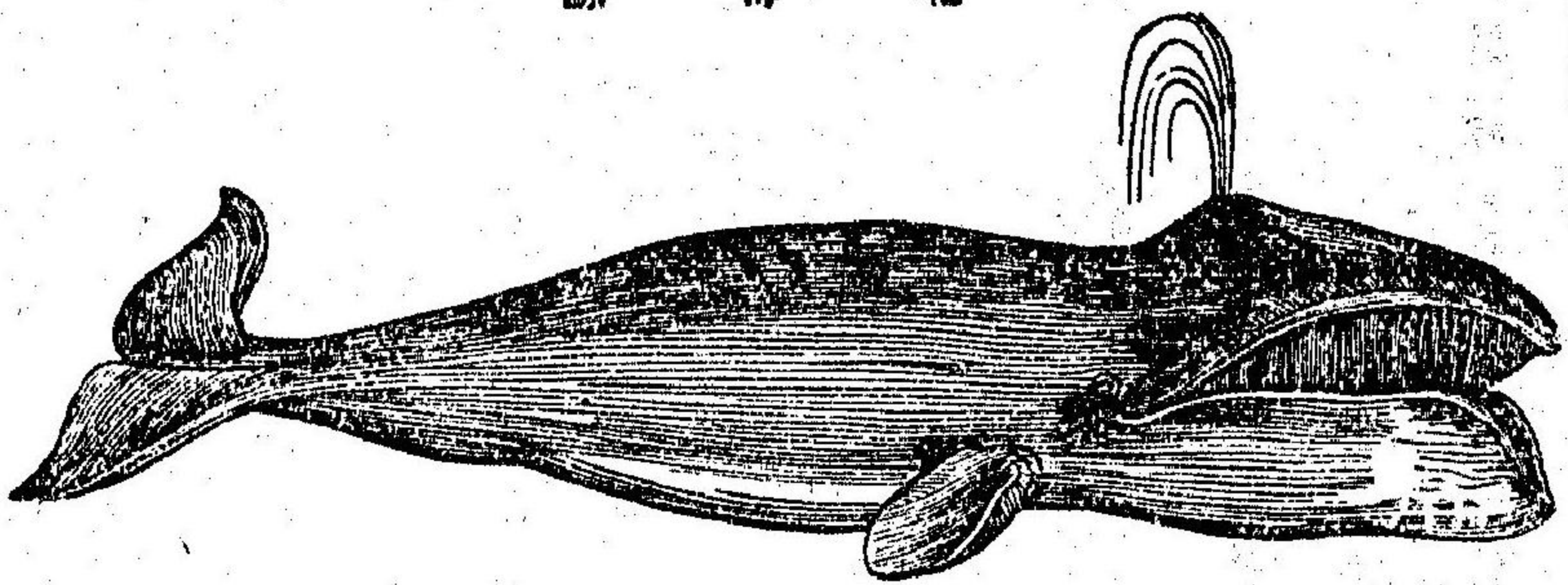
(五)真甲鯨屬 Physeter.

頭ノ幅高サニ超ヘ前頭鈍圓ナリ、全身鯨魚ノ如ク噴水孔一ニシテ上方ニ位シ、下顎狹小ニシテ齒ヲ具シ、上顎大ニシテ之ヲ蓋フ、頭ニ軟骨洞アリ、其中ニ油様ノ半液體ヲ貯蓄シ、其液死後凝結シテ鯨蠟 (Cetaceum) ヲ形成ス、之レヲ精製スレバ白色鮮明無臭無味トナリ傍ラ黄色ノ鯨腦油ヲ産ス、又腸管膀胱等ノ中ニ香氣ヲ放ツ小塊アリテ往々海岸ニ漂着シ或ハ海上ニ浮游スルヲアリ、之レヲ「アムブラ」(Ambr) ト名ケ香料ニ供シ烟草等ニ供用ス

○真甲鯨 イッカク 鯨魚 *Ph. macrocephalus* 大サ千八百乃至二千二百セ、メニノ牝ノ大サ其中ニ居ル其頭體ノ三分ノ二ヲ占メ海産動物殊ニ頭足動物ヲ食トス、太平洋及ヒ大西洋ニ群集シ鯨蠟及ヒ多量ノ膏油ヲ有ス

(六)海鬚屬 Balaena.

第六十北一鯨圖



上顎ニ數百枚ノ櫛齒相連ナル所ノ角板アリ、以テ齒ニ代フ、俗ニ鯨鬚ト稱スルモノ即チ是ナリ、其鬚兩側ニ二列シ其根ヲ口蓋上顎等ニ發シ前後ノ兩方ニ至リ漸ク短縮ス、該獸一トタビ口ヲ開ケバ數百ノ水母、蝦蟹、小魚等一齊ニ口中ニ奔入ス其鬚恰モ篩ノ如キ作用ヲナシ水ヲ漉出シ養料ノミヲ嚥下ス其眼甚ダ小ニシ且ツ口ニ近接シ噴水孔ニアリ

○セミクヰラ *B. antarctica* 其大サ二千セ、メニ全身黒クノ腹部白ク頰ル脂肪層ニ富ミ鯨魚中ノ上等ニ位スルモノナリ、本邦南海ニ産ス ○北海鯨 *B. mysticetus* 体ノ長サ千五百乃至二千ニ

百、セ、メ其周圍九百乃至千二百、セ、メニモ諸動物ニ冠タリ、多ク北海ニ産シ
土人ニ必要ナル動物ナリ

(七) 鯨鯨屬 *Balaenoptera*.

鯨鯨屬

鯨鯨アリト雖凡前種ノ如ク發育セス、背鰭一、噴水孔ニアリ、身體細
長ニシテ腹部ニ許多ノ縱溝アリ

○ 鯨鯨 *B. arctica* 其大サ一千「セ、メ」ニ近カク其膏肉前屬ヨリモ劣ル、善ク鯨魚
ヲ近海ニ驅逐シ來リテ大ニ漁者ヲ利ス、本邦ノ諸海ニ産ス○ザトウクジ
ヲ *B. antarctica* 其大サ一千「セ、メ」餘全身黒色ニシテ腹部ハ淡黄色ヲ呈シ胸尾
ノ兩鰭ニ瘤ヲ具ス、本邦ノ産ナリ

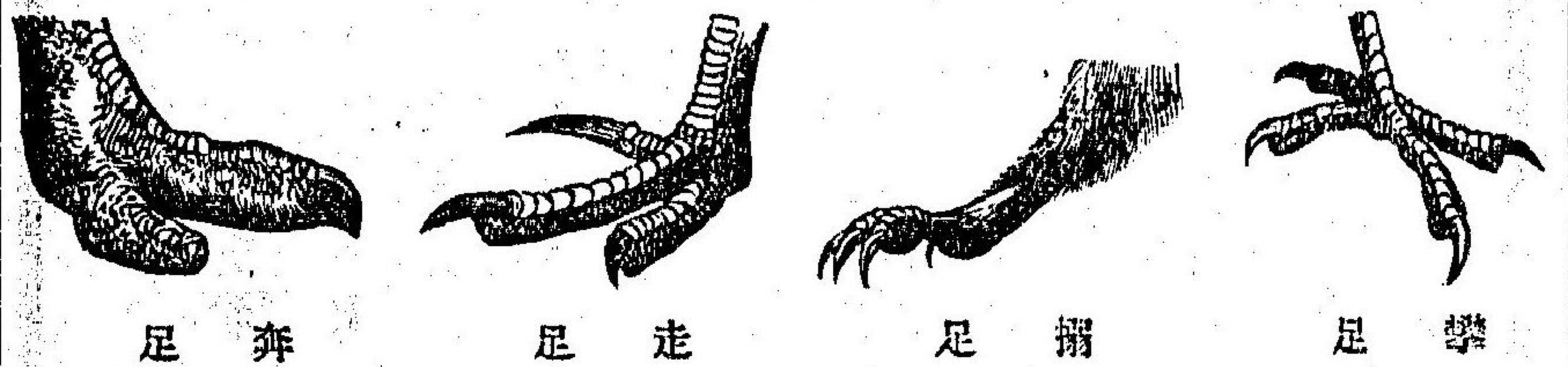
第二綱 禽鳥類 *Aves*.

鳥ハ哺乳動物ニ同ク血液殷紅ニシテ其温度高ク心臟ノ心耳及心室
各々ニアリト雖凡哺乳動物ト異ナル所以ハ卵生シ嘴ヲ有シ且ツ
羽翼ヲ具ヘテ能ク大氣中ヲ飛翔スルニアリ、凡ソ鳥ハ堅硬ノ外殼

禽鳥類ノ
通性

ヲ有スル卵ヲ産シ之ヲ孵化ス而シテ之ヲ孵養スル期ハ同シカラズ
ト雖凡概ノ二週間乃至三週間トス其羽ノ中心ニ幹管ヲ具フ之ヲ
翹ト曰フ左右ニ枝ヲ分生シ每枝又小枝ヲ生シ小枝交錯連着シテ
一面ヲ構成ス、之ヲ翹ト曰フ、羽ニ三種アリ、長大ニシテ其質勁直枝々
密接スルモノヲ翹ト曰ヒ、勁直ニシテ枝々有セス嘴根等ニ生スルモ
生スルモノヲ翹ト曰ヒ、勁直ニシテ枝々有セス嘴根等ニ生スルモ
ノヲ毛ト曰フ、翹ハ多ク翹ヲ覆ヒ鳥身ヲ文飾シ一定ノ順列ヲナス、
翹中殊ニ長大勁直ニシテ前肢ヨリ生シ翼ヲ構成スルモノアリ、之
ヲ翼翹ト曰ヒ、尾部ニ生シ尾ヲ構成スルモノヲ尾翹ト曰ヒ、短小ニ
シテ全體ヲ被覆スルモノヲ翹ト曰フ、翼翹ノ手ヨリ生ズルモノ
ヲ手翹ト曰ヒ、腕ヨリ生スルモノヲ腕翹ト曰フ、羽ハ翹ヲ除クノ外
毎歳少ナクモ一回更代ス、體中諸部ニ氣囊アリ肺ト相融合シ骨中
髓質ナク中空ニシテ肺ヨリ大氣ヲ通シ飛翔ノ際身ヲシテ矯輕ナ

圖 二 十 六 第

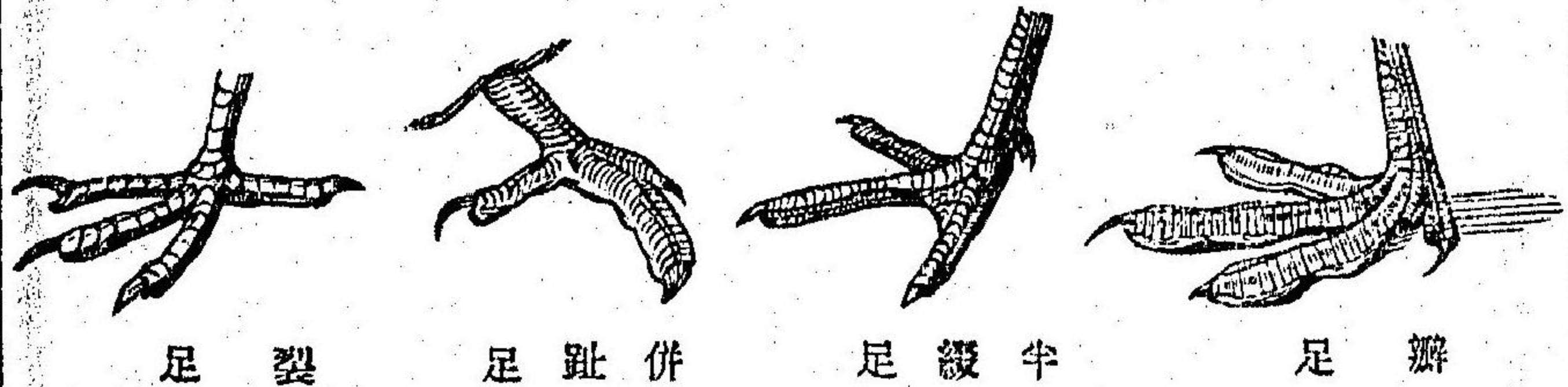


足 奔

足 走

足 擗

足 攀

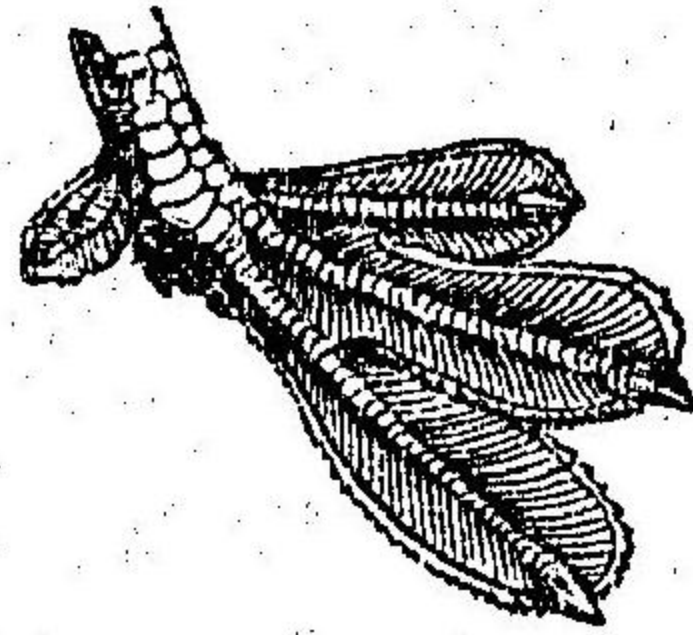


足 裂

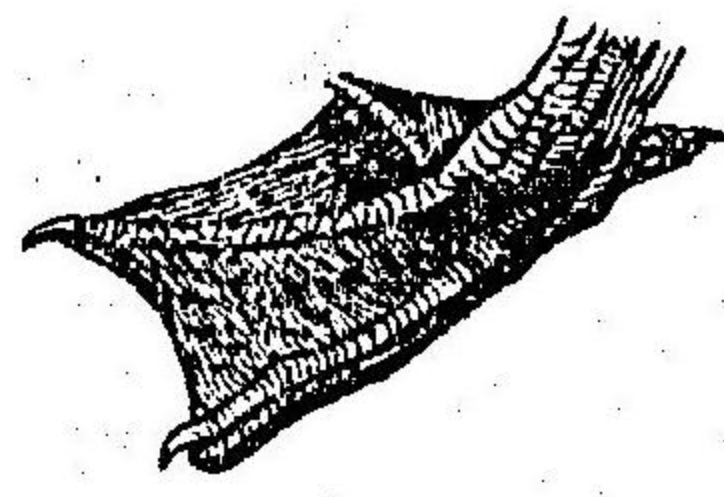
足 趾 併

足 緩 半

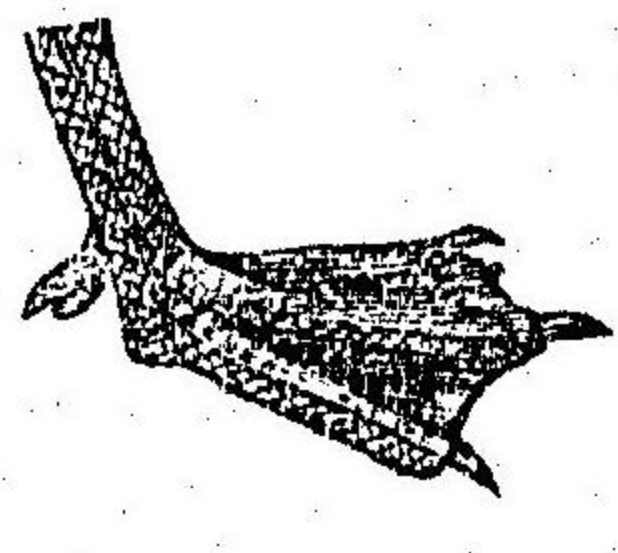
足 瓣



足 泳 裂



足 槽



足 泳

ラシム
地上ヲ
行クニ
ハ歩行
スルモ
ノアリ
跳飛ス
ルモノ
アリ、又
氣囊ヲ
有セズ
翼短
小ニシ
テ飛行

スルコト能ハズ僅ニ兩翼ヲ鼓シテ疾行ヲ助クルモノアリ、又樹木
ヲ攀ヅルニ當リ嘴及ヒ尾翼ヲ用井テ攀緣ヲ助クルモノアリ、喙木
鳥ノ類是レナリ、後肢下腿ノ下端ヨリ走脚骨ト稱スル一長骨起リ
テ所謂走脚ヲ構成シ其下端ハ趾(前趾三、後趾一ヲ常トス)ニ接着ス
陸禽ノ脚ハ全体ノ中央ニ位シ水禽ノ脚ハ其位置體後ニ偏ス、脚ノ
羽毛下腿骨ノ半ニ至ルモノ之レヲ涉脚ト曰ヒ、羽毛叢生シ走脚ノ
下部ニ至ルモノヲ行脚ト曰ヒ、涉脚ニシテ走脚ノ長サ胴ノ長サニ
過キ若クハ其長サ胴ニ等シキモノヲ竿脚ト曰フ
趾ノ構造ハ各異ナリ其異ナルニ從ヒ足ニ左ノ名稱アリ
奔足(駝鳥)、走足(食火鷄)、擗足(壁燕)、攀足(啄木鳥)、裂足(鳩)、併趾足(魚狗)、半
綴足(田計里屬)、瓣足(骨頂秧鷄)、裂泳足(鴈)、槽足(喉囊雁)、泳足(鴈)其他
裂足ノ如クコシテニ外趾間ノ起根部ニ連膜ヲ張ルモノヲ行足(鷺)
ト稱シ、行足ニシテ三趾間ノ起根ニ連膜ヲ具スルモノヲ坐足(猛禽)

鷄屬ト稱ス

嘴趾及ヒ鉤爪ノ造構如何ニ由リテ左ノ八目ヲ類別ス

第一部 氣禽類

(第一目)猛禽類

嘴及ヒ趾爪ハ鉤曲シ嘴根蠟膜ヲ被ル

(第二目)燕雀類

嘴ハ蠟膜ヲ欠キ足ハ擲足、行足等一ナラズ、鳴機ヲ有スルモノ多シ

(第三目)攀禽類

其嘴強且大ニシテ形狀各異ナリ、攀足ヲ具フ

(第四目)鳩鴿類

鼻孔ノ週邊ニ軟膜アリ、裂足ニシテ後趾地ヲ踏ム

第二部 陸禽類

(第五目)雉鷄類

禽鳥ノ分
類及其特
徴

禽鳥類兒
雛ノ特性

上嘴ノ縁ハ下嘴ヲ覆フテ下垂シ、坐足ニシテ短キ連膜ヲ有ス

(第六目)走禽類又駝鳥類

翼短小ニシテ飛翔スルコト能ハズ、奔足或ハ走足ヲ具ス

第三部 水禽類

(第七目)沼禽類 又 涉禽類

他ノ諸局部ニ比スレハ脚甚タ長ク涉脚ヲ有ス

(第八目)游禽類

蹼ヲ以テ趾間ヲ連綴スルモノアリ或ハ皮狀ノ瓣ヲ具フルモノアリ

第一目ヨリ第五目ニ至ル雛ハ卵殼ヨリ出ヅルモ眼瞼ヲ閉ヅ

第六目ヨリ第八目ニ至ル雛ハ卵殼ヲ脱出スレバ眼瞼ヲ開放シ多

クハ行動意ノ如シ而ノ母鳥ハ食ヲ啄啣シ來リテ雛ヲ呼ビ之ヲ哺

餌シ又時々之ヲ集メテ温覆シ之ヲ教諭シ又能ク之ヲ護衛ス

候鳥、轉鳥、留鳥ノ區別

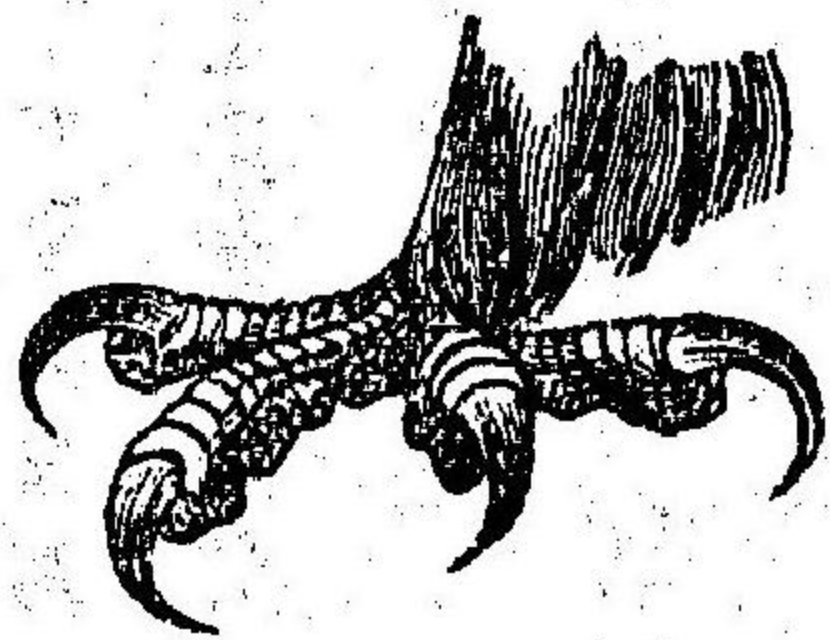
凡ソ鳥ニ候鳥、轉鳥、留鳥ノ三種アリ(第一)候鳥ハ一地方ニ駐在セズシテ季候ノ變遷ニ應シ地ヲ轉ズル者ナリ、鴻鴈ノ秋來リテ春歸リ、燕ノ春來テ秋去ル是ナリ、其他鶯、鶺鴒、杜鵑等皆候鳥ナリ(第二)轉鳥ハ四季ニ係ハラズ餌食ヲ獲ントシテ飛動スル者ニシテ白頸鳥、エナガ、鵲、花鷄等之ニ屬ス(第三)留鳥ハ常ニ一地方ニ滞在スルモノヲ云フ雀、鴉、松鷄等即チ是ナリ

第一部 氣禽類

第一目 猛禽類 *Raptatores*

三趾ハ直前ニ向ヒ一趾(即チ拇指)ハ後邊ニ位シ皆鈎曲セル銳爪ヲ具フ之ヲ猛足ト云フ、其翼實ニ壯大ニシテ上嘴ノ曲鈎殊ニ銳ク肉ヲ裂クニ便ニス、其性鮮肉ヲ嗜ミ又饑肉ヲ食ス、而シテ其吞下シタル骨羽毛ノ如キ不

第三十六圖 猛足



猛禽類ノ通性

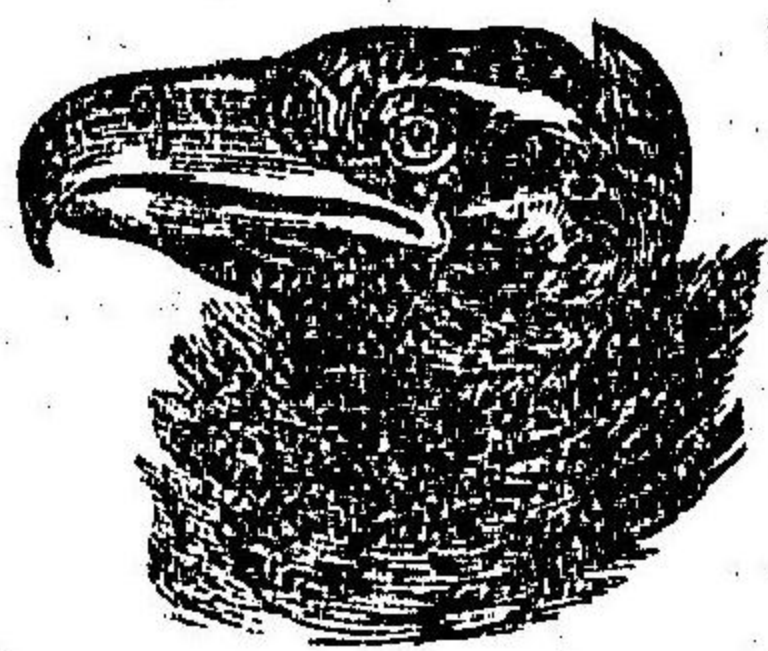
消化物ハ時々小團塊ヲナシテ吐出ス世人之ヲ毛玉ト云フ、雌ハ雄ニ比スレハ其體肥大ナルモノアリ、双棲シ又多クハ散居ス

(一)兀鷹屬 *Vultur*

頭部小ニシテ多クハ裸出シ罕ニ鬃羽ヲ被ムルモノアリ、常ニ群飛シ多クハ饑食ヲ嗜好ス、亞細亞、亞弗利加、歐羅巴ノ產ナレド本邦此類ヲ產セズ

○灰色兀鷹 *V. cinereus* 亞弗利加、南歐等ニ産スル大鳥ナリ

第四十六圖 灰色兀鷹



(二)握鷹屬 *Sarcorniphus*

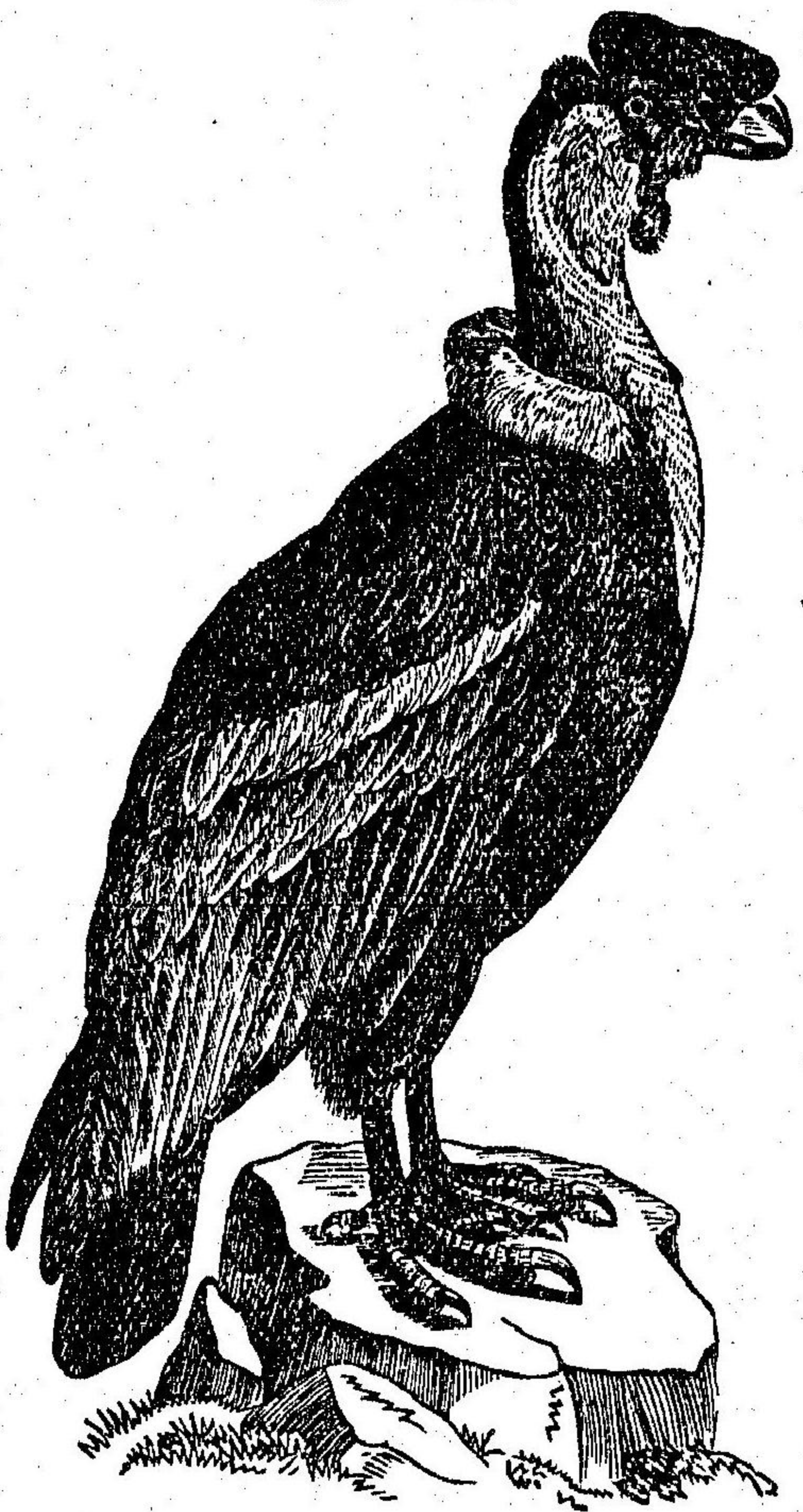
頭及ヒ頸ノ上部ヲ裸出シ嘴ノ尖端大ニ屈曲シテ殆ンド鈎ノ如シ、嘴ノ基礎部及ヒ前頭部ニ肉冠ヲ具ヘリ

○握鷹 又 *Sarcorniphus* 公佐兒 *Egyptus* 體色黒クノ白色ノ頸帶ヲ有シ且翼端モ亦白色ヲ呈ス、肉冠ハ鼻部ヲ覆ヒ咽喉部ニ許多ノ肉隆起アリ、全身ノ大サ百二十五

握鷹屬

兀鷹屬

第六十五圖 鷹



「セ、メ」ニシテ翼ヲ張レハ三百乃至三百七十六「セ、メ」ニ至ル其大サ飛翔禽ニ冠
タリ、南亞米利加ニ産シ、シンボラツ山(高サ一里二十余丁)ヨリモ高ク飛翔
ス

(三)鷹屬 Aquila.

嘴壯大ニシテ其根部正直ナレモ中央ヨリ鈎曲シテ尖端ニ至ル、其

鷹屬

翼長クシテ殆ド尾端ニ達シ脚大ニシテ羽毛ヲ被ル、鷹屬ハ鷹屬ニ
比スレハ性悍猛ニシテ能ク大ナル動物ヲ攫食ス

○狗鷹 *A. chrysaëus* 其大サ殆ンド百「セ、メ」兩翼ヲ張レハ二百「セ、メ」餘アリ全
身暗褐色後頭頂等々暗赤色ヲ呈シ尾根白シ北亞細亞北亞米利加及ヒ獨
乙等ニ産ス○王鷹 *A. imperialis* ハ頗ル威容アルガ故ニ諸國之ニ象トシテ國
旗徽章等ニ用ユ南歐ノ産ナリ○角鷹 *A. (Spizastus) niphalensis* 耳部ニ長羽聳立
シテ角ヲ成ス故ニ此名アリ

(四)卷鷲屬 Haliaeetus.

嘴甚タ高クシテ翼長ク且ツ尖レリ尾廣ク羽毛脚ヲ覆ヒ殆ド半バ
ニ至ル鈎爪扁平ナリ

○卷鷲 *H. pelagicus* 狗鷹ヨリ較大ナリ

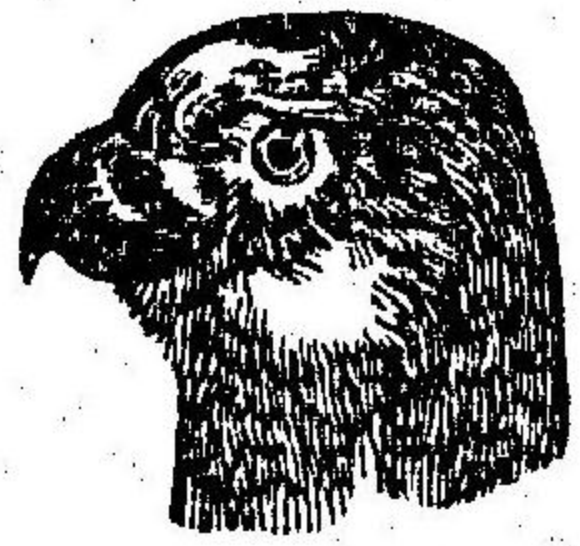
(五)鷹屬 Falco.

嘴ノ尖端鋭ク其起部ヨリ直ニ鈎曲シテ縁齒ヲ具フ體ノ大ナルニ

卷鷲屬

鷹屬

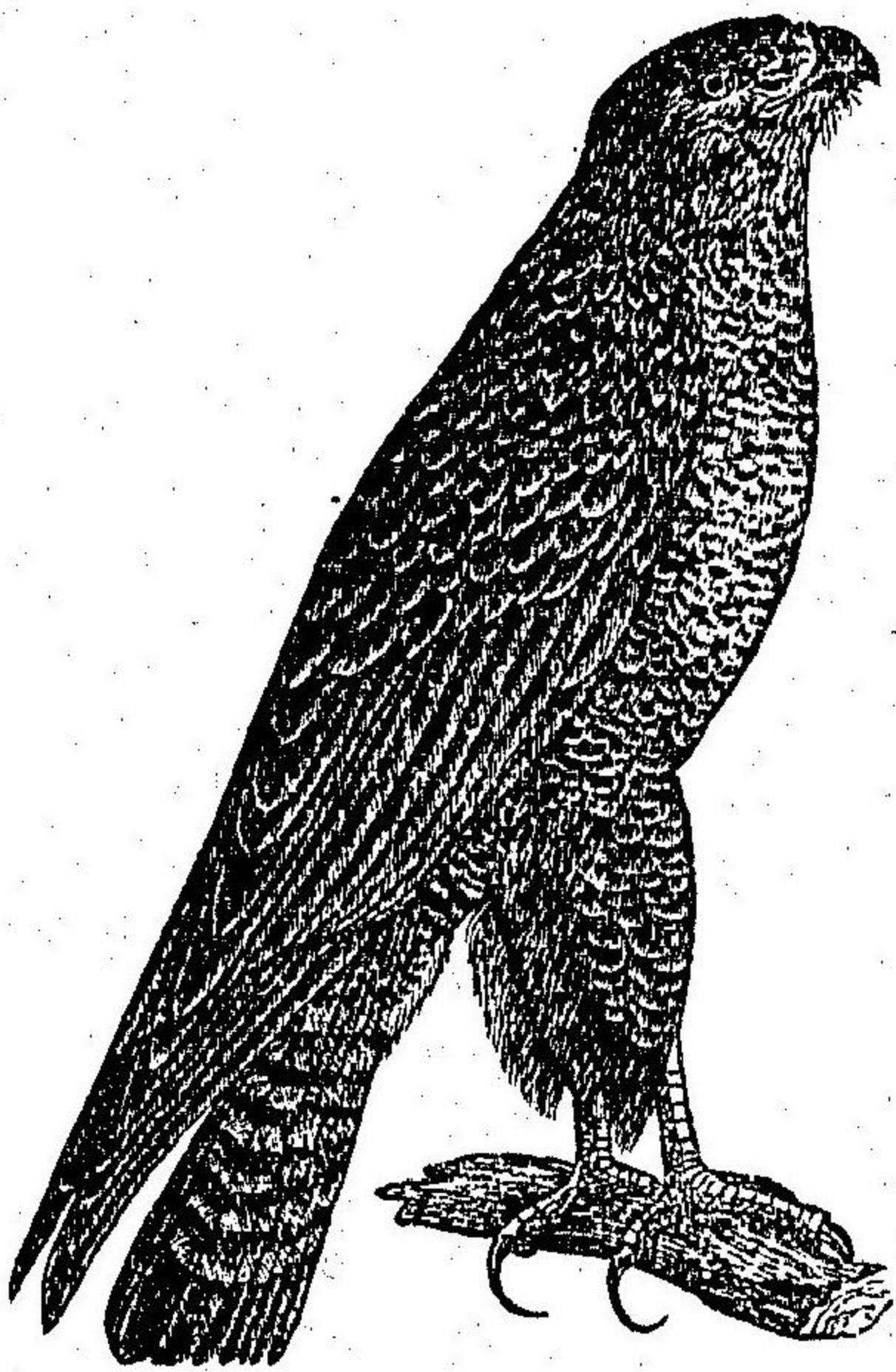
圖六十六第



鷹

圖七十六第

種一ノ鷹



比スレバ嘴短ク眼ノ周縁ヲ裸出ス

○^{ハヤブサ}半 *F. peregrinus* 其大サ大約五十セ、メ能ク大鳥ヲ捕ヘ全地球上溫寒ノ兩帶ニ産ス○「^ママ」^ググ^ママ^ダダ^カカ^ヌヌ^チチ^ヤヤ^ウウ^メメ^ンン^ホホ^ウウ^ン *Cerchineus japonicus* 此屬ニ近ク之ヲ養フテ小鳥ヲ捕ヘシム

(六)鷲屬 *Pandion*.

嘴短ク趾間ニ連膜ヲ有シ且ツ自在ニ外趾ヲ前後ニ廻轉ス(廻旋趾)

鷲屬

蒼鷹屬

圖八十六第

鷲



○鷲^{ミナト} *P. haliaetus* 巧ニ活魚ヲ捕フルニ由リ、養魚家ニ害アリ

(七)蒼鷹屬 *Astur*.

其嘴大ニ鈎曲シ尾短シ

○蒼鷹^{オホタカ} *A. palmarum* 其大サ六十セ、メ餘、其色極メテ

變シ易シ、北亞米利加及日本邦ニ産ス○鷲 *Accipiter nisus* 雌(ハイタカ)(雄)ヨリ、其大サヲ異ニシ雌、雄ヨリ大ナリ歐羅巴、亞細亞、亞弗利加ニ産シ之ヲ飼養シテ鳥獵ニ用フ

(八)鷹屬 *Milvus*.

嘴稍弱ク脚短ク尾翼共ニ長シ

○鷹^{トビ} *M. melanotis* 其形狀略、鷹ニ似タリ、能ク鰓肉ヲ食スルヲ以テ衛生上ニ効アリト雖モ又店頭ノ魚類ヲ攫ミ去ル害アリ、其他ノスリ屬 *Buteo* ○「^チチ^ウウ^ヒヒ」屬 *Circus* ○「^ノノ^チチ^ウウ^メメ^ンン^ホホ^ウウ^ンン」屬 *Hypobryconis* 等皆此科ニ屬ス

(九)アヲハツク屬 *Strix*.

鷹屬

アチハツク風

頭ハ猫頭狀ヲナシ眼圓大ニシテ直前ニ向ヒ羽毛ハ柔ク能ク飛ビ得ルモ聲ナキ夜鳥ナリ又暗黒ノ夜ト白日ニハ其眼視ル能ハザルヲ以テ月夜或ハ黄昏食ヲ求ム

○「アチハツク」*St. hirsuta japonica*

(十)鴞屬 *Syrnium*.

鴞屬

趾ニ羽毛ヲ密生シ耳邊ニ長羽ナシ

○鴞 *S. rufescens* 其體前種ヨリ大ナリ夜間出テ、鼠、小鳥等ヲ捕食ス

シマミ、ツク風

第九十六圖

クツ、ミマシ



(十一)シマミ、ツク

ク屬 *Bubo*.

前頭ノ兩側ニ長大ナル羽毛聳立シ兩翼長シ

○シマミ、ツク

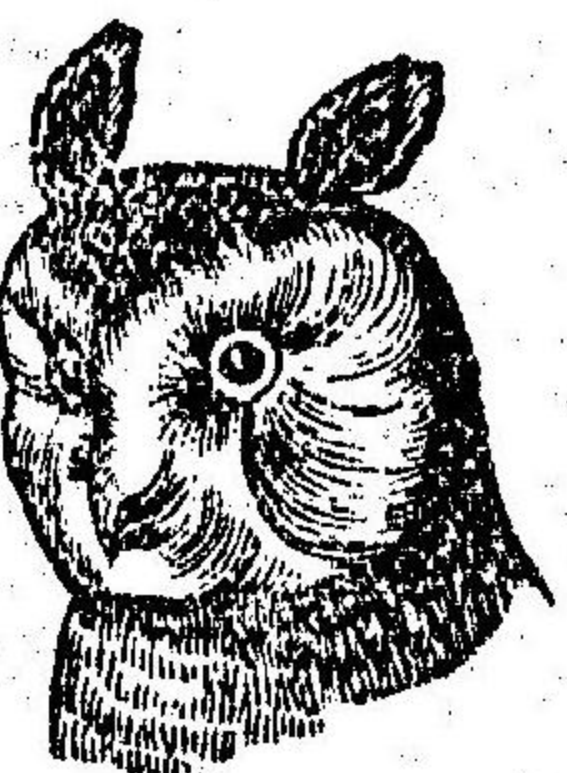
鴞屬

hirsutus 此屬中最モ大ナル者ニシテ體ノ大サ六十センチメートル餘アリ、兎ノ如キ小獸ヲ亦捕食ス

(十二)鴞屬 *Scops*.

體較小ニシテ趾ニ羽毛ナク耳羽小ナリ

第十七圖



○鴞 *S. semitorques* 全身暗褐色ニシテ耳邊ニ一寸許ノ長羽アリ、テ恰モ耳ノ如シ、故ニ此名アリ ○鴞 *S. siccionalis* 其形狀前種ニ似テ小ナリ

第二目 燕雀類 *Passeres*.

燕雀類ノ逆性

之ニ屬スル種類甚ダ多ク其大小一ナラズト雖モ概テ小鳥ニシテ能ク飛翔シ地上ヲ徘徊スルニ跳飛シ罕ニ歩行ス、居常樹上及ヒ叢林中ニ双棲シ間、群居シ其性活潑ナリ而シテ之ニ屬スルモノ概テ候鳥ニシテ春秋地ヲ轉シ足多クハ行足ナリ、下喉頭ニ鳴機ヲ備ヘテ巧

唱禽及ヒ
叫禽

ニ嘯鳴スルモノ多シト雖凡間、又好音ヲ發セザル者アリ、其鳴機ヲ具ヘ能ク嘯スルモノヲ唱禽、Oscinesト稱シ其好音ヲ發セザルモノヲ叫禽、Olanatoresト名ツク今本目ヲ嘴形ニ由リテ圓錐嘴、齒嘴、裂嘴、細嘴及ヒ輕嘴ノ五部ニ別ツ

(第一部)圓錐嘴類 Conirostres.

皆小形ノ唱禽ニシテ堅硬ナル圓錐嘴ヲ具シ且ツ短頸ナリ、平素群居シ種子穀物等ヲ啄ミ又蟲類ヲ食ス、概テ候鳥ニシテ多クハ精巧ノ巢ヲ爲リ雌ノミ抱スルヲ常トス而シテ哺餌ノ義務ニ至テハ雌雄共ニ之ヲ盡ス

(二)天鷲屬 Alauda.

後趾ノ爪其趾ヨリ長クシテ微シク弧圓形ヲナス巢ヲ地上ニ營ミ昆蟲及種子類ヲ食フ

天鷲屬

○天鷲 *A. japonica* 田野ニ産シ春ハ草、夏ハ多ク蟲類、秋ハ穀類等ヲ啄ム春哺

黃道眉屬

ニ乗ク高ク飛翔シ頗ル好聲ヲ發ス故ニ皆天子ノ名アリ

(三)黃道眉屬 Emberiza.

嘴短ク下嘴廣潤ニノ口ヲ閉レハ上嘴ヲ受容ス、口蓋上ニ數多ノ堅

隆起アリテ穀類ノ殼ヲ去

ルニ便ニス、鳴聲好カラザ

ルモ又愛スベシ、常ニ穀類

ヲ食フ

○黃道眉 *E. japonica* 其頰部白色

ナルカ故ニ「ホホシロ」ト稱シ

其頰部ノ赤キモノヲ「ホ、ア

カ」*E. fucata* ト云フ○菼雀 *E.*

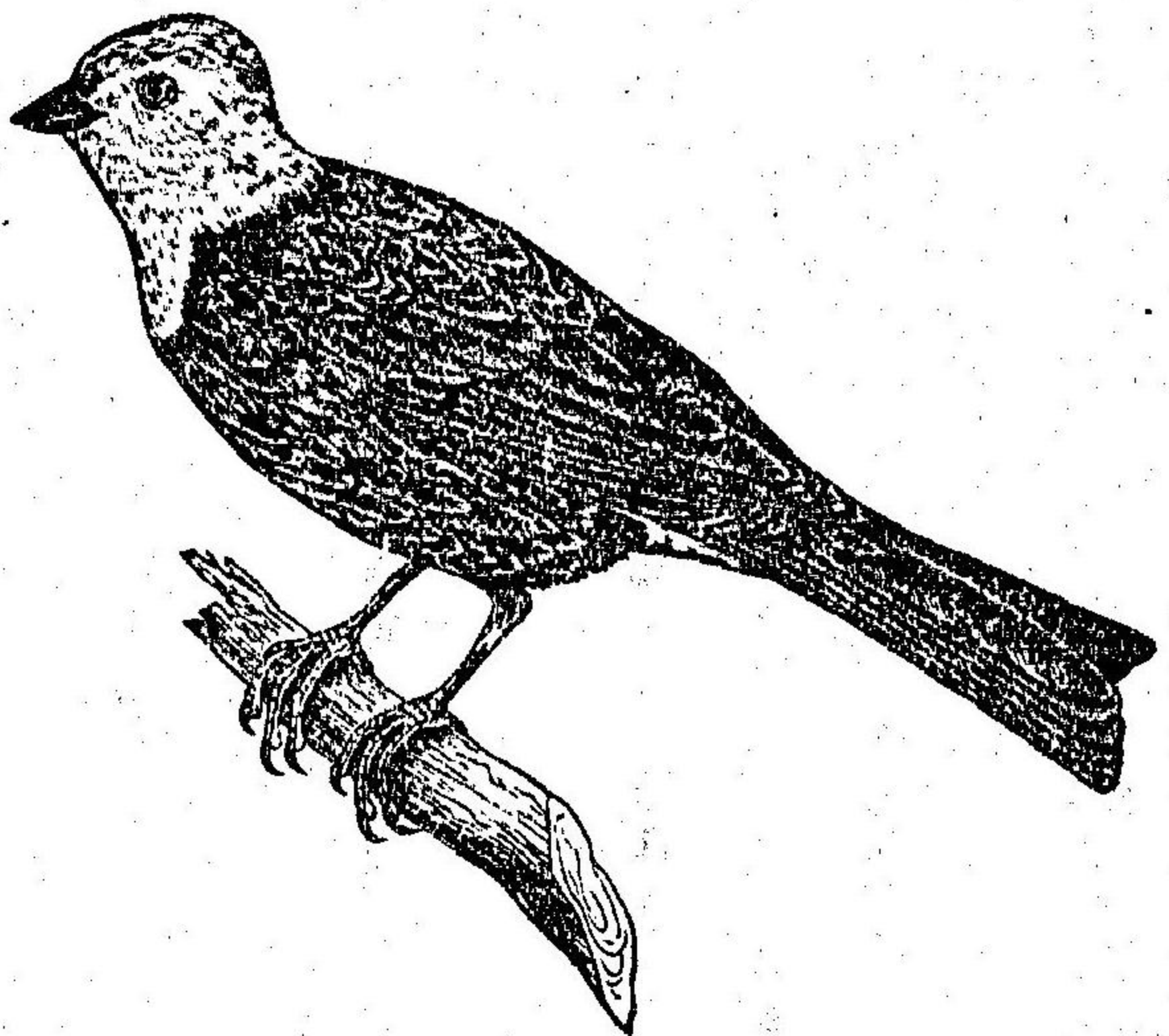
personata 頭上青黄ニシテ胸腹

淡黄色ヲ呈ス○「クロツ」*E.*

variabilis 全身淡黑色○「ノシ」

第七十一圖

コシノンキ



花鷄屬

E. sulphurea ○カシラダカ *E. rustica* ○キンノシロ義 *E. chinella* 頭腹部金色ヲ呈シ全歐洲普通ニ産スル種ナリ

(三)花鷄屬 *Fringilla*.

其嘴短小ニノ兩縁鋭ク尖端モ亦甚ダ鋭シ口蓋ニ隆起ナク此屬中ニハ鳴聲愛スベキモノアリ

○文鳥 *F. orizon* 其體灰白色ニノ嘴紅色ナルヲ常トス、然レモ往々變色ノモノアリ、東印度ノ産ニノ大ニ稻田ヲ害ス、本邦ニ於テ多ク之ヲ玩養ス○カナリヤ *F. canaria* 此鳥ハ其産國加拿利島ナルヲ以テ「カナリヤ」ノ名ヲ得タリ、全身黄色若クハ淡黄色ヲ呈シ頗ル愛スベシ、其屬中同大ノ他種ト相交テ種々ノ間生ヲ産ス、現今坤輿上至ル處之ヲ籠養ス故ニ該島ヨリ多ク之ヲ輸出シ毎年収入スル所ノ金額無慮十萬弗ノ多キニ上ルト云フ○花鷄 *F. montingilla* 歐亞細本邦等ニ野生シ大群ヲ爲ス○雀 *F. (Passer) montanus* 其背褐色ニノ黒斑ヲ雜ヘ翼ニ二條ノ横白斑アリ多ク人家田野ニ棲息ス此種ニ變生アリ其黒キモノヲ黒雀ト云ヒ白キヲ白雀ト云フ○黃雀 *F. (P.) montanus*

蠟嘴屬

Psittacus ハ前種ヨリ小ナリ○金翅雀 *Chrysomitris spinus* 其體羽類黃黑色等ヲ雜ニシカハラロハ屬 *Chlorospiza* ハ此近屬ナリ

(四)蠟嘴屬 *Coccothraustes*.

嘴肥大ニシテ下嘴上嘴ヨリ狭ク後趾強シ

○蠟嘴 *C. japonicus* 其體前屬ヨリ大ニシテ嘴ノ色蠟色ニ似タリ、故ニ蠟嘴ノ名アリ尾脚短クシテ鉤爪鋭ク夏時群飛シ來ル其肉美ナリ○桑鷄 *C. persus* 蠟嘴ニ似テ稍大ナリ全身帶白褐色ニシテ嘴ハ黄色ナリ、冬時渡來ス、人之ヲ籠養シ、マメマラシノ名アリ

(五)櫻屬 *Pyrhula*.

其嘴短ク上嘴ノ尖端微ク彎曲シ脚短強ニシテ大ナラズ

○櫻 *P. orientalis* 頭嘴翼尾黒ク脊胸部灰青色ニシテ少シク赤色ヲ帶ブ、雄ノ腹喉部深紅色ナリ○ベニマシノ屬 *Drangus* 及ヒ「ハギマシ」屬 *Leucosticte* ハ此近屬ナリ

第七十二圖



交喙屬

齒喙類

第七十三圖 交喙



(六)交喙屬 *Loxia*.

下喙右ニ反旋シ上喙左ニ
鈎曲シテ相交又セリ

○交喙 *L. alpestris* 頭背蒼赤腹
臆紫赤色ニシテ脚黒シ其喙
相齟齬ス

(第二部)齒喙類 *Dentirostres*.

齒ヲ具スルカ如ク尾翼十二枚アリ能ク大氣中ヲ翔ケ又能ク地上
ヲ走ル概テ寒暖ノ兩帶ニ産シ冬時地ヲ轉ズルモノ多シト雖凡亦
留鳥アリ多ク蟲類ヲ食シ双棲ス毎年數回産卵シ其構巢概テ巧ナ
リ

(七)烏鴉屬 *Corvus*.

喙頭ト其長サヲ齊フスルモノアリ或ハ頭ヨリ長キモノアリ鼻孔
鼻鬚下ニ隱沒ス好シテ有害ノ昆蟲ヲ啄除スルヲ以テ人ニ益アリ
ト雖凡家禽ノ雛兒ヲ啄シ去ルヲ以テ又害ナシトセス性伶俐ニシ
能ク記憶シ平素群居ス

鳥鴉屬
○*Corvus japonensis* 本邦ニ最も多ク産スル種ニシテ堅大ナル喙ヲ有スルヲ
以テ直チニ之ヲ識別スベシ○慈鳥 *C. corone* 前種ト異ナリ喙細キヲ以テ之
ヲ「ハシボソガラ」ト稱ス其他深山ニ産スル深山鳥 *C. pascinator* 及ヒ渡鳥 *C.*
corax 等ノ種類アリ

(八)鵒屬 *Pica*.

尾長大ニシテ其長サ體ニ齊シ
○鵒 *P. caesia* 肥前ニ多ク産スルガ故ニ肥前鳥ノ名アリ

(九)ヲナガドリ屬 *Cyanopollus*.

其形狀前種ニ似テ尾甚ダ長シ

ヲナガドリ
屬

カケス屬

○チナガドリ *C. cyaneus* 尾體ヨリ長ク其色青色ナリ
(十)カケス屬 *Garulus*.

嘴短ク尾モ亦短クシテ其末端圓形ヲナス

○カケス又カシドリ *G. japonicus* 全身灰褐色ニシテ淡紅色ヲ帶ブ、翼蹏滄青色ニシテ頭部ニ滄青色ノ

羽ヲ冠ス、山林ニ棲息シ秋

末ニ至リテ群リ來ル此鳥

ヲ馴養スレハ能ク人語ヲ

假擬ス、櫛實等ヲ食フ○ミ

ヤマカケス *G. Brandtii* ハ北

海道ノ産ナリ

(十一)白頭翁屬 *Sturnus*.

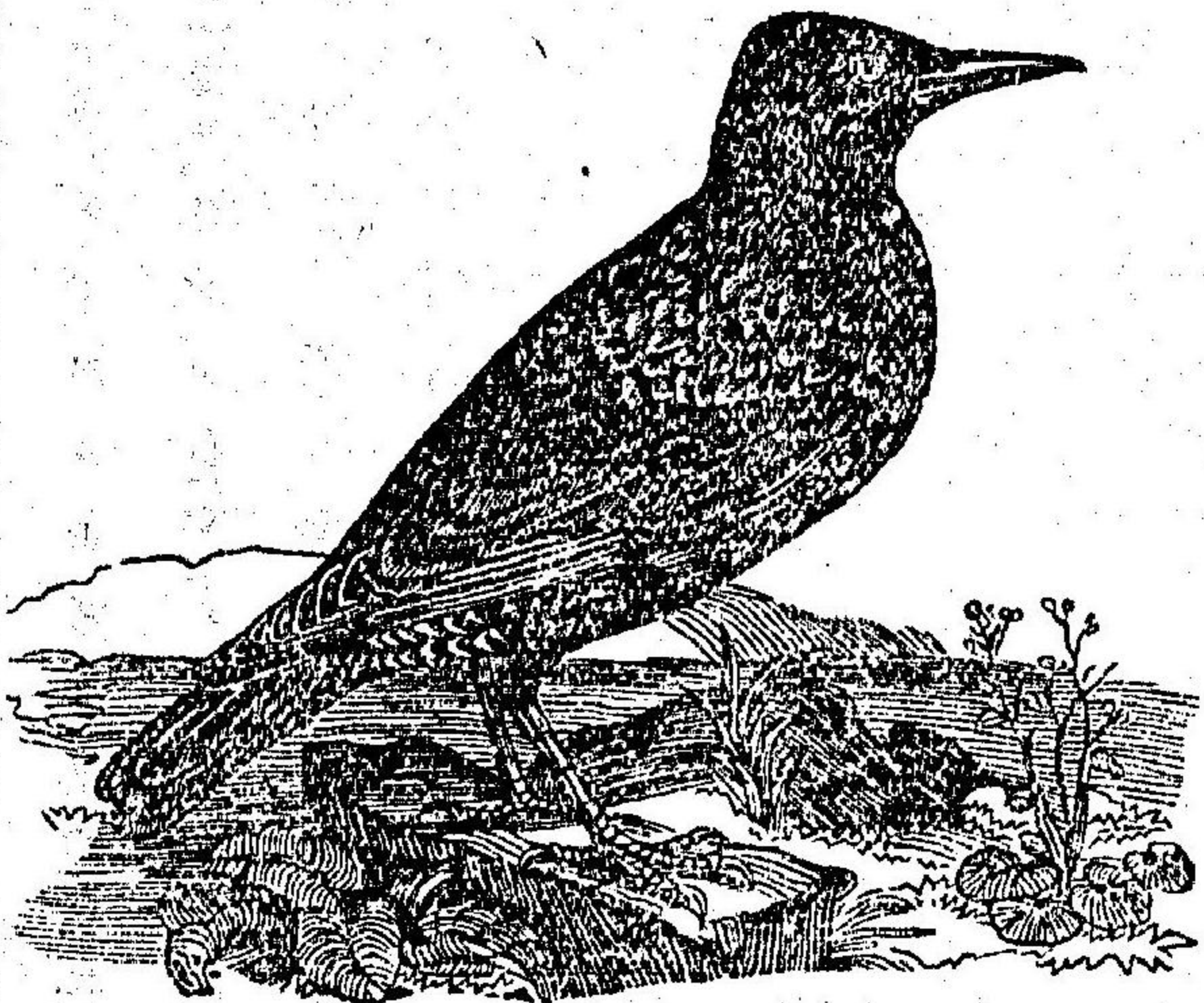
嘴廣潤ニシテ端直ナリ

多クハ群棲ス

白頭翁屬

第七十四圖

ル - タ ス



○白頭翁又椋鳥 *St. cinereus* 黒灰色ニシテ眼邊ニ白毛アリ、常ニ群棲シ好ク
ヲ椋實等ヲ食シ其聲喧シ○「スタール」*St. vulgaris* 歐洲ニ産スル椋鳥ノ一種
ナリ

(十二)霧鳥屬 *Paradisaea*.

羽毛種々ニ延長シ其色頗ル美ニ金光ヲ帶ブ新幾内亞及其近島

ニ産ス

○霧鳥 *P. siodoti* 其大サ大約二十「セ、メ」中央ノ二尾羽大ニ長シ、此鳥ノ羽毛

美麗ナルカ故ニ歐洲ノ貴女之ヲ頭飾ニ用フ故ニ其價甚ダ貴トシ○赤霧鳥

P. rubra ○比翼鳥 *P. regia* 等ノ諸種アリ

(十三)連雀屬 *Ampelis*.

嘴ハ側扁シ其末端稍、鈎曲ス、頭ニ冠毛ヲ有シ交尾ノ時期ニ臨ンダ

体羽特ニ美麗ナリ

○十二紅 *A. phoenicepera* 頭背灰褐色ニシテ尾端赤シ○十二黄 *A. garulus* 略ホ

前種ノ如クシテ尾端黄色ヲ呈ス

連雀屬

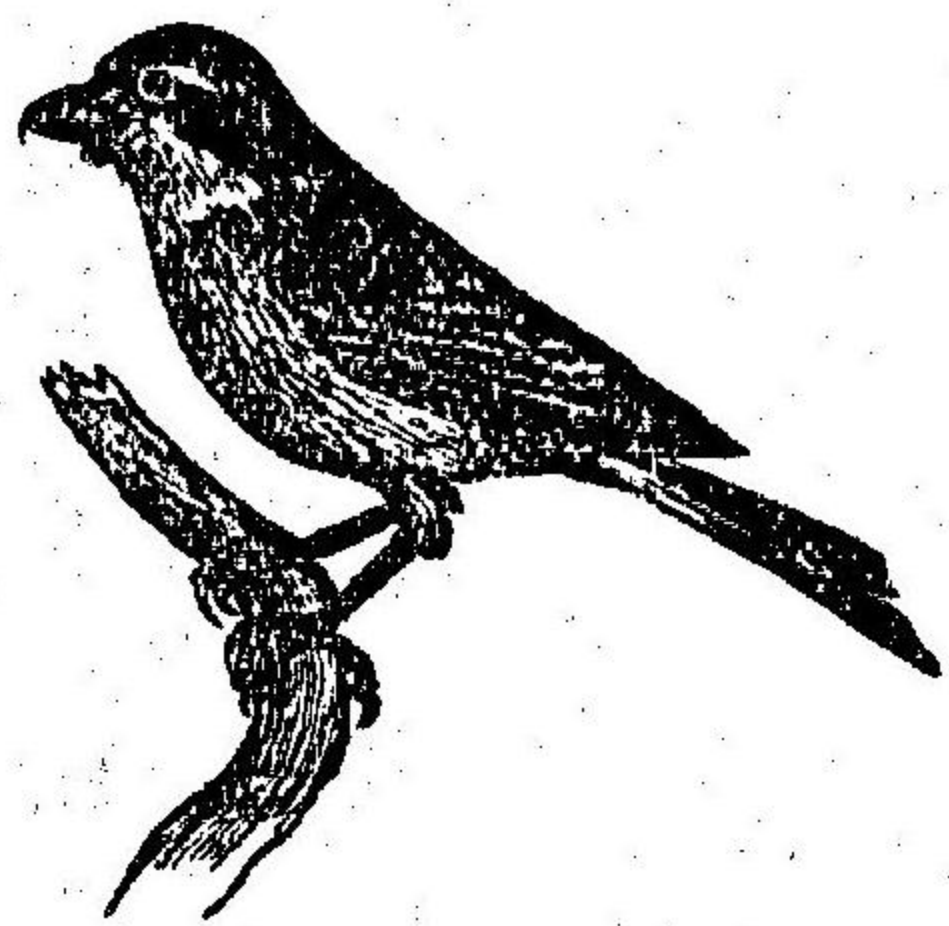
霧鳥屬

伯勞屬

(十四)伯勞屬 *Lanius*.

嘴ノ構造及ヒ營生ノ狀等ハ猛禽ニ異ナルコトナシ實ニ猛禽及ヒ唱禽ノ中間ニ居リ昆蟲小禽等ヲ捕食シ又食餌ヲ棘枝上ニ貫通シ置キ徐々ニ食スルノ性アリ

第七十五圖 勞伯



○オホモズ *L. excubitor* 大サ椋鳥ニ似テ背部灰褐色ナリ歐洲産セザルノ地ナシ○
伯勞 *L. hiemalis* 前種ヨリ小ク之ヲ馴養シテ小鳥ヲ捕フルニ用ユルコトアリ

(十五)小燕屬 *Muscicapa*.

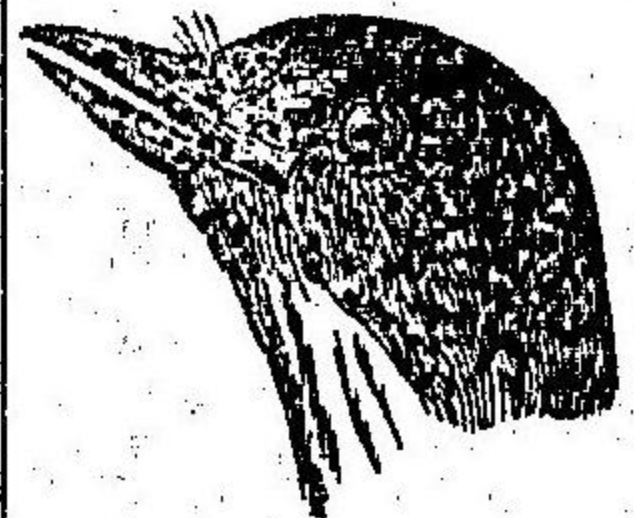
嘴短ク翼長ク蟲類ヲ捕食ス

小燕屬

○小燕 *M. muscivora* 其体黑色ニシテ翼ニ白羽ヲ生ズ

(十六)山雀屬 *Parus*.

第七十六圖 小燕



嘴銳尖ニシテ眼部ニ硬毛ヲ生シ鈎爪ノ尖端

山雀屬

鋭クシテ羽翼柔軟ナリ体矮小ナリト雖モ活潑ニシテ昆蟲ヲ啄除シ及ヒ種子ヲ啄ム朽木中ニ巢ヲ營ムモノ多シ

○山雀 *P. varius* 立秋ノ候群飛シ來ル人之レヲ馴養シテ技藝ヲ習ハシム○
白頬鳥 *P. minor* 暮秋ノ候渡來ス之ヲ養テ馴レシム○
鶺鴒 *P. palustris* ○日雀 *P. ater* ○エナヤ *P. trivirgatus* 等ハ此屬ナリ○五十雀屬 *Sitta* ハ此近屬ナリ

(十七)田鵲屬 *Anthus*.

嘴尾長ク後爪モ亦長大ナリ濕地ヲ愛シ昆蟲類ヲ食ス

○田鵲 *A. japonicus* 形天鵲ニ似タリ秋分ノ候渡來ス○
「ヒンズイ」 *A. maculatus*

(十八)鶺鴒屬 *Motacilla*.

嘴細長尾脚長ク尾殊ニ狭シ水邊ニ棲息シ行走ノ際首尾ヲ上下ス

○背黑鶺鴒 *M. lugens* ○黃鶺鴒 *M. boarula*

(十九)鶺鴒屬 *Oecia*.

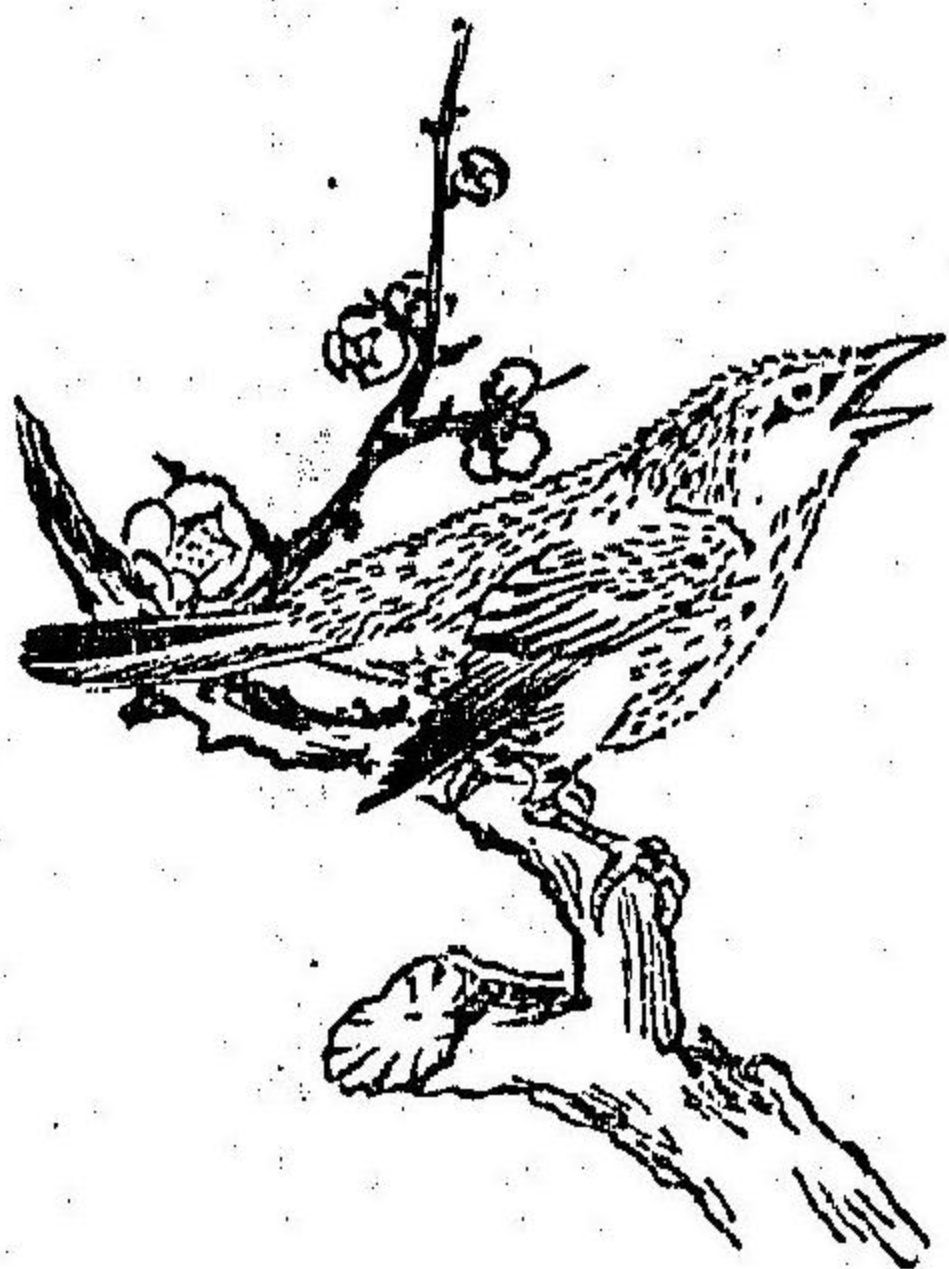
嘴直ク其前部壓扁ス

鶺鴒屬

田鵲屬

鶯屬

第七十七圖 鶯



○鶯 *C. cantans* 全身紫黃腹下灰白又之ヲ呼ンテ紫鶯ト曰フ立春ノ候ヨリ林中ニ於テ能ク囀鳴ス其聲頗ル愛スベシ邦俗尤之ヲ好ミ殊ニ其鳴音ノ清亮ナルモノヲ養テ其好音ヲ聞シムルノ集會ヲ開設スルモノアリ

(三十)知更雀屬 *Erithacus*.

嘴鑿狀ヲナス

知更雀屬

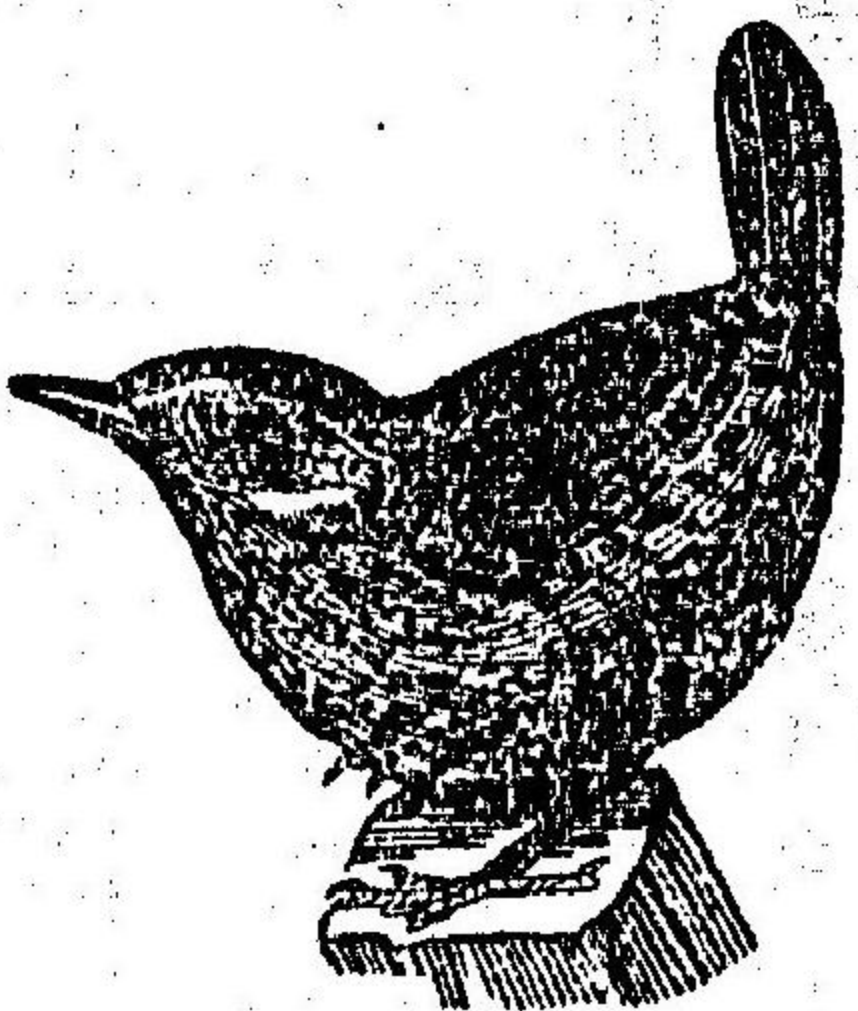
○知更雀又駒鳥 *E. akahige* 頭背翼尾赤褐ニシテ頰頰赤ク其聲走駒ノ響チ鳴スニ似タリ故ニ此名アリ ○赤鬚又琉球駒 *E. komadori* 駒鳥ニ似テ頭背尾赤色ナリ

(二十一)鶉屬 *Troglodytes*.

嘴細長ナリ其身矮小ニシテ性快捷ナリ

鶉屬

第七十八圖 鶉



○鶉 *T. fuscatus* 茶褐色ヲ呈シ多ク籬間ニアリ又能ク溝中ニ入テ鳴ク故ニ其名アリ三四月ノ候厠陰或ハ溝畔ヲ穿チテ巢ヲ造ル

(二十二)キクイタハキ屬 *Regulus*.

○キクイタハキ *R. japonicus* 體矮小ニシテ頭

ニ黃羽ヲ叢生ス暮秋ノ候渡來ス好シキ杉實ヲ食フ

(二十三)カハガラ属 *Cinclus*.

嘴ノ尖端弧圓形ヲナシ足長ク翼尾短シ

○カハガラ *C. palasi* 其體黑褐色ニシテ能ク水中ニ浮沈シ又巧ニ水底ヲ往來ス其營生ノ狀態モ水禽ニ異ナラズ

(二十四)白頭鳥屬 *Hypsipetes*.

其體狹長ニシテ尾嘴モ亦長シ

○白頭鳥 *H. amauensis* 全身黑灰色ニシテ其肉次條ノツグミ屬ニ似テ味頗ル

キクイタハキ屬

カハガラ属

白頭鳥属

ツグミ屬

美ナリ

(二十五)ツグミ屬 *Furdus*.

嘴端直ニシテ尖端微ク彎曲シ側方ヨリ壓匾ス藪林ニ生息シ昆蟲
蠕蟲果實等ヲ食フ其肉味美ニノ好シテ食用ニ供ス候鳥ナリ

○クロッケミ *F. cardis* 其背黒シ其他アカバラ *F. chrysolaus*、チヤウマツダミ
F. fuscus、マロハラ *F. pallidus* 等之ニ屬ス

(第三部)裂嘴類 *Fisirostres*.

裂嘴類

其體大ナラズ頸短ク頭扁平ナリ、嘴深ク裂テ口角眼部ニ至リ翼尖
長ニシテ微弱ナル行足若クハ搦足ヲ具フ、飛翔迅速且ツ巧ニシテ
昆蟲類ヲ食シ概テ暖國ニ産シ候鳥ナリ大抵晝間飛翔シ又能ク黃
昏夜間飛フ者多シ或ハ鳴機ヲ具有シテ好音ヲ發スルモノアリ
ハ之ヲ有セスシテ嘲鳴スル能ハサルモノアリ

(二十六)燕屬 *Hirundo*.

燕屬

口邊ニ鬚髯ナク尾分岐シテ所謂燕尾ヲ成ス

○燕 *H. gutturalis* 頂背尾翼黒色ニシテ頸部白ク頰黃赤色ナリ、四月ノ候本邦
ニ來リ九月ニ至テ去ル、五月人家ノ屋頭ニ巢ヲ營ム

(二十七)壁燕屬 *Cypselus*.

壁燕屬

搦足ニシテ鬚髯ナク長尾ヲ具フ

第七十九圖 壁燕



○壁燕 *C. apus* 體暗
褐色ニシテ頰白ク壁
間巖穴中等ニ巢フ歐
洲ノ産ナリ
○アマツスメ *C. pacificus*
其體大ニシテ腰
部ハ白斑アリ

○金絲燕 *Collocalia esculenta* 背部褐色ニシテ腹尾尖白ク東印度支那地方ニ産シ
巖穴中ニ巢フ其巢ハ海藻ヲ集メ津液ヲ混和シテ營ムガ故ニ食料ニ適ス

支那ニテハ之ヲ燕窩又燕窩菜ト稱シテ頗ル貴重シ一巢ノ價凡ソ二三圓ナリト云フ○石燕 *Chaetura caudata* 此屬ニ近キモノニシテ其體頗ル大ナリ

(二十八) 怪鷗屬 *Caprimulgus*

怪鷗 *C. jolaka* 其翼大ニ長シ又カスロドト云フ

怪鷗屬

擲足ヲ具ヘ口邊ニ鬚髯アリ薄暮出テ、昆蟲ヲ啄食ス

(第四部) 細嘴類 *Fenirostres*

細嘴類

此部ニ屬スルモノ叫禽及ヒ唱禽ノ二種アリテ皆細長ノ嘴ヲ有シ其足裂足行足等ニシテ長キ後趾ヲ有ス、其運動ノ狀攀禽族ニ近キモノアリ昆蟲ヲ食ス

(二十九) 戴勝屬 *Upupa*

叫禽ニシテ美羽ヲ被リ嘴長クシテ側匾ス

戴勝屬

○戴勝 *U. epops* 候鳥ニシテ頭ニ羽冠ヲ戴キ其羽二行ニ排列シテ意ノ如ク起伏ス、巢中ニ生ズル昆蟲ヲ食スルガ故ニ頗ル臭氣アリ歐羅巴、亞細亞、亞弗利加ニ産ス

コリブリ

第八十圖 戴勝



(三十) コリブリ屬 *Prochilus*

此屬ハ鳥類中ノ最モ小ナルモノニシテ其羽色美麗ナリ嘴細長ニシテ管狀ヲナシ舌絲狀ニシテ分裂シ舌根ニ至ル、飛翔シ

テ昆蟲ヲ花中ニ捕フ、此屬ノ種類悉ク亞米利加ノ産ナリ

○尋常コリブリ *P. colubris* 帶絲黃金色ニシテ雄ノ喉部紅色ヲ呈シ大サ九・二センチニ過ヤス○蜂鳥 *P. minimus* 帶絲黃金色ニシテ腹部灰色ナリ鳥中ノ最モ小ナルモノニシテ全體ノ大サ蜜蜂ニ比スレハ較、大ナリ巢ノ大サ胡桃實ノ如ク卵ノ大サ豌豆ニ齊シ伯西爾ニ産ス

(三十) 繡眼兒屬 *Zosterops*

繡眼兒屬

嘴圓錐狀ヲナシテ尖リ白環アリ眼ヲ圍ム

○繡眼兒 *Z. japonica* 全身綠黃ニシテ腹下灰白色ナリ多ク山中ニ産シ人之ヲ籠養ス

キバシリ
屬

(三十二)キバシリ屬 *Certhia*.

嘴弧圓狀ヲナシ尾蹇勁直ニシテ其動作啄木鳥ニ似タリ

○キバシリ *C. familiaris* 大サ 鷓鴣ノ如ク脊部淡黄色ニシテ斑点アリ

(第五部)輕嘴類 *Levirostres*.

皆叫禽ニシテ其嘴大ナリト雖ヒ重量輕ク脚弱小ニシテ併趾足若クハ裂足ヲ具フ飛翔疾迅ニシテ大聲ヲ發シ地竅又ハ木洞中ニ構巢ス

(三十三)魚狗屬 *Alcedo*.

魚狗屬

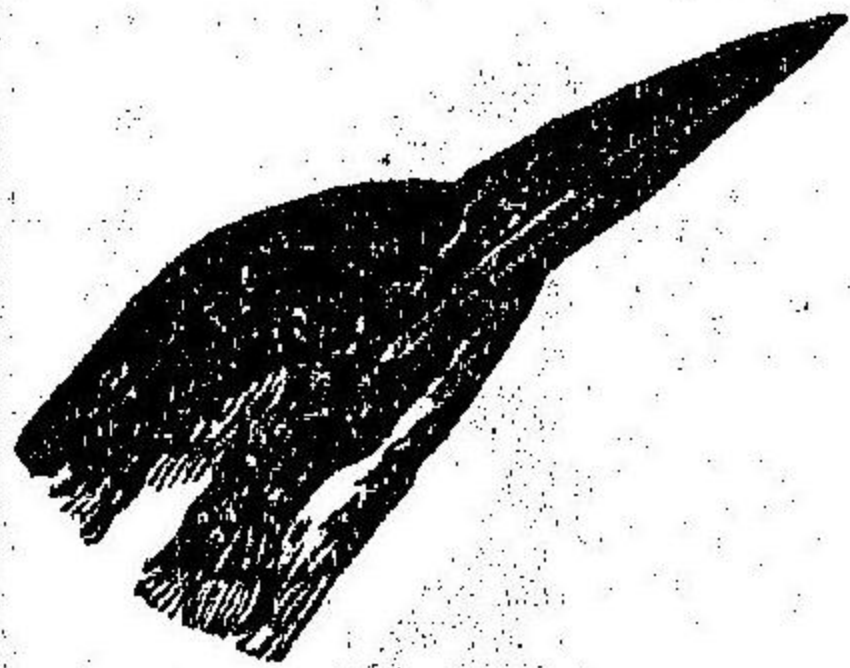
嘴直大ニシテ四銳稜ヲ有シ尾翼短小ナリ、
河崖ニ營巢シ魚類及ヒ蠕蟲類ヲ食ス

○魚狗 *A. bengalensis* 嘴長クシテ赤色ヲ呈シ頭脊

翠碧ニシテ頗ル美ナリ、水中ニ潛入シテ巧ニ魚

ヲ捕フ ○花斑鳥 *A. ingubris* ○カノコドリ *A. (Cary-*

第八十一圖
魚狗



le) guttata 翡翠屬 *Halcyon* ハ此近屬ナリ

第三目 攀禽類 *Scansores*.

攀禽類ノ
通性

本類ニ屬スル者ハ其形態百般ナリト雖ヒ其通常ノ者ハ二趾ヲ前
向シ二趾ヲ斥向ス、往々尾翼ヲ以テ其攀緣ヲ助クルモノナリ之ヲ
攀尾ト稱ス又外側ノ前趾ヲ意ノ如ク前後ニ回旋スルモノアリ之
ヲ回旋趾ト稱ス

(一)啄木鳥屬 *Picus*.

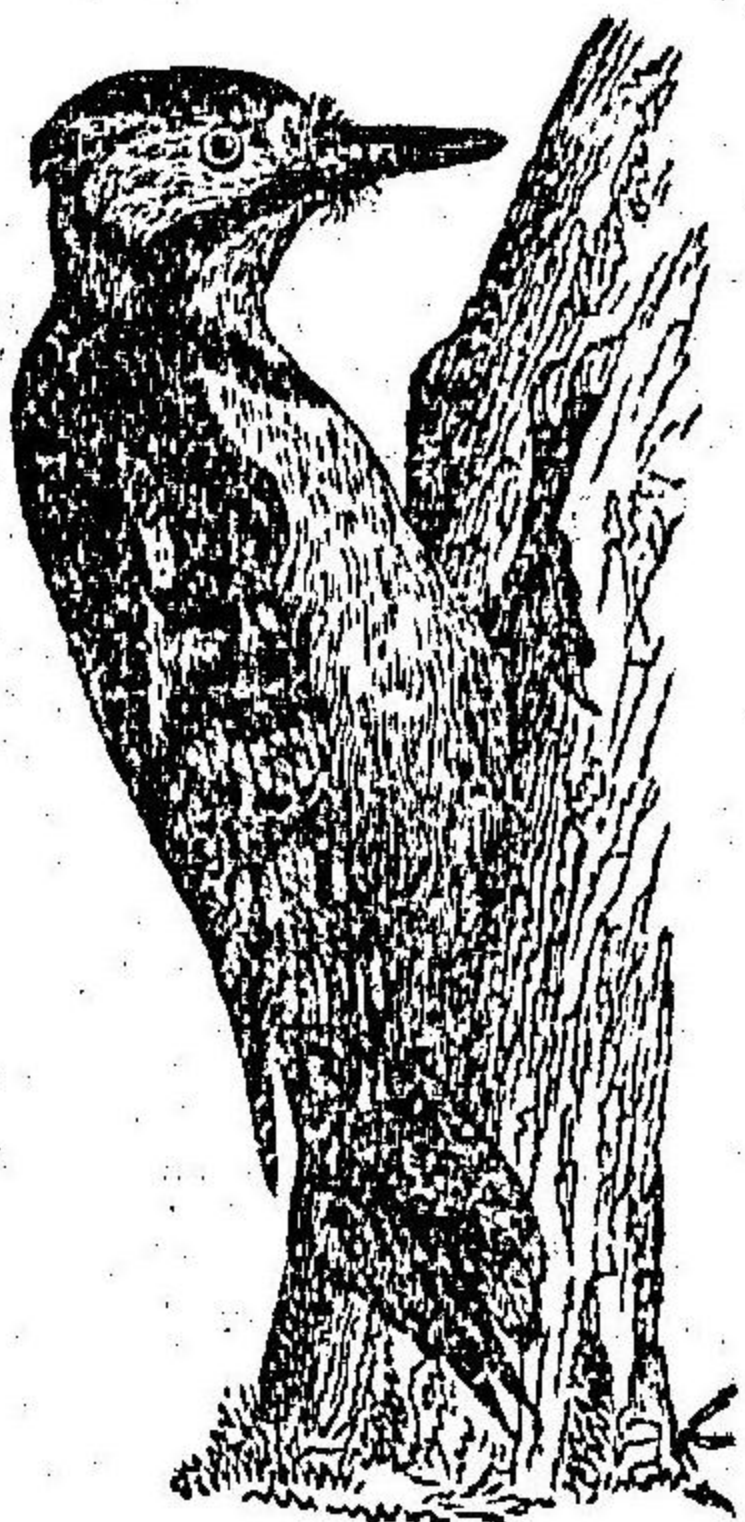
啄木鳥屬

嘴直ク強大ニシテ鑿ノ如ク舌細長ニシテ尖端ニ鈎ヲ有シ昆蟲ヲ
樹皮ノ隙間ニ求ムルニ便ニス尾短クシテ楔狀ヲナシ甚ダ硬直ニ
シテ攀緣ヲ助ク(攀尾)又此鳥ハ樹幹ニ攀托シ側方ト上方ニ運動シ
得ルト雖ヒ下向スルコト能ハズ

○アカゲラ *P. major* 背黒ク翼モ亦黒クシテ白斑ヲ雜ヘ後體ノ下面赤色ヲ
呈ス ○啄木鳥 *P. kizuki* 全身黒色ニシテ白斑ヲ具ヘ前種ニ比スレハ遙ニ小

鴉鵂屬

圖二十八第
ラゲカア



ナリ○アオゲラ P. (Geococcyx)
BAYOLERA 頭灰白色ニシテ頰頰
黒ク背尾綠色ナリ
(二) 鴉鵂屬 Junco

形ヲナシ舌ニ鈎ナク尾ノ末端圓形ヲナス

○鴉鵂 ^{アリスヒ} J. japonica 晩春ヨリ中夏ニ至ルノ候見ル所ノ候鳥ニシテ樹上ニ生息シ好シテ蟻ヲ食ス故ニ此名アリ

(三) 杜鵑屬 *Cuculus*

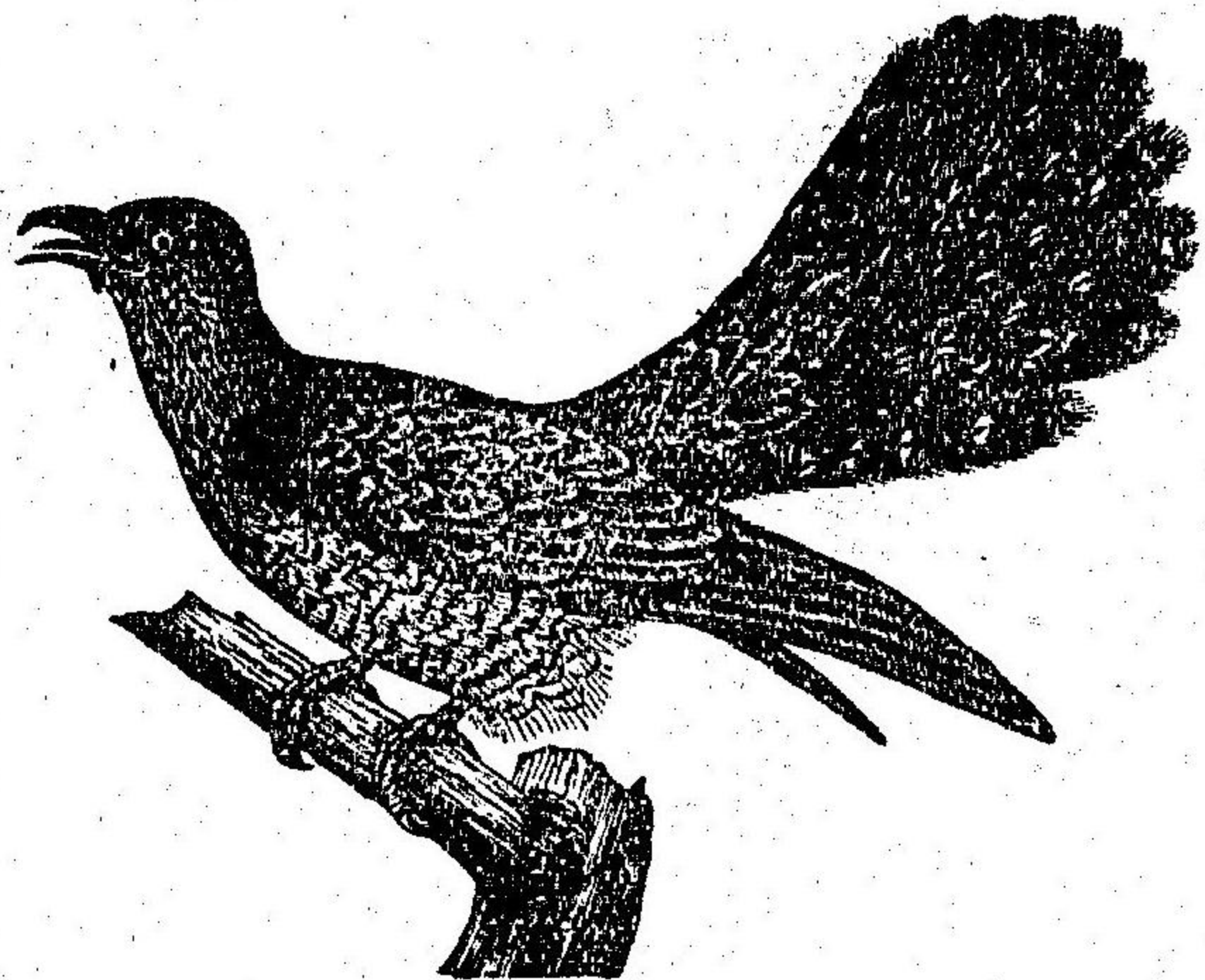
回旋趾ヲ具ヘ嘴稍弧圓形ヲナシ尾翹長シ一ハ樹幹ノ洞窟中ニ營巢シ一ハ他鳥ノ巢中ニ産卵シ他鳥ニ託セシム

○郭公鳥 ^{カクゴウトリ} C. canorus 背部灰色ニシテ腹部類白色ヲ呈シ褐色ノ横條ヲ有ス、自ラ營巢スル能ハズ ^{ミツサキイセヤレイ} 鶉、鶉等ノ巢中ニ産卵ス其孚化スルヤ食食シテ速ニ生育シ巢中ノ他雛ヲ驅逐スルガ故ニ其母鳥ノ困苦少ナカラザルナ

杜鵑屬

鴉鵂屬

圖三十第
鳥公郭



リ、其鳴聲自名ヲ呼ニ似タリ、○ ^{ホト、ギス} 杜鵑 C. poliocephalus 其色灰色ニシテ白斑ヲ雜ニ、晩春ヨリ中夏ノ候見ル所ノ候鳥ナリ其自ラ巢ヲ爲ル能ハザルハ前種ニ同シ○筒鳥 ^{ツツトリ} C. himalayanus 其形杜鵑ニ似テ稍大ナリ○^クグワイチ属 *Heiococeyx* ハ此近屬ナリ

(四) 鴉鵂屬 *Psitacus*

上嘴甚ダ厚大ニシテ短ク大ニ鈎曲シテ下嘴ヲ覆ヒ基礎部ニ臘膜アリ下嘴大ニ短クシテ鈍尖ヲ具シ其舌厚クシテ筋肉ノ如ク能ク人語ヲ假擬シ果實ヲ食ス、多クハ熱帯ノ産ニシテ又暖帯ニ産スルモノアリ

(第一)分 鸚哥屬

尾長クシテ楔ノ如ク頰部ニ羽毛ナシ

圖四十八第

ムフアコ



○鸚哥 *Ps. macao* 其体殷紅翼
澁淡綠ニシテ其端青色ヲ
帶フ

(第二)分 鸚鵡屬

其尾廣潤ニシテ頰部ヲ
裸出シ或ハ羽毛ヲ生ス

○コアフム又キバタン *Ps. macao* 全
身白ク後頭部ニ黄色ノ長羽アリテ
逆立シ能ク人語ヲ仮擬ス

(五)巨嘴鳥屬 *Rhamphastos*

嘴甚タ巨大側扁ニシテ前頭ヨ

圖五十八第
鳥嘴巨



リモ高シ中空ニシテ甚タ輕シ

○巨嘴鳥 *Rh. toco* 黑色ニシテ喉部類白黄色ヲ呈シ大サ五十「セ、メ」アリ 伯西爾
ニ産ス其他犀鳥屬 *Buceros* ハ嘴上ニ角ノ如キ附部ヲ具ス

第四目 鳩鴿類 *Columbinae*

鳩鴿類ノ
通性

此目ハ燕雀類ト雉鴿類トノ中間ニ位スル者ニシテ其嘴細弱嘴端
少シク下方ニ彎曲ス、嘴半ハ軟膜ヲ被フリ其嘴根ニ軟骨質ノ鱗ヲ
具ヘテ鼻孔ヲ覆ヒ穀類ヲ食シ双棲ス又攀禽類ノ如ク其雛長ク巢
中ニ在テ專ラ雌雄ノ養育ヲ仰シ始メ其雛ヲ哺餌スルヤ先ツ自ラ
食ヲ喙ミ之ヲ嚥糞ニ下シ其食糜スルニ及ンデ之ヲ離ノ嘴中ニ入
ル足ハ裂足ニシテ趾ニ鈍爪ヲ有シ其北地ニ産スルモノハ候鳥ニ
ノ多ク群居シ人ニ馴レ易シ其肉美味ナリ、鳩鴿糞ハ上等ノ肥料タ
リ

(一)鳩屬 *Columba*

鳩屬

第八十六圖
カハラバト



○カハラバト *C. livia* 鳩ノ原種ニシテ紫灰色ニ綠色ノ光ヲ帶テ○鳩 *C. aenas* 又イハバト
体色黑白紫等一ナラス多ク寺院等ニ馴養ス○傳書鳩 *C. cybister* 之ヲ飼養シテ遠國ニ書翰ヲ

傳達セシム○青鳩又此屬ナリ

(二)鳩屬 *Turtur*.

○鳩 *T. belaisia* 常ニ山野ニ生息シ好メテ穀粒ヲ啄ム營巢極メテ拙ニシテ幾ニ數莖ヲ構架スルノミ○斑鳩 *T. risorius* 此屬ナリ

第五目 雉鷄類 *Gallinae*.

前趾ノ基部ニ狹キ連膜ヲ具ヘ(坐足)後趾短小ニシテ多クハ佗趾ヨリ高ク位ス又稀ニハ後趾ナキモノアリ、上嘴下方ニ彎曲シ其縁下嘴ヲ啣受ス軟膜アリテ鼻孔ヲ圍繞シ軟骨質ノ鱗アリテ之ヲ覆フ

雉鷄類ノ通性

鳩屬

孔雀屬

往々體ニ裸出部アリ即チ頭及ヒ頸ニ肉冠肉瓣等ヲ具有ス、體強大ニシテ重ク翼ハ比較的ニ短シ其雛概テ次ノ諸目ノ雛ト同シク長ク巢中ニ止マラス其孳化スルヤ直チニ奔走シ食ヲ求ム羽毛及ヒ冠瓣ハ雌雄大ニ異ナリ又雄ハ多ク脚ノ後部ニ距ヲ有ス食料ハ穀類蟲類ニシテ多ク地上ニ棲息シ數多ノ卵ヲ産ス、其二三種ヲ除外ハ留鳥ニシテ殊ニ暖國ニ多ク、雌獨リ産ス、其肉卵ノ味美ナルニ由リ坤輿上到ル處之ヲ家養ス

(一)孔雀屬 *Pavo*.

○孔雀 *P. cristatus* 其體帶綠類藍色ニシテ金光ヲ放チ頗ル美テ東印度ノ森林等ニ産シ方今諸邦ニ於テ多ク家養ス雄尾翹ノ極メテ美ナルガ故ニ多ク之ヲ修飾ニ供ス

(二)雉屬 *Phasianus*.

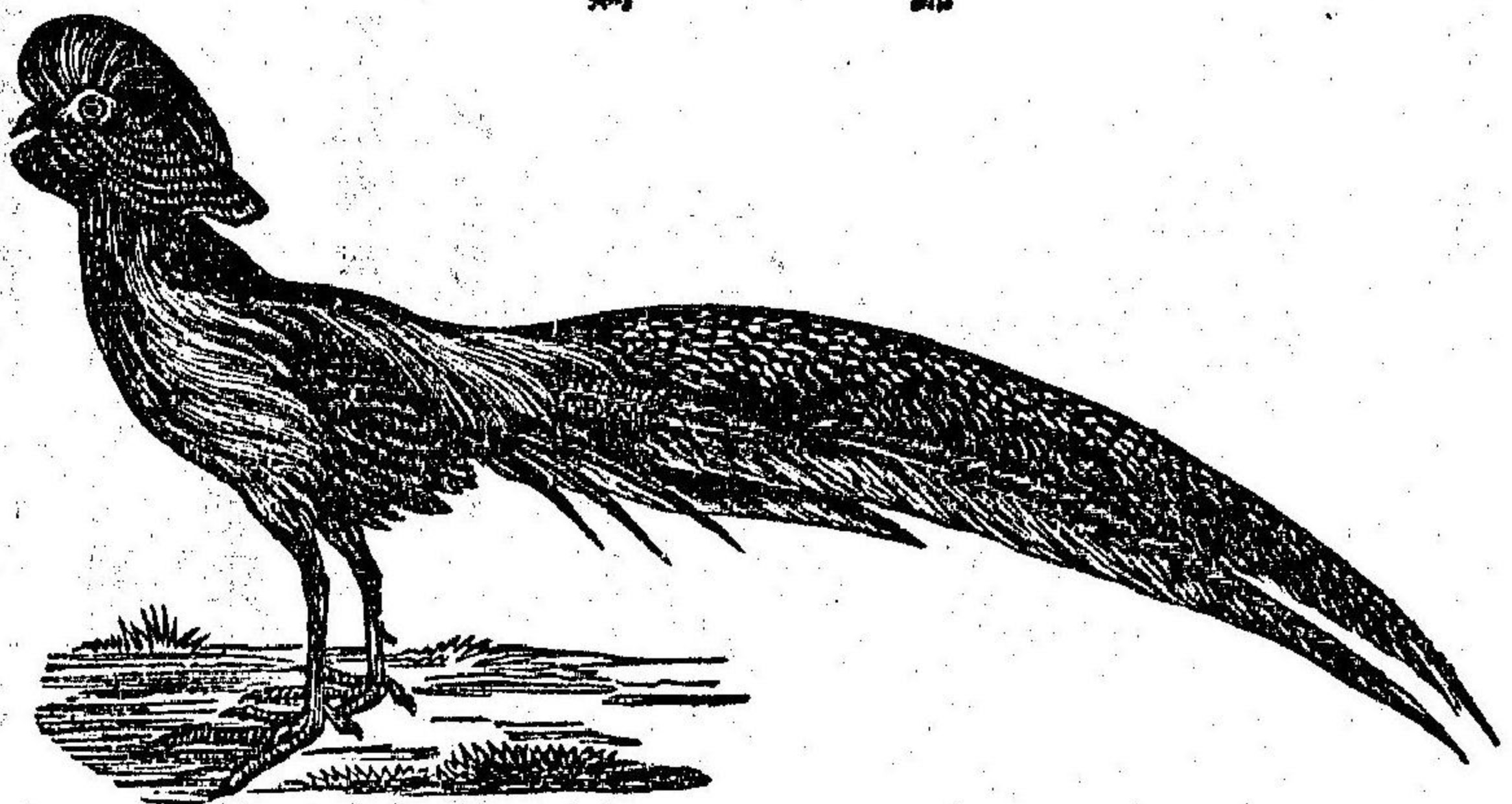
○雉 *Ph. versicolor* 多ク本邦ノ山野ニ産ヌ○山雉 *Ph. Soemmerringii* 全身赤黃色ニ

雉屬

白露鷄屬

珠鷄屬

第八十七圖 鷄



シテ頗ル長尾ヲ有ス ○ 錦鷄 *Ph. pictus* 其体紅色ニシテ頂ニ羽冠アリ背尾黃金色ヲ帶フ支那ニ産ス ○ 天鷄 *Ph. colchicus* 歐洲尋常ノ産ナリ ○ 高麗雉 *Ph. torquatus* ○ 白雉 *Ph. nychthemus*

(三) 白露鷄屬 *Meleagris*.

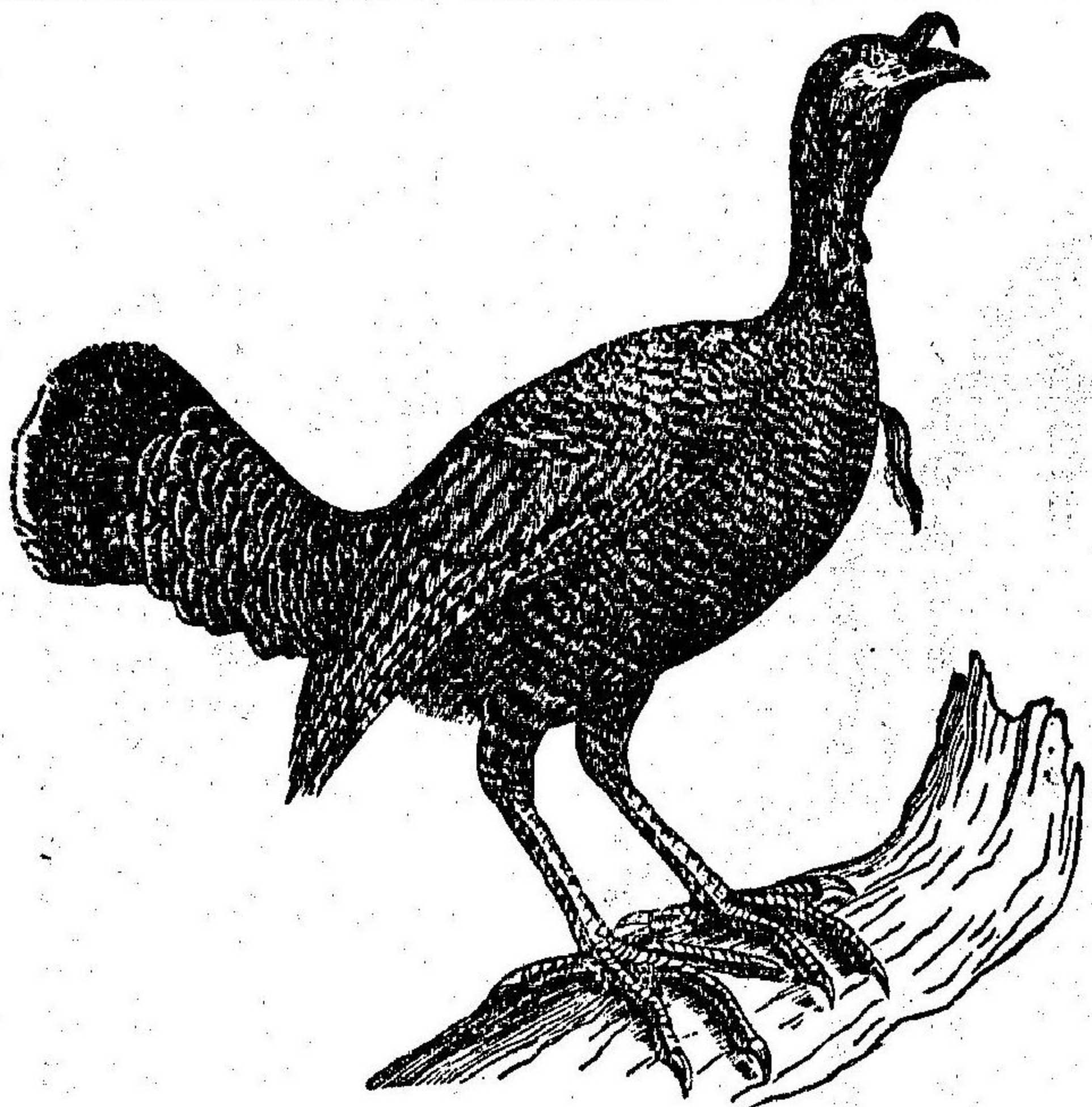
○ 白露鷄 *M. gallopavo* 鷹ノ面色ヲ變スルニ由リ「*メチメンテサ*」ノ名アリ多ク北亞米利加ニ産ス

(四) 珠鷄屬 *Numida*.

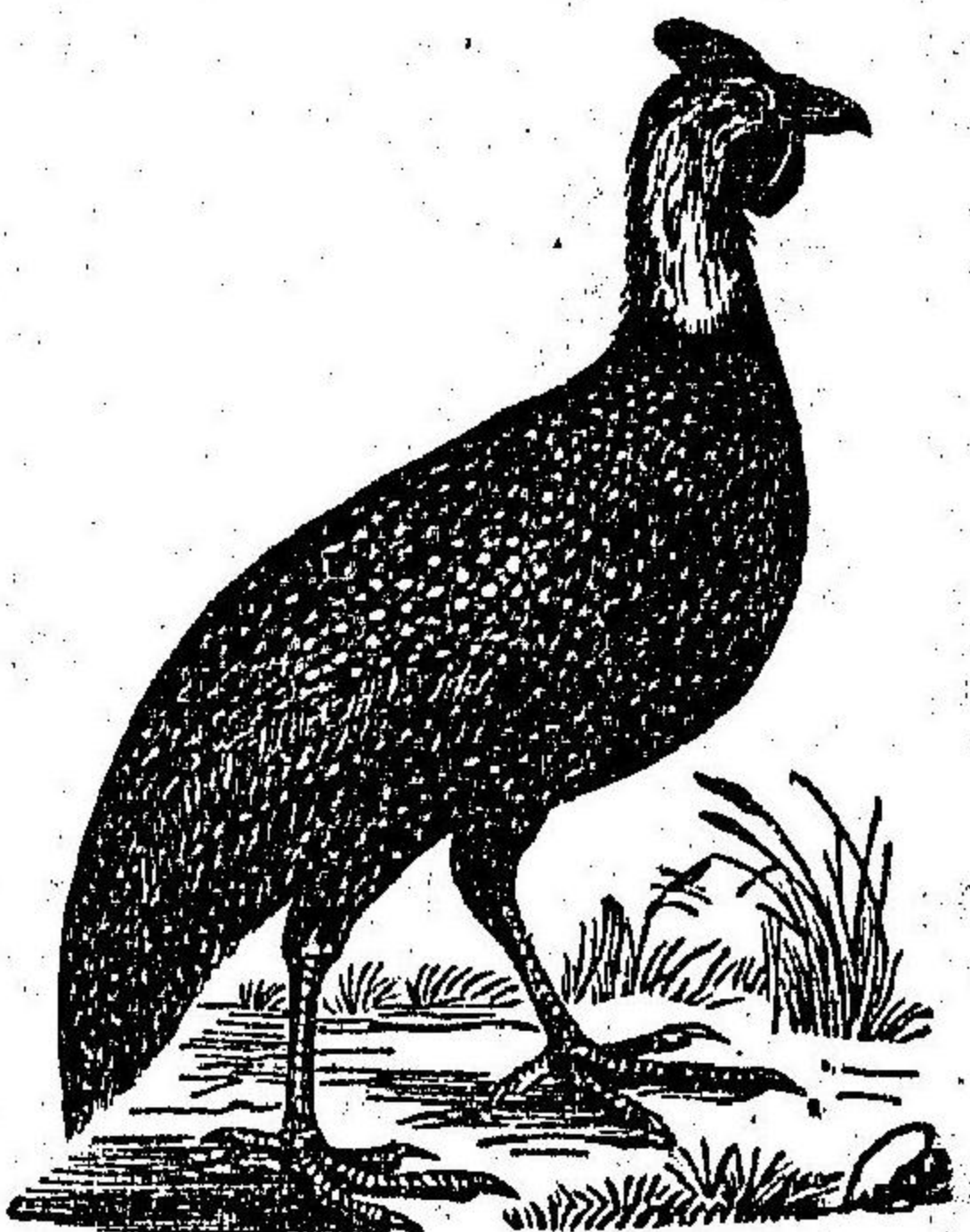
○ 珠鷄 *N. meleagris* 其体灰色ニシテ背色ヲ帶ヒ其大サ六十三センチメテリ西北亞弗利加ニ産シ本邦ニモ間々舶載スルモノヲ見ル

(五) 鷄屬 *Gallus*.

第八十八圖 カラクンテウ



第八十九圖 珠鷄



鷄屬

○野鷄 *G. bankiva* 雄ノ尾羽淡黄色ニシテ弧圓形ヲナス蓋シ家鷄ノ原種ナラシ瓜哇、蘇門答臘ノ森林ニ産ス○家冠 *G. domestica* 其形ニ大小アリ其色各異ナリト雖モ皆頂上ニ肉冠ヲ戴キ頰下ニ二瓣ヲ垂ル鷄屬中變生極メテ多ク大ナル九斤鷄クキケンケイ、小ナル矮鷄チヤボ、家鷄ト矮鷄ノ間生即チ「ハンチヤボ」等アリ、長尾鷄ハ尾極メテ長シ土佐ニ於テ「ハ」サバナミト稱スル奇種ヲ産シ其尾ノ長サ一丈二三尺ニ至ル

(六)蝦夷山鷄屬 *Tetrao.*

蝦夷山鷄屬

○蝦夷山鷄 *T. bonasia* 帶褐縞色ニシテ黑白ノ文アリ脚ニ羽毛ヲ生シ趾ヲ裸出ス人ニ馴レ難ク籠中ニ養フモ他鷄ノ如ク繁殖セス

(七)松鷄屬 *Tetrastes.*

松鷄屬

○松鷄 *T. bonasia* 其體帶褐縞色ニシテ冬時白色ニ化ス小羽鼻孔ヲ覆ヒ尾廣濶ナリ我邦ノ高山北海道ニ産ス

(八)鶉屬 *Coturnix.*

鶉屬

○鶉 *C. japonica* 其體小ク全身黃褐色ニシテ黑白ノ斑ヲ雜シ脚及ヒ趾ニ羽

第十九圖 鶉



毛ヲ具ヘテ短ク原野ニ生息ス往々之ヲ玩養ス

第六目 走禽類 *CURSORES.*

此目ハ諸禽中ノ體軀最モ大ナルモノナリ其翼、體ニ比スレバ甚ダ小ニシテ毫モ飛揚

走禽類ノ通性

スルヲ能ハズ、脚ハ所謂走足ニシテ長大且ツ極メテ力強シ其奔走スルヲ實ニ迅疾ニシテ又能ク其脚ヲ用井テ敵ヲ防禦ス「キヴィ」屬ヲ除クノ外後趾ヲ有スルモノナシ其營生ノ狀ハ雉鷄屬ニ近ク穀類、果實、菜蔬、昆蟲ヲ食シ多數ノ卵ヲ産シ雄鳥多ク之ヲ孵化シ又雌雄交々之ヲ既スルヲアリ多クハ熱帶ノ産ニシテ群居ヲナス

(一)亞弗利加駝鳥 *Struthio.*

○亞弗利加駝鳥 *St. camelus* 其高サ二百セ、メニシテ其重サ凡ソ八十磅ヨリ百

亞弗利加
駝鳥屬

第 九 十 一 圖

亞弗利加駝鳥



磅ニ至ル雄
黑色ニシテ雌
灰色ナリ脚
ハ二趾ヲ具
ヘ嘴扁平ナ
リ其本產地
ハ亞弗利加
ノ沙漠ニシ
テ奔走ノ疾
キヲ實ニ鳥
中ニ冠タリ、
貪食シ其性
怯ナリ

(二)亞米利

亞米利加
駝鳥屬

加駝鳥屬 Rhea.

○亞米利加駝鳥 *Rh. americana* 走足三趾ヲ具ヘ嘴扁平、尾隱沒シテ認ムルコト能ハス、灰褐色ニシテ大サ凡ソ百五十、セ、メ、人ニ馴レ易シ南亞米利加ノ産ナリ

(三)鸛屬 *Dromaeus*.

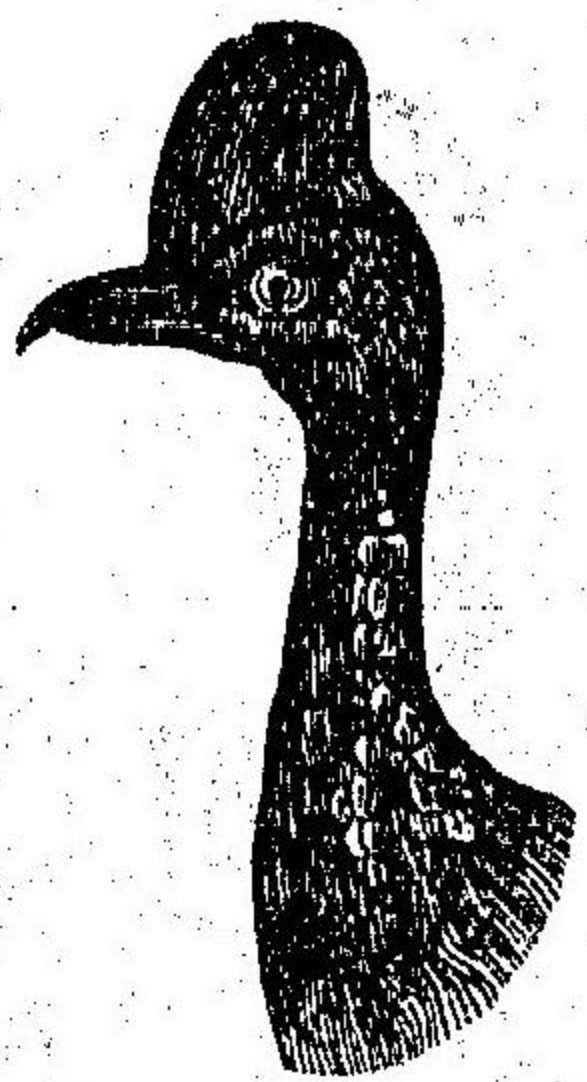
鸛屬

○鸛 *D. Novaehollandiae* 其嘴歷扁シ尾認め難シ大サ百九十、セ、メ、ニシテ褐色ナリ

(四)食火鷄屬 *Casuaris*.

食火鷄屬

第 二十九 圖
食火鷄



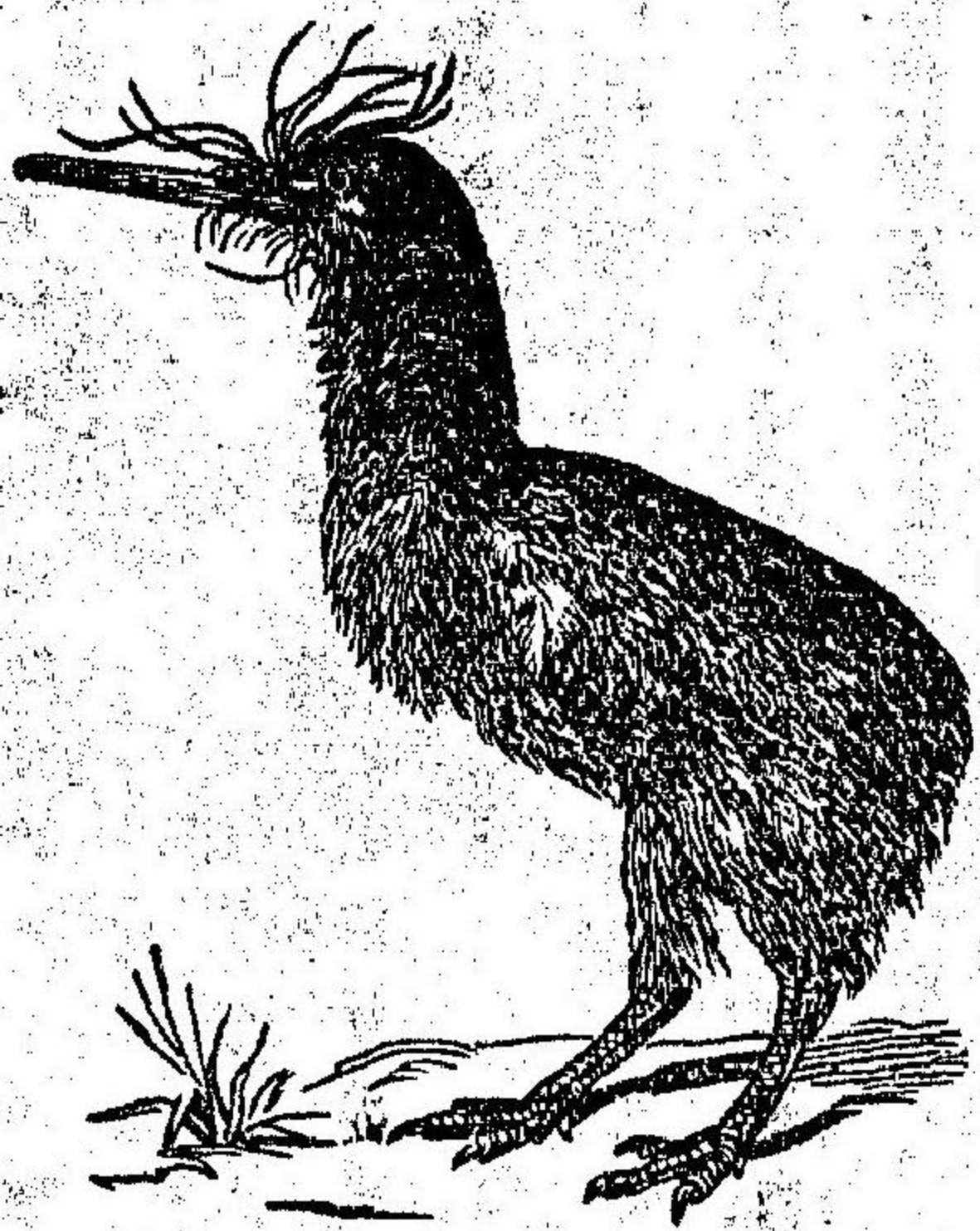
○食火鷄 *C. indicus* 頸及ヒ頭ニ羽毛アラズ頂上ニ角様ノ甲ヲ戴キ其体羽毛狀ヲ爲シ尾ヲ具セズ体黑色ニシテ頸背ケ肉瓣赤色ナリ、其大サ百九十、セ、メ、新幾内亞ノ産ナリ

(五)キツツノ屬 *Apteryx*.

禽鳥類 走禽類

キヅイ屬

第九十三圖
イ ヱ キ



○キヅイ *A. australis* 前ノ三趾強
大ニシテ後趾一アレ短ク嘴
細長ニシテ其羽ハ毛狀ナシ
翼及尾羽ナシ大サ七十八セ、
メ夜鳥ニシテ新西蘭ニ産シ今
ニヨシラント
ハ其種殆ント斷滅セリ

第七目 涉禽類 *Galliniformes*

涉禽類ノ
通性

本類ハ沼地ニ於テ食ヲ索ムルノ性ヲ稟ケタルモノニシテ其脚佗
鳥ニ比スレバ甚ダ細長ク尾ハ短シ其糞料ハ爬虫、多蟲、介類、水草等
ナリ其脚實ニ長ク頸モ亦之レニ準シテ長シ以テ食ヲ獲ルニ便ニ
ス該類ハ沼中ニ棲息スルモノニノ淤泥中ニ陥没スル恐レアルガ
故ニ蹠ヲ以テ其趾ヲ連続スルモノアリ或ハ外距ト中趾ノ間ニ狹
キ連膜ヲ有スルモノアリ或ハ連膜ナク長趾ヲ以テ之ヲ補フモノ

アリ、殆ンド皆候鳥ニシテ飛翔ノ際ハ其脚ヲ後方ニ挺出ス、多ク暖
帶地方ニ産シ、其巢ヲ地上樹上或ハ巖空中等ニ營ミ其肉美味ニシ
テ珍饈ニ供セリ

(一) 鴈屬 *Gris*

丹頂鴈 *G. leucanthen* 高サ百セ、メニ幾ク全身灰白色、頂丹ク、目モ亦赤シ頸黒
色ナリ、鴨鳥ニノ古ヨリ間、之ヲ家養スルモノアリ ○ 鵞 *G. antigone*
高サ凡ソ百四十セ、メ、全身灰白色ニシテ翼端尾等黒ク兩頰赤色ナリ ○ ナハ
ツ *G. monacha*

(二) 蒼鷺屬 *Ardea*

蒼鷺 *A. cinerea* 頂ノ冠羽黒ク背部帶蒼灰色ヲ呈ス、故ニ此名アリ東半球ニ
産シ魚蛙昆蟲類ヲ食フ

(三) 鷺屬 *Herodias*

鷺 *H. gazetta* 全身白色ニシテ脚青ク背羽修飾具ニ供用ス ○ 黃毛鷺 又
マサキ(鷺ニ似テ黃毛ヲ雜生ス)又此屬中ニアリ

鷺屬

蒼鷺屬

鴈屬

山家五位 屬
 (四)山家五位屬 *Botaurus*.
 ○山家五位 *B. stellaris* 全身暗褐色ニシテ黒褐色ノ斑アリ ○獨春鳥屬 *Ardetta*
 此近屬ナリ

鷓鴣屬
 (五)鷓鴣屬 *Nycticorax*.

○鷓鴣 *N. nycticorax* 背部黒メ故ニ此名アリ

鷓鴣屬
 (六)鷓鴣屬 *Ciconia*.

○鷓鴣 *C. boyciana* 其形體ニ似テ頂赤カラス頸長クシテ脚ハ赤色ナリ全身灰
 白色ニシテ尾翅俱ニ黒ク多クハ高樹ノ頂ニ巢フ蟲類蛙魚等ヲ食フ

(七)紅鶴屬 *Ibis*

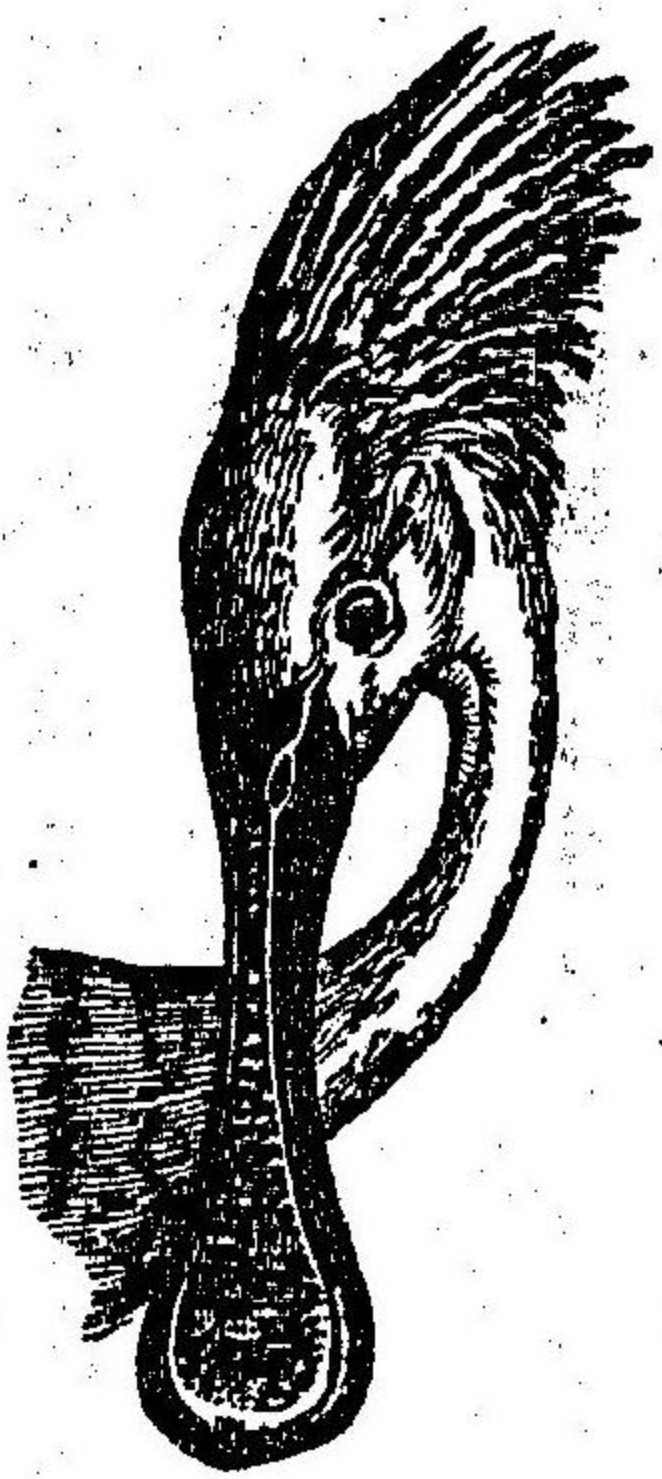
○紅鶴 *I. religiosa* 其嘴細長ニシテ大ニ彎曲シ頭及ヒ喉ノ一部ヲ裸出
 シ趾連綴セリ体白クシテ頭頸共ニ黒色長サ六十三セメ性甚々敏ナリ埃
 及人之ヲ辱ムコト神ノ如シ ○紅鶴 *I. hippo* 全身淡紅ニシテ桃花ノ如シ故
 ニ桃色鳥又朱鷺ト云フ ○クロトギ *I. propinqua* 頭嘴脚等黒シ
 (八)篋鷺屬 *Platalea*.

篋鷺屬

第九十四圖 篋紅鷺



第九十五圖 篋鷺



胸黑千鳥 屬

彎曲ス脚趾ニシテ後趾ナシ河岸ニ生息スル小禽ナリ

(十)水喜鵲屬 *Aegialitis*.

○水喜鵲 *A. cantianus* ○イカランダ *A. placidus* 皆好メテ水邊ニ棲ム

(十一)都鳥屬 *Haematopus*.

○篋鷺 又 淺葦 *P. major* 嘴扁平ニシ
 テ其狀恰モ篋ノ如シ其体少シク
 灰色ヲ帯ビ羽冠ナシ

(九)胸黑千鳥屬 *Charadrius*.

○胸黑千鳥 *Ch. bairds* 嘴短ク尖端

都鳥屬

○都鳥 又 ヲバチドリ *H. oscularis* ○ギヤウシヨシキ屬 *Streptias* ハ此近屬ナリ

(十二) 計里屬 *Vanellus*.

○田計里 *A. cristatus* 身体暗褐色 ニシテ紫光ヲ帯ビ胸部黒シ ○計里 *Lobivanellus inornatus*.

(十五) 保登鵝屬 *Scelopax*.

○保登鵝 *Sc. rusticola* 嘴ハ細長、体ニ黒色及ビ暗黄色ノ斑紋アリ、田澤ノ間ニ生息シ、蟲類ヲ食ス ○タシキ屬 *Rhynehæa* 此ニ近シ

(十六) ギシキ屬 *Gallinago*.

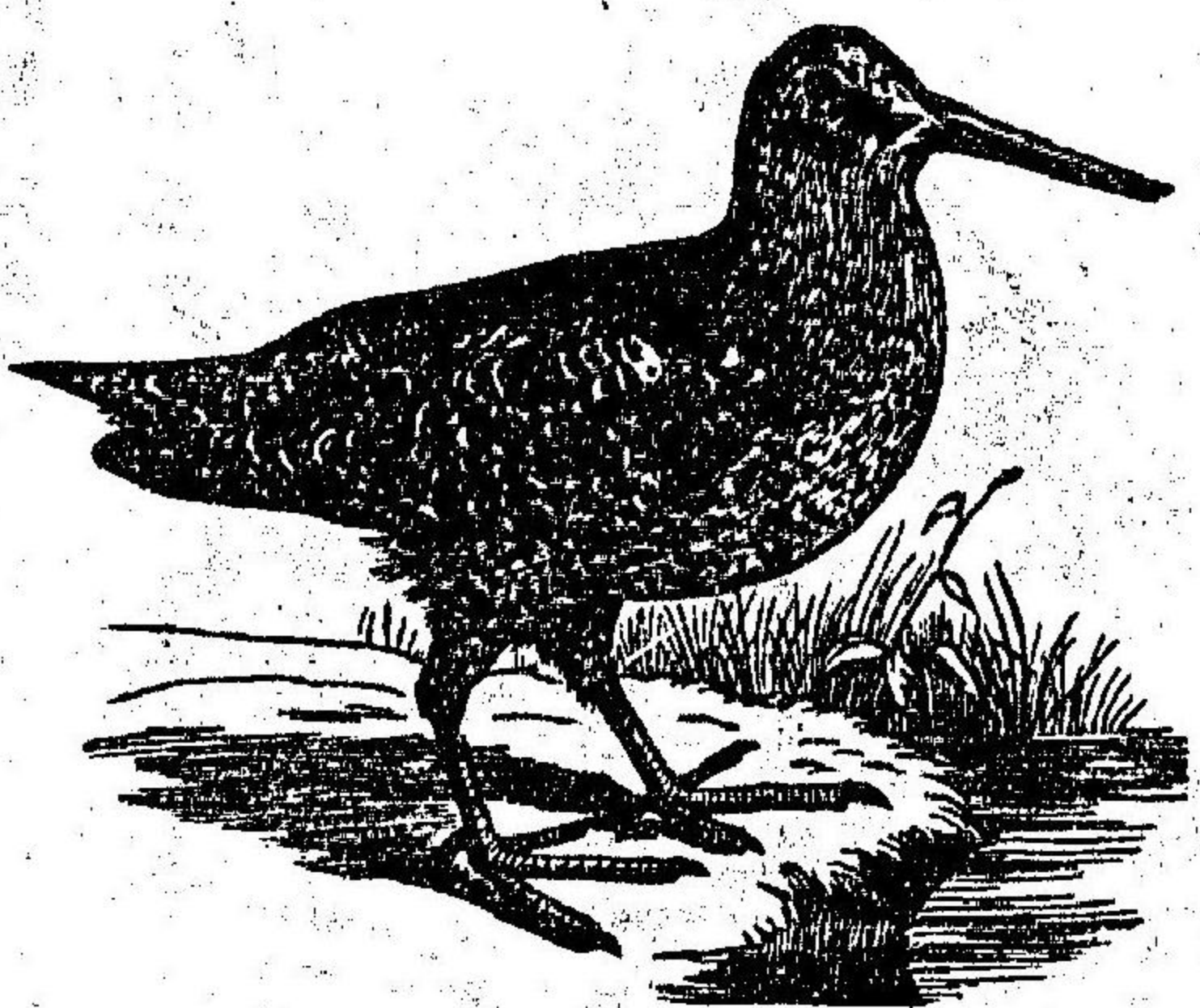
○ギシキ *G. scolopacina* ○ヤシキ *G. australis*

(十八) 杓鵝屬 *Nunentus*.

○大杓鵝 *N. major* 嘴下方ニ彎曲ス

第六十九圖

ギシトホ



大杓鵝屬

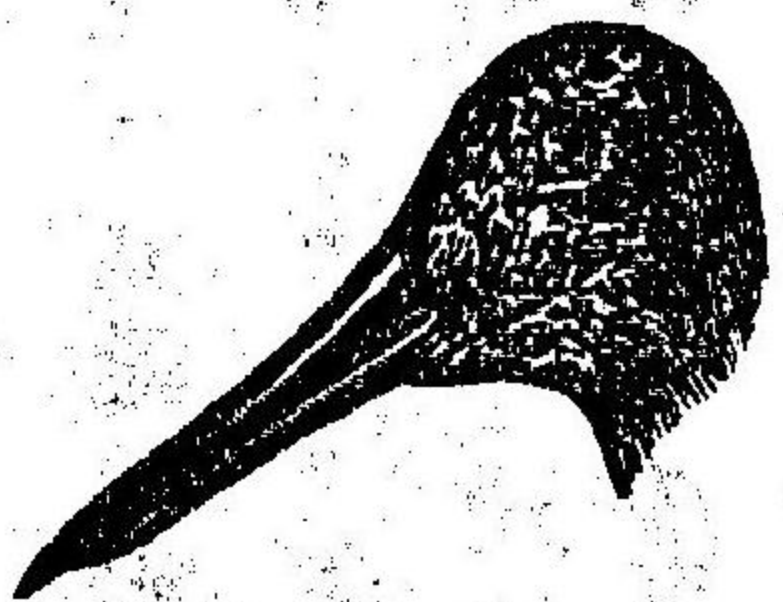
ギシキ屬

ホトシギ屬

秧鷄屬

第七十九圖

鷄



黄色ニシテ黒斑アリ水邊ノ耕田等ニ棲息ス ○小杓鵝 *N. phaeopus*

(十五) 秧鷄屬 *Rallus*.

○秧鷄 *R. indicus* 冬間沼池ニ甚々普通ナリ

(二十) 翻屬 *Gallinula*.

○紅冠水鷄 又 小翻 *G. chloropus* 其嘴圓錐形ニシテ

翻屬

頭部ト其長サヲ同フヌ上側阿列布襟褐色ニシテ下側及ビ頭頸等灰色ヲ

呈ス額ニ赤色ノ裸出部アリ、脚綠色ナリ、趾ハ至テ長シ

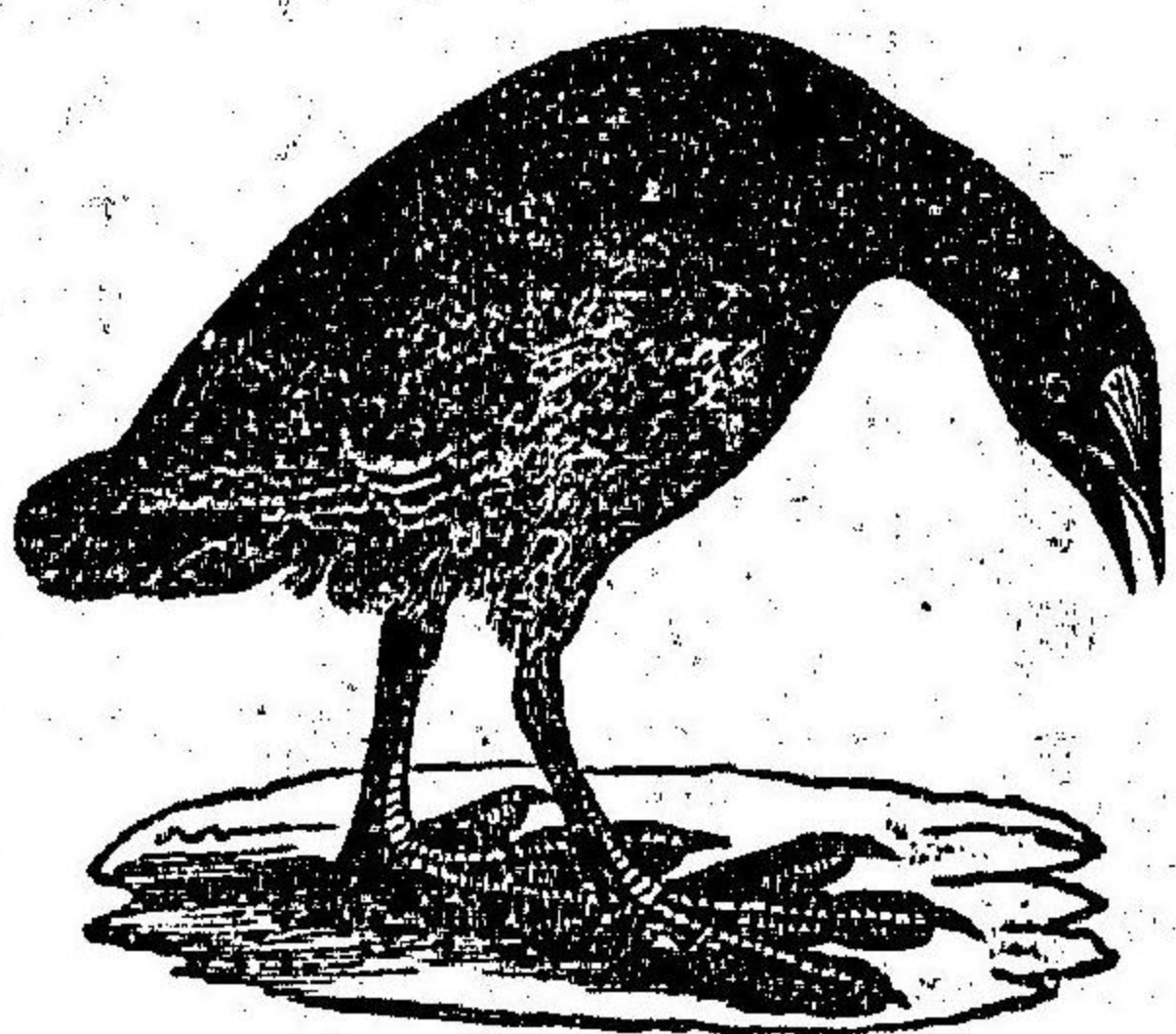
(二十一) 骨頂屬 *Fulica*.

○骨頂 *F. atra* 嘴頭ヨリモ短ク趾ニ廣キ側皮ヲ具フ(蹼足)、其体暗青色ニシテ額板青色ヲ呈ス、好シテ平穩ナル水中ニ游ビ水産動物ヲ食フト雖ヒ魚類ヲ

骨頂屬

第八十九圖

頂骨



鷗屬

嘴端直ニシテ壓匾シ其末端鈎曲ス喉部ヲ裸出シ且ツ伸長スル喉囊ヲ具フ

○鷗 *Ph. ardo* 其体多少黒色ヲ呈シ喉部白色ニシテ背部灰褐色ナリ之ヲ馴養シ頸ニ紐ヲ結ンテ魚ヲ捕ヘシム此漁法ヲ鷗飼ト稱ス岐阜ノ長柄川等ハ最モ鷗飼ニ有名ナル地ナリ ○シラガサ *Carbo flammeus* 白羽ヲ雜ユ

(九)ペリカン屬 *Pelecanus*.

頭ヲ裸出シ大ナル喉囊ヲ具フ

ペリカン屬

第百圖

ハカリカ



○尋常ペリカン *P. onocrotalus* 其体白色ニシテ老鳥ハ紅色ヲ帶ヒ暖國ノ河海ニ産ス東印度ニ於テハ之ヲ漁業ニ用ユ

信天翁科

(丙)信天翁科 脚稍、体ノ中央ニ位シ泳足ヲ具フ翼尾長ク巧ニ飛翔ス

海鷗屬



第百圖

信天翁屬

(十)海鷗屬 *Puffinus* 能ク游泳潜行ス ○海鷗 *P. tenuirostris* (十一)信天翁屬 *Diomedea* 嘴頭ヨリモ長ク後趾ヲ欠ク ○信天翁 *D. brachyura* 背部灰色或ハ褐色ニシテ翼黒シ其性和名ノ如ク昏鈍ニシテ怯ナラズ食食ス ○クロアホウドリ *D. derogata*.

(丁)鷗科

翼細長ニシテ其脚體ノ中央ニ

鷗科

皆銳尖ニノ專ラ食物ヲ啣引スルニ適シ咀嚼ニ便ナラス故ニ常ニ之ヲ吞下ス龜類ノ如キハ齒ヲ欠キ之レニ代フルニ角鞘ヲ以テス、爬蟲ハ概テ卵生ニシテ胎生ノモノ少ナク其卵多ク氣温ニ由テ孵化スト雖モ亦罕ニ體温ヲ以テ孵化スルモノアリ大抵皆熱地ノ産ニソ洩寒ニ堪ユル能ハズ能ク飢餓ニ堪ヘ食セスシテ數月ヲ歷ルモ死スルコトナシ又大ニ長壽ノモノアリ二百歳ノ齡ヲ保ツコトアリ龜類ハ人ニ益アレモ其他ハ多ク食ヲ貪ボリ若シハ毒牙ヲ具スル等ニ由テ有害ナリ、本綱ヲ分テ左ノ三目トス

(第一)龜類 其體背胸兩甲ヲ被フリ四脚ニ爪アリ

(第二)蜥蜴類 其體鱗若クハ鱗狀ノ甲ヲ被フリ四脚ニ爪ヲ具ス

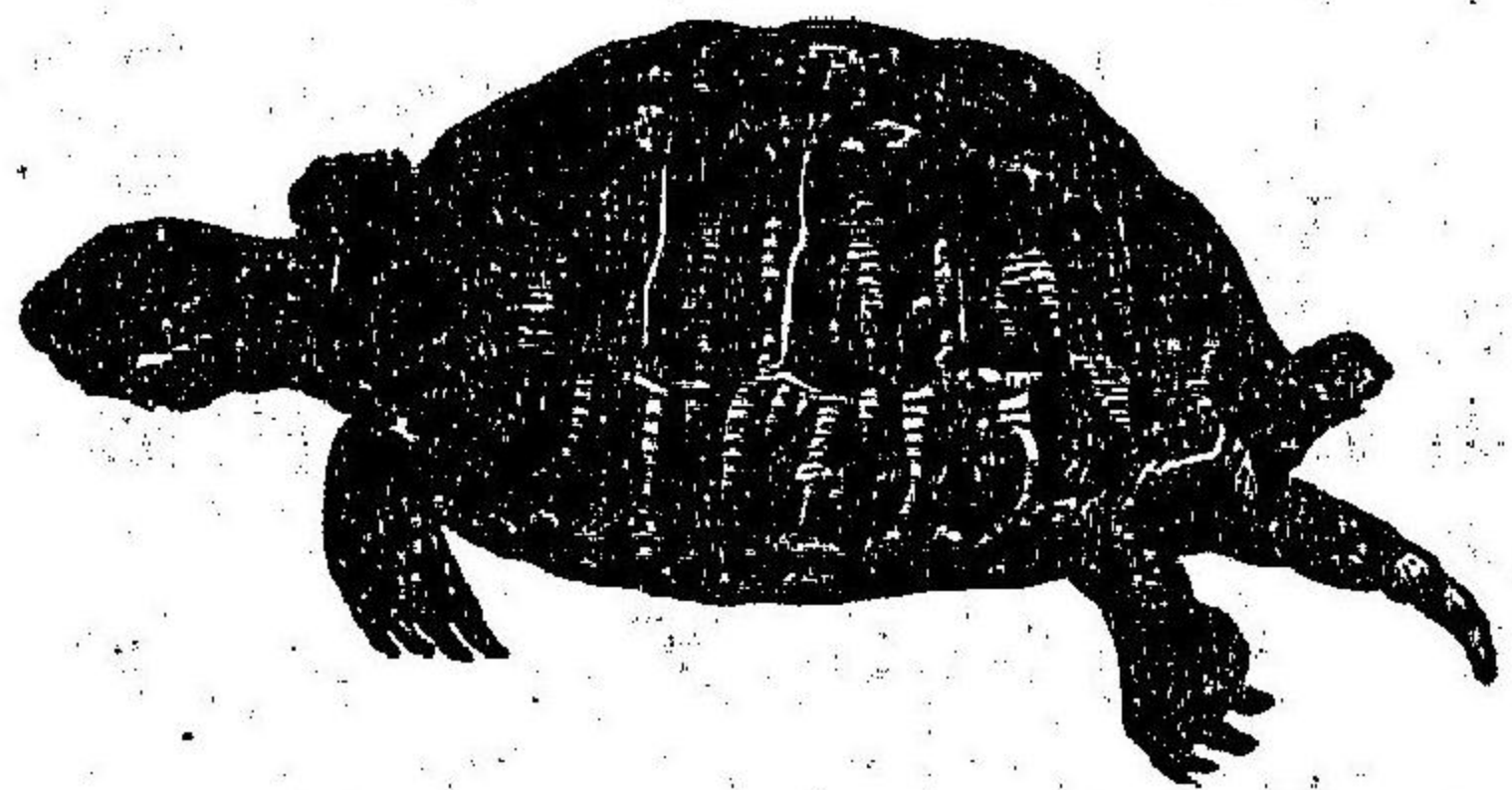
(第三)蛇類 體ニ四肢ヲ欠ク

第一目 龜類 Cheloni.

此動物ハ背胸ノ兩甲ヲ具シ獨リ頭尾四肢ヲ體外ニ出ダスニ由リ

龜類ノ通性

第百二圖 活龜



其形狀他ノ二目ト大ニ異ナレリ其背甲穹隆ニシテ變形シタル脊椎ノ一部肋骨及ヒ皮骨等ヨリ成リ胸甲ハ單ニ皮骨ヨリ成リ其形扁平ナリ、皆齒ヲ具セズシテ顎上ニ角鞘アリ、食料ハ蝸牛、蚯蚓等ニシテ水産ノモノハ植物魚介ノ類ヲ食シ能ク飢餓ニ堪ヘ容易ニ死セザルモノナリ其肉卵味頗ル美ナリ故ニ甚ダ之ヲ貴重ス

(一)水龜屬 *Chelonyx*.

水龜屬

○水龜 *Chelonyx japonica* 多ク本邦ノ池河等ニ産シ魚蟲水草ノ類ヲ食ス

(二)鱉屬 *Trionyx*.

鱉屬

○鱉 *Trionyx japonicus* 背甲圓ク其實堅硬ナラズ頸長ク伸出シ鼻頭尖シ其肉味美ニシテ食フベシ

(三) マタマタ 龜屬 Chelis.

マタマタ

○ マタマタ 龜 Ch. fimbriata 背甲ノ角板突起シ其肉味美ナリ中亞米利加ノ湖河ニ産ス

(四) 蠟龜屬 Chelonia.

蠟龜屬

第三百圖

蠟 龜 屬



皮ヲ以テ趾ヲ連綴シテ櫓狀ヲナシ一乃至二爪ヲ具ス多ク熱帶ノ海洋ニ産シ産卵期ノ外ハ常ニ水中ニ棲息ス其期ニ至レバ先ツ海濱ノ砂中ニ孔ヲ穿テ産卵シ舊ノ如ク砂土ヲ蓋フ

○ 綠蠟龜 Ch. esculenta 身體ノ大サ二百「セ、メ」ニシテ龜族中ニ冠タリ背甲ノ中央ニ五枚兩側ニ各四枚ノ小甲ヲ具シ常ニ植物ヲ食料トス故ニ其肉頗ル美ニシテ瀕海ノ諸國ニ於テハ之ヲ珍饈ニ供セリ我が小笠原島ノ如キハ其流弊甚ダ盛ナリ ○ 赤蠟龜 Ch. cauma 其大サ略前種ニ似ルト雖モ其甲色前種

ノ如ク青色ヲ帯ビメノ褐色ヲ呈シ且ツ中央ノ小甲五枚アリ兩側ノ甲十枚ヲ合スレバ其數部ヲ十五枚ナリ此龜ハ動物ヲ食スルガ故ニ其肉美味ナラズ然レモ其甲前助等ニ世ニ裨益アリ水邦ノ近海ニ産ス ○ 蠟龜 Ch. imbricata 其體ニ黒ニシテ背ノ小甲黃褐色ニ黒色ノ斑紋ヲ繪ヘ且ツ鱗瓦狀ニシテ熱帶ニ産ス其角質ニ化シタル上皮ハ所謂蠟甲ニ製スルモノナリ

第二目 蜥蜴類 Sauria

蜥蜴類

其體甲若クハ鱗ヲ被シ且ツ細長ナリ大抵四肢備ハリテ其趾ニ爪アリ其齒頗ル鋭尖多クハ熱帶ノ産ナリ

(一) 鱗屬 Orosaurus

尾長ク且側壓シ背ニ堅甲ヲ被フリ四肢短小ニシテ前肢ニ五趾後肢ニ四趾ヲ具ス而シテ後肢ノ諸趾蹠ヲ以テ連綴シ卵殼甚ダ堅固ニシテ其大サ恰モ鰻卵ノ如シ暖熱國ノ江河ニ産シ游泳極メテ巧カ

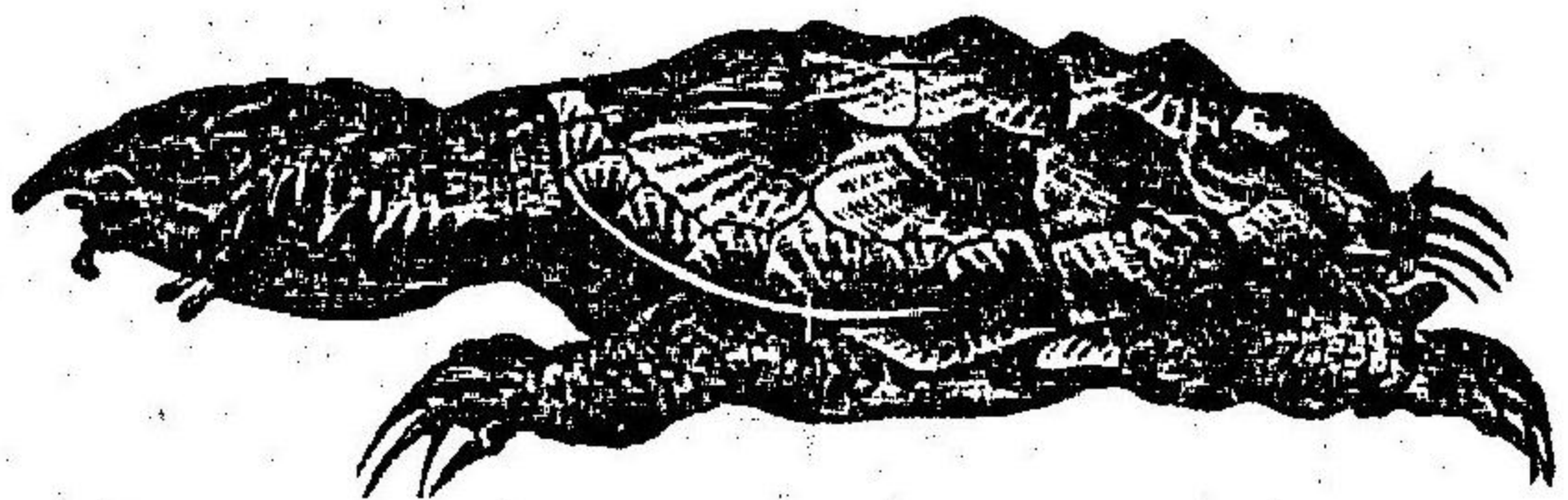
マタマタ
龜屬

(三) マタマタ 龜屬 *Chelis*

○ マタマタ 龜 *Ch. fimbriata* 背甲ノ角板突起シ其肉味美ナリ中亞米利加ノ湖河ニ産ス

(四) 蠟龜屬 *Chelonia*

第三百三圖
龜 マタマタ



皮ヲ以テ趾ヲ連綴シテ櫓狀ヲナシ一乃至二爪ヲ具ス多ク熱帶ノ海洋ニ産シ産卵期ノ外ハ常ニ水中ニ棲息ス其期ニ至レバ先ツ海濱ノ砂中ニ孔ヲ穿テ産卵シ舊ノ如ク砂土ヲ蓋フ

○ 綠蠟龜 *Ch. esculenta* 身體ノ大サ二百「セ、メ」ニノ龜族中ニ冠タリ背甲ノ中央ニ五枚兩側ニ各四枚ノ小甲ヲ具シ常ニ植物ヲ食料トス故ニ其肉頗ル美ニシテ瀕海ノ諸國ニ於テハ之ヲ珍饈ニ供セリ我が小笠原島ノ如キハ其流撈甚ダ盛ナリ ○ 赤蠟龜 *Ch. canina* 其大サ略前種ニ似ルト雖モ其甲色前種

ノ如ク青色ヲ帯ビズノ褐色ヲ呈シ且ツ中央ノ小甲五枚アリ兩側ノ甲十枚ヲ合スレバ其數都テ十五枚ナリ此龜ハ動物ヲ食スルガ故ニ其肉美味ナラズ然レモ其甲、脂肪等ハ世ニ裨益アリ本邦ノ近海ニ産ス ○ 瑤瑤 *Ch. indicata* 其體前種ヨリ較小ニシテ背ノ小甲黃褐色ニ黑色ノ斑紋ヲ雜ヘ且ツ屬五狀ニ排列シ熱帶ニ産ス其角質ニ化シタル上皮ハ所謂龜甲ニ製スルモノナリ

第二目 蜥蜴類 *Saurii*

蜥蜴類

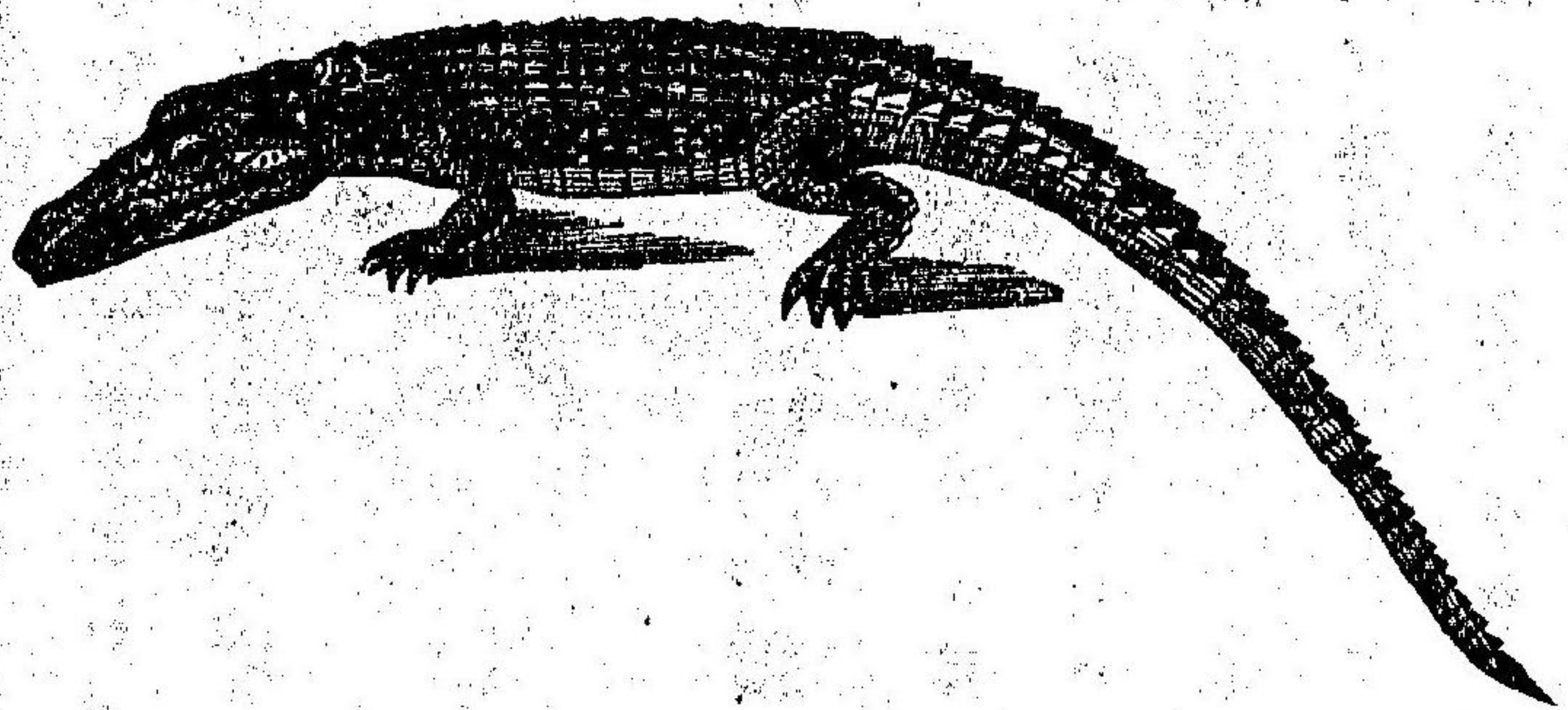
其體甲若クハ鱗ヲ被フリ且ツ細長ナリ大抵四肢備ハリテ其趾ニ爪アリ其齒頗ル鋭尖多クハ熱帶ノ産ナリ

(一) 鱗屬 *Orosaurus*

鱗屬

尾長ク且側壓シ背ニ堅甲ヲ被フリ四肢短小ニシテ前肢ニ五趾後肢ニ四趾ヲ具ス而ノ後肢ノ諸趾蹠ヲ以テ連綴シ卵殼甚ダ堅固ニシテ其大サ恰モ鰻卵ノ如シ暖熱國ノ江河ニ産シ游泳極メテ巧ナ

第四百四圖



○ 鱷 *C. vulgaris*
 口吻短狹ニシテ
 背ノ小甲六
 行ニ排列ス、長
 サ六百乃至九
 百四十センチニ
 至ル叢林中ニ
 隱伏シ羊豚牛
 ノ類ヲ捕食シ
 亞弗利加ニ産
 ス ○ 鼈龍屬
Alligator 前屬ニ
 似タレモ後足

第五百五圖



尋常セラタル

ニ半蹠ヲ具スルニ由リテ異ナレリ

(二) ラセムス屬 *Lacerta*.

○ 尋常ラセムス *L. agilis* 體色灰綠色ニシテ淡褐色ノ背線アリ ○ 綠色ラセムス *L. viridis* 其體綠色ナリ有ス、兩種共ニ歐洲ニ産ス

(三) 蛇舅母屬 *Tachydromus*.

○ 蛇舅母 *T. japonicus* 體褐色ニシテ其尾頗ル長ク軀幹ニ三倍ス

(四) 石龍子屬 *Funecus*.

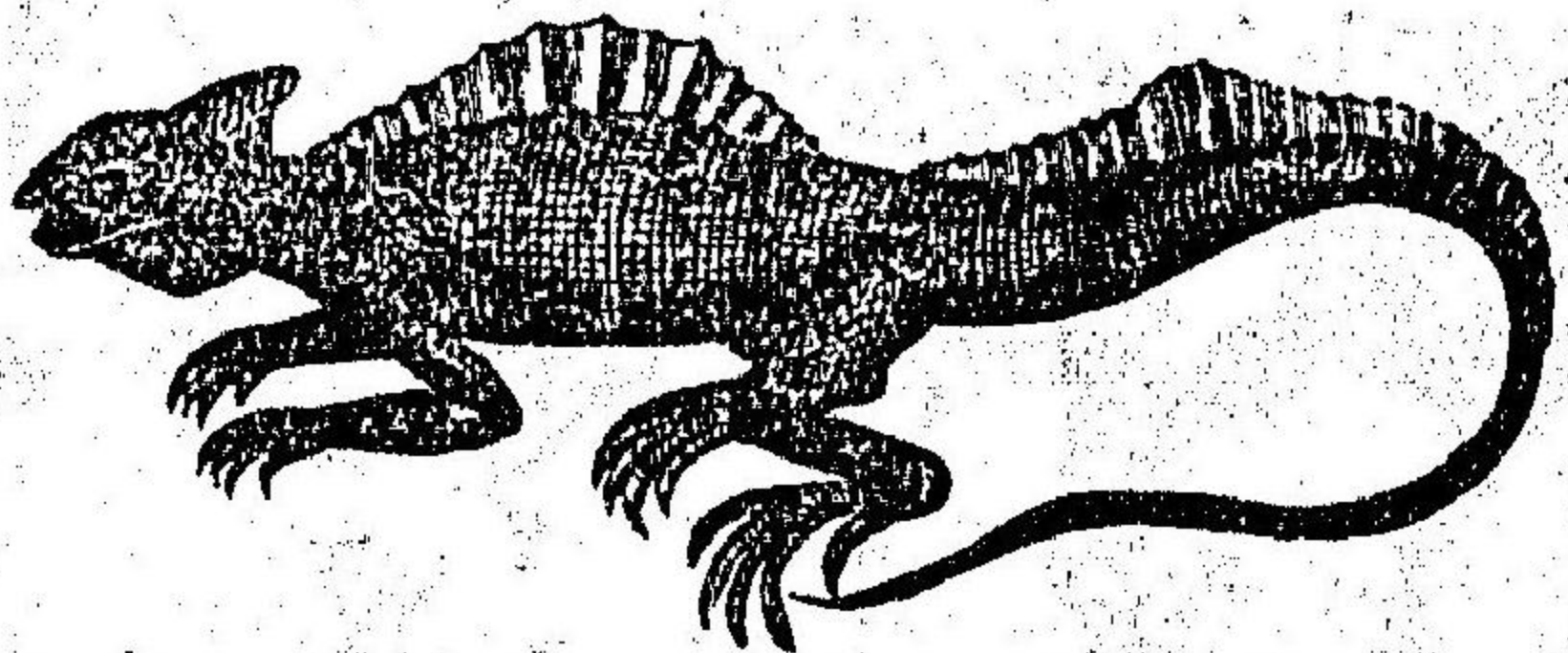
○ 石龍子 *F. quinquevittatus* 身體褐赤色ニシテ背ニ五條ノ黒線ヲ具シ尾青色ナリ能ク昆蟲ヲ捕食ス本邦處トシテ産セザルノ地ナシ

(五) 守宮屬 *Platydictylus*.

諸趾ハ懸板ヲ具シ以テ滑澤ナル壁面ト雖モ巧ニ疾走スルコトヲ得

第六百六圖

亞米加利巴里



守宮屬

石龍子屬

蛇舅母屬

ラセムス屬

○守宮 *P. Janohi* 身體灰白色ニシテ其大サ石龍子ニ似タリ厩舎ノ壁間等ニ棲キ一種ノ聲ヲ發ス

(六)バシリリスク属 *Basiliscus*.

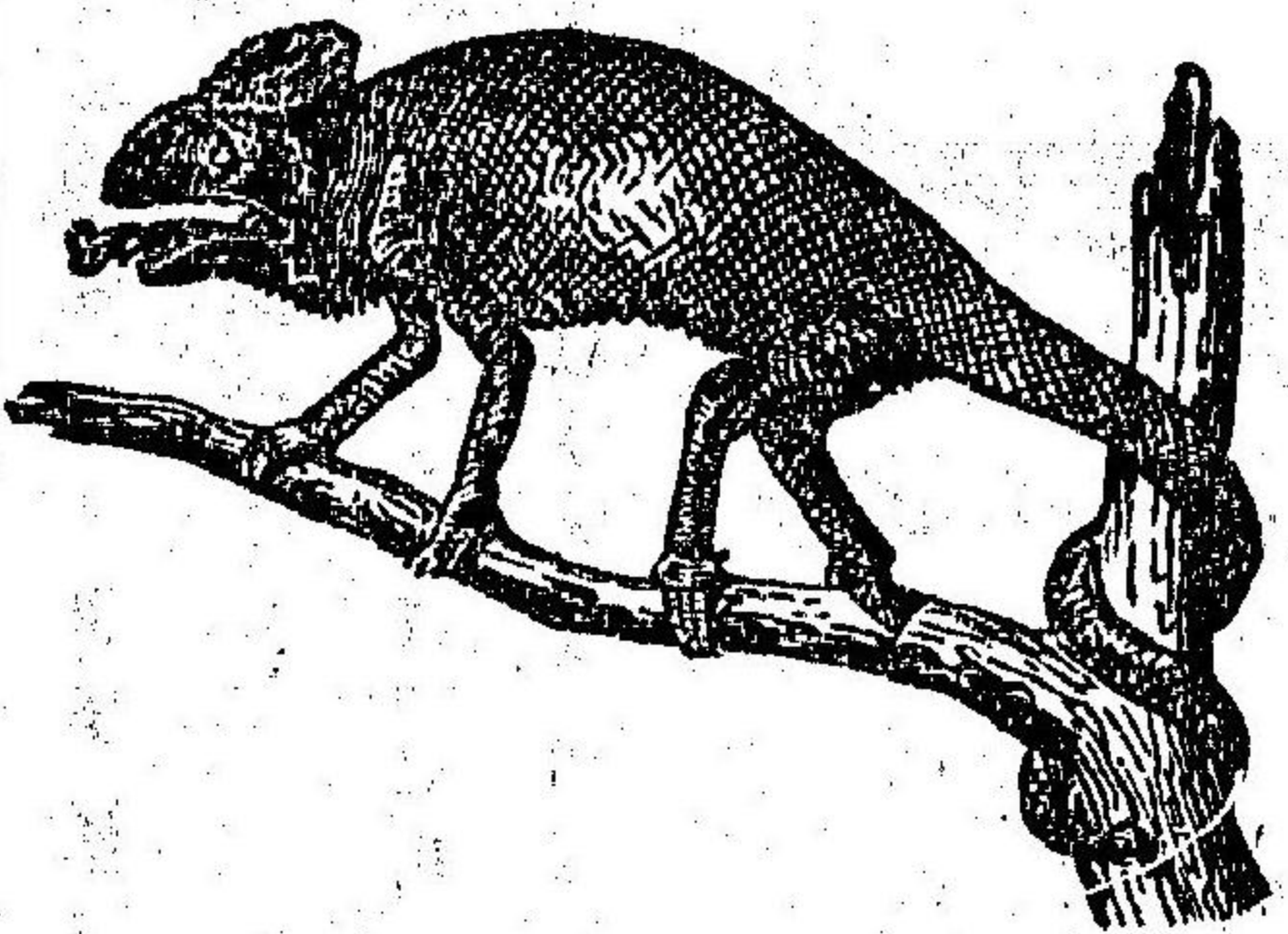
背上ニ雞冠狀突起ヲ具シ后頭ニ皮葉アリ

○亞米利加バシリリスク *B. mitatus* 皮葉ハ帽狀ヲナシ身體類青色ニシ長サ九十五センチメートル内亞ニ産ス

避役属

バシリリスク属

第百七 圖 七 役

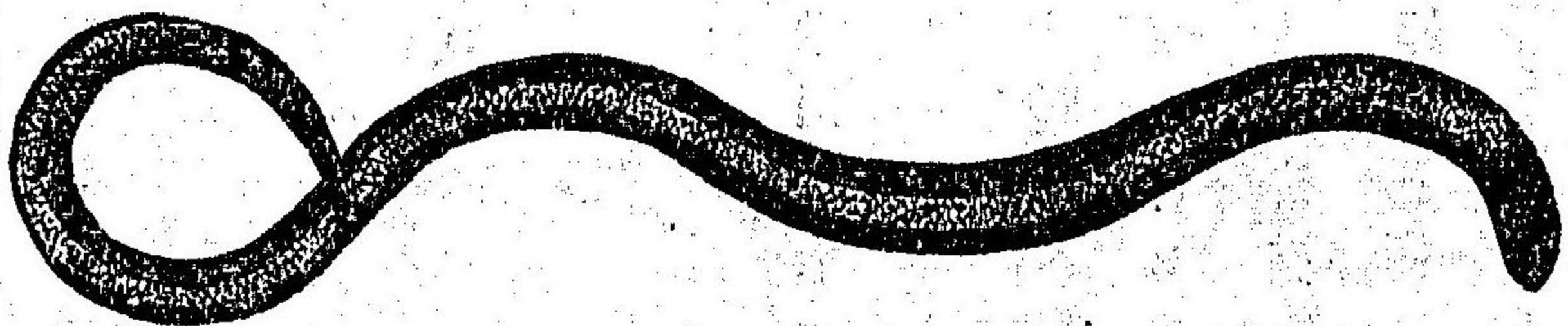


(七)避役属 *Chamaeleo*.

體ニ粒狀ノ鱗ヲ被フリ肢ニ五趾アリ其三趾ハ前面ニ向キ二趾ハ後ニ向ヘリ尾細長ニシテ能ク樹枝ニ纏繞シ舌モ亦長クシテ小蟲ヲ祇捕スルニ便ニス此動物頗ル奇異ナルモノニシテ時々體色ヲ變スルノ性アリ

アングイス属
蛇類ノ通性

第百八 圖
ス イ グ イ ス



リ其働作緩慢ニノ樹上ニ棲息ス
○避役 *Ch. africanus* 後頭ニ冠狀ノ隆起アリ其體淡灰色ニシテ北亞弗利加及ヒ南西班牙等ニ於テ之家養シ以テ蠅ヲ捕ヘンムルコトアリ

(八)アングイス属 *Anguis*.

脚ナク其外貌恰モ蛇ノ如シ

○アングイス *A. fragilis* ハ其色赤褐ニシテ大ナラス害蟲ヲ食スルヲ以テ有益無害ノ動物ナリ全歐ニ産ス

第三目 蛇類 *Ophidi*.

其體圓柱狀ニ延長シ且シ四肢眼瞼胸骨等ヲ欠ク鱗ニ背鱗腹鱗ノ別アリ背鱗ハ菱形ニシテ屋瓦狀ニ排列シ腹鱗ハ方形ニシテ兩縁相

接合スルニ過キズ左肺ハ大抵萎縮シ右肺ノミ能ク發育ス脊椎ノ數四百二十二ノ多ニ至ルモノアリ又下顎骨ノ前方ニ於テハ韌帶ヲ以テ其兩枝ヲ相連繫シ且ツ頭蓋骨ト直接ニ關連スルヲナシ其他上顎骨、口蓋骨等モ亦固着セズシテ能ク運動ス故ニ能ク自家ノ周圍ヨリモ大ナル動物ヲ吞下ス其舌分岐シテ能ク運動シ專ラ觸官ヲ司ル○蛇ハ概テ卵生ニシテ又胎生ノモノアリ、鱗上ノ皮膚ハ每年數回脫退ス之ヲ蛇蛻ト云フ、熱國ニ産スルモノハ大ニシテ且ツ美ナルモノ多シ寒地ノ産ハ多ク形小ニシテ美ナラズ冬時ハ蟄伏シテ睡眠ス蠕蟲、昆蟲、蛙、石龍子、鳥ノ類ヲ食ス

(甲)毒齒ヲ有セサルモノ

上顎ノ諸齒皆充實シ且ツ毒腺ヲ具有セズ

(一)王蛇屬 Boa

王蛇屬

毒齒ヲ有セサル蛇類

○王蛇 *B. constrictor* 其長サ九百四十「セ、メ」尾ノ起根ニ後趾ノ痕跡ヲ具ス、蛇

第九百第九十九號 蛇王



類中最大ナルモノニシテ常ニ樹間ニ棲息シテ諸獸ヲ襲ヒ身ヲ以テ之ヲ絞殺ス南亞米利加ノ産ナ

蟒蛇屬

(一)蟒蛇屬 Python.
○蟒蛇 P. regis 背黃褐色ニシテ褐色ノ大斑點アリ長サ四百七十セメ餘ニ至ル東印度瓜哇等ニ産ス

(三)黃領蛇屬 Elaplis.

黃領蛇屬 Elaplis.
○黃領蛇 E. virgatus 其體和名ノ如ク青綠色ヲ帶ビ且背ニ著明ナラザル四條ノ黑線ヲ現ハス其最大ナル者長サ百セメ餘ニ至ル本邦到ル處ニ産ス
「ナメ」 E. quadrivirgatus 其形前種ノ如ク背ニ四條ノ黑線アリ「ナムグリ」 E. conspicillatus.

(四)赤棟蛇屬 Tropidonotus.

赤棟蛇屬 Tropidonotus.
○赤棟蛇 T. tegulus 全身綠色ニシテ背及ビ側部等ニ黑斑ヲ點シ且ツ側部ニ朱色ヲ呈ス
○鳩色蛇 T. Martensii 此毒ニ中ルモノハ即日ニ斃ルト誤認セシヨリ之ヲ「ヒバカリ」ト稱ス然レモ其實決シテ毒蛇ニアラス

(乙)毒齒ヲ有スルモノ

之ニ屬スル者ハ上顎ニ洞齒若クハ溝ヲ有スル毒齒ヲ有シ毒腺ト

毒齒ヲ有スル蛇類

相通シテ蛇咬ノ際毒ヲ創口ニ注入ス洞齒ノ數其最大ノモノニニシテ其他稍細小ノ副洞齒數枚ヲ備具スルモノアリ而シテ溝齒ハ副齒ヲ生ス

(五)響蛇屬 Crotalus.

○響蛇 C. horridus 尾端ニ數多ノ角環ヲ連子之ヲ動搖シテ一種ノ響音ヲ發ス北亞米利加ニ産シ最モ恐ルベキ毒蛇ナリ

第一百十圖 蛇



(六)蝮蛇屬 Trionocephalus.

○蝮蛇 T. Blomhofti 其形前種ニ似テ尾尖ル全身暗灰色ニシテ黑色紫褐色ノ圓斑ヲ呈ス多ク茂草ノ中ニ棲息シ其毒猛烈ナリ

(七)飯匙倩屬 Trimeresurus.

飯匙倩屬

○飯匙倩 T. trimeresurus 身ノ長サ大約百七七セメ頭大ニシテ三角形ヲナス金飯

匙骨及ヒ銀板匙骨ノ別名アレニ蓋シ同種ナラン脊背ニ黒斑ヲ呈ス琉球群島ニ産シ其毒頗ル劇烈ナリ

(八)海蛇屬 Hydrophis.

海蛇屬

○海蛇 Hydrophis 全身暗褐色ニシテ頰ル側區シ、體鱗甚ダ大ナリ、此種ハ琉球群島殊ニ永良邊島ニ産ス漢醫之ヲ藥用ニ供ス

第四綱 兩棲類 Amphibia.

兩棲類ノ通性

○兩棲類ハ一ニ多量類又ハ冷血動物ニシテ其體裸出シ其四肢各屬一ナラズ或ハ之ヲ欠ク者アリ或ハ獨リ前肢ヲ有スル者アリ或ハ四肢ヲ具スル者アリ趾ノ數四乃至五ニシテ爪ヲ具セズ齒多クハ小且ツ鋭尖ナリ又二三ノ屬ハ全ク齒ヲ欠クモノアリ、心臟ノ前房中隔ヲ以テ二分スト雖モ心室ハ唯一ナリ、幼時ハ其狀恰モ魚類ノ如ク水中ニ生活シ鰓ヲ以テ呼吸ス而シテ其鰓、頭ノ後部ニアリテ外方ニ位シ漸ク形ヲ變シ全ク發育スレバ多ク鰓ヲ脱却シ肺ヲ以テ呼吸シ

且ツ其形モ亦一變シテ四脚ヲ具フ或ル種屬ハ畢生、鰓ヲ以テ呼吸スルモノアリ、本類ハ卵生ニシテ其卵多ク相集リテ一塊ヲナスモノアリ或ハ結紐狀ニ疊々相連ルモノアリ或ハ一卵毎ニ水中ニ産下スルモノアリ、雌雄ハ往々其外形ヲ異ニシ、雄蛙ノ如キハ拇趾ニ乳嘴ヲ具シ或ハ咽喉ニ鳴囊ヲ有スルガ故ニ雌蛙ト識別スルヲ易シ、昆蟲、蠕蟲、蝸牛、幼魚等ヲ食シ初生ノ時ハ主トシテ植物質ヲ食ス多ク隱暗ノ處ヲ好ミ最モ水邊ノ濕地ヲ愛ス而シテ本類ハ無害ノ夜動物ニシテ昆蟲等ヲ驅除スルヲ以テ大ニ有益ナルヲアリ、寒地ニ産スト雖モ熱國ニ於テハ此種類甚ダ多シ、本綱ヲ別テ無尾類、有尾類、及ヒ有鰓類ノ三目トナス

第一目 無尾類 Aneura.

無尾類ノ通性

身體發育ノ後ハ短廣ニシテ尾ヲ欠キ四肢ヲ具ス前肢ニ四趾アリ後肢ノ五趾蹠ヲ以テ連綴ス其孵化スル實ニ不完全ニシテ四肢ヲ

具セス、鰭狀ノ尾アリ、鰓ヲ以テ呼吸ス、此幼兒ヲ稱シテ蝌蚪ト云フ、漸ク長ズルニ從ヒ尾ノ起根部ニ後肢ノ痕跡ヲ現ハシ、鰓、肺ニ壓セラレ、其皮膜ヲ脱スルニ當テハ鰓モ亦脱シ、肺ヲ以テ呼吸ス、且久シク皮下ニ隱伏スル前肢ヲ發露シ、尾ヲ收縮シ以テ地上ニ跳躍スル動物ニ化ス、此動物ハ高シク聲音ヲ發シ、寒帶暖帶ノ國ニ於テハ冬時地中泥中ニ蟄伏ス、其全ク發育シタルモノハ、水陸ニ棲息ス、是レ本綱ノ名アル所以ナリ

(一) 峰窩蛙屬 *Pipa*.

峰窩蛙屬 *P. dorsigera* 身體黑褐色ニシテ其兒ヲ生育スル類ハ奇異ナリ、初メ交尾ニ際シ雄雌ノ背上ニ其卵ヲ塗抹スレハ背皮起揚シ恰モ峰窩狀ノ小室ヲ作り之ヲ圍擁シテ其兒ヲ生育シ以テ蝌蚪期ヲ卒ルニ至ル

(二) 蝦蟆屬 *Rana*.

其趾完全ナル蹼ヲ具シ跳躍游泳ニ長ス

蝦蟆類

第一百十圖
金線蛙



○金線蛙 *R. esculenta* 綠色ニシテ背ニ黃色ノ縱線アリ、其外黒斑ヲ点ス、最モ普通ノ種ナリ、○山蛤 *R. temporaria* 身體褐色ニシテ頰部ニ黒斑アリ、産卵ノ期ニハ水中ニ入り平素ハ郊原ニ生息ス、○蝦蟆 *R. rugosa* 其背暗褐色ニシテ黒點ヲ雜ヘ、全身ノ上面ニ疣アリ、故ニイホガヘルノ名アリ、其外貌頗ル醜クシ

(三) 雨蛤屬 *Hyla*.

雨蛤類
趾端ニ懸盤アリテ平滑ナル物體ニ攀緣スルニ便ニス、前肢ニ蹼ナク後肢ニ半蹼アリ多ク樹上ニ棲息ス

○雨蛤 *H. arborea* 綠色ニシテ四月下旬水中ニ交尾シ夏時樹上ニ棲▲而シテ動物四年ニシテ全ク發育スルモノニ似タリ又春情ノ發動スル雄蛤ハ天ノ將ニ陰雨セントスルニ當テ高聲ヲ發シテ鳴號ス、故ニ之ヲアマガヘルト稱ス人之ヲ飼養シテ晴雨ヲトスルモノアリ、○金襴子 *H. Baereri* 本邦深

兩棲類 無尾類

蟾蜍屬

第百二十圖
蟾



山ノ溪水ニ生シ頰ル美聲ヲ發ス

(四)蟾蜍屬 Bufo.

後肢短ク皮膚ニ乳嘴狀ノ突起アリ且ツ皮
腺ニ富ミ腐蝕性ノ液ヲ分泌ス

○蟾蜍 *B. vulgaris* 身體灰褐色ニシテ褐色ノ斑点ヲ
雜ヘ田圃等ニ生シ昆蟲ヲ食ス

第二目 有尾類 Caudata.

有尾類ノ
通性

體形石龍子ノ如クニ短脚四アリ概ネ前肢ニ四趾後肢ニ五趾ヲ
具フ漸ク變形ノ鰓ヲ脱却シ肺ヲ以テ呼吸ス皮膚頗ル腺ニ富ミ腐
蝕性白色ノ液體ヲ分泌ス前肢ニ異ナルハ尾ヲ脱却セズ一生涯保
存スルニ在リ

(一)黑魚屬 Salamandra.

身體ニ乳嘴アリ其生長シタルモノハ濕潤ノ陰地ニ棲息シ其卵ヲ

黑魚屬

水中ニ産下ス

○黑魚 *S. atra* ハヨチサンセウ、ナ *S. unguiculata* 身體其名ノ如ク黒色ニシテ背ニ灰
黄ノ斑点アリ ○鰓魚 *Cryptobranchius japonicus* 身體頗ル大ニシテ餘ニ至ル
全身黒褐色ニシテ皮膚ニ疣狀ノ隆起アリ頭扁平ニシテ眼細小ナリ其尾大ニ
側扁ス而シテ此動物ハ本邦山間ノ溪水中ニ生スルモノニシテ其體極メテ
大ナリ故ニ大ニ字内ニ其名ヲ著シタリ其肉以テ食料ニ供スベシ

(二)蝾螈屬 Triton.

蝾螈屬

身體較細長ニシテ尾長ク側扁ス春時ノ生殖期ニ至レハ水中ニ棲息
シ後又濕地ニ移ル其卵ヲ水草ニ産下シ兒子ノ發育速カナラズ三
年ニシテ漸ク交接スルニ至ル

○蝾螈 *T. suberitatus* 腹面赤色ニシテ黒斑ヲ雜ヘ本邦ノ陂池等ニ産ス

第三目 有鰓類 Sozobranchia.

四肢若クハ二肢ヲ具シ身體多ク延長シテ蛇ノ如シ肺ヲ有スルモ